

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1	1	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現庁舎と比べ公共交通が集約している地でもあるので立地的に問題はない。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
2	1	清水区	規模	規模について	また、庁舎の機能としても過度でなく、かつコンパクトと思われる。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○				
3	1	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	この津波浸水が想定される地域で防災の拠点が無いのは市民としても困るので、ぜひ災害に強い施設をつくってほしい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
4	1	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	線路をはさんだ「向こう側」なので、どの程度の可能性があるか不明確な点もあるが、バス会社などと調整してもらい、人の動線を変えてもらってもよいのではないかとと思う。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
5	1	清水区	その他	清水のまちづくり	何も取り組まずに衰退するのではなく、何かに取り組み前に進むことは必要である。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
6	2	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新清水庁舎への車両動線の整備について 新清水庁舎の場所が最良であるかはさておき、清水駅の海側への車両動線の計画を合わせて、計画、検討、提示をしてください。 国道1号線からだと、エリザベート近くの外浜踏切や愛染踏切からしか行けません。また、南幹線からは、現清水庁舎の前を通る形になりますが、クランクした道路で、利用しやすいとは言えません。 駅に近いことで、利便性が上がる方もいますが、多くの方は車両で行くのではないのでしょうか。現清水庁舎前も時間によっては道路待機車両が多いですね。 老朽化による新庁舎移動は理解できます。市民にとっては大きな話ですので、新清水建設基本計画だけの話でなく、近隣の車両動線整備を含んだ計画案を提示して下さい。この場所が最良なのか、多くの市民が判断できるように。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
7	3	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	駅から直結で行けるのはとても便利です。今の清水庁舎の駐車場はすぐせまくて使いづらいので、ゆとりある駐車場をお願いします。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
8	3	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	耐震対策は最大級のものでお願いします。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
9	3	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	富士山や海を活かして、シンプルながらも味があるあたたかみのある建物になってほしい。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
10	3	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	周辺の駐車場を来庁者用にも使えるように提携しては？	駐車場整備については、本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
11	4	葵区	規模	組織について	必要以上に大きくなくて良いと思います。本当に必要な職員数と本当に必要な組織を置いてください。高層ビルは要らないと思います。	新清水庁舎の職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
12	4	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	色々な意見がありますが、実際もんだい、すべての津波浸水域から公共の建物をどかして高台に移転するのは不可能だし、今浸水域に住んでいる人たちの命を軽視する考えだと思います。清水区は現実に向き合うべきです。防災に強い建物になるというのは賛成です。一人でも多くの命を救ってほしいです。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
13	4	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎のピロティの下を、近くの商店街でやっているコスプレ大会の会場として使うのはどうでしょうか。雨に濡れずに使うことができるので良いと思います。ただ使うのではなく、市役所の仕事とつなげてコスプレしたキャラ名を書き込めて、できれば顔写真や参加回数など書けるカードのような「コスプレ住民票」のようなもの(記念カードのようなもの)をその会場で発行するようになれば、参加者の記念にもなっていると思います。「市役所職員」の役は本物の職員さんでも「まある」の子供スタッフでも面白いと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
14	5	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	これまでの庁舎のイメージを変えるような庁舎にしてほしいです。待合スペースも飲食禁止などでなく、コーヒーやジュースを飲みながら待てるようになると、待ち時間が苦痛でなくなります。	快適な待合環境の確保については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
15	5	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	静岡県に建てる建物なので、防災面(特に構造面)については備えすぎることではないと思います。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
16	5	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	せつかく駅前につくるのなら、ただの事務所とどじ切った建物になるのはもったいないです。市民に開かれた庁舎になってほしいです。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
17	5	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	清水区はこの期を逃すともう2度と開発の見込みはないのでは？スピード感をもって実施しないと、市場のリズムとズレしてしまうかもしれません。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
18	6	清水区	その他	再整備・移転について	<p>新庁舎の津波避難ビル機能との関係で想定すべき津波高について清水区の【人名】です。</p> <p>【役職名】として全国の被災者支援に取り組むほか、東北被災地でのご遺族その他の皆様からの聞き取り調査などの知見を踏まえた津波防災の講演活動も行っていきます。今年度は御前崎市、吉田町などの県内自治体からもご依頼をいただき、市町の公式な防災講演会でも津波防災講演を行っているところとあります。</p> <p>また、御市・静岡市とも災害被災者支援に関する弁護士会ニュース（災害時Q&A集）の災害時拠点施設への配備や静岡市地区防災計画への掲載など多大なるご配慮をいただきました。昨年私が作った被災者支援チェックリストについても今年の12月議会で議員の先生から、その活用に関するご質問をしていただいているところとあります。</p> <p>さて、清水区の新庁舎は、南海トラフ地震後10分15分で津波が到来する浸水想定エリア内に予定されており、そもそもあえてこうしたエリアに新庁舎を建設することは、東北被災地を歩き、自治体職員を含めた多くのご遺族からお話を聞いてきた身としては、目を疑うものです。私は個人的には、行政が市民の防災上の責任を背負いすぎてことに疑問を感じている部分もあり、行政がなまじうことには限界があることを市民側が理解をし自助共助に尽くすべきという立場ですが（そのための津波防災講演です）、最低限、行政機能については、相当程度安全な立地にあることが必要と考えています。</p> <p>【URLアドレス】 上記は私の単なるメモ書きですが、この点について少し記載しています。</p> <p>また、100歩譲って、予定地には他に十分な津波避難ビルがなく、浸水エリア内ではあるが、浸水エリアであるから”こそ”、周辺住民の生命を守るために、危険を承知にあえてここに津波避難ビルを兼ねた新庁舎を建設させてほしい、と住民に理解を求めるとすれば、それは1つの考え方だと思いますが、現在書かれてあるその点の説明は、どうにも後付の理屈にしか読めません。実際、当初公表されていた資料では、防災上の観点は、計画上重視したポイント（赤字部分）に含まれていませんでしたね。そのことも影響していると思いますが、津波想定があまりに甘すぎます。私はハザードマップを軽信して校庭からの避難も、事前の津波防災も怠り校庭にとどまっていた70名以上の児童の大半が亡くなった石巻市立大川小学校に何度も調査にいき、そのご遺族と一緒に静岡県内で防災講演会を行ったことでもあります（静岡県及び県内多数市町の後援行事）、大川小学校に限らず、ハザードマップを尽く上回ってきた東北被災地から、一体防災先進県といわれるはずの静岡が何を学んできたのかと非常に悲しくなります。</p> <p>あるいは、地震後の海底地すべり（諸説あります）により短時間に大津波が押し寄せた北海道奥尻島から何を学んだのか、と。</p> <p>「静岡県の第4次被害想定は平成16年の宮城県想定とは全然違う」と思われているなら、自然を甘く見過ぎです。自然は常に想像をうまわわってくものですが、そうした抽象論を排したとしても、静岡県の被害想定では、駿河湾の海底地すべりは想定されていません。</p> <p>●海底地滑りについては【大学名】の【人名】先生が解説されたNHKの記事をご参照ください https://www3.nhk.or.jp/news/web_tokushu/2018_0313_2.html?fbclid=IwAR331bgn8tFthxyx1NCo43-zskWvee8Yfz8XE1z7dXaLTPaB9uTHEdGcmIc</p>	<p>市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。</p> <p>なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。</p> <p>そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。</p> <p>更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。</p> <p>なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。</p>					○
19	6	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	<p>先般静岡市全戸配布されたパブコメ資料における図では、「ベデストリアンデッキ（低い空中回廊みたいなもの）に緊急避難できます」とか、このデッキがあるので津波発生時も孤立せずに清水駅と庁舎を自由に行き来できます、などと誇らしく書かれてありますが、悲しくなるほどの想定のご甘さだと思料します。</p> <p>「本気で津波避難ビルとして命を救いたいからここに庁舎を作らせてほしい」、と市民にお願いをするのであれば、最上階や屋上で最低でも15m20m以上の場所に、想定する避難民全ての周辺の人を避難させることができ、最低3日間できれば1週間救助が来なくても凍え死んだり飢えで死んだりしないだけの備蓄品を設けています、ぐらゐの説明と設計が絶対が必要です。</p> <p>七十七銀行女川支店では、本来すぐ横にある堀切山が避難場所であったのにそこへの避難を怠り、（二次避難が不可能な）銀行の屋上に全員が避難し、屋上を上回る津波で行員らが犠牲になったことはご承知かと思料します。</p> <p>釜石の奇跡と呼ばれた釜石でも、鶴住居小学校は当初屋上避難を試みていましたが、中学生が高台に逃げる姿が避難方法の変更をさせ、小学生らは屋上避難をしなかったことで命が救われました（津波後小学校の最上階に軽自動車突き刺さっていた写真は有名ですね）。</p> <p>東北被災地をみてまわるにつけ、屋上避難が本当に最後の最後の手段であることを痛感します。</p> <p>どうしてもここに津波避難ビルを兼ねた庁舎を作られるなら、第4次被害想定を鵜呑みにした設計だけはどうかしないで下さい。</p> <p>先日陸前高田市町が静岡で講演されたときにもおっしゃっていましたが、後悔にはあとで笑える、あるいは反省できる後悔と、一生消えない後悔、取り返しがつかない後悔があります。</p> <p>想定外だったといって市民を、特に何の罪もない子どもたちの命を奪う都市計画だけはしないで下さい。</p> <p>防災活動をするものとして、小学生の子をもつ父として、そして一静岡市民としての切なるお願いです。</p>	<p>緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		
20	7	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	<p>ピロティ建築方法とベデストリアンデッキについて</p> <p>*ピロティ建築について</p> <p>・津波時のごみ箱になります。直近の津波映像をみても流木 家屋 船等の残骸がすべてピロティ部に溜まりゴミ箱状態になります</p> <p>津波の圧力が通り抜ける筈がない</p> <p>過去の資料で科学的に説明してください（言葉のママカシはやめて）必ず大型ごみ場になりますので津波強化ビルとして対応してください</p>	<p>ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		
21	7	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	<p>*デッキは逃げ口も必ず設置願います</p> <p>駅から一本のデッキですと逃げ道が無くなりますので二本のデッキが必要です</p> <p>以上 ご検討下さい</p>	<p>緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		
22	8	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	<p>従来よりコンパクトかつ交通結節点に近く、合理的と感じる。</p>	<p>アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。</p>	○				
23	8	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	<p>1階をピロティにし、災害リスクを考慮した構造と感じる。</p>	<p>災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○				
24	8	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	<p>周辺に大型の公共施設が多く、避難上も適している。</p>	<p>地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		
25	8	駿河区	その他	清水のまちづくり	<p>海洋拠点施設と併せて、スピード感のある対応をお願いしたい。</p>	<p>2019年度は、中部横断自動車道の開通が予定され、長野県や新潟県との活発な交流や物流が見込まれます。このため、玄関口となる清水区は今後より一層、内外から期待される地域となっていくため、スピード感を持ってまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。</p>					○
26	9	清水区	規模	規模について	<p>・将来を見据えた庁舎とは？（更なる縮小や場合によっては拡大も可とする設備の意味でしょうか）</p> <p>市民にとっては大きなりっぱな区役所はもういらぬと思います。土日稼働する民間施設を最大限とする施設が望ましい。</p>	<p>ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。</p>			○		
27	9	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	<p>・新庁舎のみ災害に強い施設になっても周辺の施設が現状のままでは防災拠点にはなり得ない。新庁舎までの動線の災害対策（周辺道路の浸水対策など）を示してほしい。</p>	<p>業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
28	9	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	・入居する部局が減少すると庁舎に行く機会が少なくなるので土日にも区役所に行く気になるようなイベントや駐車場利用を可とする施設として頂きたい。	市民が行きたくなる区役所については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
29	9	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・JR清水駅利用時に富士山を眺めるのが楽しみでした。庁舎建設時にはこの点もぜひ考慮して頂きたい。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
30	9	清水区	その他	市民周知・市民参画	・建設基本計画(案)文中にあるICTとかIoTなど略語には日本語説明を。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、パブリックコメントは、一般的な市民参画手続であり、意見の数や賛否を問うものではなく、市民の皆さんから多種多様な御意見をいただき、施策案をよりよいものとするための手法です。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
31	9	清水区	その他	市民周知・市民参画	・多く集まると思われるパブリックコメントには、是非共聞くだけにはしないで頂きたい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
32	10	葵区	その他	清水のまちづくり	行きやすいよう、静鉄とJRの乗り換えができるような新駅や駅の改修をしてほしいです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
33	11	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	申請書類や証明書などは家庭のパソコンからも取り寄せられる時代が来るかもしれないので、時代を先取りした庁舎建設はとても良いと思います。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
34	11	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式の採用は、津波対策としてとても有効だと思います。地震対策としても最大級のものを想定しているようですので、安心です。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
35	11	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	平常時のピロティを上手に活用することで、すでにある商店街との連携もうまくいくのではないのでしょうか。庁舎をまちづくりにも生かしていく発想はダイナミックさを感じます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
36	11	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	隣接する民間施設についても、ぜひ、既存の商店街と手を取り合って『まちづくり』に貢献できる施設となって欲しいものです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
37	12	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に直結しているなら、商店も近くにあり便利だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
38	12	葵区	規模	規模について	余分な床は作らない、とのことですが、ICTの進化など将来的なことを考えるとコンパクトな庁舎の発想はとても理にかなっていると思います。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○				
39	12	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	区行政の中枢を担う施設ですので、この移転をきっかけにして、災害に強い建物としてください。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
40	12	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	日の出地区にはドリブラなどのリクリエーション施設もあり、江尻地区の新庁舎との相乗効果が期待できるのではないのでしょうか。ウォーターフロントの将来ビジョンを楽しみにしています。	他のエリアとの連携や相乗効果については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考にさせていただきます。	○		○		
41	12	葵区	その他	再整備・移転について	庁舎建設に反対している方がいますが、こんなに夢の持てる施設建設に反対している意味が分かりません。	整備方法については、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、「移転建替え」が最適であると判断しました。 現庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があることから、一刻も早い整備を目指しています。					○
42	13	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	最新のICT導入を見据えた庁舎整備にとっても期待しています。RPAの導入やオフィス環境の見直しなどにより市民の利便性が向上するばかりでなく、働き方改革を進める職員の負担軽減にもつながり、果ては人件費の抑制も期待できると思います。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
43	13	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	『港町しみず』を標榜する清水区民は多いと思います。だからこそ、区政の中枢機能は「港」を見捨てるべきではないし、むしろ災害に強い強靱なまちを創造して欲しいと思います。新庁舎建設がその先陣を切って進んでいくことを期待しています。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
44	13	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	新庁舎建設が単なるハコモノを造っているわけではないことがとてもよくわかりました。三保から興津までのウォーターフロントエリアは、ソフト・ハードを問わず今後様々な開発が期待されています。新庁舎の整備を契機にエリア全体のポテンシャルが高まるよう、庁舎完成後は周辺の商店街や施設と連携し、まちづくりの拠点として活用が図られることと思います。	他のエリアとの連携や相乗効果については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考にさせていただきます。	○		○		
45	13	葵区	その他	清水のまちづくり	津波想定浸水区域に新庁舎を整備することについて、あまりにも過敏に反応している団体の記事を新聞等で拝見しますが、その方々は清水の歴史、文化、環境をもっと勉強するべきです。周囲を海岸線で囲まれたわが国は、すべてのまちを山間部につくるべきだと思います。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
46	14	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	一般の市民は日常的に市庁舎を訪れることはありません。商店の「お客様」ではないので、区役所では効率的に用事を済ませることができれば良い。今後の技術革新を見据えた庁舎を整備してください。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
47	14	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害発生時には、現庁舎が業務継続できない建物であることを知って、びっくりしました。区民の命や財産を守るためにも早急に新庁舎を整備すべきと考えます。その際、今までの反省を生かして災害に強く区民に安心を与えられる庁舎になって欲しいと思います。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
48	14	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	新庁舎をまちづくりにも生かすことは、清水のまちの再生を掲げるうえでとても重要なことだと思います。周辺ではすでにコスプレ大会など知名度があがっているイベントもあり、新庁舎を活用してまちづくりを進めることで、清水の町の再生に希望が持てるのではないのでしょうか。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
49	14	葵区	その他	検討委員会	清水のまちの再生を願い、検討委員会で活発な議論をしてくださった委員のみみなさんには頭が下がりました。	検討委員会の委員には、事前に事務局から十分に説明を行った上で検討委員会に出席していただいております。 検討委員会では、ご自身の専門分野や経験を踏まえたご意見を述べていただき、そのご意見を事務局が参考にさせていただいて基本計画案をまとめさせていただきました。					○
50	15	清水区	その他	再整備・移転について	まちづくりの中に庁舎がなくてもいいのでは？津波を意識して建設するならば津波がこない場所に作っては？新庁舎と避難ビルは別物にすべき	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
51	15	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	そもそも新庁舎を避難場所にいざ12800人の方々が避難して来た場合災害対策本部の機能は発揮できるのか？新庁舎と避難場所は素直に別物にした方が行動しやすいのでは？	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
52	15	清水区	その他	清水のまちづくり	人とまちを海近くに作る事はまちがいの素だと思います。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
53	15	清水区	その他	清水のまちづくり	災害の教訓をいかそう。歴史や自然から学ぶべき。	まちづくりを検討するにあたっては、歴史を検証することはもちろん、過去に発生した災害状況なども検証し未来に亘って、安心安全なまちづくりを進めていくことが重要だと考えております。					○
54	16	葵区	その他	再整備・移転について	新清水庁舎建設基本計画 静岡市長は、問題がある場所に建設する意味が理解出来ない。問題は、どこに「人やまちを守り、様々な災害に対応庁舎」かでありませぬ。 震災になった時、孤立する場所に何故故、建設するのか！であります。ここに建てる意味と理由が理解出来ない！止めてほしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
55	17	葵区	その他	再整備・移転について	新清水庁舎建設計画に意見の件ですけれどもなぜ清水駅東口公園場所に現在は商店街の近く又清水駅近くで便利だとは思いますが何んぞ危険な場所を進めるのか理解できない。想定害の事を考えれば津波の水だけでなく数々のもの、上段部は安全でもその時人が異動することが出来なく職務ができなく建築費も多額になり未来志向で考えれば良い所なし。市長や議員は目先の事だけ選考対策のみ職員の方は、若い市民が今後どの様な町造りを安全第一で住み良い所を考えてほしいものです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
56	17	葵区	その他	清水のまちづくり	案 病院は公園に病院の跡地にその頃にはAIバスが走る時が来るのであろうから想定害に合う事が無い場所で望む	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
57	17	葵区	その他	市政全般	市民のため税金大切に使い市民が安全で住み良い街造りを市民のために働いて下さい。NHK ちこちゃん 5才 ぽっと生まれてんじやないよ	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
58	19	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ピロティー形式だと2階等へ昇って行かなければならない。現区役所の様に1階で用事が済む方が便利である	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
59	19	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	火災に対する消防のきょ点はどうなっているか？災害が発生した場合市民がそこへいなくなる確率をアンケートを取る必要がある。市職員がそこへ進んで集合するか、が問題である。職員の住みからそこへどのよう連時間はどうか？	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
60	19	清水区	その他	再整備・移転について	市長はコンパクトシティーを旨ざしていると思うが区民の人口分布からすると人口分布の少ない所でありそこにひなんさせるのはむり。進水ひがい地域であり、又石油コンビナート火災、24号台風の船舶のアクセス道路えのしょう突等想定しうる災害に対処していない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
61	19	清水区	その他	清水のまちづくり	東洋の清水構想を提案する(シンガポール、ホンコンと様な)自分の代だけの事ではだめ、スペインのサグラダ・ファミリアの様に何百年という才月をついやす様な考え、役所・病院はその構想については不用。もっと時間をかける	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
62	20	清水区	その他	再整備・移転について	静鉄 駅からとういが、いまの所で充分、たてなおす必要はない	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
63	20	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院を早くたてなおしてほしい。同じ地域がいい	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
64	20	清水区	その他	再整備・移転について	桜ヶ丘公園あたりが文化、住みよさの点で1番いい。病院と区役所がとなりあわせでも良いと思う。海の近くにつくるのは無意味	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
65	21	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	福島の実状を見ていて、誰もが利用しやすいと言う前に一番に安全な所、地震が発生して津波が来る事を第一に考えなければ、これほど、騒ぐ事はないのでしょうか。わざわざ、津波の来襲する方向に避難はないのでしょうか。海拔の高い所を探すのが第一だと思います。	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をペDESTリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難する方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○				
66	21	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	上と同じ事で区役所が出来れば、又とその周辺が開発され、町も開かれ、交通機関も充実して、明るい方向に向うと思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
67	21	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	どこへ行っても駐車場がなく、車を止めれば駐車違反で切っぶを切られる時代、市民が上手に使える大駐車場を持つ庁舎を作り庁舎はコンパクトにして、非常時には市民が車でも避難出来、自衛隊、消防・レスキューなどが待機出来るようにしておけば将来に渡って安心だと思います。その回りに自家発電設備、水道設備の充実を図っておくと良いと思います。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
68	22	清水区	その他	再整備・移転について	今の施設で充分です。又ウォーターフロントである駅東に移転する意味がわからない。ここを補強して更に改装なりして使い易くすれば良い。 今新たな庁舎は必要ない。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
69	22	清水区	その他	再整備・移転について	交通の便を言うならば地域の公民館をもっと活用し、どうしてももの時のためにはシャトルなど考えれば良い 新たな庁舎を作るとすれば、場所は桜橋、狐ヶ崎、草薙辺りに作るべき。消防本部も近接な場所に又はナショナルトレセン、庵原球場辺りでも良いと思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
70	22	清水区	その他	市政全般	学習館と区役所との連携を密にする工夫をして欲しい	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
71	22	清水区	その他	清水のまちづくり	病院も区庁舎も港に近い所に作ることは断じて反対	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
72	23	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	この場所では、津波が来た時に防災拠点として働かない。 理由：津波が来れば漂流物等で職員が行くこと、避難場所にもならない。庁舎に用事に行ったとき、庁舎内に津波が押し寄せてとき命の保障ができますか、自分の名声のため税金を無駄使いしないでください。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
73	24	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	町内の回覧板で、基本計画の概要を知りました。 説明が大変分かりやすかったです。 津波が来る場所に庁舎を建設するというので、反対意見も少なくありませんが、ピンチをチャンスに転換した観点で、逆にこの地域やJR清水駅周辺の観光客等の避難拠点となるという発想は素晴らしいです。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
74	24	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	また、敷地内に民間施設を誘致することで、稼げる公共施設を目指していることは、時代にマッチしていますし、市の財政負担イコール市民の財政負担を軽減し、持続可能性を高めている点に感動しました。さすが、アセットマネジメントの部署ですね。様々な利害関係者から、不毛な反対意見も多くあると思いますが、今、与えられた状況の中で、最善を尽くしていただきたいと応援しています。今後、計画を進めていくことは長丁場となりますが、職員のみなさんをお願いしたいことは、どうか、お体を大事に、メンタルを大切に、犠牲者無しに、このビッグプロジェクトをやり遂げていただきたいということです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
75	25	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	大地震がおこり庁舎が残ったとしても特に海に近く、道路が破壊されて建物の瓦礫、泥とうが堆積し近づく事すら出来ない、又旧東燃のタンク、LNGガスがどの様に大地震で影響するのいか？あえて海岸の近くに建設する必要が無いです。清水では七夕豪雨でも渋滞で市役所に行くのも1日ばかりでした。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
76	26	清水区	防災の拠点	防災全般	新庁舎を見下ろせる場所に在住しています。緊急避難地として位置付けられていますが、東側に巨大な古いタンクが数個あります。津波が押し寄せた場合に、新庁舎に影響を及ぼす可能性が考えられます。庁舎本体の対策は勿論ですが、周辺の危険物も視野に入れた、防災対策も必要と考えます。市の土地ではないですが、連携は必要だと思います。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
77	28	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	地震後、津波、液状化現象で建物が耐えても、そこに行けるのかどうか判らないところに何故建てるのか不思議だ。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
78	29	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水が賑わうような空間を作り出していきたいと思えます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
79	30	清水区	その他	再整備・移転について	今回の件に対する賛同者は少ないと思う。庁舎は移転せず現在地駐車場に建て直し必要最小限のスペースを確保し桜が丘病院は外科も無くなり最早総合病院でもなく市をあげて移転を論ずる事自体無意味に思える！いずれにせよスピード感の無い計画なのでもう一度再考すればいいのではないかなと思う！	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のみちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○		
80	31	清水区	その他	再整備・移転について	現在の(案)は、危険なJR清水駅付近を規定した考えであり、全く安全な地域ではありません。この案の中で防災拠点と考えており約12800人の緊急避難デッキがつくられるとあるが、この地域のこんな人数は住んでいません。東日本大震災の被害の大きかった地区の市町村庁舎は殆んど高い津波被害を受けにくい場へ移っています。清水区役所も桜ヶ丘病院近くの高台へ移すべきと考えます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
81	31	清水区	その他	清水のみちづくり	「人」と「まち」がつながるエリアとは何か、庁舎に人が四六時中集る必要はない。町造りは港町を発展させたいなら日之出地区の開発に全力投入すべきだ。倉庫群を排し、海辺の自然に人が集る様にする事が未来につながると思う。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○	
82	32	清水区	その他	再整備・移転について	そもそも新庁舎は必要がない。30~40年でコンクリートの立派な建物が老朽化とは考えられない。修理しながら使えば良い。土光敏男さんが言った、「官は質素に民は豊かに」をモットーとすべき。市民1人当たり何十万の借金があると言うのに市長は何を考えているのかわからない。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。					○	
83	32	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	もともと大津波来た時海に向かってひなんするバカはいない。庁舎にひなんする発想はやめた方がいい。どちらの庁舎がやられても代替え出来るシステムを作れば良い。	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をペDESTリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難の方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○					
84	32	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	役所は役所だ、エリアの価値とは関係ない。民間の活力を引き出すのが市長の役目だ。熱海のように海岸沿いに高層の建物がいっぱいあればひなんの問題はなくなる。そのように持っていくにはどうしたら良いか考えた方がよい。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○			
85	32	清水区	その他	市政全般	今の市長は県知事から無能呼ばわりされている。そろそろ交代した方がよい。県の力をもっと利用する頭がなければいけない。二重の箱物は不要。○市長にやってもらいたい事一、工場の誘置。静岡市からどんだん大企業が逃げて行っている。工場の跡地をパチンコ屋や大規模店舗にするのを条例で禁止する。人口増は雇用だと思ふ。静岡でまともに給料払っているのは静岡だけというのはさみしい。職安に行ってみなさい。まともに給料払う所は一軒もない。子供は高校卒業すれば、あっと言うまに静岡から逃げていく。それが現実。温暖で住みやすい。地方に行くにつづく思うのに。二、東海道線の高架。中吉田踏切りを見ると昔の八幡踏み切りを思い出す。ひどいものだ。JRはもう知っているのだからやらせるべき。三、インフラの更新時期がきている。箱物を作っているひまはない。四、呉服町や七間町の連中に金をつぎ込むのはやめる。地権者がうるおうだけだ。困っている商店街はいっぱいある。イベント費用を地元の連中に負担させるのが本筋。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。						○
86	32	清水区	その他	清水のみちづくり	○桜が丘病院について 総合病院はもう不要。厚生病院や市民病院がある。開業医も多い。それなりの設備持っている所もある。欲しいのは手術専門病院。子供病院は本当に頼もしい。県立病院も大人気があるが忙がしすぎて「入院したら生きて帰って来ない」という評判もある。もっとも手遅れの患者ばかりだろうけど。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。						○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
87	33	清水区	その他	再整備・移転について	津波が想定される地域に公共の庁舎を建設することは不一の際に業務が行えるか疑問であり反対する	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
88	33	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院の現庁舎あとの移転は津波のリスクある場所であり、その際、病院機能が充分できるか問題多く反対します。田辺市長の対応は人の話を聞く耳がなく反省すべきです	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
89	34	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎基本計画(案)は、短絡的で不合理かつ将来性がない。 (案)の場所は、市のはずれの湾岸に位置しており、市庁舎としては欠陥がある。加えて大災害の処点として致命的に欠陥があり、周辺市民の避難の場としても最悪である。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
90	34	清水区	その他	再整備・移転について	防災拠点としては最悪の拠点である。 南海トラフの大災害が想定されている現在、素人の視点から見ても最悪の拠点であり、再考が急務である。大津波に襲われた場合同案の場所には、市職員が接近できぬことも想定され、何故このような馬鹿げた案が作成されたのか理解に苦しみます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
91	34	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	エリアの価値が高まる筈がない。 同拠点は市のはずれの湾岸に位置しており、市民の求心力のある場所にはなり得ない。「人」と「まち」をつなげるエリアとしても最悪の場所である。3.11の時、東電経営者に対して責任を求める裁判訴訟が起こされましたが、同案の作成責任者に対しては「将来的にも責任を負う」という明文化された覚悟を提出させて欲しい。やり逃げの行政であってはなりません!	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアは、「明日の清水のまちづくり」の実現に貢献し、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近いことなど、庁舎建設の適地と判断しました。				○	
92	35	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎は被災しない場所に建てられるべきです。病院も絶対安全な場所に被災者の救護救済が最大限に機能できる様にすべきと考えます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
93	35	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震に耐えられるだけの免震構造であるべきです。そして工事費の高くなる埋立地はさけなければなりません。地盤の確かな場所をえらんで下さい。いざと言う時の備蓄の対策も考慮して下さい。 上記の様な災害時の対応と平常時の業ムが出来る安全な場所で交通の便が良く区民が行きやすい場所を考慮して下さい	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
94	35	清水区	その他	再整備・移転について	津波がくると予想されている所に清水庁舎を建てないで津波と液状化で危険 ○市民が集まり、災害時には区の災害対策本部となる庁舎。 ○しかし、津波と液状化で誰も来ることができません。 ○多くの市民から「なぜ、わざわざ津波浸水想定区域に建てるのか」と不安と疑問の声が上がっています。 桜ヶ丘病院移転の「玉突き」か? 田辺市長は、現清水庁舎を清水駅東口公園に移転させ、「現庁舎の場所に桜ヶ丘病院を移転する」と公表しました。現庁舎の場所も津波浸水想定区域であり、病院を移転するなど、とんでもありません。 区民不在の「移転ありき」 区民の意見を聞くべきです。 今年の3月、市民へのパブリックコメント(市が、市民に意見を寄せてもらう制度)を実施しました。清水区からの応募者316人中130人、41%の人が「(建設場所を)再考すべきだ。」の意見を寄せましたが、田辺市長は、「市民の意見は聞くが、方針は変えない。」と公言しました。 私たちは、こう考えます ○国も県も難解トラフ地震を強調している時、一度立ち止まり「防災」面から徹底審議が必要です。 ○庁舎や病院など重要施設の移転は、津波浸水想定区域「外」へ。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
95	36	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	中心部の区民は便利であるが、遠隔地の区民は便が悪く「将来を見据えた」という点では、津波地震の際には現実的には困難である。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
96	36	清水区	その他	再整備・移転について	全くその機能は無いと思われる。災害時の業務を遂行できない可能性が大きいと判断する。海の近くのエリア価値を高める構想はうかがえるが、やはり津波地震の災害を考えると無駄な判断で、全く反対である。海から離れた土地で庁舎は建設すべき、又は現庁舎を使用し、財政面での浪費を避けるべきである。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
97	36	清水区	その他	市民周知・市民参画	区民の意見を尊重する考え方が全く無い、又、市会議員がその役目を全く果たしていないのも事実、議会政治の根本を見直すべきである。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
98	37	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	港湾道路は産業道路でもあります。現在でも車の往来が激しい場所に役場が移れば、多くの出入りする車で付近は通行の妨げになるのではないか、又事故の増加も懸念である。 他県からの観光客や産業界にも悪影響を及ぼすことは避けられなし、多くの区民は車を利用して役場に行くと思われるが、東西を通る道が一本もなく不便極まりない。区民の意見を真摯に受け止め民意主体の行政をお願いしたい。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
99	37	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	役所が地震や津波に耐えられるのはこの時代ですから、其れなりの建物ができると思います。防災拠点としてそれでは困ります。建物の周りは浸水し、漂流物で身動きできない状況を想像するだけで恐ろしいですね。職員の大半が不在となる夜間、休日等の場合は職員そのものが行き来できなく、災害対策拠点の機能が果たせないと思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
100	37	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院移転地も地震発生時は危険な地域です。新清水庁舎予定地同様災害時は、病院としての機能は望めないと推測します。今、全国特に沿岸地域では地震、津波を想定し各公共の建物は内陸部へ移設したり予定しています。そんな時、病院として命を預かる機関がどうして、寄り寄って浸水地域に移設を予定するのかまったく理解に苦しみます。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
101	38	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と直結が良いが、車で行くのには、あまりにも不便すぎる。(駅東の駐車場へ行くのに踏切りをどうやって越えるのか？渋滞か遠回りしかない)逆に、住民票等コンビニでもとれるので、人は行かないのではないか、とも思う。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
102	38	清水区	その他	再整備・移転について	①、まず地震による液状化がおこる。②津波で周辺にガレキがたまる。③津波で2階通路に舟がぶつかれば、孤立してしまう⇒もっと安全な場所に建てるべきだと思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
103	38	清水区	その他	清水のまちづくり	まず清水の魅力を再生し、アピールする事を考えるべき！※合併してから清水の良さが失われていっている！！	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
104	38	清水区	その他	清水のまちづくり	テルサとも2階通路をつなげてほしい。桜ヶ丘病院も、津波浸水、液状化エリアに建てるべきではないですよ。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
105	39	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	交通に便利とはいえない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
106	39	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害発生時に業務ができるとは思えない。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
107	39	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	エリアの価値は下がる。なぜ駅の近くが理解不能。他の力が働いているうわさがある。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
108	40	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	使っていないのでわからない。 今の庁舎から言えば、ちょっとした証明書の交付でも結構時間がかかる。市民が多く利用する場所は極力1Fに設けバリアフリーにすること、窓口の職員をふやす(時間帯により)などしてほしい。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
109	40	清水区	その他	再整備・移転について	現在提示されている計画では津波がきても「機能する」の一点ばりなのが不安。どんなデータで安全と言いきれるのかわからない。「想定外の被害」を想定してほしい。清水のまちづくりを考えると、ベイサイドエリアの活用が良いと思うが、行政の要がベイサイドにある必要があるのか？何10年も前から避難訓練をくり返しているにもかかわらず、この選択はあり得ない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
110	40	清水区	その他	市政全般	・計画ありき、で進んでいるが一度見直してほしい。 ・静岡県知事と清水市長の不仲を全国に知らされるのは心底恥ずかしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
111	41	清水区	その他	清水のまちづくり	基本的に何故、海の近くで、住民数の少ない地区（半分が海面）に公共の建物を造るのか疑問に思う。人口の集積度からみても論外。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
112	41	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	もしもの大きな災害のとき、孤立した建物に出入りできるのか。過去の災害にあった市町村の例を見れば明らか。福島原発事故（原発ではないが）の二の舞となる。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
113	41	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	「人」と「まち」が繋がらない町づくりとなる。(1)のとおり利用しにくい(住民の大多数が)所に建てる気が知れない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアは、「明日の清水のまちづくり」の実現に貢献し、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近いことなど、庁舎建設の適地と判断しました。				○	
114	42	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	市民(区民)が利用しやすい庁舎(区役所)と云うと、現在区役所に置かれている市民課を始め福祉関係、税務関係等が上げられると思うが、機能的で効率的配置であるかどうかは区役所を訪ずれる市民にとっては1年になん回かあるか分からないので何とも云えない。現在の区役所でも不便は無い。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
115	42	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	清水区の区民にとって災害と云えば7・7のことがまず頭にうかが。水害は巴川の周辺でおきたわけであるが、現在の区役所の周囲でも建物や道路が水につかり、区役所に行くのも大変であった。従って地震による7・7以上の水害が発生した場合、現在の庁舎ですら復興の中心になることは心もとないと考えている。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
116	42	清水区	その他	再整備・移転について	清水区のまちづくりの拠点を清水駅の周辺に置いて整備を進めると云うのは理解できる。ただもう一方、防災という面からすると、海岸線を走る鉄道は復興の中心となることは出来ない。そう考えると庁舎は津波や液状化の不安のない土地の上に建てるのが望ましい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
117	42	清水区	その他	再整備・移転について	今の区役所では「なぜ悪いのか」もう一度「桜ヶ丘病院」のことを外して検討してみても望しい。市民に財政的な負担を強いる必配があるのか。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
118	43	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎が清水駅東口に移った場合、現在より遠回りになるか、踏切を渡ることになり渋滞を引き起こす可能性が高くなり、決して利用しやすいたとは言えません。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
119	43	清水区	その他	再整備・移転について	素朴な疑問として、災害が起きた時に液状化と津波が襲ってくる危険が非常に高い場所に、何故あえて移転させようとするのか理解できません。まちづくりの観点から庁舎の屋外デッキなどをイベントで活用できるとしてはいますが、浸水してしまったら誰も近づくことができません。まず高く安全な場所を最優先に考えるべきです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
120	43	清水区	その他	市政全般	去年実施したパブリックコメントでも4割の人が計画を再考すべきとしているのに、「方針は変えない」という市長には不信感を覚えます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
121	44	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	今の庁舎は、巴川の海側にあり地震、津波浸水時、安心安全な場所ではない。又、街の中心でもなく、人口の多い所でもなく、新築するなら幹線道が多く、回りの地区から入りやすい場所が良い。「線路をまたいで」とか「橋を渡って」行かなければならない所は災害時の中心にはいけない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
122	44	清水区	その他	再整備・移転について	大地震による津波浸水時、三保半島など避難しなければならない人口をかかえ、学校等の収容できる所、例えば桜ヶ丘公園の回りには桜ヶ丘高校、西高、2中、8中、岡小、入江小等があり、収容施設は万全。桜ヶ丘公園の回りには南幹線、国道、県道等走り、適地である。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
123	44	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	今、清水港に大型観光船が入港しているが、見る所も買う所も紹介されていない様で、百金の店をうろついたり、次郎長通りを歩いたりしているのを見かける。区役所は観光ルート(ex.久能山→←日本平→久能イチョゴがりコース、次郎長→清見寺→温泉めぐりコース等)を考えて紹介したり清水区が活性化を出す所で港の方に区庁舎がく必要はない。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
124	44	清水区	その他	市民周知・市民参画	清水区庁舎のことは、清水区の人々の意見を重視すべきです！住んでみなければわからない事が沢山あるからです。	検討委員会での検討内容を掲載したニュースレターを清水区で廻覧したり、パブリックコメント募集のリーフレットを清水区のみ全戸配布するなど、清水区の方々のご意見をより多くいただけるよう、これまで周知に努めてきました。					○
125	45	清水区	その他	再整備・移転について	地震・津波の観点から場所・建物構造共に不適格と思います。東日本大震災が発生してから8年が経過しようとしていますが、あの時の津波の恐ろしさをもう忘れてしまったのでしょうか。南海トラフ巨大地震で、この地域での想定されている最大震度7 津波高11m到達時間2分に耐えられる建物なのでしょうか？各地の公共機関が高台移転の実施・計画している中で、こんな場所に区役所を建設すべきではないと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
126	46	清水区	その他	再整備・移転について	浸水区域への市庁舎建設について 私は浸水区域への市庁舎建設に反対です。近年は今までに経験したことのない災害が起こります。津波だけでなく、台風による高潮などが度たび起こる可能性があります。そのたびにピロティ部分に浸水するにしても、庁舎の機能は停止されます。 近年の気象環境の変動は想定を超えます。それなのにすでに浸水区域への建設ありきで進めていることは驚きを禁じえません。それは病院建設も同じです。もっと災害に強い街づくりをお願いします。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
127	47	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	市民に開かれることとプライバシーの確保は相反することなので、最近の銀行窓口のように、ホスピタリティ(コンシェルジュ)を重視しつつも執務空間の雑然な様子が窓口から見えない工夫があるといいと思います。	プライバシーに配慮した窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
128	47	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	港には必ず働く人や管理する人が存在し、無人であることはありえない。清水は海と切り離せない。清水だけで考えれば、被災したらどうなるのか、という見方になるが、静岡市は中枢機能が葵区にあることで、被災しても後方支援が可能。むしろ常時の港を活かしたまちづくりの最前線に庁舎を配置し、想定し得る災害への、経済性も考慮した合理的な備えを行うことが、需要だと考える。ペデは、都市空間の立体的な面白さを添える面でも有効と考える。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
129	47	清水区	規模	規模について	庁舎としては「事務所」で十分。実際に10数年清水に住んでいて区役所に行く用事は殆ど無かった(勤務先に近い区役所で手続きは済むことがほとんど)。そのことを考えると、「ハコ」としてはシンプルながらも、時代のニーズに「染めやすい」柔軟な使い方が可能な設えがなされることが理想。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○				
130	47	清水区	その他	市政全般	この次の庁舎の建て替えはどうか、ということも考えておく必要はあるかもしれないと感じます。特に県庁とか静岡庁舎とかのことを考えると。将来使えそうな公有地はその間有効に活用して、売却一本槍ではない方がいいかもしれませんね。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
131	49	清水区	その他	再整備・移転について	・防災面から考えると新清水庁舎を今回計画されている地域に移転させるのは最悪な選択と思う。色々な対策を考えているので、国難を技術で乗り越えられると考えるのは地震津波を軽く考えている。災害は予想を上回るもの、今からでも移転地域を再考し、より安全な地域への移転を考えてもらいたい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
132	50	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅、清水港の玄関として立地は非常に良いと思う。スペースもコンパクトになり会議室も将来利用がしやすく、また駅近のため会議室も民間利用ができると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
133	50	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式と設備室を上層階へもってきており機能的に問題ないと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
134	50	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の玄関口として顔になることを希望する。また、駅から笑店街またドリプラと港へ継いでいく拠点として価値向上を望む。	観光やまちづくりの情報発信の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
135	51	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	総務省IoT関連施策の先進事例となるような機能を持たせることで将来を見据えた庁舎でいえると思います。フル活用してください。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
136	51	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ハード面の機能としては素晴らしいと思います。これらの機能を活かすソフト面（避難経路の案内、防災拠点としての扱い）の充実をしてほしいです。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
137	51	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティの活用について、防災に配慮したうえで賑わいが創出できる、市も民も稼ぐことができる利活用をしてほしいです。閉庁日でも人が集うような潤いのある空間にしてほしいです。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
138	52	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎の建設に民間活力が導入されていることや、敷地内に民間施設を誘致する点は非常に良いと思います。ピロティや屋外デッキなどの公共空間を活用できるため、多様化する市民ニーズに対応できるのではないのでしょうか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
139	52	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	・ベデストリアンデッキにより庁舎と清水駅、マリナート等がつながっており、災害時でも避難しやすいと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
140	52	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	・津波による建物の転倒が防止できる構造であること、かつ、災害時も災害対策拠点として業務が続けられることは、防災拠点としての機能を十分発揮できると考えます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
141	52	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	新庁舎の完成により、清水のまちが活性化することに期待します。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
142	53	清水区	その他	再整備・移転について	一般市民が役所へ行く事は証明書等の件です。証明書類はだんだん交流館、コンビニで入手出来る様になって来ています。駅近は駐車場も限られるので出張所として作り、今の役所はまだ使用可能では。壊すのにはもったいない。税金のムダ使いではないでしょうか。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
143	53	清水区	その他	再整備・移転について	災害のことを考えれば駅地区は全役所機能を移すには疑問です。想定外の津unamiが来る！！としたら、安全な場所を考えるべき。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
144	53	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間の施設を誘致は難しいと思います。今の静岡景気で高い賃料を払い入るか、疑問です。もと丸井ドリプラでさえ…です。安い賃料ならこれも税金で？現在の役所の使用に問題があるのでしょうか。	敷地を有効活用し、民間施設の誘致を目指すことについては、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
145	53	清水区	その他	清水のまちづくり	古い桜ヶ丘病院を建てなおすのは賛成ですが、現在の役所の場所では危険だと思う。津unamiが2階以上の事もありません。ガレキでたどり着けるのかも不安です。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
146	53	清水区	その他	清水のまちづくり	もっと東北の勉強をしてほしい。それからでも遅くないと思います。なぜ、そんなに急ぐの、市長？	まちづくりを検討するにあたっては、歴史を検証することはもちろん、過去に発生した災害状況なども検証し未来に亘って、安心安全なまちづくりを進めていくことが重要だと考えております。					○
147	54	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	万が一の時、津波が来るかもしれない。来た場合は避難橋になる等と云っても誰が津波の来る方向にむかって逃げますか。山の方でしょう。市民のデータをつまんだ施設を埋めたて地の海拔1~2mの所に作るという発想が正気とは思えません。単に土地とがあるという事だけで進めるのは安易すぎます。	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をベデストリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難する方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○				
148	54	清水区	その他	清水のまちづくり	最大級の地震、津波に耐えられる構造物。それは巨大な高さの堤防が含まれるでしょう。海の近くで海の景色、風も感じられなくなり、まるで巨大な牢獄です。こんなに安全の為にと駅東に金をかける必要があるのでしょうか。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと目の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部ランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
149	54	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	東口に車で行く道路が少なすぎます。線路を渡る踏切はせまく、それにつながる道も狭いのです。駅前銀座の再開発も同時に考えているのかと思いますが、庁舎の建設とは別物で考えた方が良くと思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
150	55	清水区	その他	再整備・移転について	南海沖地震の津波等の危険が残る海岸線ではなく現代は各家庭各人が1台小型自動車を所有する時代であるので先ず安全な地域である事が第一条件になります。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
151	55	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	人と町のつながりよりもっと清水の史蹟等多くあるので観光に力を入れるべきだと思います。	観光やまちづくりの情報発信の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
152	55	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院は現厚生病院に移転し市役所は桜ヶ丘病院が所有する庵原地区の土地に移転するのが一番だと思います。金もかからず良いと思います。駅周辺は観光に利用すべきだと思います。■駅から地下道で海へカーフェリーで三保へ（海上からの富士山は日本一です）車で三保の松原へ。これが政治だと思います。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
153	56	清水区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	清水区役所を現在利用している人はどんな人達なのか？多数の人達は戸籍関係、年金関係印鑑証明などではないでしょうか？この人達が住んでいる住居の近くの交流館を利用して、便利を増すようにしてほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
154	56	清水区	その他	再整備・移転について	津波の危険性を考えると現在の予定地に作る意図が理解出来ない。津波の危険地域に庁舎を作る意図が判らない。事件が起きた時は機能不能になることは明確であり、その責任はどうゆう風にするのか？明確にしてほしい	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
155	56	清水区	その他	清水のまちづくり	住民の居住している地域に町が出来るのであり人工的に街を作る為には相当の目的、意味が明確でない住民はついて行かないと思う。まして、危険地域に街は出来ない。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
156	56	清水区	その他	清水のまちづくり	人口減少の最大の理由は産業の不振。どんな工業を興すのか方針を明確にしなければ街は出来ない	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
157	57	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎へはめったに行かないので今ある場所で良いではないでしょうか、別に困った事はありません これからもよろしく。係の人達1人1人親切におおたいして頂きましたとても良かったです。今ある庁舎がその場所に移転する必要はないと思う。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
158	57	清水区	その他	清水のまちづくり	防災の件については病院について今ある桜ヶ丘がいいのだが古い建物のため移転それはわかるけど場所的には今のところが良いわざわざ災害が発生しやすい所へ行くところではない。古い病院の為建替えるまでに移るには病人などがいるためその人達をどこへすませるかそれが大変ですね。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
159	58	清水区	その他	再整備・移転について	災害が起きた時の拠点にすべき大事な市役所は駅東の危険な所に建てないでほしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
160	58	清水区	その他	市民周知・市民参画	旧清水市民の意見を尊重してほしい。◎意見を聞いた振りで計画を予定通り進めないで下さい。	検討委員会での検討内容を掲載したニュースレターを清水区で組回覧したり、パブリックコメント募集のリーフレットを清水区のみ全戸配布するなど、清水区の皆さんからのご意見をより多くいただけるよう、これまで周知に努めてきました。					○	
161	58	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	高い建物にしてもそこ迄行く手段が壊れてしまえば何の役にもたちません。重要な書類も保管するのによりお金をかけて厳重な保管場所が必要です。他都市の事を参考にして下さい。(災害のあった)	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
162	58	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	市役所が駅の海側に建てられると駅から見える「富士も見えなくなります。」駅の海側には公園が良い。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○			
163	58	清水区	その他	再整備・移転について	今の市役所は旧清水市民の思い出の建物である。直してそのまま利用してほしい。市役所に行く用はそうたくさんありません。今の場所で大丈夫です。	検討委員会においては、移転代替え、現地代替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転代替え」が最適であると判断しました。				○		
164	58	清水区	その他	市民周知・市民参画	旧清水市民の意見を充分反映して下さい。合併する時の約束は反故にしないで下さい。旧市役所は市民の遺産です。修繕して生かすべきです。駅の海側には何も建てないで下さい。富士山が売りです。	検討委員会での検討内容を掲載したニュースレターを清水区で組回覧したり、パブリックコメント募集のリーフレットを清水区のみ全戸配布するなど、清水区の皆さんからのご意見をより多くいただけるよう、これまで周知に努めてきました。					○	
165	59	清水区	その他	市政全般	巴川ビニール、ペットボトル1月1回は回収してほしい。きれいな巴川に!!	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
166	60	清水区	その他	市政全般	巴川ビニール、ペットボトル1月1回は回収してほしい。きれいな巴川に!!	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
167	61	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	よくわかりませんが、機能的…災害がおきた時に近づけない建物を機能的というかどうか疑問です。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
168	61	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害が発生し津波が来るのがわかっていて海に近づく人はいません。東日本の震災をどう考えるのでしょうか？津波や液状化などずっとおそれている清水区民としては、バカじゃないの!!としか思えません	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をペDESTリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難する方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○					
169	61	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRを利用される方が清水区にどの位いられるか。興津、由比、草薙等には駅がありますが、そうでない方はバスか車の利用をするしかなく「人」と「まち」がつながる…というのならもっと便の良い所にするべきと考えてます。なぜ?! ずっと思っていました。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○			
170	61	清水区	その他	再整備・移転について	津波のおそろしさを知ったのにわざわざ海の近くにこれから家を建てようと思う方がどれ位いられるか…。私だったら嫌だし子供達が建てるというも反対だと思います。それが区民の事を守り災害に対応する?! 無理です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
171	62	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	よくわかりませんが、機能的…災害がおきた時に近づけない建物を機能的というかどうか疑問です。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
172	62	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害が発生し津波が来るのがわかっていて海に近づく人はいません。東日本の震災をどう考えるのでしょうか？津波や液状化などずっとおそれている清水区民としては、バカじゃないの!!としか思えません	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をペDESTリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難する方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○					
173	62	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRを利用される方が清水区にどの位いられるか。興津、由比、草薙等には駅がありますが、そうでない方はバスか車の利用をするしかなく「人」と「まち」がつながる…というのならもっと便の良い所にするべきと考えてます。なぜ?! ずっと思っていました。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○			
174	62	清水区	その他	再整備・移転について	津波のおそろしさを知ったのにわざわざ海の近くにこれから家を建てようと思う方がどれ位いられるか…。私だったら嫌だし子供達が建てるというも反対だと思います。それが区民の事を守り災害に対応する?! 無理です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
175	63	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎新設の必要を全く認めない。 理由 ①現庁舎で十分にスペースも有る(旧清水市議会関係設備のスペースが有る筈) ②駅東エリアはアクセスもJRのみ、利用者の多くはバス・静鉄電車・徒歩だからわざわざ不便な処になる。 ③緊急避難にことさらに海に向かって走るのだろうか。 ④税金のムダ使い。 ①防災という事のみに限るなら高所に新設すべきだが、現実的には、現庁舎を工夫して使用可能とするべき。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
176	63	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	①新庁舎に人と町がつながるエリア構成の役割を求めるとは無理。 ②現エスパレス会館等と三保線跡地経由でウォーターフロントの総合的な開発計画の反省を開示してもらいたい。 ③「役所」にエリア価値を高める機能など無い。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
177	63	清水区	その他	再整備・移転について	①現庁舎跡地に桜ヶ丘病院を移転する事反対。現病院付近に新設という案こそ最善案。 ②田辺現市長は”ハコ物造り”の案のみ。③総じて会提示の「リーフレットの大きな問題点」は正確で正しい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
178	64	清水区	その他	再整備・移転について	災害が起きた時庁舎がどうなっているか地震や津波が想定されているのにどうなのか 自分達の都合を押し通すのかどうなのか 何事もより安全第一ではないのか。それを基本に世の中動いているのではないのか。先にも書きました。何事も安全第一ではないのか	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。				○	
179	66	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	新清水庁舎建設基本計画(案)への意見 (案)の中で大地震や災害への庁舎の機能として「ウォーターフロント地域の防災力が向上します」「大地震が発生しても災害対策拠点として業務が続けられるようになります。」と書かれていますが、一体どのような事柄を基に考えられたのでしょうか。近年起こった2つの大地震でも明らかのように、いったん大地震が起こり津波などれば道路は寸断され避難場所まで辿り着くことさえ出来ません。次の津波を警戒し最低48時間は津波浸水地域への立ち入りは禁止されます。全国、県内の津波予想市町村、特に公共施設は高台に移転しているのにどうして清水県庁はわざわざ津波浸水地域に移転するのですか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
180	66	清水区	その他	再整備・移転について	現清水庁舎はガラス張りの旧庁舎が耐震性が足りないということで「70年は大丈夫な建物に」と立て替え、あと30数年は十分安全に使えると設計した方から聞いています。案の計画通りになると桜ヶ丘病院も現庁舎の津波浸水地域へ移転することになります。現、市立清水病院は津波対策もあり現庁舎の横にあった病院を日本平の高台へ移転したと聞いています。また近年消防署も津波浸水区域外へ移転したばかりではないですか。液状化対策や二重の解体費用など税金のおおきな無駄遣いともなり市民の大半以上の市民もおかしいと疑問を抱き(案)の計画を撤回、変更して欲しいと要望しているのに、市民があまりよくわからないまま、議会で決まったからと計画を計画を進めると後の世に禍根を残すことになるのではないかとおもいます。今からでも遅くはありません。計画の見直しを切に望みます。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
181	67	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	①清水庁舎への交通手段は自家用車が静鉄電車を利用しています。JRは草薙駅が最寄りになります。津波の浸水想定区域になる清水駅付近ではなく静鉄沿線にコンパクトな庁舎の建設を希望します	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
182	67	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	②新庁舎から災害発生した場合のいつ、誰が、どこで、どのように指示を出すのかなどシミュレーションが出来ているのでしょうか?指示する場所に新庁舎があるのでしょうか?はたして災害発生時に新庁舎で業務が継続できているのでしょうか?新庁舎建設にそれなりの予算を計上していますが災害時に市民が徒歩で行き来できますか市長は清水区に来ることが出来ますか	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
183	67	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	③エリアの価値を高めるのは庁舎ではない。庁舎は市民の安全と生活を第一に考える公務の人たちがいる場所です。エリアの価値を高めるためにどのような施策をするかを考えてください。器として新庁舎を利用するのはやめてください。安全、安心の庁舎にしてください。清水港をPRするのであれば庁舎と合体の施設ではなく別の商業施設を誘致すべきと考えます	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
184	67	駿河区	その他	市民周知・市民参画	④東日本震災後、さまざまな市で役所の移設の問題があります。下田市も津波を考慮して移設の場所が二転三転しています。なのに静岡市では市民の不安を何の考慮もしないで切り捨てるような市長のコメントにはがっかりさせられます。まず基本計画の見直しを希望します。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
185	69	清水区	規模	規模について	①庁舎面積の縮小・職員のカットを行い、質の高いサービスを提供可能なのでしょうか?コスト削減だけでは十分な行政は施工出来ない。また、健康者と身体や精心に不自由な方が皆使い易い施設となるとコンパクト化は厳しいのでは?	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきます。			○		
186	69	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	②建設技術的には、別段問題ないとは思いますが、災害時の対策や対応、指揮系統の確立、災害の現場を経験された方々の話をよく聴き対策すべきかと。 ※やや的外れですが、防潮堤機能(波の緩衝)付のアクアライン等の敷設	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
187	69	清水区	その他	市政全般	③国・県・市政供に一般的市民レベルではつながりは希薄と感じる。言われた仕事をこなせば良いという人達同士では(マニュアルどおり)何も発展しない。 青臭いが「夢や希望」を描ける人材育成が必要では？	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
188	69	清水区	規模	組織について	④清水には日本の大動脈といえる「道」が多数有り、また、海洋文化都市として発展するなら、経済局、本庁組織は新清水庁舎に置くべき。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
189	70	駿河区	その他	再整備・移転について	(1) わざわざ津波浸水区域につくことはありません。今の清水庁舎で充分だと思います。 (2) もしつくるなら市長の独断と偏見でなく、市民とひろく対話して①つくる位置②かけられる税金③市民が庁舎に求める要望をきいてから検討に入るべきだと思います。 (3) 将来のことをいうならば安全、安心、気持ちよく使える庁舎はどんなものかという青写真を示して下さい。それから庁舎建設を話し合ってもおそくないと思います。今の庁舎はまだ使えます。もったいないですね。 お話しになりません。常識という言葉をお聞きですか。失礼ながら田辺市長さんより“危険”な所へは絶対に、ちかずかない、「やぎ」さんの方がよっぽど、オリコウサンだと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
190	70	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	(1) 庁舎でなく災害時ににげおくれた住民がヒナンできる防災センターにしたらどうですか？ (2) まちづくりの拠点到庁舎が必要ですか？昼はたしかに人がいるでしょうが、夜や、土、日、祭日は(ふつう)誰もいませんから巨大な空間になると思います。・・・？	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアは、「明日の清水のまちづくり」の実現に貢献し、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近いことなど、庁舎建設の適地と判断しました。				○	
191	70	駿河区	その他	市政全般	(1) 以上のことからもとんでもない「税金」のムダ使いです。そんなお金があるなら国保料をさげて下さい 清水区生涯学習交流館の利用料の有料化はやめて下さい。もっと市民がよるこぶお金の使い方をして下さい。 (2) 清水区の住民との話し合いをもって下さい 他人の意見をきかないのが一番いけない。トップにたつ者としては失格といえます (3) どうしてもやりたいなら4月の市長選で市長に当選したら再提案して下さい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
192	71	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	①津波浸水被害を受けないフロアーに、対策本部があり、災害中は指令系統は機能できたとしても、出入りなどは、むずかしいのではないのでしょうか。濁流うずまく離れ小島のような庁舎に向かっていくのは至難の技です。また、被災した後、将来的にそのまま、その庁舎に使えるのでしょうか？誰もが利用しやすいよう交通網などを整えることは、安全な場所で機能性、効率的なまちづくりをこれから行っていけば良い。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
193	71	駿河区	その他	再整備・移転について	②最大級の地震や津波に耐えられるよう、いろいろ対策を講じる計画だが、“想定外”という言葉が多く使われたように、自然災害は人智の計り知れない域であることが、わかった。海の近くの土地の液状化対策も、完璧であるかもわからないし、免震構造の不備も最近発覚した所もある。被害の少ない可能性の所に、庁舎を建ててほしい。被害が予想される地域には、庁舎ではなく、それぞれに安全に過ごせる避難ビルをつくってほしい。 ③ここ数十年の清水区の衰退は大きいものがある。さびれたエリアの活性化もめざす旨、うたわれているが、エリアの活性化より、人の命が先決である。庁舎を中心にまちができて人が行き来する理想に向かって、安全な場所で新たに創り上げていく方向を望む。災害が起こってから高台移転を考えるのではなく、災害を見越して移転するのが良い。 ④3.11の時、私は池袋のデパートにいた。天井が落ち、スプリンクラーが回る中、店員に誘導されて、近くの公園へ避難。電車も動かず、清水には帰れず、ホテルの椅子で過ごした。以来、清水で暮らしていても津波が来そうな海寄りには、極力、近づかないように過ごしている。現在の区役所に行く時も何事もないように祈りながら行く。きっと、海寄りに出てしまったら、庁舎も、病院も私は行けない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
194	72	清水区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	市長は“世界水準の静岡市を”とっておりますが、移転先がどの様に世界水準レベルなのか、防災(地震・津波)、まちづくり、賑わいについて清水区民ことを真剣に検討しているようには全く思われません。 行政サービスの事を考えるのであれば、庁舎は現状の建物で十分、業務は区内にある交流館の機能を拡充させ、何処の地域にいても手続きが簡単にできることが住民サービスにとって重要な事です。例えば、山間部、由比、蒲原の住民はわざわざ清水駅東口まで来なければならぬ。従って、区民への行政サービスの拠点に関しては住民目線に沿った具体的、丁寧な対策が出ていない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
195	72	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	結論：全くその機能を発揮できる拠点とならない。 1995年1月17日淡路・阪神大震災、2011年3月11日の東日本大震災、北海道の真備町を震源とする大地震、昨年(2019年)の台風21号・24号の災害の貴重な教訓を何も学習していない。特に多くの地震学者、専門家が極めて注目している東南海・南海連動する巨大地震を意識し、清水区民の生命・財産を守る対策・工夫が全く感じられない。 例えば、巨大地震が起ると津波発生し多くの漂流物がおそい、駅周辺の家屋は水没東海した状況になる。災害対策の拠点として職員がどう集まり地域区民を救助するのか。所動できるまで数日間孤立、その機能を失う状況に陥る中で如何に拠点として能力を発揮するのか全く理解できない。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
196	72	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	なぜなら、パブリックコメントを求めるチラシの中に「街中に人を回遊させたり、周りの施設と相乗効果が出せるような公共空間の使い方について皆さんの・・・」とあります。役所がぼつんと出来て相乗効果が上がることはない。現、区役所周辺を視ても周りの地域は殆ど役所に手続きに来るだけで、今、市が求めている役所も含めた「人」と「まち」地域の相乗効果がない事は明らかです。 江尻地域総合開発がなければJR東海で分断されている繁華街(清水駅通り・グルメ通りなど)清水銀座通りのシャッターを開けることは出来ないと考えています。 そもそも、清水区民のみならず、日常「安心」「安全」に過し、楽しむ処でなければ人が集まって来ません。 清水区の人口減少に歯止めをかけ、若い人達が楽しく働き、子育てでできる街づくりの視点からも拠点として相応しくない。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
197	72	清水区	防災の拠点	防災全般	1. 移設予定地の「地盤調査を行い、地盤の性状を明らかにする」地震時における液状化発生の有無について分析を行う“、液状化の発生が予想され、庁舎の性能が損なわれると判断された場合は、地盤改良などを講じる”とされているが、既に地質調査を行っているにも拘わらず、分析結果、地盤改良についての記述がないのは何故ですか。	基本計画の策定にあたっては、検討委員会を公開するとともに、委員会開催ごとにニュースレターを作成し、清水区で組回覧を行ってきました。また、検討委員会の会議録や資料は、区役所の市政情報コーナーや市ホームページで公開してきました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 なお、本市の災害想定については、静岡市防災マップ等を既に公表しております。 今後も事業の進捗等については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
198	73	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	少子高齢化が増々進み、特に高齢者にとっては自分で足を運ぶ事すら困難となります。EVがあるとは言え別の場所で入口が平地で効率が良い庁舎が希望です。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
199	73	清水区	その他	再整備・移転について	今一番不安に思っているのは、いつ来るかわからない南海トラフ地震の恐ろしさです。大津波が来れば海が目の前で船や車や人が内陸へ流れ押し寄せてきます。いくら建物をピロティーにするといっても液状化が考えられ想像しただけでも原案の場所へ市の中心施設を建てるなどでの外で断固反対です。今一度原点より再考すべきだと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。					○
200	73	清水区	その他	清水のまちづくり	「まちづくり」ときれいな事ばかりで、本当の将来への、市民の幸せを考えた利便性になっているのでしょうか	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
201	73	清水区	その他	市政全般	市庁舎及、桜ヶ丘病院建設が玉突き状態で最初から決められ一番人命に関わる施設を、こんなに簡単に決められるものが市民の為に市長であるべきでは(何事も反対意見がある事も承知ですが)	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
202	74	清水区	その他	市民周知・市民参画	新清水庁舎建設計画の問題点について ①計画書目的や重要項目について、まずは建設ありきであることから、市民の声を聴くという建前論に終始していて、大いに問題であります。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
203	74	清水区	その他	再整備・移転について	②「災害に強い防災機能の充実」とありますが、ひとたび大地震が発生すれば、新庁舎を津波危険域に建設することで、防げると思っているのだろうか、大いに疑問であります。 ⑤このようなことから新庁舎の建設場所は全くもって不適切な所といえ、新たな場所を考えるなら、津波浸水域から離れたところに建設をするべきであります。それよりも現存する、今の庁舎を地震と津波から守るための改修工事をするほうが利便性の面では数段価値があると考えます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。					○
204	74	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	③「まちづくりの拠点」と位置づけていますが、海に近く、清水駅国道1号線から車で行く道路の整備と商店街等のつながりもなく、かなりいい加減な計画としか言えません。一昨年のタウンミーティングでの説明では、この点について、JR清水駅と直結しているので交通の利便性はであると答弁をしていました。この車社会にあって新庁舎の場所には車で行くことの利便性は何も考慮していません。新庁舎が一番近いJRの踏切は、清水駅上り(興津側)の現在辻地区にある『外浜踏切』があるだけで、道幅も非常に狭く交通渋滞は間違いなく起こり、不便極まりないものとなります。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
205	74	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	④仮に大きな災害(地震・津波・コンビナート火災)が起これば、逃げ惑う人や車で大惨事になることが十分に考えられます。市庁舎の緊急時の対応が求められる大切な役割は何も期待できないというより、麻痺してしまい、それが数日続くことが容易に想定され、市民の生活は壊滅的な状態が続くということが考えられます。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
206	74	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	⑥最後に、清水駅に降り立った市街や県外の乗客から、コンコースから富士山が見えることに感嘆の声を聞くことが多い。新庁舎が建設されるなら、景観の意味でも台無しになること間違いありません。わざわざ富士山を覆い隠す新庁舎建設とその存在に何のためらいも持たないのは静岡市民として考えられないことでもあります。観光立地のまちとして本当に考えてのことなのか、大いに問題ありの新庁舎建設計画だと考えます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
207	75	清水区	その他	再整備・移転について	私が生まれた時から、今の場所でしたから不満はありません。今はツ波の心配をしているのに、わざわざ海の近くに新庁舎を建てることはないはずと承知してました。新清水庁舎は市民(区民)であれば誰もが出入りするところです。今の市長は自分にはあまりかんけないと思っているのでしょうか？せっかく新しいものを作るのですから、区民の安全を第一に考えてほしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
208	75	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅の近くは、にぎやかになると思いますが区役所が出来れば又その地域も又にぎやかな場所になると思うのでその辺のところも考えてほしい。	清水区発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
209	75	清水区	その他	清水のみまちづくり	桜ヶ丘病院の移転についても近くに広い公園があるのでにぎやかな場所になると言っているようですが、時間もお金もかかるし病院が海の近くと言うのも不安です。高部の方に病院はありません。市へくる人もふえると思いますし、高部方もはんえいだと思います。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
210	77	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎それ自体を使い勝手のよい作りをする努力は見られる。しかし建っている場所はしないから向うに当りJRが大きく邪魔をして大変に行きにくい。特にクルマでは大曲がりする形となる。JRをまたぐアクセス道は必要だ。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
211	77	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	地震時には津波が来る。新庁舎がそれに対応させたととしても、一度外へ出れば見ずに浸かっておりクルマは使えない。全く動きがとれなくなるのではないのか。孤立化した新庁舎となってしまわないか。不安である。	業務継続機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」の方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
212	77	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	新庁舎周辺はテルサと文化会館以外区民が行く場ではない。現計画ではエリア価値は高まらない。多くの市民が集まれるようなユニークな発想を出し民間活力を結集したらどうだろうか。清水区民をこの機会に発奮させるまちづくり拡長構想を求む。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
213	77	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	庁舎それ自体は土・日・祭日は休みであって、市民のいいの場とは無縁だ。市民が欲する場となる多くのアイデアを募集して併設すべきと思う。	市民が行きたくなる区役所については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
214	78	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	高齢化に伴い、バス等の公共交通手段を利用する人が増えると思うので駅の近く、バス停の近くというのは大変便利だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
215	78	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	新しく避難施設ができるのは良い事だと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
216	78	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	イベント等で活用できる事で清水の街が活気づくのはとても良いと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
217	78	駿河区	その他	清水のみまちづくり	今後清水区に引越す予定なので、新しくより住みやすい場所になっていると嬉しいです。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
218	79	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	いろいろなイベントもデッキのところでできるようなのでとても楽しみです	市民が行きたくなる区役所については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
219	79	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波が心配だったのですが、逆に地域の人たちの避難場になると聞き、すごいなあ、是非そうしてもらいたいと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
220	79	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	人のにぎわいがうまれるとこりになってほしいです。サッカー場も近くにできると聞いているので駅周辺に活気がもたらされてうれしいです	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
221	80	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	庁舎が残っても周辺が道路、建物がこわれていけば行くことも出来ない。又地震が約100年後で発生することがあるから人間としてこの様なことが発生しても無事な所へあらかじめ対処する	業務継続機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」の方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
222	80	清水区	その他	再整備・移転について	東日本大地震があつてから8年たつが東北の海岸沿いはいまだ復興していない。庁舎のみが地震等でこわれなくても周辺が地上げ(3m~4m)したとしたらおかしな庁舎になってしまう。初めから海の近くでなく内陸に建設したら。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
223	80	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎周辺に民間の出店すると言うのが海の近くで浸水することがわかれば来ません。	敷地を有効活用し、民間施設の誘致を目指すことについては、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
224	81	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅東への移転は、鉄道をまたがなければ行くことができず、自転車や車では大変不便になる。「誰もが利用しやすい庁舎」にはならない。南海トラフ巨大地震が起こる可能性は年々高くなっているが、地震に対する防災意識も高くなってきている中、危険な津波浸水想定地域への移転は「将来を見据えた庁舎」になりえない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
225	81	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	そもそも、立地予定地は津波と液状化で危険な場所。災害が発生した時どうなるのか、あまりにも想像力に欠けた計画である。東日本大震災の教訓が何も生かされていないのではないかと危惧している。災害時の区の災害本部の機能は果たせない。がれきの中で1週間以上庁舎の行き来はできない。「業務継続」などできないではないか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」の方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
226	81	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	「人」と「まち」をどうつなげるかは、清水庁舎を持ってこななくてもできることではないか。どうしたら清水のまちを元気にすることができるか、など、具体的に考えている市民は多くいると思う。市民の声を丁寧に聞き、市民参加のまちづくりが大切ではないか。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
227	81	清水区	その他	清水のまちづくり	今回の移転計画は、先に結論ありきで進めている。桜ヶ丘病院を現区役所に持ってきて、現区役所を東口公園へ移転する青写真を市民に見せ、その計画通りに進めようとしているが市民は病院も庁舎も「なぜ、わざわざ津波浸水想定地域に建てるのか」と一層疑問と不信を強めている。行政の役割は第一に市民の生命・財産を守ることにある。計画は白紙に戻し、病院も庁舎もより安全な場所に建てるべきである。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
228	82	清水区	その他	市政全般	市民が安心して暮らせる市民サービスの提供を！！	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
229	82	清水区	その他	再整備・移転について	津波の想定される場所にわざわざ移転するなど、信じられない事です。災害が多発している今に再考を願います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
230	82	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院の移転などもってのほかです。市民の事を大事に考えているとは思えない。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
231	83	清水区	その他	再整備・移転について	建設場所が津波浸水想定地域の為、地震による津波の被害のリスクがある。3.11東日本大震災からの教訓を全く無視していることが問題です。 津波浸水想定地域に庁舎を建設する事がまちがいです。高台移転の選択をして、庁舎を建設すべきです。市民はおかしいと思っています。 庁舎は高台へ移転すべき！	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
232	83	清水区	防災の拠点	防災全般	地震、防災対策を所管している危機管理課とのすり合せ出来ているのか疑問です。津波の被害想定が「レベル1」「レベル2」防災対策、避難計画など●●されているのか、市民に提示して、判断材料を公表して！	基本計画の策定にあたっては、検討委員会を公開するとともに、委員会開催ごとにニュースレターを作成し、清水区で組回覧を行ってきました。また、検討委員会の会議録や資料は、区役所の市政情報コーナーや市ホームページで公開してきました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 なお、本市の災害想定については、静岡県防災マップ等を既に公表しております。 今後も事業の進捗等については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
233	84	清水区	その他	再整備・移転について	・建設、必要性が耐震不足だけでは説明不足	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。					○
234	84	清水区	その他	再整備・移転について	・津波避難金属タワーが多くの人を助ける事に成り効果的・又、実在する物は長く使い、津波避難金属タワー製作が実用的・土盛り避難タワー、津波がすべり上がって来るので市の責任をとわれる。 災害を大きくしている微動をいんべいしながら、防災について論議する事が誤り。東北大地震22000人死亡、他沢山。放置している事が重大犯罪。西日本豪雨災害、御岳山噴火、広島土石流、原田橋崩落、北海道地震、白根山噴火、大島土石流、笹々木トンネル事故	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
235	84	清水区	その他	市政全般	市は、総理：戦争の準備をしていて小池都知事：オリンピック視察、耳に手をかざして開礼へ。イントロ放送で事業合体し、数千万の人を動かさし、数十万、数百万人を心身そう失させ現在もイントロ放送、続行が重大犯罪・安倍総理は”戦争の準備をしてお互いにもうける”と公言7回。だから韓国軍レーザ照射したく成ったと思えてならない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
236	85	清水区	その他	再整備・移転について	津波が来れば必ず被害が出る所に行政サービスを作るなど考える事など愚の骨頂アツ子でも波が来れば高い所に逃げるのに地区を守る者が、ゲタバきの建物で事が出来るなどアホもい所	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
237	85	清水区	その他	市民周知・市民参画	ある地震のテレビを見て事の重大さがわからないとは考えられない。「市民の意見は聞くが、方針は変えない」とは人をバカにした言葉だ。今でも線路の海側に行くのが不便なのに余分は工事等金が掛る。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
238	85	清水区	その他	清水のまちづくり	JRの海側には公園やイベント会場などが常時居なくてすむ様な施設等にすむ事がよい ◎願、市長の交代	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
239	86	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	現状でも十分利用しやすい庁舎になっていると思います。一層の機能化、効率化を目指すならば、庁舎などのハード面よりむしろデータの電子化、業務のネットワーク化、IT化等ソフト面の改善を進めるべきであると考えます。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
240	86	清水区	その他	再整備・移転について	現状の庁舎は、津波や周囲地盤の液状化の懸念から防災拠点として不安がある。しかし、新庁舎は現庁舎と同様の懸念がある上に災害時のアクセス面が一層悪化する懸念がある。むしろ現在の庁舎の水没予想部分や重要な施設を現在の駐車場の上に移設の方が費用対効果の面でも効率的ではないかと考えます。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
241	86	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	今後一層進む車社会やIT化の流れを考える時、庁舎を建てればエリアの価値が上がると言う考えには疑問がある。手続きをする場所は市庁舎より交流館、学習センターまたはコンビニの活用、さらにスマホの利用を考えるべきである。エリアの価値を高めるにはショッピングセンターや娯楽・運動場などお客さんに来ていただく場所を考慮すべきである。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
242	86	清水区	その他	清水のまちづくり	新庁舎に数十億円もかけるより教育、福祉、子育て支援、地域活動の補助、上下水機などのインフラ整備など金をかけるべき点が多いと思います。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
243	87	清水区	その他	再整備・移転について	移転する場合は、津波浸水想定地域外にするべきです。 ①建設場所が津波浸水想定地域であることから地震による津波の被害リスクがあることは、市も認識しています。そのリスクを避けることが3・11東日本大震災からの教訓だと思います。市は「地震、津波対策をしているから大丈夫だ」としていますが、その根拠を具体的に(数値で)示してください。※ピロティ構造については、建築専門家の間でも賛否が分かれています。インターネット参照 ②地震・防災対策を所管している危機管理課とのすり合わせができていないのか疑問です。そもそも危機管理課に置いて「レベル1」「レベル2」の津波の被害想定と防災対策、避難計画、事前復興計画などを作成されているのか市民に提示されていません。判断材料を公表してください。 ③配布されたリーフの中ページの図「新庁舎の緊急避難機能を解説」の津波到達ラインの根拠について説明してください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
244	87	清水区	その他	検討委員会	④建設検討委員会も審議不足で「委員会としての機能」を果たし切れていません。その原因は、審議機関の短さ(他市では5~6年)にあり、(あの膨大な資料を読み込むことは短時間では難しいです。みなさん仕事を持っているのですから)今ひとつは委員会に対する市の位置づけにありました。市は「委員会に対する市の位置づけにありました。市は「委員会としての意見を求めるものではなく、個々の委員会としての結論(答申)」を求められず、「委員会として責任のないもの」となってしまう。本来は委員会としての結論(委員会としての結論)を出してください。 以上のことから、まだまだ問題点は(市の提案した建設場所の候補がすべて津波浸水想定地域であり高台移転の選択肢が初めからなかったことなど)解明されていません。検討委員会の方からも「もっと十分真偽したかった」との意見が出されていました。時間をかけて審議し、清水区民の納得を得るようにしてください。	検討委員会の委員には、事前に事務局から十分に説明を行った上で検討委員会に出席していただいております。 検討委員会では、ご自身の専門分野や経験を踏まえたご意見を述べていただき、そのご意見を事務局が参考にさせていただいて基本計画案をまとめさせていただきました。					○
245	88	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の場所は市の海側に在り、利用する市民にとって不便。バスの利用も出来ず老人に取って行きづらい。移転するなら出来るだけ市の中心あたり(例、江尻、桜橋あたり)であってほしい。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
246	88	清水区	その他	再整備・移転について	災害面で誰が考えても地震津波で危険が予想される中、移転予想中の駅周辺なんてどんでもない。その跡地にこれも又、病院をなど一体何を考えての構想か。有識者・地質研究家を招いて検討してほしい。これは清水市民全員の願いだと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
247	88	清水区	その他	清水のまちづくり	・問題の内容とは異なっているかも知れませんが、今街はシャッター通りになり、他地区からのお客の姿は見られなくどこへ云ったら買物が出来、食事が出来るのかさえ上げられません。 ・観光個所も多い地域を生かし、人々が訪れてみたい市にする為の策を考案してほしい ・例えば三保、久能、日本平をめぐるバスを増やすとか。 ・外国人が入港した際港周辺に日本特色を生かした商店を設けるとか ・全国的に市外に大型店が出来てしまい市は考えていますが、昔かなりにぎやかで生き生きしていた頃の街になってほしいと念願しています。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
248	90	清水区	その他	再整備・移転について	★人工が横ばい状態になってから区役所を建て替えましょう。区民が減りつつある現在、費用は他の予算に回して下さい。 ★上の方の階のみ使用しましょう。下の方の階は、津波対策で壁を減らし、駐車、駐輪スペースにしましょう。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
249	90	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	まちづくりと庁舎の関係は薄いですね。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
250	90	清水区	その他	清水のまちづくり	人口増の時代と逆の政策が正しいと思います。コンパクトシティを作りましょう。賢い市長を発掘しましょう。	平成28年3月に改訂された「静岡市都市計画マスタープラン」では、集約連携型都市構造（コンパクトシティ+ネットワーク）を将来都市像として掲げ、都市のコンパクト化と公共交通網の再編を連携して進めていくことを示しました。それを実現していくための計画として「静岡市立地適正化計画」を平成29年3月に策定いたしました。 当該計画の中で、中心部などの拠点エリアへ必要な都市機能を誘導し様々なサービスの充実を図ることで、魅力ある拠点の形成を目指しております。					○
251	91	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場などから濡れずに庁舎に入れるのが良いと思います。車いすの方も来庁しやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
252	91	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	近隣のエリアにいる人の多くが津波発生時に避難できそうなので良いと思います。1階部分に執務室がないので、津波が来ても業務ができ市民も安心です。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
253	91	葵区	まちづくりの拠点	人と人をつなげる機能	老若男女が集い、にぎわいを生み出す拠点になるとお思います。防災面にも配慮した建物なので、安心して暮らせるまちとしての価値も高めていると思います。	人の交流や生涯学習の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
254	92	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅は清水の玄関口ですので、是非清水の活性化のためにも新清水庁舎建設を実行して下さい。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
255	92	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式となり清水駅やマリナート等とペDESTリアンデッキでつなげるにより救護や復旧活動等の拠点となりうる庁舎となっていると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
256	92	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	現在ですと清水駅周辺が衰退していくばかりなので将来の発展のために清水庁舎の建設をお願いします。昭和の時代は清水市は静岡で5本の指に入りました。以前のように活性化の町にお願いします。清水は世界遺産である三保の松原・日本平とありますので、清水駅の活性化のため清水庁舎の建設を希望します。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
257	93	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に隣接することで興津・由比・蒲原方面の住民の利便性も向上し、益々進行するであろう高齢化社会(公共交通の活用)も見据えた庁舎となっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
258	93	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式となり清水駅やマリナート等とペDESTリアンデッキでつなげるにより、津波等発生時の緊急避難場所となると同時に救護や復旧活動等の拠点となりうる庁舎となっていると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
259	93	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅前商店街等の活気ににぎわいをとり戻す起爆剤と成り得る庁舎となっていると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
260	93	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	一日でも早い完成を願っています。スピード感を持って前進していかなければ、清水区は衰退していくだけだと感じています。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
261	94	清水区	その他	再整備・移転について	防災の拠点になるわけがないと思う。 南海トラフ地震が言われ続けている時津波の災害を避けられる場所ではないです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
262	94	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時に庁舎まで行くことは不可能に近いと思う。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
263	94	清水区	その他	清水のまちづくり	庁舎や病院の移転は津波浸水想定区域「外」にするべき。まして病院は絶対に有りえないです。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
264	95	清水区	その他	再整備・移転について	拠点としてまず被災想定外へ移転するべき 業務を全うするには絶対被害想定区域外へ移転するべき	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
265	95	清水区	その他	清水のまちづくり	被災想定区域内へ庁舎ましてや病院の移転は絶対あってはならない。静岡市民が全国から馬鹿にされる。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
266	96	清水区	その他	再整備・移転について	南海トラフ地震を強調してる時被災想定区域外へ移転すべきである。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
267	96	清水区	その他	清水のまちづくり	災害時対策本部の機能であればまして病院も想定区域外に移転するべきである。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
268	97	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・現庁舎は、近くの人は便利ですが、全区民からすれば、相当に不便です。 よって、清水駅に隣接した場所に設置することに大賛成です。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
269	97	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	「反対派市民の会」というのは、一体どういう団体なのでしょう。津波云々といっていますが、それ相応の対策をすれば済むことで、仮に、対策をとった結果でも機能不全になるというのであれば、それは清水区が壊滅状態になることを意味しており、日本平の山頂にでも設置しなければならないでしょう。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
270	97	清水区	その他	清水のまちづくり	反対派の目的は、「桜ヶ丘病院」を現地の近くに移転してもらいたいからでしょうか？ 「新・桜ヶ丘病院」が現庁舎跡地に移転することは、全区民の利便性向上につながるのだと思います。清水駅前商店街の振興にもつながるでしょうし、駅東側にスタジアムなどができれば更に活性化することでしょう。 よって、当「清水庁舎建設基本計画(案)」には全面的に賛成です。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
271	98	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	・国や県との協議が必要なのはわかりますが、清水区民の利便性と中心市街地活性化の両立を目指すのなら、清水区内に点在している公的な施設【清水合同庁舎(法務局、労基署、ハローワーク)、清水港湾合同庁舎、静岡県清水産業・情報プラザ、清水年金事務所、清水中央図書館、静岡県清水港管理局、清水港湾事務所】の新庁舎への移転を検討してほしい。	公共施設や民間施設の集約については、本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
272	98	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	・たとえば、図書館であれば、清水ならではの書籍(港湾・食品・農業関連)のラインナップを充実させることで、賑わいづくりの拠点となることが考えられる。岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」のような民間活力活用の先行事例もあるので、庁舎を中心に周辺の民間投資が盛り上がるような仕組みを構築してほしい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
273	99	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	新庁舎近辺に広大な民有地を有するJXTGエネルギーとの将来的な連携や、市が目指すSDGsの観点から、庁舎のエネルギー源として「水素をはじめとする」次世代エネルギーの導入を推進する旨明記してほしい。	環境に配慮した庁舎については、本編P36の「環境に配慮した庁舎」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
274	100	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅や駐車場から直接アクセスできるようになるのは、利便性が非常によくなり、高齢者や、子育て世代にとっても、使用しやすくなり、助かります。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
275	100	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	また、屋内外のスペース（ピロティ、屋上など、普段はあまり使用しないような場所）に子供が遊べる遊具や、高齢者の健康づくりの器具を置いていただくと、公園のように、普段から多様な世代が憩う空間になるのではと考えます。静岡市では、特に雨の日に子供が体を動かして遊ぶ場所がないため、ピロティの部分にそういったスペースがあれば、普段から子育て世代は、集まるのではと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
276	100	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階をピロティとすることと、ペDESTリアンデッキや駐車場を設けることで、津波が来た際の緊急避難ができることは、市民の安全安心へ繋がります、防災拠点としての機能が十分に発揮できるのではと思われます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
277	100	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	庁舎ができることで、清水駅の北側及び西側がメインであった動線に新しいもの加わり、民間施設もできることで、新たな街の活性化に繋がっていくといいなと思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
278	101	清水区	その他	再整備・移転について	キチガイ沙汰である。津波浸水予定地にわざわざ建設しようとするとは信じがたい。危険を感じて湾岸消防署が山の方に移転しているのに区役所は問題ないと言い張るのか？業者ないし部下がこんな机上の空論を提案しても拒否すべき市長が先頭を切って推進するとは市長の資質に問題がある。はっきり言って変な県知事だが今回は彼に賛同せざるを得ない。いくら「彼が嫌いだ。」と言ってごり押しするのはやめるべきだ。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
279	101	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	さて、提案しているピロティ形式だが、地震には弱いとされ（壁のない分強度が落ちる）こここのところ大被害がなかったされるが、けっして推奨すべき形式ではない。たとえ想定通り津波をスルーさせることができたとしても、地震による建物自体の被害が懸念される。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
280	101	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	よしんば建物が無事でも泥の海に島状に孤立するだけ。逆に救助の対象になる可能性がある。屋間ならいいが、夜間職員を招集できない。建物が無事でも周囲の電気、水道が遮断されないとは言いきれない。したがって、世間の常識に従って、津波の恐れのない地盤のいい場所に普通の形式で建設すべきだ。かつて、著名な建築家の丹下健三にやらせて役に立たなかった過去の反省がない。後で「想定外でした。」と言われても後の祭りになるだけ。いくら土地が空いるからと言って安易な計画は子孫に笑われるだけ、清水100年の計を考え白紙からやり直すべきだ。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
281	102	清水区	その他	再整備・移転について	南海トラフ地震では、そこは震度6強～7で揺れ、液状化が発生し、すぐに津波が船舶、各種タンク、コンテナ、がれき等を運んで庁舎に激突します。そして、油漏れ、自動車、がれき等、から津波火災が発生し、次々に変化する危険状態になります。ペDESTリアンデッキの上は、焼かれます。その地域で人が命を保つのは至難の状況になる可能性があります。防災拠点どころか、救出しなければならなくなる可能性が高いでしょう。すぐ近くのLNGタンカー、LNGタンクからのLNG漏出火災が起これば、救出さえ難しくなります。プロの湾岸消防さえ安全な庵原地区に移転しました。区庁舎もそのようにしなければ任務を全うできないでしょう。わざわざそのような危険な所に移転するなど、常識が無い。小学生でも「なぜ？」と聞きます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
282	103	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	現在清水の商店街が空洞化しているという問題がある。それは別の視点で議論すべき課題ではあると思うが、ここでまた清水庁舎に民間施設を入れることで人の流れが駅周辺で止まってしまうことのないように、清水の街の全体機能のひとつとして新庁舎を位置付ける必要があると感じたし、今後どういった民間施設を入れるかの選定はとても重要だと思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
283	104	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	意見1. 行政サービスの拠点としてわざわざ防災上最悪な地域に移転するのか、具体的な有用性、専門家の知見が区民に示されていない。山間部、庵原、興津、由比・蒲原の人達はどの利便性を感じていず、むしろ行き難いとの見解が主です。もっと交流館の機能を高めた方が、目的に合致している思いませんか。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
284	104	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	意見2. 防災力向上であれば区役所でなくても別の商業施設のほうが数段有効です。ましてピロティ構造は住宅、低い建物に有効であり震度7、津波による流ひょう物による耐久性、液状化など耐えるもの出は無い。必要以上の投資をすることになります。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
285	104	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	意見3. 貴重な市民憩いの富士山の景観、清水港湾、三保半島の景観を失い、単独で新区役所が出来てもまちづくりの拠点にはなりません、民間・住民を含めた議論が必要です。別の、商業施設の誘致の考えが「まちづくり」の拠点、繁栄が有効であり相応しいと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
286	105	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の誘致について 役所の事務手続きは待ち時間が長いので、その暇を潰せるような施設があると嬉しいですね。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
287	106	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅周辺に建てることについては利便性が上がり良いと考えます。また駅周辺の活気が戻るのではないかと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
288	106	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	防災力が向上するのは良いことだと思います。地震や津波を考えたつくりなので安心しました。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
289	106	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	人口減少が気になる清水に活気があれば良いと思いました。1Fの公共空間がたまり場にならないよう、クリーンなイメージで活用されればと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
290	107	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水区のまちづくり、にぎわいづくりを考える機能を有している。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
291	107	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	発災時、市民が避難できるしくみとなっている	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
292	107	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティやデッキがにぎわい空間となっている。大道芸などで活用してほしい。活用しやすい工夫が必要だ。がんばって！	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
293	108	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結ということで利便性は高まるのではと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
294	108	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	誘致する民間施設は誰もが日常的に利用する施設を入れた方針が良いと思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
295	108	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	浸水区域への建設ということで、免震構造はもちろんのこと津波対策としてピロティ形式の採用や地下フロアを設けないなど災害の発生に考慮した計画になっていると思う。また、避難場所にもなる緊急避難用デッキやペDESTリアンデッキの設置なども有効であると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
296	108	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキなどはイベントでの活用も想定しており、又、民間施設も入居予定であることから、うまく活用することでにぎわいの創出につながっていくと思う。既存のイベントとじょうずに融合させていってほしいと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
297	108	駿河区	規模	規模について	庁舎規模は建設費に直結するので、更なる省スペース化を目指しつつも、市民の使い勝手が悪くならないように進めて欲しい。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。			○		
298	109	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	清水駅からのアクセスの良さやユニバーサルデザインを取り入れた設計なので、将来を見据えた庁舎であると思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
299	109	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が発生しても業務が継続できるよう建物を工夫し少しでも被害が低減できるよう工夫していると思います。港町清水として発展してきたわけですから津波の心配が絶対にならないような山の上に庁舎の建設を考えることは難しいと思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
300	109	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	今の清水庁舎は不便で周辺で買い物をしたり食事をしたりする環境が整っていないと思います。今回の庁舎建設基本計画案は、そのような課題を改善し活気のあるまちづくりが期待できると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
301	110	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から直結しているのは便利だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
302	110	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害が発生した場合には水没しないような工法での建設になるようなので、良いと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
303	110	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅周辺地域の活性化につながるのではないかと主観します。人の流れがあれば活気も出るのではないのでしょうか。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
304	111	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅にペDESTリアンデッキで接続される点は交通利便性の向上が見込まれ、良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
305	111	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	今回の移転建替は、現在の清水庁舎では災害時に業務継続が困難になる可能性があるためと認識しています。その観点から、災害に強い建物としていただくとともに、防災拠点として役割も果たせるよう、機能をもりこんでほしい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
306	111	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	まちづくりの観点から、平常時にピロティや屋外デッキをうまく活用できると良いと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
307	111	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	災害時には防災拠点として、平常時には市民が気軽に立ち寄れるまちづくりの拠点として庁舎を整備していただくよう期待します。	市民に開かれた顔の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
308	112	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅から徒歩1分という立地はJRをよく利用する者としてはありがたいです。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
309	112	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	清水駅前の「ま・あ・る」をよく子どもと利用していますが、方が一の際、災害に強い建物が駅近くにあると心強いです。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
310	112	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水駅東口の広場で開催されるイベントによく行きます。形は違ってもよいので、屋外デッキ等で引き続き開催してほしいです。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
311	112	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅前は整備されてきれいになりましたが、人通りが少ないです。庁舎ができて、変わるとよいです。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
312	113	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	近くのサービスコーナーで用事が済んでしまうので、あまり区役所を利用する機会はないが、現在の場所より行きやすくなって助かる	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
313	113	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	いつ地震・津波が起こるかかわからないので、いざという時困らないように丈夫な建物にしてほしい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
314	113	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅前は、昔は結構賑わっていたが、今はかなり淋しい。庁舎は集客施設ではないが、市民が行き交う場としてほしい。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
315	113	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の整備も予定されているようだが、駅前銀座が居酒屋、飲食ばかりになってきているので、これとは異なる業種が入ってほしい	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
316	114	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	市外から来ると、JRの駅前に庁舎があると思ってしまうがちですが、現状だとどこにあるのか分かりにくいです。駅に近くなれば色々な人が利用しやすくなるとともに駅前の活性化にもつながると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
317	114	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	事前に予想される被害を想定されて造られると思うので、良いと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
318	114	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRの駅に隣接するという点と、災害対策を平常時にも使うように考えているので良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
319	115	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水の一番主なJR清水駅と直接つながることが、最大の利便性だと考える。これは静岡庁舎、駿河区役所にもない大きな特徴と考える。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
320	115	葵区	その他	清水のまちづくり	旧清水市はまちの成り立ちとして海洋文化と切り離すことができない深い歴史を有している。その清水区においてウォーターフロントに行政施設が建設されることは頼もしく、災害に立ち向かう市の姿勢そのものとして高く評価できる。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
321	115	葵区	まちづくりの拠点	人と人をつなげる機能	庁舎という狭い範囲にとどまらず、人が集まり交流する場としての役割もしっかり盛り込まれており、充実した配慮された計画である。	人の交流や生涯学習の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
322	115	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	清水区そして静岡市のために力強く計画の推進を期待する。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
323	116	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	Jr清水駅から直接訪れることができ、駐車場もあるので使いやすく、効率的だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
324	116	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波は心配ですが、機能を損なわない設計だと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
325	116	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	現在の駅周辺の施設と新庁舎ができることによる効果による影響が期待できると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
326	117	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から直接建物に入ることが可能であり、機能的かと思えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
327	117	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波が来た際にも業務が継続して出来るよう考えられた建物だと思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
328	117	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅周辺のにぎわいを創出できると期待しています。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
329	118	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に直結している点は評価します。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
330	118	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波に耐えて清水区の防災拠点として機能することを期待します。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
331	118	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	敢えてこの場所に建てることにより、このエリアの価値を高めることになると考えます。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
332	119	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から直結しているので、交通等の利便性は良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
333	119	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ICTの進展で将来どのようなようになるか楽しみです。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
334	119	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	私は主に車の送迎で東口のロータリーをよく使用します。新庁舎になった時、その利用者、東口ロータリー使用車、タクシー、各施設巡回バス等、混雑、混乱、事故のないような拠点づくりをお願いします。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
335	119	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	設備室等が上層階へおかれているので、津波によってのシステムダウンは避けられていて、ピロティ式というのも導入され、津波対策に力を入れている感じがしました。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
336	119	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	液状化に対しては可能性が「中」となっていますが、ピロティ式では大丈夫なんですか？	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
337	119	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎は何か用事がないと行かない場所というイメージです。今回の計画は庁舎をとて開放的にして、市民(区民)に庁舎を有効活用してほしいという意図が伝わります。駅と直結することもあり、屋外空間を有効活用して外部の方々にも清水エリアをアピールできれば良いと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○			
338	119	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設に子供を遊ばせてあげられる大きな児童館(多少有料でも)や海や富士山を眺めながら飲食を楽しめる場所を期待したいです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
339	120	清水区	その他	市政全般	これから年配の人が増えて来ます。各地域の市職員がいる所で今よりもっと書類手続きが出来るようにしてほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
340	120	清水区	その他	再整備・移転について	災害(大地震など)来た場合津波や液状が起きた場合必ず想定外でしたと言いつつ、新し海に近いばしょに建物移転してどうしますか？もっと安全な所に移転してほしいです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅前公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
341	120	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院もしかりです、わざわざ海に近い所に病院を移転しておかしくはないですか、もっと安全性を考えてもっと市民の意見を聞いてください。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
342	121	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式いいと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
343	121	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	これからの清水のまちづくりに期待してます。イベントなどで活用してみたい。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
344	122	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	これまで静鉄新清水駅に近い草薙側からのアクセスは良かったのですが、由比、蒲原側から清水庁舎に行く場合、JR清水駅からは距離があり、かつ静岡駅から静岡庁舎のような地下道もないため、特に悪天候の時には現在の位置はアクセスが良くなかったのではないかと思います。これまでに以上に高齢化が進みますが、運転免許を返納した方でも公共交通機関で東西から利用でき、連結デッキもあることから最適な場所だと思えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
345	122	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波浸水区域のため、閉庁時間帯に津波が発生した場合、庁舎は浸水し、職員が庁舎に向えず防災拠点として機能しないのではという疑問がありました。ピロティ形式で設備室を上階に計画されていることから、一時的には機能しなくても津波が引いた後には速やかに防災、災害対策機能を稼働させることができると思っています。他都市からの応援職員の長期滞在に対応できるスペースや設備、昨年の台風による大規模停電の経験から、発電機を長時間運転できる庁舎を希望します。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
346	122	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	静岡庁舎内で時々イベントがありますが、建物内かつ平日であるため、なかなか足を運ばず、正直市役所は身近な感じが薄いですが、ピロティの開放や飲食店、物産店などの誘致によって新庁舎を中心とした親近感の湧く発信拠点、起爆剤になり、清水銀座が再興して欲しいと期待しています。そのため、周囲の施設にも親子連れが気軽に立ち寄り、買い物したものを容易に運べるよう、休日駐車場、駐輪場の開放を希望します。	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
347	122	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	市民の理解を得た計画、拠点となる施設を造ることは良いことですが、加えて最も使用するのは職員の方々ですので、職員にとっても使い勝手のよく、安心して快適に働ける無理のない庁舎を建設して頂きたいです。設計は1年となっていますが、市民、職員共に満足していく庁舎を造るのであれば建設スケジュール、事業費の見直しがあったとしてもやむを得ないものと思います。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
348	123	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ベデストリアンデッキの採用によりアクセス面の向上だけでなく災害時の避難場所としても利用できることから、機能的で効率的な庁舎のコンセプトに沿っていると思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
349	123	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時の拠点となる庁舎にもしもの時にも対応可能な環境整備がされていると思うと安心感がある。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
350	123	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ等の公共空間は様々な活用ができるためこの空間の有効的な利用方法を今後市と市民で考えて行く必要があると感じた。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
351	124	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	その検討は良くなされていると感じました。自分は頭の固い人間なので、何かアイデアがある訳ではありませんが2点記します。一つ目は、障害者の方用のトイレです。何か月前にNHKでその話題を扱った番組を見ました。十分な個室数の設置をご検討ください。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
352	124	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	2点めは、庁舎周辺に空き店舗を活用したスペースを設置するという件への疑問です。移動に手間がかかり、職員にとって便宜の良いものではないのではないかと思います。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
353	124	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	建設予定地が津波浸水空域であることをめぐり激しい意見の対立があることはニュースで度々耳にしました。なるほど空白地帯をカバーする意義があることは知りませんでした。この方針が変わること自体はおよそないと思いますので、(賛成・反対は断定し兼ねます)、その当否には言及せず、あえて浸水区域に建設するというリスクを選択したことによる問題を軽減するよう方策を尽くすことを求めます。人命を救う強い庁舎が災害に耐えしつかり残っても“行政拠点”としての機能が孤立化する恐れは深刻です。これは庁舎だけに限りませんが、ひとたび一帯に津波が押し寄せれば、ガレキで埋めつくされ、そこからの退避も外部かたのアクセスも簡単にはできません。また清水は港湾都市ですから、海ぞいの工業建造物や船など巨大重量なガレキの大挙の可能性もあると思います。新庁舎は広大な公共空間を備えるようです。津波を受け流すためのピロティ形式ですから、被災後の使用は困難かと思いますが、使用できれば、救援のためのヒト・モノの流れの拠点などとして大きな利用可能性があると考えます。ガレキ撤去など早期復への手立ても十分に検討願いたいと思います。説明において職員の方の毅然とした話し方に良い印象を抱きました。学生への鋭い問題提起になったと感じます。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
354	125	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から雨に濡れずに行くことができるので良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
355	125	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	区役所ができることで、より多くの人が災害時に避難することができることが良いと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
356	125	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅で人が集まりやすい場所であり、ピロティなどこれまでない広い空間が作られることから、清水に人が集まりこれまで以上に活気がでると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
357	126	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	赤ちゃんやお年寄りに優しい施設にしてほしいです。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
358	126	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波に強いピロティ形式を採用されていてよいと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
359	126	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	時代やニーズに合った民間施設や飲食店があると良いと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
360	126	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	路上駐車防止のため、駐車場は多くしていただきたいです。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
361	127	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	西口と東口と行き来がしやすい設計というのは便利。車で東口の庁舎を利用するのに、JRの人が歩いて線路をまたいでいきやすい方法があればなおいい。 ※庁舎だけの話ではありませんが…	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
362	127	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ピロティ部分から低層階へあがる通路を多く広く設置し避難しやすい設計であるべき	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
363	127	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	四方をどの面も価値のあるものにしてほしい。例えば北面に向う面は富士山の眺望がいい面、日陰になるが、明るく快適な面など、方向によって色(特徴)を出してほしい。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
364	128	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結で興津の方の人も来やすい。社会変化などに対応できる将来を見据えた設計なのは良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
365	128	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階がピロティ形式であったり重要な設備が上の階にあるのは災害対策として良い。が、やはり海が近いのは怖いと感じる。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
366	128	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近い利点を活かして良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
367	129	清水区	規模	規模について	コンパクトの庁舎とのことですが、どの程度のスペースになるのでしょうか。庁舎内が狭いようだと、とても市民が使いやすい区役所にはならないと思います。過大にするのはダメですが、市民がゆとりを持てる程度のスペースは確保してください。	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきます。			○		
368	129	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	又、静岡市は政令市といっても「いなか」の部類でハッキリ言って車社会です。駐車場スペースは十分に確保し、周辺に入庫待ち渋滞が発生しないようにしてください。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
369	129	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	前述の駐車場確保の点と、津波被害を避ける観点から、ピロティ部分は1フロア一分でなく2フロア分くらいとつたらどうでしょうか。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
370	129	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅とベデストリアンデッキをつなげる案は良いと思います。信号待ちなどせずストレスなく人が行き来できると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
371	129	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	区役所(市役所)は区(市)の顔です。JR清水駅のすぐそばでもあるので、他所から来る人たちが見て「みすぼらしい」と思うことがないよう、立派な庁舎にしてください。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
372	130	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場かたのアクセスもよく、ユニバーサルデザインが取り入れられ利用しやすい庁舎になっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
373	130	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	最大クラスの地震や津波に耐えられる建物になり、12,800人もの人が緊急避難できるということなので、防災の拠点となる庁舎である	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
374	130	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ピロティや屋外デッキがイベントで利用できる、清水区のにぎわいづくりに役立つ庁舎である。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
375	131	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	立体駐車場の整備、民間施設の誘致等、利用しやすい庁舎となると感じる。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
376	131	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	緊急避難用のデッキ等、工夫を感じる。特に駅の東西が通路により分断されないことに安心感を覚える。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
377	131	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ただの「市役所」ではなくオープンスペースの利活用までイメージしている点が良い。駅を中心としたにぎわい創出に寄与することを期待する。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
378	132	清水区	その他	再整備・移転について	今までの庁舎は海風の影響で痛みがはげしいと聞いたのに何故海の近くへ作るのか？地震被害を考えると内陸部への建設が良いと思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
379	132	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時は多くの方が避難しその対応もあるのに業務継続が出来るのか。周辺道路が利用できない可能性が高いのではないかと？何日も職員が庁舎へ行けない事もあるのではないかと不安が大きい。せっかく静鉄電車もあるのだから、その周辺への建設でも良いと思う。今なら予定変更もできるはずだ。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
380	132	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	イベントスペースと行政は切り離して考えるべきだと思う。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
381	133	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅により近くなることから交通の便が良い。雨に濡れずに行けるのが良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
382	133	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	約12800人の人が避難できるなど、庁舎だけでなく周辺にも配慮したものとなっている。津波対策も施されており、防災拠点として期待できる。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
383	133	葵区	その他	清水のまちづくり	駅周辺に公共的施設を集積させることで中心市街地の賑わい創出につながる。清水区内外から人が集まりやすいメリットがある。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
384	134	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅に直結した庁舎となり、公共交通機関でのアクセス向上し、利便性が高くなるのを期待しています。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
385	134	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ライフラインの2重化等の検討も行ってください。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
386	134	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水文化会館と連動したイベント等を期待しています。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
387	134	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	数年後に清水区へ引っ越す予定があります。新しい庁舎建設による清水区の活性化に期待しています。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
388	135	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の清水庁舎はJR清水駅から若干遠く、庁舎の入り口にはスロープはあるものの、段差が多く、エレベーターやトイレ（広さ、和）なども含めて誰もが利用しやすい状況にはないと思います。基本計画（案）ではそのあたりが改善され、駐車場も使いやすいような工夫がなされるとのこと、市民の利便性に配慮した庁舎となっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
389	135	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	他の自治体で地震が発生した際に市役所が崩壊したという事例がいくつかあったと思います。災害が発生した際、市役所は重要な拠点となるので、基本計画（案）に記載されているような津波や地震に耐えられる建物であれば、災害対策拠点として業務が継続できると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
390	135	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅周辺には公共施設がいくつかあり、それらの中心として、エリアの価値を高める庁舎となっていると思います。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
391	136	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅と直結しているだけでなく、たくさんの静岡鉄道バスの発着場となっている面では機能的であると考えます。また、ペDESTリアンデッキを設置することで、高齢者、身体障害者にやさしい建物と言えるのではないかと。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
392	136	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	有事となった場合の継続的な業務ができるだけでなく、救援物資（水・食料・電気etc）も充実していくことで、近隣住民だけでなく、JR利用者などの避難難民者の助けにつながるのではないかと。また、立体駐車場も活用することで、有事となった場合の対応などで応用を効かせることもできるのでは。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
393	136	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ形式にしていくことで、1階部分が空洞になり、全天候型のイベントもできるのではないかと。そういった意味では雨天中止を気にすることなくすべてのお客がイベントを楽しむことができる。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○	
394	137	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	アクセスがよくなる点は評価できる。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
395	137	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波避難ビルとしての機能を持つ建物ができることは有事の際に逃げやすい。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
396	137	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	活用次第ではにぎわいを生む空間になると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
397	138	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	静岡市初のJR清水駅に直結した庁舎で、他区役所より利便性が高い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
398	138	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式を採用し他の庁舎よりも災害に強くなっており、災害時には本部として機能できる対策が他区より整っていると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
399	138	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	文化施設、商業施設が連携し、文化的でにぎわいあふれる街になっていると思う。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
400	139	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎へのアクセスや庁舎内への出入り障害となるものを置かないなど配慮がなされている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
401	139	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	海に近いため津波対策が行われており、災害時にも防災拠点として機能可能と思われる。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
402	139	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅前に人の集まる庁舎を持つことで賑わいにつながると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
403	140	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	① JR清水駅と直結していることで、交通の便がよく、高齢者にとって便利な立地地だと思う。ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎は必須。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
404	140	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	② 津波避難ビルを備えた庁舎は画期的でよいと思う。ただ、液状化が心配なので対策をしっかりとってもらいたい。	液状化対策については、本編P30の「地盤の液状化対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
405	140	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	③ 庁舎ができることで、駅周辺が活性化されることを期待します。庁舎前に停まるバスもあるとよい。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
406	141	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	① JR清水駅から近く、ペレストリアンデッキから直接清水庁舎に行くことができるため、お年寄りに配慮した施設になっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
407	141	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	② ピロティ形式になっていることや設備室が上階にあるので、安心できると思います。ヘリコプターで物資も心配ありませんが、災害時、トイレが使用できるのか気になりました。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
408	141	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	役所での手続だけでなく、イベント等でも使用できるとのことですので、何をやっていただけるのか楽しみです。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
409	142	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に直結する場所であることから、公共交通機関の利用により来庁する市民が増えると思います。高齢化が進化する市は、自動車から公共交通機関の利用を推進する政策をとっていることから、駅周辺に庁舎を立地することは理に適っていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
410	142	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	沿岸部に居住する市民の避難場所としての役割も十分果たせるとし、仮りに津波が発生したとしても、建物がピロティ構造であれば、建物が崩壊する可能性は極めて低くなると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
411	142	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	建設予定地周辺には、マリナートや河岸の市などの集客施設があり、清水庁舎が建設されれば人の回遊性はさらに高まることとなり、清水区の交流人口の増加や、地域経済の活性化につながることを期待されます。駅周辺に活気が生まれると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
412	142	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	JR清水駅周辺は、近年区画整理事業を実施し、土地の資産価値も高まっていることと思います。庁舎が建設されれば、資産価値はさらに高まると想定され、市の市税収入にも大きなインパクトを与えることになると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
413	143	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	公共交通機関が集中している地域であり、清水駅からペレストリアンデッキで連結することでアクセスの良い計画となっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
414	143	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式の採用で、津波被害も極力抑えられるとともに、避難ビルとして、又、災害対策の拠点として、機能することが可能である。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
415	143	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ピロティや屋外デッキなどを利用したイベント実施など、周辺の文化施設や商店街等との連携も可能であり、回遊性の向上や賑わいの創出が期待できる。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
416	144	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結のアクセスは良いと思います。バス停も近くにありますが西口のロータリーからだともJR清水駅の連絡通路を通るのに少し不便を感じます。庁舎の近くにバス停があると良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
417	144	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波が心配です。津波が発生した際に避難できる場所が低いところにあるように感じました。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
418	144	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設を誘致するというのですが、できたらアピタのような複合施設がいいです。飲食店や物産店は河岸の市や駅前銀座にあるので、近くにない施設をぜひ誘致してください。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
419	144	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	車で来庁する人が多いと思います。駐車場の確保は十分をお願いします。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
420	145	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の清水庁舎は電車でもバスでも降りてから少し歩かなければ行けませんが、新清水庁舎はJRやバスからそのまま行けるのでとても便利になると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
421	145	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	3. 11の地震時に、J-オイルシルズの社員が津波が心配で帰宅出来なかったと聞きました。周辺の会社の人達も避難出来るようになっているのはとても良い事だと思います。津波は2階以上になる事はないでしょうか？それが不安です。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
422	145	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	今、清水駅東口方面はマリナートが出来たり河岸の市と歩道橋でつながったり、だんだんと活気が出ています。新清水庁舎が出来る事によって、より活気が出ると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
423	145	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	清水の銀座がシャッター通りになってしまっています。新清水庁舎の横に出来る民間施設は集客効果のある(特に若物)建物にしてほしいです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
424	146	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	高齢化が進むなかで、自家用車だけでなく公共交通機関を利用したアクセスの良さは大切だと思います。また、高齢者、障がい者など、誰もが利用しやすい庁舎になるために、ワンストップで手続きできるようなレイアウトや動線になるよう配慮していただければと思います。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
425	147	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	○免振構造、液状化対策など各種ハード面の対策と合わせて、万が一発災した場合来庁者、近隣住民、職員へのソフト面での対策、また災害対策拠点となった時の運営方法なども今後充実させてもらいたい。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
426	147	葵区	防災の拠点	防災全般	○ピロティ形式を採用し、津波・浮遊物体に対応する必要があると思う。津波により港湾から大量のコンテナが押し寄せた場合は、現在設計中の構造で耐えることができるのか知りたい。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
427	147	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	○ピロティ、小広場を利用して、市場(マルシェ)、まち劇場、市民コンサートなど、市民を主体とした小さなイベントを継続して開催することで、住む人も、訪れる人も楽しめるまちになっていくと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。	○	○	○		
428	147	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	○「海」とともに歩んできた歴史のある港町だからこそ、海、港、海洋文化など様々な要素を組み合わせ、相乗効果を持った「港まちみず」の拠点として、創り上げてもらいたい。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
429	148	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	震災の時の大船渡のことを思い出すと、少し心配です。津波でコンビナート火災が起こったりした時、大丈夫なのかとは思いますが。高層階は大丈夫にしても、1、2Fまで水に浸かるということはないのでしょうか？	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
430	148	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	基本計画の中では市民目線(コストや防災など)は非常に意識されているが、新しい庁舎が清水のランドマーク的なものとなるのが考えられるので、外部の目線(観光客など)も意識した方が良く思う。お金をかけて造るならば、見た目や外へ発信する建物のコンセプトが外部にとっても魅力あるものになるよう努めてほしい。低予算なのはいいですが、見た目も安っぽいものを後に残してしまうのは、歴史ある清水のまちにとって恥になってしまいます。がんばって下さい。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
431	149	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	開放的な空間で誰もが気軽に利用できる庁舎になることを願います。 □	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
432	149	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波による災害を想定した免震構造やピロティ形式を取り入れるなど防災面も充実しているので安心して業務を遂行できる庁舎と言えると思います。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
433	149	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の新たなランドマークとして確立するのに十分な設備が整っているので市民が安心して利用できる庁舎だと思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
434	150	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅と繋がっているため、大変利便性が高く、災害対策と行政サービスの拠点をかねているため、とても機能的で効率的な庁舎となっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
435	150	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式は大変よいと思います。津波対策と液状化対策、さらに避難路の確保などとてもよく考えられていると思います	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
436	150	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ピロティがあることが大変魅力的です。地域の活性化につながるとよいと思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
437	151	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の街の成りたちや、将来を考えたときに、清水駅との連結や民間施設との一体整備、規模や空間の利用方法などが考慮されており、機能的であると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
438	151	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ方式やデッキの整備など、確実な防災対策を施した施設であれば、周辺に住む住民の皆さんの避難場所としても活用できると思いますし、そのような機能を持つべきだと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
439	151	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の中心地は年々さみしくなっていることから、今回の庁舎の建設が活気をとりもどすきっかけになることに期待します。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
440	152	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRの駅に近いなど立地が良く、またベデストリアンデッキで結ばれ、階段をつかわず移動できるところが誰もが利用しやすい庁舎になっており、とても良いです。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
441	152	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式は、斬新な発想ですが、重要な設備や機能が被害を受けないため、とても良いと思います。JR等公共交通も近く、防災拠点にふさわしいと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
442	152	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	周辺の空き店舗を活用することは良い事ですが、打合せスペースは、庁舎内に必要ですので、つくってほしいです。打ち合わせのために職員がまちに飛び出す環境は、時間や交通費の無駄が発生します。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○			
443	153	清水区	その他	再整備・移転について	図面としてはよい。防災拠点としては、場所として良くない。清水東公園へ移転することを全体では残念。浜田小(巴川の上) 付近がいい。新庁舎建設、桜ヶ丘病院移転、建設問題は長いスケジュールで次世代に託す感じです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○		
444	153	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水駅周辺のにぎわいを求めるのはたいへん。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○			
445	154	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	場所が良くない。JR線を越していかなければならない。庁舎に通ずる通路が少ない。将来が全く見えない。財界の言うことは自利のみで他利を考えるべきである。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○			
446	154	清水区	その他	再整備・移転について	他の自治体は津波を避けるためにはなるべく高台に移転しようとするが、逆である。1週間～10日間位が一番大切な時に使えないおそれあり。津波が来るかこないの二者で選んでいるのが不明。市民の集まる所の車両被害の損害賠償をどう考えているのか。市民不在の庁舎計画である。他を探すべきである。市の建設場所には反対致します。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
447	155	清水区	その他	清水のまちづくり	区民の存在を全く無視している。誰もが低地で軟弱で津波の危険もある所へ病院を移転させるとは考へていることが無茶苦茶だ。その上アクセスが悪い。そして工事も解体工事が2件新築が2件で工事が多額になる。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○	
448	155	清水区	その他	再整備・移転について	津波が来たらどうなるのか。現在の庁舎でも個立してしまう。そのような近所へ建替えることはない。現在の庁舎をリホームして再使用すれば充分だ。空き部屋も多くなる。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。					○	
449	155	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	人と人、人とまち、まちとまちがつながる庁舎にはならない。災害時には交通機カンの混乱(運行不能)等でとても緊急避難は不可能な場所にある。清水区の中央を選ぶべきである。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○			
450	155	清水区	その他	市政全般	清水区選出の議員はこの件には口を出さない。事なかれ主義と言はざるをえない。税金をムダに使ってはならない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
451	156	清水区	その他	再整備・移転について	・海拔0メートルにある庁舎です。市民の納得できるように真剣に移転先を考えていただきたいと切に願います。安心して暮らせる清水を目指して！ 災害は予告なしに起きます。企業などのご協力ご理解を切に願います。東北の災害地を見学してまいりました。3年目の年でしたが手付かずの状態です。自然の恐怖を改めて知らされて帰りました。人の気配もありませんでした。下田市は一般の土地を購入し移転先を決めました。最初は高台に移転の候補地を決めました。●●者の利用も考えた上です。桜ヶ丘公園等への移転も考えて下さい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。					○	
452	157	清水区	その他	再整備・移転について	災害時、庁舎の最も重要な機能は避難ビルでなく災害対策本部の機能です。庁舎は被災しない場所に建てて最大限の救護救済が出来る様にする事。埋立地で広大な工事費がかかる。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
453	157	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅周辺のまちづくりを加速させるための建物は庁舎である必要はありません。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○			
454	157	清水区	その他	再整備・移転について	今のままの庁舎を直すことは出来ないのか。桜ヶ丘病院はテニスコートなり公園の所につくれば交通の便もよく安全です。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
455	158	清水区	その他	再整備・移転について	津波危険区域に庁舎を建てて災害時発生時には巴川をどのように渡るのでしょうか。橋はぜったいに落ちないのですか！瓦礫のなかに対応できますか。この計画には全く呆れるほかにありません。なぜ大金をかけた連絡通路を作るのでしょうか、津波の来ない安全な場はいくらでもありません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
456	158	清水区	その他	清水のまちづくり	「人」と「まち」が駅前でなければつながらないなんてことはありません。庁舎を病院も桜ヶ丘公園すべてを考えれば十分な広さがあります。テニスコート他は体の丈夫な人がやるものです。日本平運動公園に作れるはずですよ。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
457	158	清水区	その他	市政全般	市長市議員この計画に携わる皆さん、このような計画をそれぞれの家庭で考えて下さい。多額のローンを組んでこのような危険なこと家族が納得しますか。これにかかわるお金は市民のものです。1円でも大切に。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
458	159	清水区	その他	再整備・移転について	清水区の場合は必ずしもコンパクトシティである必要はありません。現庁舎は古いものではないので、このまま使用してもよいです。清水区は空き地が少ないので区庁舎の場所の選定に苦労されていることは解りますが、津波の浸水区域であるJR駅近くの公園では論外です。周辺の山、丘をけずって広大な地所を確保したらいかがですか？	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
459	159	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院や区庁舎は区の周辺の丘陵地帯を大規模開拓せざるをえないと思います。それ以外の方策はないと思われず。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
460	160	清水区	その他	市政全般	1F窓口の戸籍謄本・住民票利用しましたが、昔より対応が良くなりました。㈱東海道シグマだからでしょうか？	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
461	160	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	計画案は問題点ばかりで業務が継続できる庁舎ではない。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
462	160	清水区	その他	清水のまちづくり	まちづくりが津波浸水区域で良いのですか？田辺市長は清水に住んだことがあるのですか？庁舎は重要施設です。万一の災害の時に住民の救護・支援ができるのでしょうか。被災しない地域に造るべき市民の意見を聞くことが必要です。津波浸水想定区域に建設反対。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
463	161	清水区	その他	市民周知・市民参画	今、日本の各自治体(東京以外)では財政難で苦しんでいる。そのような時に、何故多額の費用(税金)を使って新しい庁舎をつくる必要があるのか大いに疑問である。「誰もが利用しやすい庁舎」とあるが全く具体的になく理解に苦しむ。現在の庁舎では実際にどのようなことが不具合で市民(利用者)が困っているのか、それらを改善するためには、どのような対策があるのか、じっくり話し合っていく必要があると思う。そこが欠如していることが一番気になる。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
464	161	清水区	その他	再整備・移転について	この計画(案)を考えた人たちにあえて問うてみたい。東日本大震災後の東北地方を見たことがあるだろうか。海の横に「緊急避難スペース」など常識ではとても考えられないことである。市民の安全を第一に考えるのであれば、出来る限り海から離れた場所を想定するのが普通であろう。“災害時に活動できる”？本当に、東北の災害地を見に行っていたきたい。人間の知恵は、過去に学び間違いないな発想を目指していくこと。それが大事だと考える。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
465	161	清水区	その他	清水のまちづくり	全くの考え違いだと思う。「まち」は人が集まって初めて出来るものである。少子高齢化が進む今、どうしたら「くらしやすい町」をつくっていくことができるか。それを第一に考えることが重要である。そのためには、一人一人の市民が安心して生活できる町にするためにはどんなことが必要か、もっともっと議論を重ねて欲しい。今大学生を相手にしているが、ほとんどの者が新しい清水庁舎になっても何も変わらない！というのである。もっと必要なことがある。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
466	161	清水区	その他	市政全般	そもそも清水・静岡の合併は良かったのか。周りの人で良かったと答える者は。ほとんどいない。政令市になったら素晴らしいことがいっぱいあるようなことも言っていました。本当でしょうか。静岡市は世界の海洋文化都市を目指すといっていますが、日本の中、いや静岡県の中でも後退していることばかりだと思います。もっと他府県の様子も見たい。イノナカノカワズにならないよう。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
467	162	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	マリナートをよく利用します、天候にかかわらず駅と行き来できます。駅から街は始まると思えば建設計画に賛成です。庁舎は「港町しみず」にふさわしい眺めをつくらせよう。将来的には観光客も呼び込むでしょう。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
468	162	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ式の建物と避難用デッキで防災対策としては十分だと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
469	162	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティで開かれた「くんせい祭り」に参加したことがあります。広々として匂いも気にならず住宅街の公園ではできないことがここではできると感じました。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
470	163	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	現在の庁舎は通路やトイレが狭く不便である。ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎なら使いやすくなる。将来、公民館やデイサービスなどにも変更できたらよいのではないか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
471	163	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	最新の技術を取り入れて庁舎を建設してもらえるので、災害発生時を考えても現在の庁舎より安心できる。孤立しない構造なのが良いと思う。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
472	163	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	やはり清水は海を中心に発展した町。今ある商店街や交通網を生かす場所だと思う。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
473	164	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	・市民サービスの拠点としての機能と、民間施設の誘致することで誰もが気軽に親しみやすい拠点となると思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
474	164	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	・庁舎が、港に近いことで、災害時、津波で庁舎建物や電気機器、避難誘導など大丈夫なのか?という心配がありましたが、「階層構成」の図や、説明を読んで、防災を考慮している点、また、防災対策拠点としての役割が果たすことが出来るように計画されていると、安心しました。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
475	164	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・庁舎が、JR清水駅、バスターミナル、清水マリナート、清水テルサ、江尻口側のえじりあ内の児童施設「まある」、河岸の市など、区民、市民、観光客が日頃から、利用、活用するエリアにできることは、区民にとっても、このエリアの価値が高くなることを実感できると思います。また、区外、市外から訪れた方々にも、統一されたエリアのイメージが向上されると思います。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
476	164	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	・新庁舎は、駅やバスターミナルに近いことから帰宅困難者が避難してくるなどの課題も出てくると思います。ハード面だけでなく、来庁者などが実際に、速やかに避難できるよう、職員だけでなく、誘致された民間施設の方、地域住民の方々の災害時マニュアル(周知、訓練も含め)基本計画に入っていると「安心・安全」の観点からいいと思います	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
477	164	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	○JR清水駅から通路から見た、富士山の眺望は素晴らしく、よくスマホで写真を撮っている人を見かけます。庁舎からも、富士山や、港などが眺望できるビューポイントコーナーがあるといいと思います。以前、東京都庁の展望階に私自身も一度、訪れたことがありますが、休日も無料で開放され、東京都内が見ることができると、有料の東京タワーと違い、外国人観光客も観光バスで訪れる穴場だそうです。(お土産コーナーや、東京都のPRコーナーなどもありました)	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
478	164	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	また、「エリア」が一体感を持って、感じられるのには訪れた方たちへのわかりやすい「案内」が大切です。実は、現在、JR清水駅も、改札口から出たとき、通路にそのような案内板がなく、わかりにくい。「多言語」で、大きく、わかりやすい、案内板(視覚、聴覚障害の方にも)を是非、駅だけでなく、新庁舎が出来るときには、設置して下さるといいます。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
479	164	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	区民が、清水庁舎に行くとそのようなビューポイントがあるよとPRできるといいます	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
480	165	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	空調設備の完備、待機スペースの確保、駐車スペースの確保などが大事だと思います。テナントを入れるのもよいのかと思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
481	165	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波、地震時にどのように対応できるか、対策が必要と思います。備蓄場所、空調、自家発電設備など必要と思います。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
482	165	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	商店へすぐに行けるか、交通手段は整ってほしいです。見た目も大事だと思います。食堂など魚料理が出るものがあると良いと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
483	165	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波対策はしっかりした方が良いと思います。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
484	166	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から直接いける施設となっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
485	166	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ウォーターフロント地域でのにぎわいがこれまで以上となるだろう。人が集まる地域に避難できる場所が必要だ。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
486	166	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	まちづくりの拠点となしてほしい。この施設のピロティなどがにぎわいの拠点となるようなイベントをしてほしい。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
487	167	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から直結なので、わかり易く、通勤、用事のある人等とても便利。しかもデッキもあるので、雨の日も安心。清水は風が強いので、デッキは風防対策があるともっと、うれしい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
488	167	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式なので、安心と感じています。駿河区の徳洲会病院も同じ造りですね。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
489	167	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	現状、使われていない土地を有効利用する事はとても大切で、JR清水駅の東側の地域の発展につながると期待しています。新しい都市・清水を造るのに、ぜひその地で建設してほしいです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
490	168	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティは良いアイデアだと思います。ベンチやトイレなど人の休まる機能があるとより良いと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
491	168	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	もしも津波が発生し1階が水につかった場合、十分な燃料や食料が確保出来るのか心配。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
492	168	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	十分な駐車場台数が確保出来るか心配	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
493	168	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	立地が非常に富士山のながめが良いので最上階に展望室があると人が集まる施設になると思います。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
494	169	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	これからリノベを含め開発が進むエリアだと思います。まずは公共施設を整備しそれが呼び水となって民間が進出して来ることを期待しています。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
495	169	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水港とともに発展してきたまちなので、津波の心配はあるが、人口が集中している海に近いところに防災拠点を整備することに理解はできる。計画案にあるような対策をとって災害へ万全の体制をしてください。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
496	169	葵区	その他	清水のまちづくり	日の出地区と距離があり、一体感がない。まちづくりの全体像を見てみたい。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部ランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
497	170	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	電車、バス等に近接しており便利だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
498	170	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	現在の庁舎よりは災害時に機能する可能性が高いと思います。有事の際、役所が機能できることは非常に重要と考えます。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
499	170	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	市民が気軽に利用できる（役所に用事がなくても）施設になっていると思いました。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
500	170	駿河区	その他	清水のまちづくり	元の庁舎に病院は反対です。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
501	171	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に直結した庁舎でアクセスも良く、利用しやすくなるように思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
502	171	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式が採用される事により、万一の際の対策も十分に考えられているように思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
503	171	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎ピロティを拠点にイベント等の開催も計画されているとの事、にぎわいが創出されるように感じる。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
504	172	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅前という立地の良さ、さらに駅や駐車場から雨に濡れずに行けるのは、誰もが利用しやすく良いと思う。レイアウトが変更できるとのこと、時代やニーズに合わせて、柔軟に対応してもらえそう。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
505	172	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	1Fをピロティにし、津波が通り抜ける構造を採用するなど、最大クラスの震災に耐えられるしくみは安心。清水の駅前にはさまざまな文化施設もあり、庁舎がこの駅前にできることで今まで以上に清水の駅前に活性化されると思う。人の集まる場所がいざという時避難スペースにもなるというのは、覚えやすい安心感もあるのでは、と感じている。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
506	173	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から雨に濡れずに行けるようになり、便利だと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
507	173	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	マリナート等の文化施設とも近く、商店街への回遊性も高まると思う。大型連休等、観光客が増える時期など、レンタサイクルがあれば清水港へも足を運びやすくなるかもしれない。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
508	174	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	効率的に行政サービスを提供できる機能性を持った良い庁舎だと思います。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
509	174	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	浸水被害や緊急避難機能についても熟慮されており、とても安全性が高いと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
510	174	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ、屋外デッキでは、公共空間としてイベント等にも活用されるとのことなので、地域のコミュニティの場となることが期待されます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
511	175	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	港が駅に近く、まちの中心部にあって市民が利用しやすいのでは。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
512	175	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ピロティや屋外デッキで駅がマリナートと結ぶなど津波への備えがあって安心です。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
513	175	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	広いピロティは、まちの中のひろばとしても構想されていて、新たな賑わいが期待されます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
514	176	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	誰もが利用しやすい庁舎になっているかについては、仕事をしている人にとって仕事帰り及び休日に利用できるのが一番です。平日は夜7時までと、土日の部分開庁の拡大を実現して頂きたいと思います。	区役所の土日開庁や開庁時間の延長については、現在、3月下旬から4月上旬にかけて実施しております。平成28年1月からは住民票等のコンビニ交付も始まっていることから、この期間以外の時期については、行政コストを比較しながら、必要に応じて検討していきたいと考えています。	○		○		
515	176	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	今やインターネットの時代、イベントや出来事などをより一層情報公開し、庁舎が身近に感じられる雰囲気を出せば良いと感じます。趣旨が少し違うかもしれませんが、天候もわかる様な庁舎駐車場全景を写すライブカメラがあつたらどうだろうかと思ひます。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
516	176	清水区	その他	再整備・移転について	立地条件について交通の便の観点から言えば、今の場所で問題は無いと考えます。静鉄のバス停及び、駅からは至近距離にあり、JR清水駅に近づけようという程でもないと思われます。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
517	176	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	しいて言えば、繁忙期のことを考え駐車場をスロープのついた2階建てにして頂き、無断駐車予防の為発券機にて駐車券を発行すれば、スムーズかつ安全に出入庫でき、さらに駐車場係の人員は削減できると考えます。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
518	176	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	防災拠点になりうるかについては、庁舎は災害危険地域(今の場所)にあっても、それに対応できる対策を施せば良いと思います。最先端の防災設備を備え、そこで働く人たちが安心して働けることが必要と考えます。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
519	177	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	今の清水庁舎の1階はわかりやすかったけれど、2階は暗くて、迷路みたいでわかりにくかった。新庁舎は明るいいいと思います。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
520	177	清水区	その他	再整備・移転について	災害が発生した場合、避難する場所は他にもあると思うけれど、庁舎は被災しない場所で、いろいろなところに指示ができるようにしたいです。なっていないと思います。ほとんどの清水区民は今の場所か桜ヶ丘病院の場所がいいと思っているのに、なぜ、市長は移転したがるのでしょうか？清水区長はどう思っているんですか？人とまちがつながる庁舎といっても、土、日、祝日が休みなら、エスパルスのホームスタジアムを作ったほうが、エリアの価値を高めると思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
521	178	清水区	その他	再整備・移転について	将来を見据えているなら我が子がなれるべく庁舎にいかないようにと、その時に地震がありませんようにと願ってしまう所に建ててほしくない。皆が安心して訪れる庁舎になっていない。想定外の津波が来るかもしれない所にどうして庁舎を建てるのか。そんな所に建てても人やまちを守る事にならない。福島の事を思い出してほしいです。海から少しでも離れた高台に皆にげて助かったのに、肝心の庁舎が海のそばでは、犠牲者が増えてしまう。やめて下さい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
522	178	清水区	その他	清水のまちづくり	清水区は駅周辺も大事だけど、そこだけにとどまらず広い(歩き回る何か)地域で取りむ町おこし的な(静岡の大道芸的な)モノの取り組みがあったらと思います。庁舎が駅から離れたら駅から庁舎までの間が栄えるような(清水駅から離れた場所の方が良いと思う。)、大きな盛り上がりが良いと思う。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
523	179	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎が今の場所からJRの線路をわたって、東口になれば便利になるのですか？庁舎に来る多くの方は、バスと電車を利用して来る人が多いのですか？今でも車で来る人が多いのではないのでしょうか？むしろ、踏切や地下道を渡って行かなければならないので、不便になってしまうのではないのでしょうか。むしろ逆行です。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
524	179	清水区	その他	再整備・移転について	津波が来るという所にわざわざ庁舎を建てる精神がおかしいのではないかと。下田市や他の自治体では高台に移転を計画しています。岩手県の陸前高田市も高台へ移転しました。現在の場所から移転するなら、むしろ、桜ヶ丘病院等がある高台への移転が望ましいと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
525	179	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	現在の庁舎がまちづくりの拠点になっていますか？駅の近くにできればまちづくりの拠点になるのでしょうか？むしろ、土、日祝日が休みの庁舎では、人と人、人とまち、まちまちが繋がる庁舎にはならないでしょう！	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
526	179	清水区	その他	市政全般	ムダな公共事業だと思います。税金の使い方がまちがっていると思います。むしろ、市民の生活や医療福祉の充実のために税金を投入して下さい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
527	180	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ペDESTリアンデッキからの来場ができ、利用しやすいです。将来的に中部を改装しやすそうな配置になっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
528	180	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水駅前の避難場所として機能が期待できます。災害対策拠点としての機能は、災害の規模によりそうです。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
529	180	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	1Fピロティや屋外デッキに期待がもてます。バリアフリーや駐車場整備に十分な大きさをお願いします。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
530	180	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	365日市民が利用できる、静岡市の財産になるようお願いします。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
531	181	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から至近であることは公共の建物としてとてもメリットがあると思います。一方、駐車場も十分に用意されており、利用しやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
532	181	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害時のみ利用するのではなく、普段から市民みんなが利用する所が避難スペースとなることが、実際の緊急時にも分かりやすく有効だと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
533	181	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅周辺のにぎわいや、洗練された公共施設、街並などが、交流人口、定住人口ともに増えるカギになると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
534	182	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	視認でき、利便性がとても良いと思う。従来より市民にとってより使いやすくなるのではないのでしょうか。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
535	182	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	アクセスしやすい場所かつ市民にとってわかりやすい庁舎に緊急避難用デッキがあるのは、市民としても避難しやすい。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
536	182	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	公共空間の設置によって、行政と市民のつながりも増えるので、より市民の声をとりいれたまちづくりをしてほしい。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
537	183	清水区	その他	再整備・移転について	行政サービスの拠点として考えるならば、庁舎自体が被害を最小限になる事を考えるべきです。もっと高台へ。港や貿易に関する手続きのために港の近くを選択するならば、事務所として小規模施設を残せば足ります。TV会議システムも発達して来たので、出先との連携も、同じビルである必要はありません。タブレット同志でTV会議も出来ます。よって海の近くに庁舎を置く必要は無いと思います。前項に続き、機械化を中心に考えていけば、もっと高台への移転は可能になると思います。また場所が無いのであれば小中学校の統合だってあるじゃないですか？その上で場所を選定して教育現場の見直しも同時に図っていく事も良いと思います。とにかく見た目よりも機能を優先してほしいです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
538	183	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院を危険視されている現区役所の建物に移転する事もあんまりだと思いません。病院だからこそ、もっと高台に移転させるべきだと考えます。「人」と「まち」がつながるためには、病院は重要なアイテム。現清水区役所を病院にするなんて、ひどすぎます！！私達の血税で行われる事業を安易に決めないでほしいです。失敗したからもう一度計画やり直しを何度も繰り返さないためにも、よく考えてほしいと思います。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
539	184	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	年に何回も行く所ではありませんが、行くたびに場所が変わっていて探さなくてはならない不都合だと思います。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
540	184	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害がいつ起こるか分かりませんが、いつ起こっても不思議は無いと云われていて、家庭には「備蓄せよ」との気運がありますが、1回揃えても期限切れの頃又、何回もその気運を高める為の各町内を通してでも通達を出す所、人がいるといいと思います。お祭など利用しては？内と外、外側には見えない 内側はなお見えない	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
541	185	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	駐車場 時間外においても有効に使えるようにして欲しい。(もちろん有料) 時間内においては、長時間無断利用が多くなると予想。長時間は公共交通機関を使用するべきで、原則有料化⇒バスをもっと利用するように！	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
542	185	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	庁舎は存在したとしても、電気、電話、道路等のインフラの復興にはかなりの時間を要すると思います。最優先でインフラ復帰ができるよう民間企業とパートナーシップ契約を締結すべき。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
543	185	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎には最低限のハードとして公共空間の一部の利活用をある程度フリーとし、劇場化できる環境をランニング、ウォーキング、サイクリングステーションを設けて 近隣に！	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
544	186	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅と直結して使い勝手が良いと思います。駅から庁舎まで、もちろん雨が降ってもぬれずにたどり着けるんですね。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
545	186	清水区	その他	再整備・移転について	本当に災害が起きてまいじょうな場所は津波の来ない小高い場所だと思いますが、立地が決定しているのであれば仕方ないです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
546	186	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	新たなまちのにぎわい拠点になる可能性は高いと思います。休日や平日の夜間にもぎわいが確保できるよう民間施設(商店・飲食店)の誘致をがんばって欲しいです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
547	186	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	新庁舎は機能性だけでなくヨーロッパ等の諸外国で見られるようなデザイン性や環境性(景観への配慮)も重視して欲しいです。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
548	187	葵区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	多くの区民が利用するサービスについては、区役所以外でも清水庁舎で手続きができるようにしてほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
549	187	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	建物が無事だった場合、その後すぐに使用できる機能や方策も考えてほしい。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
550	187	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	場所が駅に近いということだけでは、ダメだと思うので、民間との協力で人の集まる所にしてほしい。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
551	188	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・JR清水駅と繋がっているのは大変良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
552	188	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	・建物だけでなくシステムなどのバックアップも必要だと思います。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
553	188	清水区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	・本庁機能は静岡庁舎ということですが、サービスの低下を招かないようにしていただきたい。	新清水庁舎に配置する部局については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
554	188	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・JR清水駅と直結していて、帰宅困難者や周辺の避難できるのは良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
555	188	清水区	その他	再整備・移転について	・津波が現在の庁舎より高いと想定(2~3m)への移転は疑問 ・自然災害だけでなく大きな事故もありうるJXTGエネルギーのタンクのそばというのも疑問 ・役所の都合で建設地を決めるのはやめて欲しい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
556	188	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・JR清水駅自由通路から富士山が見られなくなるのはどうでしょうか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
557	188	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	・民間施設の誘致は大丈夫でしょうか。	敷地を有効活用し、民間施設の誘致を目指すことについては、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
558	188	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	・駅西口にはあまり人は流れないと思います。(東口広場でイルミネーションやっても流れなかった)	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
559	188	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・空き店舗で打ち合わせスペースを設けるのは全市の取組みですか。やめてほしい。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		
560	189	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場のキャパシティの充実(台数)や高齢化に備えたわかりやすい案内表示があると良いと思います。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
561	189	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ICTの進展による取りくみはとても良いと思います。スマホ等と連動したサービスの充実があると良いと思います。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
562	189	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	理論上はとても安全なようにみえます。防災訓練等を通して実際の災害時にどんな動きになるのか、また災害時の避難経路がわかるようにしてほしいです。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
563	189	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	今は長居するようなスペースにあまりなっていないが、民間企業等と協力して楽しく、快適に過ごせるようにしてほしい。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
564	190	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	利用しやすい区役所各課の配置をお願いします。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
565	190	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	発災時、一時的でも市民が避難できる庁舎となるようにお願いします。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
566	190	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	いろんな情報が得られる場所となればよいと思います。憩える場所となるよう、空間にゆとりがほしいです。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
567	191	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	・現庁舎は窓口がどこにあるのか分かりづらいため、ユニバーサルデザインの採用は良いと思います。また、現庁舎は建物内に入ると暗い印象を受けるので、イメージ図のように明るく開放的な庁舎となると良いと思いました。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
568	191	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	・免震構造やピロティ形式の採用など、災害に強い庁舎になることで、安心して来庁することができると思いました。イメージ図を見る限り、1階部分は柱だけのようですが、地震や津波発生時の迅速な避難のため、庁舎1階からの直通エレベーターが必要ではないかと思えます。(駅やペDESTリアンデッキのエレベーターが災害時に動いているのがわかりませんので)	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
569	191	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・周辺の空き店舗などを打ち合わせスペースとして活用することは、街の活性化にもつながる良い取り組みだと思いました。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
570	192	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	これから高齢化がますます進み、車を運転していけなくなる人が増えると考えられるため、駅やバスが集まる場所に造る事は良い事だと思う。そのためには、完全なバリアフリー化や、誰にでもやさしいデザインが必要ではないでしょうか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
571	192	葵区	防災の拠点	防災全般	津波の想定が2～3m程度と言う事であれば、1階をピロティにして対応出来ていると感じる。ただ港が近くコンビナート火災等の時は、大丈夫か、想定が必要とも思う。震災の時、海から応援が来る事が予想されるため、接岸出来る棧橋の耐震化や物資受入れ場所の確保が出来ればもっと良いのか。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
572	192	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	最近の清水は、街に活気が無いように感じていたので、清水駅や港を中心に清水を魅力ある街にしたい。その中心が清水庁舎となるならば良いのではないかと。特に最近ではクルーズ船が多く来るので、外国の方にも来て、よるこんでもらえる建物になれば良いと思う。特徴ある建物にしたい。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
573	192	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	港街清水を生かした建物にして下さい。単なる役所施設ではなく、付加価値ある建物にして下さい。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
574	193	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎がJR清水駅の横にするという点は、駅から数分で利用できるということで、利便性はいいのかなと感じた。新清水駅からの利用者について、利用しやすい機能はあるのか。(庁舎行きのバスがあるか等)	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
575	193	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波対策や地震対策がされているので良いと思う。備蓄されている食料でどのくらいの人がどのくらいの期間避難できるのか？	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
576	193	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	フリーWi-Fiの導入はないのか。導入することによって待ち時間に携帯電話を使用しやすくなり、待ち時間の負担の軽減になるのではないかと。駅の東側は、飲食店等の施設が少ないので、敷地外にも出来るようになると思う。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
577	194	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	「将来を見据えた庁舎」との問いだが、市は庁舎が将来どのようなようになると思っているのか、その考えを明示してほしい。AI等の導入が進むと思われるが、その対応は何か考えがあるか？	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
578	194	清水区	防災の拠点	防災全般	港に近い津波と共に浮遊物があると思われるが、どの程度まで想定しているのか？インフラが止まった場合は何日程度業務継続可能か？	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
579	194	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	最上階の利用について、市民に喜ばれる機能、用途のスペースにしてほしい。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
580	194	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ペDESTリアンデッキは、今あるような形態のものか？風が強い日の横からの雨も考え、壁で囲うような形態にしてほしい	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。			○		
581	195	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近く、雨にぬれないことはよいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
582	195	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	民間や市民団体が通年で借りられるスペース、会議室があれば、つながりができると思っています。	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
583	195	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	市民の出入りが多い低層階の女性用トイレは広く、個室もたくさんつくってほしいです。(現在の清水、静岡の庁舎はせまく、わかりにくいところがある。)	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
584	196	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	現在の清水庁舎の駐車場の車両間隔は狭いので、新庁舎の駐車場の車両間隔を広くとり、運転初心者の方や高齢者の方が停められやすくなるようにしてほしい。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
585	196	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	庁舎や駅を利用する人はかなり多いと思うので、災害時に多くの人が避難できるスペースを確保してあるのはいいと思います。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
586	196	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキで積極的にイベント等を開催すれば、多くの人が訪れ、近くの商店街にもぎわい、清水のまちが活性化するとおもいます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
587	197	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅をペDESTリアンデッキでつながっているという点で、非常に使いやすい施設となっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
588	197	駿河区	防災の拠点	防災全般	地下フロアを設けない。設備室を上階に配置するという点で安心だと思いました。位置的に津波対策というのが主に書かれている印象を受けますが、地震、台風等への対策もしっかり考えているのか気になりました。	地震・津波以外の災害対策について、ご意見を受け、本編P32の「その他の災害対策」に追加することとします。		○			
589	197	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	周辺の空き店舗に打ち合わせスペースを設けるという点がとてもいいと思いました。省スペース化につながり、かつ、「人」と「ま	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
590	198	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近いのはよいと思いますが、車の利用者が多いことが予想され駐車場が心配です。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
591	198	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	庁舎は災害に対応した想定がされていると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
592	198	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水区を中心とする駅西～駅前銀座と回遊性を確保するのは難しいと感じています。庁舎自体が集客性を持つものではないかと考えると、港湾地区に大型店舗が来るなどの人が集まる機能が必要ではないでしょうか。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
593	199	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎までの案内看板等を多く設置したりして行きやすい環境を作った方がよいと思う。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○		○		
594	199	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波に耐えられるように作られている為良いと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
595	199	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅が近くにあり、そこから直結している通路も出来る為よいと思う。清水庁舎近くにも店舗を増やしたほうが人が集まると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
596	200	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR駅の目の前であり、利用しやすい場所となっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
597	200	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	浸水後、ハード的に、機能出来るようになっていけば、業務の継続が可能	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
598	200	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	商店街や河岸の市等に近く、発展が望める	清水区への発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
599	201	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に直結しているということで、電車を利用して出かける際に立ち寄ることが出来、利便性が高くなっていると思います。また、ユニバーサルデザインのとり入れも、誰もが利用しやすい庁舎に繋がると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
600	201	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水という、比較的海に近い場所なので、時差品災害による津波が心配でしたが、津波浸水被害を受けないフロアを設ける等記載してあり、安心しました。また、避難所としてもおおいに活躍しそうだと思えます。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
601	201	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎だけではなく人々の交流が図れそうな広場の設置、また、まちの活性化にもつながりそうな民間施設の誘致により、清水区の「人」と「まち」が繋がる空間になるように思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
602	202	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	現在の清水区区役所は、古く、暗く、又機械室が地下にあるなど、政令市の区役所としても防災上の観点からも建て替えの必要性は誰でも認めるところだと思えます。位置的にも周辺の店は官公庁区域には不適であり、また周辺工場の排気により臭くて気分が悪くなる。新庁舎は新しい機能性を備えており行政サービスの向上を意識したものであると思う。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
603	202	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波避難区域に建設することにより「防災」対策が重視された構造になっていると期待する。ハードに加え、BCPに対する意識を高めることも必要。災害時に職員が清水区役所へ早急に登庁できる人員配置への配慮が求められると思う。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
604	202	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	きれいな庁舎が建設されればエリアの価値は高まる。水道庁舎のように若者が集まる企業（鈴木学園）を入れるとかまわりの街づくり（七間町）に併せておしゃれにすればエリア全体の価値が高まると思えます。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
605	203	清水区	その他	再整備・移転について	私たちの住む清水区の行政サービス機関の建物は大地震・大津波に対しまず安全な場所であることが第一条件だと思います。いつか必ず来るという東海大地震に対応できる防災拠点としては桜ヶ丘公園の土地が適すると思えます。区役所と総合病院を同様に機能的に設計し現在の区役所跡地と東口公園はゆとりある利用方を希望します。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
606	203	清水区	その他	市民周知・市民参画	清水区のみちづくりは市民と各商店街の意見を広く聴いて進めていただきたいものです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
607	204	駿河区	その他	再整備・移転について	現清水庁舎さえ海岸に近く、来るかもしれない大地震に絶対大丈夫の地域ではない。長い将来、安全な地域に移転を考えた方がよい。災害が起きても充分、即、誰もがかけこめ対応できなければならぬ事が絶対条件でなければいけない。100年先の正しい道筋をつけるべきだと思う。庁舎の移転と桜ヶ丘病院の移転が危機感が無い。田辺市長の説明が「決定ありき」でとってつけたような苦しい理屈、ビジョンに全く納得できない。地元での地形、利便性を全く見ようとせず、理解していない。庁舎と桜ヶ丘病院を近くに集める意味がわからない。（海と川の間に病院はふさわしくない）田辺市長の決定はどういう話し合いや利木又があったのかさっぱり見えてこなく…地元は田辺市長の計画を求めている。認めることはできない。田辺市長を変えれば庁舎移転と桜ヶ丘病院のいんを止めることができないでしょうか？桜ヶ丘公園の有効活用を考えて欲しい。清水の市会議員、静岡市全体の議員に真剣に考えてほしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
608	205	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅からのアクセスがよくなっている点は利便性向上になっていて良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
609	205	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波を想定した造りになっており、災害が発生しても業務が継続できると思えます。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
610	205	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅周辺の人の行き来は増えると思うのでエリアの価値を高める庁舎だと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
611	206	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	機能的かつ効率的な庁舎であり、誰もが利用しやすい庁舎になっている。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
612	206	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅周辺であり、まちづくりにつながるエリアである。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
613	207	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキは様々なイベント等使い道が広がりそうで、新しい庁舎にふさわしいアイデアだと思う。JRの駅周辺のため、人の往来は多いと思うので、賑わいの拠点になるような場所になればいいと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
614	207	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	来庁者に分かりやすい表示にする等、細かい部分にも配慮したつくりにしてほしい。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
615	207	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波に対応できる造りになっていると思う。災害に強い造り(免震構造)になっており期待できる。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
616	208	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波に耐えられる建物とのことなので、ピロティ形式は良いと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
617	208	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRの駅と繋がっているのは便利だと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
618	208	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	人が集まりまちが活性化するような施設にしてもらいたい。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
619	209	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	JR清水駅からの歩行者動線も確保されており、民間施設を誘致して清水区に賑わいに寄与してもらいたい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
620	209	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害活動拠点とするのであれば、津波を考慮してJR駅西口にも公用車駐車場などが必要ではないかと思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
621	209	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	JR清水駅周辺のぎわいは創出できるものと思いますが、新清水駅周辺については核となる代替施設は病院でしょうか？どのような民間施設が入るのか注視しています。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
622	210	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	利用しやすい庁舎とは交通の便がよいこと、新清水庁舎は東西交通がJRで寸断され流れが悪い。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
623	210	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	将来を見据えた庁舎とは、庁舎が単なる箱物ではなく、IT化など活用し庁舎そのものに機能を持たせることが必要。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
624	210	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害発生時は業務は中断する。防災拠点とするなら、災害時に早く情報を集約できるのか、対策できるかに係る。そのための災害対策室の確保が必要。また、津波被害に偏っているが、最近の豪雨被害も考慮が必要。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
625	210	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	人とまちを繋げるには行政以外でイベント、演奏会、講演会など人が集う場所(大ホール)を併せ持つ施設により庁舎価値を高める。	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
626	210	葵区	その他	清水のまちづくり	JR以外、静岡鉄道を新庁舎にアクセスさせ、また清水港との接続により利便性、エリア価値のある庁舎へと発展するのでは。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
627	211	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	周辺道路が広く、車での来庁者増えると予想される。駐車場が充実していないと庁舎周辺で慢性的に渋滞が起こる可能性がある。来庁者用の駐車場180台では少なく感じる。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
628	211	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	庁舎は十分な津波対策がなされていると思うが、周辺道路も対策していかなければ陸の孤島になりかねない。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
629	211	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎近くに大きな商業施設を呼べば「人」とよりつながる。またエリア価値も上がる。駐車場も確保できる。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
630	212	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ベデストリアンデッキはいいと思います。ピロティ形式ですと空間が暗くなると思います。昼間は積極的に自然採光し、夜間は侵入者対策をしっかりと行い、安心安全な空間を目指してみるのはいかがでしょうか	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
631	212	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時、屋上までの利便性を優先し、救助避難スペースと各フロアのアクセスについて、エレベーターで屋上は行けるようにし、通路も大きな物資も円滑に運べるよう広めがいいと思います。また過大設備と言われないためにも屋上についてはウォーターフロントという好立地を活かし、有名デザイナーに設計をお願いし、民間事業者が是非利用したいという空間作りにはいかがでしょうか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
632	212	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	清水区民が静岡人以外に語れる場所になるのが理想なのではないでしょうか。官から民のアプローチではなく民に任せるまちづくりにしたらいかがでしょう。例は違いますが、成人式が主市役所主体でなく、成人式実行委員会が主体となったように。語った時に魅力的に聞こえませんか。ちょっと的はずれですみません	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
633	213	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場から庁舎に直結しており、アクセスしやすい点が素晴らしいと考えます。また立体駐車場を採用することで、これまでネックであった、清水庁舎駐車場待ち時間の軽減を期待しています。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
634	213	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波浸水想定区域に庁舎があることにはなりますが、免震構造やピロティ形式等、地震及び津波の対策はなされているように感じますが、ただ、できれば建設して終わりではなく、災害の想定と対策を更新し続けていただきたいです、また地震発生時の避難する場所がアクセスしやすい街中にあるというのは安心感に繋がると思います。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
635	213	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	カフェ等の施設をすることにより、行政手続き以外でも市民の方が足を運ぶ場所になりうると思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
636	214	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場から雨に濡れずに庁舎に直結できるのは便利だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
637	214	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波に耐えられる建物は安心です。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
638	214	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティやデッキの空間は、イベント等でも活用できるのは市民の立場としては集客に繋がると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
639	215	葵区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	誰が利用するのか、将来を見据えるならば、利用者は減少の一途を辿ることは明白である。機能的かつ効率的なサービスの拠点を考えるならば一つの庁舎ではなく、複数の出張所を区内に設け、その中の区中心地区に設ける出張所を区役所と見做せば良いと考える。静岡規模のまちには、庁舎は一つあればよろしい、今後人口が極端に減少していく清水区にこうまでして無理に庁舎をつくる必要はないと考える、出張所を複数設けたり、バスを改造した移動サービスカーで対応すれば充分である。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
640	215	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	浸水地域にあるということは、現地現場主義の観点からgood。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
641	215	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	エリアの価値を高めるのならば、サッカースタジアムの方がふさわしい、市庁舎ではエリアの価値は高くないと考える。現在の清水庁舎のエリアの価値は高いですか。現状を見よ。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
642	216	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	平常時に誰もが利用しやすい庁舎は当たり前です。災害時の機能維持や復旧スピードなども意識・イメージできるように伝えていただくと、庁舎の必要性や立地に関心がない点が理解しやすくなると思います。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
643	216	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	駅周辺のみならず、港湾道路の海側の人々（観光客など）にとって避難できる機能が必要と思います。安心や安全により誘客にも繋がられると思います。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
644	216	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	開庁時だけでなく、閉庁時にも人がやってくる仕組みが必要と思います。またピロティ一部分だけでなく周辺の施設（空き店舗）を活用する点は良いと思います。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
645	216	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	庁舎からの眺望も活かせると面白いのではないのでしょうか。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
646	217	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ICTなど技術革新により、行かなくても行政サービスを受けられる将来像の方が理想的だと考える。その上で庁舎を建設するのであれば、より以上のサービス向上、改善が見込まれることを示してほしい。「駅直結」「雨でも濡れない」は「全員が駅から来る」「雨の日だけ来る」わけでもないで、サービス向上を示すものには成りきれていないと思います。より本質的な行政サービスの向上、拠点としての機能は何を考えていますか。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
647	217	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	発災時に瓦礫の中に孤立している様子にならないようにしてほしい、庁舎個別の災害対策ではなく、整備エリア全体で考えるべき。また災害対応に即応できる計画も併せて示していただければ、計画地に建設する意味が理解しやすくなると思う。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
648	217	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水区のまちづくりの拠点ということなので、庁舎を計画している敷地だけでなく、その隣接地への波及効果や、江尻エリア（清水地区）全体への効果などもわかりやすく示してほしい。示せるほどの効果がないならやめてほしい。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
649	217	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	物理的に庁舎がそこに建っていることによる機能だけでなく、市民にとって庁舎がそこにある事が誇れるようなモノにしてほしいです、思わず出かけて行きたくくなるような施設となることを期待します。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
650	218	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	財源計画	人口減少が続く中で、新たな行政施設を整備する以上、その効果を目に見る形で示してください。持続可能な行政サービスを堅持していくため、建設費・維持管理費に加え、さらなる将来の再構築費と、その時点での行政サービスの在り方も合わせて検討して実行してください。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
651	218	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波の浸水が見込まれる地域に整備する以上、業務継続に向けたソフト・ハード両面からの検討結果も示しつつ、事業を進めて欲しいです。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
652	218	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	現在において、庁舎のみ整備することは、地域の期待に十分応えているとは思えません。駅前・みなとといった至近の立地を活かし、複合的な施設を目指してください。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
653	218	清水区	その他	清水のまちづくり	サッカースタジアムを併設するなど、「サッカーのまち清水」の真の玄関口となるよう期待しています。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
654	219	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅は幹線バスのターミナルで乗り換えもでき、公共交通機関を利用する人からしたら便利と思う。駅からのアプローチの状況を見ると新庁舎が出来て通行者が増え、活性化できると信じているし、民間の力を出すとときと思う。新庁舎というランドマークを利用して発信していけば良いと思う。 使いやすい人に地域に優しい施設。将来を見据えた庁舎と言えるかについては15年20年後にどのような状態か(施設の劣化状況や周囲の状況)であるかを想像する必要があり、維持管理並びに改築に高額な費用が必要とならないように今一度見つめる必要がある。新しいものを作ることはウキウキすることが多くあるが、目先にとられすぎて後のことが薄れてしまう傾向になるので、将来お金がかからないような施工となるようしっかりと発注仕様を議論して欲しい。あれもこれも導入となればお金がかかるので、シンプルな、ベストな庁舎であってほしいです、汎用品を取り入れ、改築のための検討が必要と思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
655	219	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	反対する人もいると思うが、今の庁舎へ来る市民をはじめ、業務をしている職員も地震や津波が発生すれば危険な状態になる可能性は避けられない。市は利用者含む市民の安全を考え災害に強い庁舎を新築移転する考えでいる。防災面から見ても新庁舎は必要と感じる。 実際に地震が発生した時は想像がつかないくらいの被害があると思うが、現時点での被害想定から設計する他はないと考える。もしかしたら保険の保険をかけるような建物の方が良いのかもしれないが、お金がいくらあっても不足する。かといって他の土地を購入して建設した場合は利便性がなくなる。海の近くでも行政機関が近くに設置されていることは防災面でプラスと思う。今の案がベスト。建築建物も防災に強い建物にする必要があるが、電気や機械設備の更新しやすいものを選択する必要がある。あまり特別な特殊機器を使用すると、後から高額な維持が必要になるので、汎用性があり、シンプルで、地元企業が工事できるものであってほしい。このピロティ案はいいプランと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
656	219	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	市長は広報誌を見ている、清水区のことを色々考えていて、港湾、山間地、農産業等を盛り上げよう費用を投じているし、五大構想からも読み取れる。他区民からしたら少し嫉妬するぐらい力を入れていると感じる。このような考え・施策に反対するのは勿体ないと思う。もう一度目先だけではなく、将来の静岡市清水区を考え、子供から孫の世代に残すまちづくりをしてほしいと思う。一階ピロティは地元大道芸人のタマゴの練習の場に解放できるし、人が集まるまちづくりとなる気がする、いやしていく。私は駿河区在住であるが、清水区が好きです。清水の名前が大好きです。ぜひ新庁舎を建設して、まちが賑わい市民が区役所というランドマークを利用して盛り上げていく雰囲気大事と感じている。新庁舎からドリブラ周辺の地区は一つのまとまりで、各エリアで盛り上げていけば良いエリアとなる可能性がある地域と思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。 また、他のエリアとの連携や相乗効果については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考とさせていただきます。		○	○			
657	219	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	工事はどの業者がやるのかわからないが、市内の地元企業で工事ができるようになれば、地元にお金も入り良いと思います。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
658	220	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	いいと思います。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
659	220	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	大丈夫ではないでしょうか。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
660	220	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	場所としても良いと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
661	221	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRの駅に直結して交通アクセスが良いと思います。子供連れの方が利用しやすい庁舎ということに期待が持てそうです。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
662	221	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	耐震、津波に耐えられるとのこと、今より安心できると思います。また緊急避難もできる施設としてもPRできると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
663	221	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	現在は清水駅周辺が少し寂しいので、これを機に人が滞留するエリアになればと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
664	222	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波を想定しての設計であれば問題はないと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
665	222	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害(特に津波)発生時は厳しいでしょうが、水が引いたあと庁舎2階以上の機能が確保できる設計になっているので、問題はないと思われず。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
666	222	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水銀座アーケード街に人々を導くためにも、JR清水駅周辺に庁舎を建設する価値はあると考えます。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
667	223	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	ピロティや屋外デッキなど市民が気軽に利用できるスペースが設置されることは非常に嬉しい限りです。	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
668	223	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	資料を読みますと、ピロティ形式の設計になっているので一番心配な、大地震による津波に対しても対策が取られていることから、よく配慮された設計だと思いました。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
669	223	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	場所的に、JR清水駅に隣接していますが、ペDESTリアンデッキにより駅から庁舎まで雨にもぬれず快適に通行できることから、よく配慮された設計だと思いました。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
670	223	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	全体的に機能性に優れた建物であるような印象を受けました。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
671	224	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	アクセスが良く、誰もが使いやすい庁舎になるということですが、今の庁舎は少し暗い印象もあるので、温かい行きやすいところになればいいと思います。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
672	224	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	庁舎移転では津波が少し心配でしたが津波にも耐えることができる施設ということで安心です。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
673	224	市外	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	屋根付きの広場なら、天気は左右されず、イベントを開催したり遊びに行くことができ良いなと思います。何かの手続きのために行く市役所から、遊びに行く市役所になるのはより身近な庁舎になって楽しみです。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
674	225	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅からのアクセスも良いので、利便性が良くとても良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
675	225	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害は想定外のこともあり、なんともいえませんが、これまでにない構造で期待できます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
676	225	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ペDESTリアンデッキを利用したりアクセスしやすい位置など含め、マリナートや駅を繋ぐ中心としての庁舎となることは、とても賑わうエリアになるのではと思います。とても良いと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
677	225	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	富士山の眺めも良いので、観光の方々も寄って眺められるスペースも良いのでは。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
678	226	清水区	その他	再整備・移転について	現在の区役所の状態・立地など考えたら効率的機能とは言えない。災害が発生したらの場合、新清水庁舎の立地そのものが何ら将来を見据えた考えもなく、より津波浸水の危険度の高い海岸に近いところに移転することは常人では考えられない。清水区(由比・蒲原)利便性 津波に対する危険を回避すべく、高所地域への移転を考えるべきで、静清バイパスの通る庵原地区または旧清水工業跡地付近を選択すべきと思う(焼却場跡地)。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
679	226	清水区	その他	清水のまちづくり	区役所・病院など公共の重要な施設は緊急時でも被害の及ばない立地を考えるべきであり、現在の市当局の考えはあまりにも地域住民を無視した構想で、清水区民としては納得がいかない。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
680	227	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	車での移動が今まで以上に時間がかかり、利用しやすいたとは言えない。将来的には海の近くではなく高台への移転を進めるべきだと思う。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
681	227	清水区	その他	再整備・移転について	災害時に人を守ることができるのは、水の浸水しないところで周りに学校等の避難場所があるところにしてほしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
682	227	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	建設場所がJR駅に近いだけで、市の中心とは言えないと思う。もっと街の中心となる場所に検討すべきではないか。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアは、「明日の清水のまちづくり」の実現に貢献し、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近いことなど、庁舎建設の適地と判断しました。				○	
683	228	清水区	その他	再整備・移転について	駅東地区は不便、西側で検討すべき。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
684	228	清水区	その他	清水のまちづくり	病院は水害の少ない場所(現桜ヶ丘公園)に移設で公園は現桜ヶ丘病院跡地に作れば良い。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
685	229	清水区	その他	再整備・移転について	津波が直撃するところへの移転には反対です。災害対策本部としても機能できないことになるので、行政としての責任が取れないのではないかと。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
686	229	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	建物は残っても瓦礫の処理や 人繰りができるまで業務を開始することはできないと思う。少なくとも職員が通勤できる場所にすべきと思う。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
687	229	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	車利用者は非常に利用しにくい位置である。電車で電車で来庁者は本当に少ないと思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
688	229	清水区	その他	市政全般	私達の税金はもっと市民生活に役立つところに使ってほしい、例えば国保税の減額とか色々あるのではないですか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
689	230	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎へ行くには、車の利用者が非常に多いと思う。駅東口では踏切を渡る必要があり、渋滞を避けられない。利便性は悪い。災害時などの危険を考えると機能的かつ効率的とは思えず、将来を見据えた庁舎になっていない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
690	230	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が発生したら対策本部となる庁舎です、津波の浸水や液状化の心配のある場所では、職員も集まることができず、瓦礫の処理や人員の配置など対策本部としての業務を果たせません。清水区の人や町を守ることはできません。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
691	230	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	「人」と「まち」が繋がるエリアとして庁舎は適当とは思えません。駅周辺のまちづくりは2階通路や新庁舎の屋外デッキでのイベントなどの建物内の催しでは本当の意味の活気ある街づくりにはなり得ないと思います。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
692	230	清水区	その他	再整備・移転について	津波が来ると予想されている場所にわざわざ新庁舎を立てるといのは言語道断反対です。最大級の免震、津波でも倒れない建物、液状化対策など工事費も膨大になる。それは私たちの税金です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
693	231	清水区	その他	再整備・移転について	JR清水駅に近くなり市役所(区役所)単独の利用だけなら便利になると思いますが、合同庁舎(法務局・ハローワーク)郵便局等から離れてしまい、さらに、養庁舎への公共交通での移動が不便になると思います。庁舎は無事であっても人の移動に支障をきたすのではないかと？防災の拠点は被災リスクの少ない場所に建設するものであり、現予定地にはそれを上回るメリットがあるのか疑問です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
694	231	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	建設予定地はJR清水駅東口の公園であるが、そこで毎年開催されているイベントはどうなるのか。まとまった広い公園を駅前のような市街地に新たに造成するのは難しいと思う。	東口公園のイベント会場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
695	231	清水区	その他	清水のまちづくり	個人的な意見、感想になるが、その場しのぎの計画のような感がある。JR清水駅と清水港との人の流れを作るといった計画があったと思うが。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
696	232	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅前であり、ペDESTリアンデッキで連結されており、多くの人が利用しやすい庁舎であると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
697	232	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	予定地は津波浸水地域ではあるが、ピロティ形式を採用すると、防災の観点からも工夫がされていると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
698	232	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	駅前に市庁舎を作ること、人が集まり、賑わいが生まれる。誘致する民間施設にも期待したい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
699	233	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅と繋がり、利便性が向上すると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
700	233	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	1万人を超える人が避難できるようで、とても安心できます。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
701	233	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	行政サービスの利用者は多いと思うので、このエリアの回遊性向上に繋がると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
702	234	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	50年60年後を見据えても、無駄のない建物を建設してほしい。(規模・設備・対用途利用など)	長期間効率的に機能する庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
703	234	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	想定を上回る規模の災害が発生しても、拠点としての機能を十分に果たすことができるよう、コストがかかっても、安全性を確保できる建物にしてほしい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
704	234	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	建設地の立地を活かし、清水の街の顔になるよう、周辺の活性化に繋がるソフト面での取り組みを数多く計画・実施してほしい。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
705	235	清水区	規模	規模について	コンパクトシティ、コンパクト庁舎の名のもとに庁舎面積を縮減し、また職員数も大幅に減少して、区民に対する真の行政サービスが可能ですか。現状に合った充実した内容の再検討が必要です。コンパクト庁舎ありきの思考は実ある行政を行うことはできません。単純な数字合わせでは実のある行政は不可能です。	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきます。			○		
706	235	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	日本の建設技術は、地震津波等に耐える構造建築は可能なので、防災拠点として、また大きな避難場所としては最適だと思います。しかし災害時における対応、緊急避難対策本部として統括指揮管理ができる方策が講じられているとは思えません。区民の安全が第1に守られる具体的な方策を講じてください。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係係局に周知徹底してまいります。	○		○		
707	235	清水区	その他	清水のまちづくり	国県市と民間企業施設等官民一体となったエリアの構築は、行政マンの心構えだと思います。しかし国県市民間経済界との一体感が見えません。行政職員の意識改革ができるよう行政職員の育成教育が必要です。観光客が集まる富士山や港が一望できる展望室(周辺の景観が守られる規制が必要)、フェリー寄港と江尻港の整備計画を盛り込んで欲しい(魚市場関連)。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
708	235	清水区	規模	組織について	海洋文化推進本部は経済局と一体となった本庁機能が不可欠です。経済・港湾・観光・企画等一体的になった本庁局として再編させたい。新庁舎は桜ヶ丘病院と一体でなければならないと思います。桜ヶ丘病院の建設時期内容を明確に位置付けることが必要です。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○				
709	236	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	区民が庁舎内で迷子にならないように、総合案内所が必要です。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
710	236	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	大きな避難場所となる庁舎建設に賛成。区民の命を守る絶対安全な構造物であることを積極的にPRしてください。災害対策本部として活用できる。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
711	236	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	観光客が集まる富士山や港が一望できる展望室を設ける。周辺の景観が守られる規制が必要(市条例)	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
712	236	駿河区	その他	清水のまちづくり	この計画案には桜ヶ丘病院の建設がありません。新庁舎に関連する重要な案件です。病院の建設計画を明示してください。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
713	237	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	将来、国県市との合同庁舎にすべきと思います。そのためのスペースが必要です。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
714	237	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	大きな避難場所としての防災拠点の建設に大賛成です。緊急時の災害対策本部を設置してください。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
715	237	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	フェリー乗り場と庁舎との連携が見えない。江尻港周辺の整備計画を盛り込んで欲しい。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
716	237	葵区	規模	組織について	中部横断道の開通・みなとまちづくりが完成するまでは、経済局が本庁としての役割が必要です。新庁舎に存続すべきです。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
717	238	駿河区	規模	組織について	コンパクト庁舎のから単純に職員数を減らして満足の行政サービスができますか？職員数を減らすことに反対。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
718	238	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	防災拠点となる庁舎建設賛成。反対者に対して、地震津波に対して大きな避難場所になることを十分に説明してください。説明不足。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
719	238	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	商業施設の内容・周辺 河岸の市・魚市場との連携が見えない。行政職員の熱意が足りない。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
720	238	駿河区	規模	組織について	海洋文化推進本部と経済局は一体です。本庁機能を持った経済・港湾・観光・企画と一体となった局を存続すべきです。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
721	239	駿河区	規模	組織について	庁舎面積を減らしたり、職員数を減らすことは行政サービスの低下を招きます。減らすことに反対します。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
722	239	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	防災拠点となる市庁舎建設に賛成。地震津波に耐えられる構造というPR不足。もっとPRしてください。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
723	239	駿河区	その他	市政全般	国・県・市・民間・官民一体となった計画が見られない。行政職員のやる気が見られない。行政職員と民間企業との交流が必要。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
724	239	駿河区	規模	組織について	新庁舎は静岡市の港玄関口として国際交流の場です。本庁機能が必要です。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
725	240	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	十分な駐車場の確保をお願いします。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
726	240	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	業務を継続できると思いますが、有事の際あえて行かないと思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
727	241	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅・バス停からの利便性を図れるが、現実には利用者の多くが車の利用になることは確実。それに見合った駐車場の確保ができていますのか(して下さい!)それにより機能的かつ効率的で将来を見据えているかの判断は大きく異なります。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
728	241	清水区	その他	清水のまちづくり	清水の街づくりには、沿岸部を外すことはできない。それを踏まえた中では機能が整ったものと判断できるのではないか。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
729	241	清水区	規模	組織について	清水区民が願っているのは「コンパクト」ではなく「華のある施設」ではないのか。役所の機能も最低限(ほとんど区役所)では価値を高める庁舎とは言いがたい。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。 また、新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきたいです。			○		
730	241	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	興津も由比・蒲原も清水区、三保も高部も清水区。せつかく駅、バスターミナルの近くに位置するのであれば、JRバスの便数等を増やすような働きかけをお願いします。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
731	242	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	現在の清水庁舎のように、駐車場の渋滞が心配です。平面で駐車しやすい駐車場があると良いと思います(柱の多い駐車場はお年寄りや女性を止めづらいのでは)	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
732	242	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式とあるが、ピロティは津波には強いと聞きますが、地震の揺れには大丈夫なのでしょうか。また本当に大津波が来た後も庁舎として機能するのか不安です。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
733	242	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駐車場や避難スペースをイベント等に利用するのは、街ににぎわいが生まれ、清水の活性へと繋がるのではないかと期待しています。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
734	243	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	徒歩では行きやすくても、自動車、自転車と利用する人にとっての利用しやすさはいかがですか。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
735	243	清水区	防災の拠点	防災全般	災害は津波ばかりではありません。その他の災害への対応は。	地震・津波以外の災害対策について、ご意見を受け、本編P32の「その他の災害対策」に追加することとします。		○			
736	243	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水区の中心に庁舎があるのはいいと思う。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
737	244	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	庁舎の機能的・利用しやすさについては良いと思います。時代の流れに合わせて柔軟に対応できるような庁舎になるよう期待します。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
738	244	清水区	防災の拠点	防災全般	庁舎自体の耐震性や津波を逃す構造については良いと思います。ペDESTリアンデッキや立体駐車場も緊急避難場所として開放していますが、こちらの地震津波に対する耐久性が気になります。また津波が起きた後、瓦礫等が地上に散乱する中、市民や職員がどうやって出入りするのかがについて少し心配です。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
739	244	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	現清水庁舎が規模・人員を縮小して移転することで、移転後のまちづくりについては、工夫をしないと人の流れは生まれにくいと思います。新庁舎にできる公共空間や、隣接する民間施設をうまく使って、人の流れを今以上に創り出すことに期待します。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
740	245	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	将来を見据えた庁舎にする必要性を示す理由がわからない。■イメージ：どこでも手続きこれを想定しているの？できるの？	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
741	245	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波が影響しない2階以上のデスクワークは別として、現場を持っている業務（道路や下水等）は継続できるの？	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
742	245	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅直結のため、回遊性はゼロかと思う。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
743	245	清水区	規模	規模について	質問が難しすぎてなんて答えて良いかわからない。コンパクトを大々的に示すのは、清水区民には逆効果では？市民は誰もコンパクトを求めているわけではないのでは？逆に事業費を削った、機能も低下した建物ととらえられそう。	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきます。			○		
744	246	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	分かりやすい表示や案内、ユニバーサルデザイン等を取り入れるということで、将来の人口減少＝高齢化社会を見据えた庁舎計画になっていると思う。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
745	246	清水区	その他	再整備・移転について	建設地は津波浸水想定区域で想定浸水深さが2mから3mとのことだが、津波が新庁舎を直撃するのは場所的にも間違いはないと思うので、果たして災害が発生しても業務は継続できる庁舎なのか疑問である。津波が絶対来ない場所に建設することが一番良いと思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
746	246	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	誰もが使える公共空間の設置やベネッセデッキにより駅と新庁舎が繋がる計画などから見ると、エリアの価値を高める庁舎になると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
747	246	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	財源計画	庁舎の規模を最大14,000㎡から、省スペース化などを経て、延べ床面積最大13,000㎡に設定したのはよくわかったが、これによりどれぐらいの事業費が節約できたのかや、最大13,000㎡の規模感がよく分からないので、その辺の説明がもう少しあれば良かったと思う。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
748	247	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	今後起きるであろう大地震や大津波を予想しての庁舎としての機能面では楽しみであるが、現実はどうか予想がつかない。浸水してしまったら何もできないので1F部分をピロティ形式にして建築するということ、設備等業務の支障にならない部分を、上の階へ設置することは良いと思う。ただ本当に予測できないほどの大津波が来た時どうなんだろうか？海が近いので行動に移す時間も取れるだろうか？不安!!	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
749	247	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から雨にも濡れずに移動できるので、駅周辺に住んでる方々には便利が良いと思う。駐車場に関しては最大何台まで置けるのか？公共空間を多くの人が使って楽しめる場になれば人も集まってくるのかどうかは疑問です。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
750	248	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近いことで乗り換えしないで市役所に行けることはとても便利が良いと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
751	248	清水区	その他	再整備・移転について	津波が一番心配です。どれくらいの津波が来るかは誰もわからないし、強化ガラスにしても東北の地震の時でも、何をしても全てのものが流されて何もなくなってしまったので、便は良くても先々のことを思って海から離れたところの方が良いのではないのでしょうか。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
752	248	清水区	その他	市民周知・市民参画	清水区の中でも興津由比浦原と小さな町をもっと活性化できるように、他の区の人に意見や案を頂いていけたら、少しは良いのではないのでしょうか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
753	249	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	バス、電車（JR・静鉄）道路など人の集まりやすい場所と思うが、JR西から東への移動が平面でのアクセスがよりしやすくなると良い。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
754	249	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	発災直後にピロティ形式で安全を確保できるかもしれないが、1階部に津波を含め被害を受けた時、直後(1日から2日)の職員の活動(庁舎内から市内へ)が、車の出入りも含め確保できるのか?庁舎内だけで動いてもダメだと思う。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
755	249	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	街の価値を高める配置(ウォーターフロントを考えた)となっていると思う。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
756	249	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	七間町の水道局もそうだが発災時に庁舎内だけOKでなく、庁舎への出入りする動線(人と車)も確保する必要があると思う。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
757	250	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	公共交通機関も多数あり、アクセスが非常に良い。(清水区は旧清水市、由比町、蒲原町を広くケアすることになる)	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
758	250	清水区	防災の拠点	防災全般	庁舎自体は問題ないと思います。しかし、周辺を含めた整備をしなければ、災害時に孤立することになりませんか?液状化に対する対策は施されているのでしょうか?	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
759	250	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水区はサッカーのみちです。清水エスパルスとの連携を考えられているのでしょうか?みちとは清水港ですか?	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
760	250	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ライフライン事業者との協議は進んでいるのでしょうか?	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
761	251	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近く、区民が利用しやすい場所だと思います。ICT・AIの発達を見据えなるべくコンパクトにするべきです。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
762	251	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害に強い庁舎とし、それを逆にPRすべきです。日本は島国である以上、津波等の自然災害は避けられません、自然との共存を考えるべきです。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
763	251	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	場所的には人が集まれる位置にあります。人が集まる繋がる仕掛けをいかに考えるかが課題だと思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
764	252	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水区の中心地かつ駅とほぼ一体となることで、区内での利便性が高まるとともに、周辺のにぎわいの創出に繋がります。半面、葵区からのアクセスについては、JRよりも静岡鉄道の方が利便性が高く区と区の移動については若干不便になると感じます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
765	252	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	東日本大震災以降、津波対策は喫緊の課題であり、特に中心地でのより安全な防災拠点や避難場所は必要不可欠です。今回の計画では前述の問題を解決できるものと考えます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
766	252	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	区内の利便性が高まることは、エリアの価値、繋がりを高めると考えます。合わせて移転周辺が沈下しない政策も必要と考えます。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
767	253	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	公共交通機関(JR、バス)の駅等と直結する点では、アクセスしやすい庁舎になると思います。ただ、ユニバーサルデザインを取り入れるとしながらも図等では傾斜ある外付階段ばかりが目にかかることが心配。誰もが訪れやすく使いやすいという面から、スロープやエスカレーター等視認しやすい場所に設置する必要があると考えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
768	253	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	免震構造、ピロティ形式等、防災拠点の建物として、まさにふさわしいと思います。一方で建てたら終わりではなく、今後の建物メンテナンスについても、情報を明らかにしていただければ安心です。(例えば建物各部設備の耐用年数、更新計画)。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
769	253	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	庁舎建設予定地周辺は近年、マンション等建設相次ぐ中で、エリアの価値を高めるランドマーク的建物の建設は急務だと思います。新庁舎がそれに応じたものになっていくかどうかは今後の活用の仕方次第と考えます。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
770	253	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎敷地内に誘致する民間施設については、清水区・静岡市民全体に役立つもの、誰もが利用できる施設を希望します。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
771	254	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	庁舎入り口を南側に配置している点、清水の顔である海を意識した形は魅力的な建物だと思います。海・富士山・港・アクセスのしやすさ、新庁舎にエールを送ります。是非ともよろしく申し上げます。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
772	254	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	海と共に発展した、我町の清水。ペDESTリアンデッキ・緊急避難用のデッキのより強い補強と、新庁舎の防災機能強化をすることで可能だと思います。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
773	254	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	年間を通し、隣の広場ではイベントが行われており、マリナートでは多数の市民が利用している。人とまちが同時に結ばれるエリアであり、価値が上がる庁舎となることを祈っております。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
774	255	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の清水庁舎の駐車スペースは十分であるとは言えないと思いますが、雨に濡れずに庁舎に行けるという程の駐車場は確保されるのか?	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
775	255	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	有事の際に機能する構造物であることはわかりましたので、運用面等しっかりしていただきたいです。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
776	255	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	立地的にも素晴らしいと思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
777	256	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	好立地で、目的外の無断駐車やそれに伴う駐車待ちによる渋滞発生がない対策を考えて欲しい。駿河区役所と同規模のイメージですが、保育園や貸し会議室、美術館、情報発信センター、図書館など取り入れ、4階以上にする事の可能性も考えてほしい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
778	256	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	付近には商業施設やJR利用者も多いことから、避難場所が新たに生まれることは良いと思います。一時避難が対象とはいえ、冬場の駐車場への1万人や庁舎への約3000人は環境やプライバシーの確保も考慮した算定でしょうか。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
779	256	清水区	その他	清水のまちづくり	清水庁舎の周辺施設が、もっと市民、市外からの訪問者も活用できるように、エリア全体を総合的に計画してほしい。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部ランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
780	257	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ユニバーサルデザインを取り入れたり、ペDESTリアンデッキによりJR清水駅と直結するなど、区民（市民）が利用しやすい工夫がなされていると感じます。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
781	257	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ方式を採用するなど、地震や津波を想定した建物となるようですので、防災拠点として機能するものと思われま	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
782	257	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	エリアの価値を高める方策として民間施設を誘致することはとても良いと思われま	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
783	258	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	70歳を過ぎ、自家用車での移動が段々と困難となってきたので、公共交通の充実が必要	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
784	258	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	完璧なことはないので、やっぱり防災は心配です。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
785	258	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅から庁舎までのアクセスは良いようですが、住んでいる所からの公共交通を充実していただかないと、まちづくりに結びつかないと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
786	259	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波浸水区域に庁舎を建設するのはどうかと思いましたが、ピロティ形式になっているため安心しました。ただ、庁舎の周りは津波の瓦礫等が散乱して撤去に時間がかかり、業務継続の支障になる可能性があり、対策が必要だと思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
787	260	清水区	その他	市政全般	入れ物（庁舎）にはそれほど関心はない。要はそこで仕事をする職員が区民のためにと思う志の程度いかんである。（公務員さんの命題ですね）	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
788	260	清水区	その他	再整備・移転について	この点（海に近い→津波襲来の恐れ）が、区民の最も理解しがたいところ。もし大津波が襲来すればこの場所一帯は動きが取れない（対策活動）と想像しています。「この場所を何とか活用しなければ最初はこの場所ありき」が本音ではないのか。小市民のため代替案は思いつきません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
789	260	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	まちづくりの語が氾濫しているが、具体的にはどのような事象を指すのか。賑わいだけを見れば清水区の商店街と静岡のそれ（呉服町、七間町、紺屋町）を比べれば日常の人通りには圧倒的な差があります。あくまで行政サービスの拠点であって、エリアの価値アップは不要である。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
790	261	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	おしゃれなウォーターフロントでいいと思います。駐車場をたくさん確保できれば最高です。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
791	261	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	防災拠点としては機能しないと思います。それはそれで別途別の場所が必要だと思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
792	261	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ウォーターフロントでいいと思います	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
793	262	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	大規模災害時に機能しないと思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
794	262	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波の想定される場所では、業務が継続できないと考えます。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
795	263	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティの多目的広場とエントランスホールは、用途が似通っている気がします。駐車場や民間施設等も一階部分はピロティ式になるのでしょうか。1階も利活用されるとの事ですが、エレベーターを作りづらいうのでバリアフリーが難しいのでは？	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
796	263	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	最も大きな被害が想定される津波ですが、1階部分の高さより高い波となる可能性もあり得るのではないのでしょうか。防災対策室は上層階の方が良いのではないのでしょうか。書庫・設備室が上層階となる場合、重心が上方になりますので耐震は確実なものになるにしてください。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
797	263	清水区	その他	清水のまちづくり	駅の東側は清水区の人が行かないエリアですので、価値が高まるかまたは価値を高める必要があるかは微妙なところですが、災害が想定される地域の価値を高めたいという方が多いというのが率直な意見です。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
798	263	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	財源計画	85億円から90億円もかけ費用に見合う劇的な好転はございますでしょうか。同程度あるいはそこまででしたら計画を再構築された方が。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
799	264	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅からペDESTリアンデッキを介して行きやすいということは大変利点だと思います。柱や間仕切りを設けないことで、人口減少に伴う窓口や職務スペースの変更が容易に可能となることから、情勢やニーズの変化に対応できる行政サービスの拠点であると考えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
800	264	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	約12800人の緊急避難が可能ということは、海が近いので心強いです。もし被災時に庁舎に避難可能な人数程度避難して来た場合、それらの人に対する食料や毛布等を求められることが想定されますが、そういった備蓄を市が「どこに」、「どれくらいの量を」用意するかといった方針が決まっていたら教えてください。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
801	264	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	大宮市役所のように食堂をカフェのようなスペースとして利用できたら嬉しいですね。清水中央図書館が桜橋駅から少し距離があるので、清水庁舎にも図書館の機能があれば多くの人が訪れ、エリアの価値を高める回遊性の高い庁舎になるのではないかと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
802	265	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	低層・中層・上層階で部門がまとめとめられており、利用しやすいと思う。ペDESTリアンデッキにより公共交通機関（JR）から雨の日でも濡れずに庁舎まで行くことができ、便利だと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
803	265	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	設備室が庁舎上層階に設置されるため、継続性は確保できると思う。津波により瓦礫等が発生した場合にどのように対応していくかの検討もしてほしい。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
804	265	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	広場や駐車場を確保してもらい（可能なら余裕をもって）誰でも利用しやすいような配慮（ユニバーサルデザイン・授乳室等）をしてもらえば多くの人が集まり、「人」と「まち」が繋がると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
805	265	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	清水区・清水駅周辺で人が集まり、賑わいが生まれるように庁舎建設に賛成します。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
806	266	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	高齢者の増加が一層進んでいく中で、交通アクセスやユニバーサルデザインの観点からより利便性が高い庁舎になっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
807	266	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	JR清水駅等の連結で浸水しない建物同士を結ぶなど、災害発生時の業務継続のための計画が立てられていると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
808	266	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	駅周辺が年々寂しくなっていくのを感じているため、庁舎とまちがつながることでの活性化を期待しています。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
809	267	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	直接清水駅からペDESTリアンデッキを通じ来庁でき、人の動線の観点からも、利便性が高い施設であると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
810	267	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水港や富士山を一望でき、清水駅や駅前銀座に隣接しており、多くの人が集まりやすい環境であることから、新たな清水区のまちづくりの拠点となることが期待できます。	立地条件を活かしたまちづくりに関しては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
811	268	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近いのは行政サービスとして素晴らしいと思います（他市に比べてもなかなかないのでは）ただし駐車場が何台を置けるかによっては周辺道路の渋滞が考えられるし、予備の駐車場案内看板設置も考えておく必要はあると思う。直接関係がないが、庁舎建設箇所付近の道路には高校等のバス等が多々待機しているが問題はないかになります。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
812	268	清水区	防災の拠点	防災全般	近くにコンビナートがありますが、問題ないのでしょうか。コンビナートの災害が発生した時の対処法の説明も必要ではないかと思えます（既存ペDESTリアンデッキはコンビナートの災害（熱）対応はしているはず）。問題なければ問題ないコメントもあるかと思えます（津波ばかりではない）。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
813	268	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	エリアの価値については、周辺との関係が重要だと思います。駅前銀座等の商店会とも連携が必要であり、この基本計画からはそれが見えてこないです。身近な強化が一番大事だと思います（市民から勝手にやっていると悪く思われる）。活動しているのであれば素晴らしいと思います。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
814	268	清水区	その他	公園	清水マリナート建設時、植えられていた、ツマンンヨウスギを移植しないで残念なやり方で撤去してるかと思ひます。新庁舎箇所には多くの高木が植えられているので、移植等を検討しないと市民及び県民から苦情があると思ひます。(ジャカラダにはジャカラダ友の会があります。)	清水駅東口公園は、清水駅東土地区画整理事業に伴い、暫定的に整備された土地です。都市計画の観点からは、高度利用が図られるべき土地であり、このたびの庁舎建設地としては相応しい土地です。なお、既存の植物は庁舎の敷地内に植え替えるなど、できるだけ、緑の空間を残すことを考えております。	○		○		
815	269	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	行政サービスの利用が分かりやすい総合案内所、また窓口のプライバシーの配慮した形式の取り入れ。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能、プライバシーに配慮した窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
816	269	清水区	防災の拠点	防災全般	災害に対する建物の構成対策は見られますが、津波による外部からの接続のインフラ設備被害の対策の充実。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
817	269	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎への連絡は西方面は公共交通が大で、東方面は車の利用となると思ひますが、高齢者等の利用を考えるとコミュニティバス等の運行も良いかもしれません。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
818	269	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	見晴らしの良い場所に建設するので、最上階に展望スペースを設けて解放し、喫茶室でも設けて憩いの場でも良いかもしれません。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
819	270	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結なのは便利で良いと思ひます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
820	270	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波に耐えられる建物でも、そもそもの地盤や液状化が心配です。対策をお願いします。	液状化対策については、本編P30の「地盤の液状化対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
821	270	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキをイベント利用できるアイデアはとても良いと思ひます。市民にとって身近な庁舎になると思ひます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
822	270	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	せつかく駅直結でアクセスも良いのだから、静岡駅のパルシェ、新静岡駅のセノバ、東静岡のマークイズ等、観光客だけでなく、地元民も楽しめる施設を誘致して欲しいです(宿泊施設は観光客向けですし、物産展もドリブラがあります)	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
823	271	葵区	防災の拠点	防災全般	津波により災害対策拠点の機能が損なわれないよう、車両浸水防止、道路啓開等をセットで考えた方が良いのではないかと。ペDESTリアンデッキにより避難がしやすく良いです。避難路の表示を考えていただき、津波による被災者をゼロにしたいと思ひます。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
824	271	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	まちづくりの提案を求めた発注をしてはどうでしょうか。まちづくりのソフトの仕掛けと、ハードの設計を同時に考えることにより効果的な施設になると思ひます。	本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
825	271	葵区	その他	市民周知・市民参画	工事途中での市民見学会を多く開催してほしい(市民の盛り上がり・愛着醸成)	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。今後も事業の進捗については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
826	272	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水区で一番交通の便が良いのは、清水駅だと思うので、ここに新清水庁舎ができれば利用しやすい庁舎になると思ひます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
827	272	清水区	防災の拠点	防災全般	東日本大震災で大きな船が津波に流され、建物を破壊していく様子を映像で見た覚えがあります。新清水庁舎ではピロティ形式を採用し、併せて、津波漂流物の衝突に強い構造にするとのごことで、対策は施すようですが、清水の海には小さな漁船から巨大な客船まで存在しており、これらが流され庁舎を破壊してしまわないか心配です。大丈夫でしょうか。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
828	272	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の売りである海を中心に、清水駅、新清水庁舎マリナーと河岸の市など、人の集まる場所があり、更にこれらがペDESTリアンデッキで繋がることで人とまちが繋がり、お互いの価値を高め合うような良いイメージがわきます。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
829	273	清水区	その他	市民周知・市民参画	本編P5 1、P5 2、P6 3は当然のことなので、さまざまな来庁者皆が満足できるものにするために、現庁舎来庁者に何回もアンケートをとって意見を聞いて細かく検討が必要。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
830	273	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	東日本大震災のような災害時、建物は機能できたとしても、周辺が津波による多大な被害を受けた場合、壊滅的な状況になると思ひるので、対策活動や避難場所として本当に機能するのか疑問。	業務継続機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
831	273	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	現庁舎は必要な手続きがあるとき以外は利用しない方がほとんどだと思います。新庁舎は周辺の施設、店舗も含め、普段利用しない方が来庁するような空間があつて良いと思ひます。	市民が開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
832	274	清水区	その他	再整備・移転について	災害(津波)が発生した場合、浸水してしまい、車などを使用できなくなってしまうのでは。規模によっては職員および住民の死者が出る可能性があり、予定位置への建設については疑問に思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
833	275	清水区	規模	組織について	区役所以外にも、現清水庁舎による清水港所管する各課事務所を残してほしい。建設場所は、現庁舎よりも利便性に劣ると思う。静鉄駅に近い方がより多くの人にとって便利。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○				
834	275	清水区	その他	再整備・移転について	災害対策を行ったとしても、想定通り機能するかはその時になってみないとわからない。また想定外の災害が起こる可能性もある。災害が起こりにくい場所に建設することも大切だと思う。そのためにもっと時間をかけても構わない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
835	275	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	エリア価値を高めるために何をするのが読み取れないため、分からない。ピロティやデッキがあるだけで人が集まるとは思わない。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
836	275	清水区	その他	再整備・移転について	現庁舎のリフォームで良いと思います。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
837	276	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRの駅には近くなるが、清水区の市民が使えとすれば静鉄なので、移転するなら新清水からの通行の改善が必要ではないですか。市役所には足の悪い方や車椅子の方、車を持たない方も沢山来る。現状は、新清水駅から清水駅まで行くには結構大変。JRで来るには草薙で乗り換えが必要になり、倍の金額がかかる。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
838	276	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	全くなっていないと思う。東北の津波の画像を見ていたけれど、逃げる方向を間違っただけにのまれる車を何台も見つ。JR清水駅からだと車で逃げるのに海方向か複雑な交差点が重なる道かどっちかになる。また役所に車で逃げても同じく逆の無理なルートとなる。	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をペDESTリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。状況により他の津波避難施設や津波浸水想定区域外へ避難する方が安全な場合は、より安全な場所へ避難することを前提としています。	○				
839	276	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	これは少しは良いかと思う。来づらけれど、アーケード街に今より人が通るはずなので、今よりはいいかも。しかし駐車場を小さくすると、マリンロードに車が並んでしまう。今でも年末などは外に車が並んでいる。パスポートの受付のピーク時にはかなり駐車場が混雑するようになった。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
840	276	清水区	その他	再整備・移転について	もう決まったことなので仕方ないが、大金を使ってJRの海側に市役所を移すことに賛成している市民は家族の中にも1人もいない。職場以外の人に聞いても賛成意見はまず聞かない。行きづらくなって、全く前の方が良かったと言われ続けると思う。職員が。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
841	277	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅からのアクセスは非常に優れていて、素晴らしいと思える。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
842	277	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波に対しては十分考慮されていると思うが、やはり第1に津波に関する心配が頭に浮かぶ。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
843	277	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ウォーターフロントと清水駅前の賑わいとして、ドリームプラザとの相乗効果が期待できるのではないかと思う。	他のエリアとの連携や相乗効果については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
844	278	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRを利用する方にとっては利用しやすいと思うが、それ以外の方にとってこの場所が利用しやすい場所なのかよくわからない。自分は市役所の建物にはランドマークとしての役割があると考えており、その点においても場所がここで良いのかという思いはある。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
845	278	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	建物自体を災害に強そうだが、周りが被害を受けるとなると孤立してしまう可能性があるのではないか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
846	278	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	現在、建設予定地の周りの人通りは少ないと思います。まちづくりの拠点であるためには、人が集まりやすいということが必要だと考えます。正直そのようなイメージが浮かんできません。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
847	279	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR駅や港の近くにあり、交通の利便性があって良いと思う。庁舎内の機能についても必要な部署だけが集約されており、効率的だと思った。 ペDESTリアンデッキは津波で流されませんか。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
848	279	市外	防災の拠点	防災全般	リーフレットで、津波はピロティの下を通過する図になっていますが、庁舎の高さ（ピロティの床の高さ）や想定している津波の高さ〇mの表記があるとわかりやすいと思う（最近の論では複数のプレートが運動した地震では津波の高さが30メートルぐらいになるという学者もいるようですが、大丈夫でしょうか）	想定津波浸水深等の想定される災害リスクについては、本編P9の「敷地条件」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の参考とさせていただきます。 なお、本市の災害想定については、静岡県防災マップ等を既に公表しております。 今後も事業の進捗等については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
849	279	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	庁舎建設をきっかけに、周囲にもさらに企業や商業施設などができると良いと思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
850	280	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ピロティと立体駐車場は民間施設利用者も共同で使うと思われるが、業務時間外の管理はどうするのか？民間施設を利用する方の駐車場で庁舎利用者の車が駐車待ちが以前よりひどくならないか心配（敷地外の民間設利用者による無断駐車を含む） 立体駐車場とペDESTリアンデッキは直結するのか。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
851	280	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	庁舎周辺が津波の浸水、エリアとなっているが、公用車は立体駐車場の上層部にあり無事でも一階部分が物が散乱していたり、昇降機が破損した場合、当面利用ができなくなる。業務継続計画はその点も考慮されているか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
852	280	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	ペDESTリアンデッキは、風雨が強い時に吹き込んだ雨に濡れないか心配。また障害者用のエレベーターは民間施設側、庁舎の東西両面の三基を設置するのか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
853	281	清水区	その他	清水のみちづくり	●意見の展開順序から、〔0〕基本理念について、〔1〕基本方針①について、〔2〕基本方針②について、〔3〕基本方針③について、〔4〕その他として、以下に記述する。 〔0〕基本理念:市民が開かれたコンパクトな庁舎～港町の歴史と自然に向き合いながら「清水のみちづくり」を未来へリードする～について「明日の清水のみちづくり」ビジョンの3つの基本方針のうち、第①の中心部への生活機能の集積について、生活機能とは何か？生活機能をきちんと定義したうえで、そもそも生活機能は中心部に集積すべきものではない。生活機能は、いくつかの核に分散型にてまちづくりをはかるべきものと考えます。市の言う生活機能は賑わいと混同している。②観光機能向上、③防災機能の充実については必要な対応と考えますが。 〔3〕基本方針③:清水区のみちづくりの拠点について 「JR清水駅周辺の中心市街地へ生活機能を集中させることで、既存の公共施設や既存商店街と連携」とあるが、国交省のコンパクトシティ構想に乗った、全国一律金太郎飴の感を禁じ得ない。24万人近い市民がある範囲に居住し生活している中で生活機能を集中させた場合、その移動手段をどう考えるのか。都市交通が発達している都市ならまだしも、JR(一部静鉄)しかない清水区での集中化を進めていけば、移動手段は自動車にならざるを得ず、増加一方の高齢者は置いてきぼりになる(バス便も縮小傾向)。〔0〕基本理念で言及したように、そもそも生活機能は中心部に集積すべきものではなく、いくつかの核に分散型にてまちづくりをはかるべきもの(高齢者も徒歩や自転車移動が可能のように)と考えます。職員自らがまちに飛び出していく環境を作るとあるが、これは職員意識の問題であって、清水駅東口に庁舎を移転しない場合でも、職員に求められる姿勢である。 ●清水駅東に新清水庁舎を建設することが、「国際海洋文化都市」とどうリンクするのか。何故リーディングプロジェクトなのか説明不足である。庁舎建設を起爆剤にしてという気持ちは理解するが、幅広い市民の意見を踏まえた20年先・30年先の将来ビジョンの議論が必要である。	平成28年3月に改訂された「静岡市都市計画マスタープラン」では、集約連携型都市構造(コンパクトシティ+ネットワーク)を将来都市像として掲げ、都市のコンパクト化と公共交通網の再編を連携して進めていくことを示しました。それを実現していくための計画として「静岡市立地適正化計画」を平成29年3月に策定いたしました。 当該計画の中で、中心部などの拠点エリアへ必要な都市機能を誘導し様々なサービスの充実を図ることで、魅力ある拠点の形成を目指しております。					○
854	281	清水区	その他	再整備・移転について	●当該地は津波浸水区域である。そもそも津波浸水区域に建設してはならない施設の線引きの議論を十分に行わずして、「明日の清水のみちづくり」の3つの基本方針(但し第①の方針は前述のように異論ありだが)に、清水駅東地区が合致していると責めるのか。議論生煮えのまま、結論を急いだ感が否めない。(大)津波警報が発令中、市職員がアプローチできないような場所に、防災の中核機能をもつ庁舎を建設すること ●蛇足ながら、前段の文章「・・・港の発展とともに東海道の宿場町として栄えてきました。」は、近現代と江戸時代を一緒くたにした議論で、歴史認識の無さを露呈した文章である。江尻宿は、旧東海道入口～巴川沿いの現清水銀座付近までであり、しみず湊は、旧東海道追分の地から分岐した「しみず道」(現清水中央図書館付近を経由して)を通って湊に至るものであって、江尻宿としみず湊はもとも一体のものではなく、二極のまちとして発展してきたものである。そういう歴史も踏まえて、「国際海洋文化都市」の行政拠点としての立地(かつ津波浸水区域も考慮して)を考えるべきである。 が何故適切なのか、とても基本方針に合致しているとは言えない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
855	281	清水区	その他	市政全般	●清水区民の行政サービスの拠点としての庁舎立地選定の一つの考え方(手法)は、以下〔1〕で詳述する。 〔1〕基本方針①:清水区民の行政サービスの拠点について 清水区民の行政サービスの拠点という観点からの立地について、検討したような形跡がない。まず基礎的なデータとして、行政サービスを受けるべくどこに居住している区民がどの位の頻度で、どう交通手段を用いて区役所へ来場しているのか調査したことがあるのだろうか?調査は単発的なものではなく、時期を変えて何回か実施する。これがまず基本の第一である。次にJRと近接した場所に立地した場合、そのうちのどの位の人が利便性を感じて鉄道を利用するのかを見込む。交通の利便性がよいというような抽象的な捉え方だけでは、後々チェック・評価のしようがない。立地については、次に対象となる区域の人口分布が考慮されるべきである。“人口の臍ともいうべき居住人口の中心を算出したことがあるのだろうか?この臍地点が、居住者全てにとって、最大公約数的に理論的な至便の立地となる。もちろん人口の臍が必ずしも至便とは限らない。ただ、かかる基本的な条件も検討せずに判断をもって清水駅東口に立地を決定すべきでない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
856	281	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	●「誰もが利用しやすい庁舎になっているか」100%の人が満足するわけではないので、誰もがという問い掛けには抵抗を感じるが、利用しやすい庁舎になっているかなど当然のことであって、高齢者・障がい者・妊婦・乳幼児等にも配慮し、UD指向でやさしいことは当然のことと思う。「機能的かつ効率的で、」というまたも抽象的フレーズで何を評価しているのだろうか。「将来を見据えた庁舎」についても業務内容の変遷でスペース可変などのことを指していると思うが、私としては、築35年の現庁舎解体の理由の一つに挙げられている「潮風等の影響による建築設備の劣化」に対してはどのような対策を取ったのであろうかを聞きたい。30数年後に、また庁舎解体の言い訳とならないよう願うばかりである。	長期間効率的に機能する庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
857	281	清水区	その他	再整備・移転について	●〔2〕基本方針②:清水区の防災拠点について 災害時にも、市民の生命・財産を守るべく、行政組織の司令塔としての庁舎の立地はどうあるべきかの議論・検討がまずあるべきである。地震・津波・高潮・洪水等の災害に対して、立地として適地であるかの検討がまずあるべきである。津波警報発令時には、市職員が近づくこともできない場所に庁舎を建てて司令塔の役割が果たせると考えているのであろうか。災害時の職員を含む市の対応を各部門毎に逐次説明いただきたいと思うばかりです。 地震液状化に対する地盤改良・津波に対するピロティ構造等、かかる場所に庁舎を立地することによるコストアップも最終的には市民負担の税金で賄われます。機能維持的にもコスト的にも疑問符のつく清水駅東立地で実施に納得のいく説明をしていただきたいこと。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
858	281	清水区	その他	市民周知・市民参画	●〔4〕その他 始めに結論ありきの進め方は、民主主義の基本をないがしろにする対応であり、その対応を厳しく問い質したい。「桜ヶ丘病院の移転を考える会」「岡地区連合自治会」では、田辺市長宛に5回の質問状を提出している。そのNo.5質問状に対する回答の中で、「JCHOは本市からの情報提供に基づき市役所清水庁舎を移転先として正式発表しました。」「清水庁舎を優先候補地として検討して欲しい旨の静岡市のご意見をいただいたことも踏まえて、総合的な観点で検討した結果であります。」斜字アンダーラインのように、市が清水庁舎跡地を優先候補地としてJCHOに斡旋したことは明白であります。 その玉突きで清水駅東口に庁舎移転となり、始めから結論が出ていることを、検討委員会やパブリックコメントにて民主的手続きにて飾り立てたとしか言いようがありません。このNo.5の質問状に対する回答の元となった、JCHOへの情報提供の内容詳細を明確にしてください。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
859	282	清水区	防災の拠点	防災全般	新清水庁舎の立地位置の東側に石油タンクが貯蔵されている施設があるため、地震や津波被災地に火災等の誘発の危険性が考えられる。このことに対する対策が必要かと思う。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
860	282	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎の立地位置は駅を利用する人にとって利便性が良くなると思う一方、車で行く人にとっては東海道本線より先に位置しており、少し行きづらい。交通の便が悪いと思う。渋滞に対する対策が必要。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
861	283	清水区	防災の拠点	防災全般	庁舎はしっかり考えられていると思います。ただ横が石油コンビナートなので、想定を超える震災が起きた時はどうなるんだろうと不安になります。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
862	283	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	公共交通機関で行く時には便利だと思いますが、車で行くにはあまりアクセスが良いと思いません。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
863	283	清水区	その他	清水のまちづくり	横浜や神戸のような、ベイエリアが観光地として魅力あるものになっていけば、人や商業施設も増え、より身近に庁舎も活用されていくのではないかと思います。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
864	284	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅に隣接していて、デッキもあるのでたくさんの方が利用しやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
865	284	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式によって津波対策もでき、耐震性にも優れており、なによりもライフラインのバックアップ機能の強化ができれば安心できると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
866	284	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	たくさんの人が多目的スペースを自由に利用できればいいと思う。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
867	285	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅に隣接しているため、行きやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
868	285	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	清水庁舎が継続できても、周りの状況を把握できる対策が迅速に対応できるかが不安である。津波が清水区全体で発生した場合、アクセスはどうしたら良いのか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
869	285	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	西側にある銀座アーケードにたくさんの方に利用してもらえるように、ピロティーで展示会やフリーマーケットを開催して、まちづくりに貢献していくべきだと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
870	285	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	西側から利用する方の車の行き方をどのように考えているのか。周辺道路が渋滞する可能性が高い。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
871	286	清水区	その他	再整備・移転について	場所が適当ではないと思います。もう少し高く広い場所に移すべき。道路の搬出搬入が不都合に思います。広い道路でないと。誰も安心し、安全に聞こえる場所にするだけだと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
872	287	駿河区	その他	再整備・移転について	利用しやすい、機能的、効率的かを考える前に、そもそも津波浸水エリアに庁舎建設を考えることに問題があり、とても将来を見据えた調査などと論じることは意味がない。 津波浸水エリアから消防機関は移転済みである。同様の考え方が当たり前で、災害が発生した場合、市民を助ける立場の行政人たちが義務を放棄しているのしか考えられない。過去の震災日から学ぶことなく、「人・まち」がつながるエリアの価値を高めるなどと語る価値なし。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
873	287	駿河区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院を巻き込みセットにして考えることに無理が生じ、病院は病院、庁舎は庁舎として考え、それぞれ津波浸水エリア外で設置すべき。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
874	288	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結で雨に濡れず、アクセスが良いと言っても、実際には距離がある訳で、ご高齢の方や小さなお子様連れの方にとっては歩くのは大変。いざ災害が起きれば大混乱となるのは目に見えています。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
875	288	清水区	その他	再整備・移転について	そもそも、津波浸水区域に新築するという考え方が間違っていると思います。「津波・台風・地震」など自然の猛威に対して絶対に安全ということはあり得ません。パニックになれば人間と人間の事故も起こりうること、業務の遂行は無理だと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
876	288	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	現時点で駅前銀座アーケード街でさえも集客が困難なのに、民間をあてにして人を引きつける材料が何もない状態のまま、街が活気づくとは考えにくい。三保の松原もそのいい例だと思う。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
877	289	清水区	その他	再整備・移転について	将来を見据える人、現在まだ充分利用できる庁舎を移動する考えには納得いかない。税金のムダ使い。車を利用した時の交通の不便は大いにあります。災害が発生して、どうして津波を防げるか。あの地図の説明は全くデタラメ。その前に周辺は大地震で通行できなくなります。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
878	289	清水区	その他	清水のまちづくり	税金の無駄遣いをやめて、先に桜が丘病院を建設してください。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
879	289	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	今までのように窓口業務が行えるのか？また会議室とは利用できるものがあるのか？	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
880	291	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	基本方針1:清水区民の行政サービスの拠点について ・ベデストリアンデッキで、サービス窓口のフロアへアクセスしやすくなっている点が良い。 ・利用頻度が高い窓口部門を下層階に配置しているので使いやすい。 ・どこに行けば良いかすぐに分かるような案内表示を設けてください。”	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
881	291	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	基本方針2:清水区の防災拠点について ・設備室や災害活動室を上層階に配置して、浸水した場合でも庁舎機能が維持できる対策はとても大事だと思う。 ・1階のピロティ部分を地盤面に見立てて、2階床下に免震装置を設ける手法は非常に良いと思う。 ・ベデストリアンデッキが避難通路となって駅西側に避難できる計画は、非常に良い。”	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
882	291	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	基本方針3:清水区のまちづくりの拠点について ・駅から近い場所にイベントのできるスペースがあると、人が集まりやすいと思います。 ・富士山を背景にしたイベントスペースなら、海外にも配信できる清水を代表するイベントが開催できると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
883	292	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	基本方針について 静岡市の人口減を食い止めるためには明るく活気のある清水を取り戻すことが必要です。そのためにも国際海洋文化都市としての清水の新たな拠点として新庁舎建設は不可欠であると考えます。基本方針に書かれた具体的な機能をしっかり担保しつつ早期に次のステップに移ることを希望します。”	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
884	293	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	財源計画	新清水庁舎建設計画に関する個人意見を下記述べさせていただきます。 今回の新庁舎計画のコンセプトについて 基本理念「市民に開かれたコンパクトな庁舎」 *何をもち、既存の庁舎では市民に開かれていないと判断したのですか？ *コンパクトにする目的は管理費のコストダウンと利便性の向上が無いと意味無きお題目と思えますが、その定量的根拠は？	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものとしていきます。また、本編P48の「事業手法」に記載したとおり、庁舎建設事業については、民間と行政が、それぞれの強みを生かし市の財政負担を軽減しつつ、民間のノウハウを活用して、効率的かつ効果的に事業を進めるPFI方式が適当であるとしています。ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
885	293	駿河区	防災の拠点	防災全般	POINT ウォーターフロント地域の防災力が向上する。 *新庁舎は12,800人の避難確保可能と謳っていますが、既存庁舎との比較はあるのですか？ POINT 津波発生時も孤立せずに、清水駅西口地域と行き来できます。 *清水駅の東地区の住民は少数では？ *何がメリットか理解不明？	新清水庁舎は、津波避難施設の空白エリアとなっている清水駅北東地区の緊急避難機能を強化するとともに、周辺施設間をベデストリアンデッキでつなぐ緊急避難ネットワークを構築することで、周辺滞留者が安全に避難ができる施設とします。					○
886	293	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	POINT エリアの周辺施設と共に、駅周辺の街づくりを加速させます。 *区役所に人は集まらない(マーケティング的には)まして、清水駅の北側の商業施設は無く、東は「河岸の市」があるだけで、この利用者は観光客か地元の商売人が仕入れに利用する程度では？まして、清水銀座のアーケード街はシャッター通りになりつつあるのに、人が集まると考えているのか？ 以上の疑問があります。 穿ってみれば、新庁舎建設ありきで、後付けのコンセプトならこうなりますね 85億から90億の費用を掛けるほど、静岡市に余裕が有るのですか？	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
887	293	駿河区	その他	市政全般	静岡市全体の将来構想から清水区の将来構想から、施設や商業施設の誘致などを県の協力を得てから進めないと、その場しのぎの都市開発になるのでは？ 以上、勝手な思い付きで恐縮ですが、見解をお聞かせ頂ければ幸いです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
888	294	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	・防災拠点 清水の駅近くに高齢の母が住んでいるので、とっさの際に避難できる建物ができるのには賛成です。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
889	294	葵区	その他	市政全般	<p>・ところで、反対会のまいたピラを読みました。また、反対会を自称するメンバーが家に訪問し、署名を強制されたそうです。自分達が自分で作った意見主張のピラに勝手に応募用紙を印刷して、市の公式の応募用紙でないものを勝手に人の家にポスティングするのはいいんですか？高齢の母は何がなんだかわからずに、市の公式のピラだと思ってしまいました。いくら庁舎も病院も岡地区に持っていきたいからといって、やり方が汚いです。</p> <p>反対派の主張するまちづくりを考えてみるとこうなります。 1 津波区域には「一切の建物を造らない」 ※病院や庁舎だけが「重要施設」だなんてあなたたちが勝手に決めているだけですよ？私にとっては母の家などの住宅も「重要施設」ですが？なぜ排除するのですか？住居はどうでもいいんですか？ 2 今、浸水区域にある家やお店や公共施設など、全て「日本平山頂」に持っていく。 ※「想定外」を想定しないといけませんか？「桜ヶ丘公園や中途半端な高台にもっていけば想定内に被害がおさまる」なんて、自分達だけに都合が良い「想定」はやめてください。日本平山頂でも「想定外」が起こるかもしれませんね。富士山の山頂にでもお引越すればいかがですか？ 3 当然、浸水区域には「道路」も作れませんね。 「庁舎がそこにあるせいで、そこへ訪問した人が被害にあつたら、建物を造った人のせい」なんですよ？じゃあ、海の近くに道路なんて作ってしまったら、たまたま災害の時間にその道路を通った人が死んだら、道路を造った人のせいですか？お店も同じことです。港なんて、もっとそうですね。 私の母の家に遊びに来た人が、たまたま私の母の家にいる時に災害にあつたら、私の母のせいなんですか？津波に耐える庁舎を作らずにいて、母が避難先が無くて死んだ場合、反対会は責任取ってくれるんですね？専門家でもないのに関わらず、人の感情だけを煽って、あなたたちはそこまで重いことをやっているのですよ？ただの「市民活動」では困ります。あなたたちの自己満足の達成感のためと自己啓発のためでは困ります。共産党の党活動のためでも困ります。 駅周辺に避難場所がなく、母や私の知人や、たまたま近くに来ていた人が亡くなったら、反対会は責任をとってください。〇〇〇（非公開）会●●（非公開）様。</p>	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。						○
890	294	葵区	その他	清水のまちづくり	<p>「緊急的に避難できる建物」ほど海の近くになると困ります。海から遠いところで作って「緊急避難」建物としての価値がありますか？ 清水区を守れ守れとさも良さげなことを言っていますが、反対派にとつての「清水区」に海側の人間は含まれていないんだと失望しています。あなたたちは先祖代々生まれついたので立地の良い「岡地区」で良かったですね。海側でずっと暮らしていた人間にとっては、海側が生まれた土地です。そこで安全に暮らすために必要な物を作ってほしいです。 どうせ反対するのならば、中途半端に自分達の都合のよい「重要施設」だけ浸水区域に造るなんて言っていないで、「浸水区域内に一切のまち（港も）をつくるな」くらい言ってみたらどうですか？ 私も市長の政治姿勢には言いたいことはあります。でもこれはその感情だけで考えてはいけないことです。 市長への反対感情だけに身を任せた、過激な反対活動に憤っています。”</p>	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。						○
891	295	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	<p>新清水庁舎建設基本計画(案)について その場所しか案がないのであれば建てることは賛成です。防災上も今の技術なら問題ないと思います。</p>	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
892	296	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	<p>清水区にしかできない港を中心としたまちづくりには大賛成です。まちづくりの拠点となる場所に計画されている建物は、大地震が発生した場合の建物の安全性、防災の拠点としての役割が果たすことのできる構造の建物なら、それだけの安全性が備わり、立地的にも利便性が十分確保できるこの場所に病院機能を持って来れないのでしょうか。病院機能といっても桜ヶ丘病院の移転も一つですが、緊急車両の出入りや音が気になると思いますので、同一フロア又は複数フロアに診療科目別の複数の個人病院（医院）の賃貸スペースを確保できれば、市民にとっては充実した医療サービスが受けられるのではないのでしょうか。特に、土日に関業できる病院なら小さな子どものいる女性にとっては願ったり叶ったりだと思います。また、駐車場は共有することもできるので安心できます。</p>	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○			
893	297	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	<p>・駅と庁舎がデッキでつながるのではなく直接庁舎に接続できるようにならないか。庁舎をピロティ方式で建設するなら駅と隣接する構造にできないか。バスロータリーの改良を含めて再検討する必要があるのではないか。</p>	<p>新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。</p>	○	○	○			
894	297	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	<p>・基本計画案の20ページに「周辺施設とのつながりを促します」とあるが、ピロティ方式では叶えられているとは思えないし、建設予定地ありきの発想・現在のマリナートまでのデッキの馴染めなさは拭拭したい。</p>	<p>周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。</p>			○			
895	297	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	<p>・また、それにより現在公園になっている土地を民間に借地させることで財政的に余裕を生むことができ、より活性化の構想が膨らむのではないか。</p>	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
896	298	葵区	その他	再整備・移転について	<p>清水区民の行政サービスの拠点について 「利便性の高いアクセス環境を確保」において、新庁舎建設地が清水駅東口駅前広場を挟んで位置しペDESTリアンデッキで接続するとされていますが、JR清水駅からのアクセスにおいて、よりアクセス環境を良く高齢者や障がい者が来庁しやすいよう清水駅東口駅前広場の位置まで移動した場所に新庁舎が建設された方が良いのではないかと思います。</p>	<p>市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。</p>					○	
897	299	清水区	その他	市民周知・市民参画	<p>「[1]の意見：行政サービスの拠点とサービスをせて適切ではない。 ・建設地の決定について市民に全く説明がない。なぜ、不都合があるのでしょうか。 ・サービスの拠点として、市民が安心・案載に利用できる場所でないといけない。 ・どのようなサービスを提供するのか具体的な内容の説明がなく、合理性、効率的な業務ができるのか説明がない。</p>	<p>ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 今後も事業の進捗については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。</p>					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
898	299	清水区	その他	再整備・移転について	「2」防災拠点について、最も危険な地域と言われている、JR清水駅東口に建設発想が、今まで発生している巨大地震の検知から判断しても全くナンセンスな発想である。きちんと理由を説明して頂き、清水区民を納得させて頂きたい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
899	299	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	「3」まちづくりの拠点として、前述した様に、清水区民が安心、安全に利用できない。まちづくりであれば多くの人達が集い、海外からの観光客の来ます。時間を費やし、楽しむところでもあるが、区役所が出来たからと言って賑わい出来る事ではない。駅周辺の地域を巻き込んだ総合的な開発がすすめられなければならない。その意味からも、検討を見直す必要がある。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
900	299	清水区	防災の拠点	防災全般	「4」その他：建物の構造のピロティーについて言えば、これは、住宅・低層階の建物に水害からまもるのが有効と建築に関する書物にある。区役所の場合この対象外である。また、駅周辺には危険物 船舶・コンテナ・材木など漂流物が押し寄せてくることは必至であります。不安材料は山積します。速やかな市民への説明を求めます。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
901	300	清水区	その他	再整備・移転について	・現在住民票等はコンビニで間に合い、暮らしの中の電子化が今後急速に普及してくるのは間違い無いご時世。そうした中、現庁舎は耐用年数60年。この年数まで使い切っていくなかで、庁舎のあり方は、今よりははっきり見えてくるはず。行政サービスのありかたは大きく変化するの間違いありません。無駄遣いは止めて今の庁舎を有効に使いましょう。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
902	300	清水区	その他	再整備・移転について	・1000年に一度の災害は1000年後にくるわけではないので、地震に弱いピロティー方式でなく、安全な場所に防災拠点を作らなければ全く無意味。わざわざ危険が想定される場所にコストをかけて作る意図がわからない。使うお金は我々の税金だということを忘れているのでは？	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
903	300	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	・「人」と「まち」がつながりエリアの価値を高める機能は庁舎に求められていません。行政サービスを円滑にこなし、市民の生活の向上に務めることが求められているのです。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
904	300	清水区	その他	市民周知・市民参画	・公務員の皆さんの生活の基盤はなにかを忘れず、市民が問題視している重要な案件については「住民投票」を実施するなど、民意を確認することが民主的なやりかたではないでしょうか	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
905	301	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	サービス拠点 誰もが利用しやすい庁舎になると感じるが、車利用者が駅西口から東口へのアクセスが、いいとは言えないので、庁舎建設に伴い、今後検討しなければならない課題だと感じる	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
906	302	清水区	その他	再整備・移転について	津波避難地域に建設する事がおかしい。被災地を市長や建設に携わる人は東日本地震の被災地を人は視察することをおすすめします。そして建設する場所を考えて直して下さい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
907	302	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	「津波発生時には清水駅西口地区と行き来出来ます。」大地震が発生しても災害対策拠点として業務が続けられる。」とのことですが本当に大丈夫でしょうか。道路は車は通行出来ず、歩くことも出来ないでしょう。区役所が孤立し、何も出来なくなるでしょう。津波で流れてくるのは水だけではなくは考えなくて良いのでしょうか。津波の可能性のある場所に建設する事は非常識であり、将来が不安になります。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
908	303	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	基本方針1 清水区民の行政サービスの拠点 JRやバスターミナルから直接行けるとところに区役所があるのは大変便利。今は運転ができるが、免許を返して杖をつくようになるのも近い。これからは、そういう人が増えてくるので、これは重要なことだと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
909	304	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	基本方針2 清水区のまちづくりの拠点について 今の庁舎は東海地震が心配されたころ建てられたため、窓が小さくて開放感がなく、行ってもゆっくりするところがありません。だから用事がなければいけないし、用事が済めば帰ります。せっかく、駅の近くで港や富士山が良く見えるところに建てるので、ゆっくりできる、楽しめる庁舎にしてください。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
910	305	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	基本方針2 地震で清水中が停電になっても、庁舎だけは電気が付いているような、災害時にもみんなに安心感を与える建物にしてください。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
911	305	清水区	その他	清水のまちづくり	基本方針3 今、就職先は増えてきました。大学進学で清水から出ていった人たちが帰ってきたいくなるような夢のあるまちづくりをお願いします。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
912	306	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	基本方針3 清水区のまちづくりの拠点について 今、清水駅前にあるマリナートやテルサ、河岸の市と連携して、観光客というより市民のためになる建物にしてください。駐車場は、休日に河岸の市や駅前銀座に行くときも使える安いコインパーキングにしたり、建物には漫画図書館やフードコートがあったら良いです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
913	307	清水区	その他	再整備・移転について	現庁舎の移転をさせることが本当にサービスの向上に繋がるとは考えられない。現在の場所で回収整備することで十分機能を向上させられます。 新庁舎を、南海トラフ地震の発生が言われている最中に津波浸水想定区域に移転の●●は実行されるのは当たり前ですが、莫大な予算を使い、災害直後からは当分の間は業務の継続などはおろか、漂流物・船舶等の衝突など、その機能を活用することなど、また気象条件を考慮すれば全く利活用は機能しません。そのような地域への庁舎移転は知識人のハジだ！！ 新庁舎の建設によるまちづくりを考えること自体が全くナンセンスだ。現庁舎を主体にしたものを発展させることがより良い町づくりが完成されるし、無駄な金づかいを防止できる。 清水の将来を見据えた計画とは到底考えられない。人気取りの政策としか思えないものでなく、絶対反対。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
914	309	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	場所的にはマリナート、テルサなどと並んだところにあり、アクセスは港湾道路と島崎からとなるので、イベントなどがあつた場合、道路が混雑して利用しにくい。また津波被害が発生した場合、周辺道路が使えず庁舎としての機能を発揮できない。 庁舎の構造としてはピロティ形式で災害に強いといわれていますが、実際津波が発生した場合、庁舎の周りはがれきで埋まり災害対策の関係者が庁舎に近づくことが困難となり、災害対策機能が発揮できないと思われます。津波被害が想定される所へ行政サービスの拠点を置くことが理解できない	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
915	309	清水区	その他	再整備・移転について	新しい庁舎予定地は海岸沿いにより、エリアの価値を高める庁舎とは思わない、もっと内陸の場所を、例えば桜ヶ丘公園や月見公園などを利用した方が地域の発展に繋がると思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。					○
916	310	清水区	その他	再整備・移転について	今の庁舎でも何も問題ないと思います。税金を使って新しくする必要はないと思います。 本当に災害が起きて大丈夫でしょうか。不安で仕方ありません。浸水は免れないのでは。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があつたことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。					○
917	310	清水区	その他	清水のまちづくり	病院も安全な場所であってほしいし、庁舎も同じです。まだまだ説明不足です。将来子供たちに残すのもっと安全な建物と場所であってほしいです。なぜどうしてあの所に建てたと言われたいにも。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
918	310	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	人とまちを繋げるための庁舎、それなら土曜も祝日も休まない使える使いやすい庁舎であってほしい。	区役所の土日開庁や開庁時間の延長については、現在、3月下旬から4月上旬にかけて実施しております。平成28年1月からは住民票等のコンビニ交付も始まっていることから、この期間以外の時期については、行政コストを比較しながら、必要に応じて検討していきたいと考えています。	○		○		
919	311	清水区	その他	再整備・移転について	海に近いところに清水庁舎に移転なんてとんでもないです。周りの方は同意見です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
920	312	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅の駅前広場に面し、ペDESTリアンデッキで駅に直結しているため鉄道やバスの公共交通により誰もが利用しやすい庁舎になっていると思います。また、車での利用も広い道路に面しているため今の庁舎よりもわかりやすく利用しやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
921	312	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティで津波浸水深より高くなっているため、津波の災害が発生した時でも庁舎や防災拠点としての機能が発揮できると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
922	312	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅周辺は河岸の市は多くの人で賑わっていますが、それに比べ、駅前には閑散としてイメージが強く、庁舎や民間施設ができることにより駅周辺のまちの賑わいが期待できると思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
923	312	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	今の庁舎のように静鉄により利用する人のことも考えたと新清水駅からも利用しやすくすると、もっと良い庁舎になると思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
924	313	清水区	その他	再整備・移転について	今現在の庁舎は場所としては災害が起きた場合には弱く適した場所であるとはいえないと思います。移転計画にある場所は現在の庁舎よりもさらに災害が起きた場合には危険な地域であると考えため、津波などの影響を受けない場所への移転をめざすか又は現庁舎をより強硬なものになるよう手を加えるなどして業務を継続していくことがのぞましいと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
925	314	清水区	その他	再整備・移転について	現在の清水庁舎を新しく、津波災害が懸念される、より海拔の低い地域に作る事は断じて反対です。それよりも増々高齢化する市民が安心して使える内部改装で備えた方が節税も出来、それについての市民の意見を聞く機会を作ってほしい。 2018年9月NHK放映された“メガ地震”で第一に日本平から見下ろした清水区が取り上げられました。今でさえ海拔2mという不安な地に更に危険が増すという場所に（桜が丘病院を移設）ダブルで設置するとは、到底納得出来ません。従って、災害発生時実務が継続どころではないと思います。今の建物をより強固にされれば出来ると思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
926	314	清水区	その他	清水のまちづくり	「人」と「まち」がつながるエリアとは、例えば清水銀座、清水駅前銀座、次郎長通り等、昔からある町並みを（現シャッター通りが余りにも多い）改善し、若い人達が喜んで訪れる町～しいては毎年増加する海外からのお客様にも楽しんでもらえる町作りが先決だと思います。 上記の事柄は、客船ボランティアで何度も現状に直面し、町作りをなんとかしてほしいと切実に感じている次第です。所謂新清水庁舎建設の事より、血税をもっと他に有効使用して下さい。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
927	315	清水区	その他	再整備・移転について	現庁舎は機能的に満足している。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
928	315	清水区	その他	再整備・移転について	災害や津波の心配が有るなら高台に移設するべきだ。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
929	316	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波や液状化等で危険と云われている中で話しをすすめないでほしい。 同じ場所で災害が発生したら混み合う道路異常と思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
930	316	清水区	その他	市民周知・市民参画	市民に意見が届く様にして下さい	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
931	316	清水区	その他	清水のまちづくり	駅前の商店の活性化にもっと取り込める様に	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
932	317	駿河区	その他	再整備・移転について	清水庁舎を建てるなら、津波がくると予想される所にてたてないで下さい。すでに津波の被害があったところでは移転をしているではありませんか。安全な生活ができるような施策を望みます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
933	318	清水区	その他	再整備・移転について	将来を見据えた庁舎の側面からみると、東海トラフ南海地震がいつきてもおかしくないと言われているのに、すぐ津波が到達する場所に市民生活の拠点となる庁舎を設置するようになっている。設置場所は考え直すべきである。津波が到達される場所では人やまちが守れない。津波を防ぐための建物やアクセス道路には余分な税金がかかりすぎる。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
934	318	清水区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	清水駅から新庁舎にむけたバスを出したり戸籍など市民生活に直接関わることは地域の生涯学習交流館をもっと活用すればよいこと。商店街発展、観光を盛んにすること、行政である庁舎と一緒にする必要はない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
935	318	清水区	防災の拠点	防災全般	新聞折り込みに入っていた津波の予想図はおかしい。清水駅方面から津波がくるようになっていたが、清水庁舎の方からくるのではないか。市民に津波の被害が庁舎にくることが少ないように思わせる意図を感じた。	JR清水駅周辺への津波は江尻漁港からの浸水が予想されます。 基本計画の策定にあたっては、検討委員会を公開するとともに、委員会開催ごとにニュースレターを作成し、清水区で組回覧を行ってきました。また、検討委員会の会議録や資料は、区役所の市政情報コーナーや市ホームページで公開してきましたが、今後も事業の進捗等については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。				○	
936	319	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎の機能性も効率も安全あつての事です。何年も前から予測されている大地震を見据えるのが将来性につながると思います。大地震発生の際は避難は高台へと誰もが考えます。海に近づく事は避けたいです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
937	319	清水区	その他	清水のまちづくり	港中心の町を少しずつ高台の方に持って行く事を考えてほしいです。桜ヶ丘高校の場所あたりに庁舎やマリナートを造ればよかったのにと後悔してしまいます。私は東日本大震災の2年後に陸前高田に行きました。一本松しか残らなかった町に立ち、人々が必死にたどり着いた避難所が水没していく中での絶望感や無念さに暗たんたる思いがしました。ニュースではわからない光景でした。1000年に1度の大災害を教訓にしなくてはと思います。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
938	320	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	(1) ペDESTリアンデッキの採用、庁舎の移転 これまで、庁舎を訪れたことは複数回ほどしかなかったが、アクセスしやすい場所・構造になると交通手段や年齢にとらわれず、幅広い層の人々が利用するようになると見込まれる。デッキには、屋根がついていると更に好ましい	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。			○		
939	320	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	(2) 屋外デッキの設置 公的手続き等がなくても訪れるきっかけになり、利用しやすく機能的だと思う。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
940	320	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	(1) ペDESTリアンデッキの採用 浸水や津波が生じた際に、移動・避難ができる空間スペースがあるという事は良いと思う。駅の利用者もこのデッキを活用して、庁舎に避難できるという点でも安心できる。 (2) 通信機器の充電ができる体制が整っていると、避難した後も安心できて良い。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
941	320	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	(1)ピロティと屋外デッキの平常時利用駅を利用する際の待機場所として利用したいと思う。清水駅を利用する機会が度々あるが、構内のベンチはわずかで、利用できない事が多い。その為、休憩スペースとして活用できると嬉しい。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
942	320	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	(2)民間施設の誘致候補に宿泊施設とあるが、最近では西口元西友跡にもビジネスホテルができ、現状でも十分だと感じる。特産展やマルシェ、ポップアップショップが入れば、一回だけでなく何度も訪れる人が増えると思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
943	321	清水区	その他	再整備・移転について	静鉄駅の近くがいい 桜ヶ丘公園をなくすのはもったいないですが、利用しやすい所が良い。病院も併設したら市民の利用しやすい場所になる コミュニティホールもつくったら良いと思う。防災上も桜ヶ丘公園が良いと思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
944	321	清水区	その他	清水のまちづくり	人口は減るのはしかたないと思う。商業施設だけではなく住みよい町づくりがいいと思う。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
945	321	清水区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院を現庁舎にもっていくのも反対です。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
946	322	清水区	その他	再整備・移転について	現庁舎は、S58年に耐震性をクリアした地下0数メートル掘削したもので、耐用年数に達していない。これを分に活用する余地があり、これを撤去する必要には大きな負担になるし、跡地利用を桜ヶ丘病院にと云うことには断じて賛成出来ない。	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
947	322	清水区	その他	再整備・移転について	津波浸水地域に防災拠点など考えられない“子供でも分かるようなもの” 清水を知らないものの計画立案としか考えられない。9年月7日の東南海地震で、東燃タンクが倒れたのを知らないのではないか。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
948	322	清水区	その他	清水のまちづくり	今から中部横断道ができるのと街の様相は変わってくるに違いない。「人」と「まち」のつながりで大事なものは建物ではなく、市に欠けているソフトな面である。“子育て”教育、高齢者への配慮、これらの生きがえこそが街を活性化させるものになる。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
949	322	清水区	その他	市民周知・市民参画	静岡、清水の合併の条件の第一は、両市の特性よいところを伸して行こうということにあった。例を挙げれば、公民館活動これが地域の中核になって街づくりをつりあげた。これを今台無しにするような施策には断固反対。市民の意見をよくきくこと。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
950	323	清水区	その他	市政全般	庁舎を誰も利用又は機能的か効率的かは建物自体ではない。そこに市民を受け入れる姿勢にある。法律や規則等を基に、書士指導を行っているが、そこに幾分なりとも冷たい目ではなく、暖かい目が必要に思う。でも最近窓口の対応がとてよくなっていると思います。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
951	323	清水区	防災の拠点	防災全般	いくら立派な庁舎を建設しても周りの環境がととのはないと意味が無い 災害に強い機能をなしている庁舎であっても周りの状況から判断しても、とても無理と思います。岸壁に魚市場ならともかく庁舎の建設は考え問題であると思います。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
952	323	清水区	その他	市民周知・市民参画	庁舎、病院、商業地帯、多目的広場等が一つのエリアに集中する等は理想であるがJRをまたいでいる街は開発が難しい。どこの市街地でも駅の北口、南口とかで両方がうまくは行かない。ましては、清水区は海岸線にそっているため、考える必要がある。青写真にこだわらず、市民の声をもっと聞き、市民ほんいの開発を望みます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
953	323	清水区	その他	再整備・移転について	清水庁舎を駅南口に今ある庁舎を桜ヶ丘病院の建設案で色々問題点で議論しているがつの物体は市民にとって一番利用する場所であるが、なぜあえて津波浸水区域に建設するのか。また莫大の予算をつぎ込んで市民の税金を無駄にする事はない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
954	324	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	「東西方向のアクセス性の向上」とあるが、現在、バスの降乗口は駅西側にあり、高齢者や障がいのある方が新庁舎まで歩いていくには少々距離があるように思う。その場合に東側にバスを回遊する新たに乗入口を設けることはしないのか？	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○			
955	324	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	「周辺の空き店舗などに打ち合わせスペース等を設ける」とあるが、地域の活性化につながる一方、利用者が限定され、利用回数が増えないのではないのか？また、新庁舎に会議室は多くはいらないのではないのか。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○			
956	325	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅前銀座など、かつて栄えていた商店街が最近では活気が薄れています。新庁舎建設により、かつての活気を取り戻せるようにしてほしいです。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
957	326	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	手続きのワンストップ化を目指してほしい。ユニバーサルデザインに配慮したサイン計画をしてほしい。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能、庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
958	326	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	避難した時にも使用できるトイレ、電源、飲料水（上水）の確保して下さい。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
959	326	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	市民が使える共有スペースの整備をお願いします。（展示室、セミナー室、学習室、図書館など）	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
960	327	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	駅直結の庁舎は、全国的にも珍しいと思います。ぜひ、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れた庁舎にしてください。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○			
961	327	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	富士山と海の眺望が素晴らしい庁舎になってほしいと思います。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
962	328	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	どの区役所も暗く感じます。天井や照明を工夫して明るい庁舎にしてください。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
963	328	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	周辺の公共施設や駅前広場と連携したイベントが完済されると面白いと思います。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○				
964	329	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	現在の清水区役所にはエスカレーターがありません。計画で示す下層階はエスカレーターで行き来ができると良いと思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○			
965	330	清水区	その他	再整備・移転について	今後、ますます高齢化がしてくる時に、津波等災害が発生する可能性のある場所に市役所を建設するのが疑問である。新庁舎にピロティの上に窓口部門を造るとありますが、災害時ピロティ（駐車場）が浸水されてしまったら、避難できないではないか。もしなどの仮定で庁舎を設計するのではなく、安全な場所に建設することが望ましい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
966	330	清水区	その他	清水のまちづくり	災害時、一番必要な病院を津波浸水想定区域内に移転させた場合、肝心な時に使えないではないか。当然病院に到着する道路は浸水し、使用不可であろうと思う。清水七夕豪雨を思い出していただきたい。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
967	331	駿河区	その他	再整備・移転について	津波の心配のない所に移転して下さい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
968	332	清水区	その他	再整備・移転について	なぜ、わざわざ津波浸水想定区域に建てるのか？災害のおそれの少ない場所に建てて下さい。 津波浸水想定区域以外に建てて下さい。「南海トラフ地震」も想定されていることも心配 上記に書いた通り津波浸水想定区域でなく他の場所で交通の便が良い所をさがして討論した方がよい。～ヶ所別の場所の候補を出して下さい。 今回の提案場所「津波浸水想定区域」は絶対にやめて下さい	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
969	333	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎から遠い蒲原、由比、興津、草薙の方々がJRでワン・ストップで行けて良い様に思えるが、残念ながら彼等程自家用車を利用するので、現庁舎に比べて便利になる事はない。従って、まだ30年もの耐用年数ある建物を潰すのは「日本人の道徳意識」に反して大変モッタイない事である。誰が責任取るのか？	庁舎は、想定される大地震により、壁や天井、地下の電気設備などに被害を受ける可能性があること、また、建築後約30年以上が経過しており、海からの潮風等の影響による建築設備等の劣化が顕著であることから、今後数十年間庁舎として使用し続けるためには、「再整備」が不可欠であると考えています。なお、市民アンケートや障がい者団体などへのヒアリングにおいて、駐車場、駐輪場、窓口、待合などの改善、庁舎のユニバーサルデザイン化や公共交通機関の利便性向上などの意見があったことから、これらを踏まえ、対応していくことが必要だと考えています。				○	
970	333	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波が清水港を襲った時は「交通マヒ」が起こり、とても「災害対策本部」としての機能を担えない。東北大震災の教訓からすれば、海岸に建設する事は「正気の沙汰」でない。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
971	333	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	確かに現庁舎よりJRの駅に近い利点があるが、自家用車の人は踏切を渡るか、高架を超えねばならず、可なり遠回りしなければならない。多分、駅近くでの買物は期待出来ない。駐車場付きのスーパーへ行くだろう。JRで来庁した人も駅前商店街での買物は、ほとんど出来ないだろう。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
972	333	清水区	その他	再整備・移転について	(1) 軟弱地盤へのピロティ構造は工事費が割増しになり誰が追加分を払うのか？ (2) 袖師の消防署は津波に備えて厚生病院横に移設したのに、何故庁舎を海岸に？ (3) 0年以内に来るといふ大地震の発生時に「新清水庁舎建設基本計画」を作成した方々は、現実の惨状を見て、如何に責任を取るのか？	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
973	334	清水区	規模	規模について	庁舎というのはある意味シンボリックなものであり、デザインなど優先したものになりがちだが必要な面積や利用スペースの多面的利用、少子高齢化なども考慮して、本当に必要なものを求めていくという考え方はとても良いと思います。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○				
974	334	清水区	その他	清水のまちづくり	今後、さらに庁舎の位置については、賛否両論となるかもしれないが、この清水港周辺に住んでいる市民、働いている市民はいかなるリスクからも逃げる事が出来ないわけで、静岡市の覚悟として、この場所から行政は逃げないんだということをもっと前面に出して説明して欲しい。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
975	334	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	区役所そのものは、ただの拠点であって、価値を高めていくためには、施設をどのように利用してもらうのか、立地的にはとても良い場所なので、これまでの施設利用の考え方をもっと商業的に利用出来ることにもアプローチして欲しい。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
976	335	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	蒲原や由比地区からも、JRから近くなり、利用を考えるととても良いと思います。いち市民から見ると行政の皆さんの仕事の何が機能的で何が効率的なのか良くわかりませんが、「コンパクト＝せまい」にならないようにして欲しいとは思いますが、面積は少なくとも開放感のある（感じられる）施設がいいです。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
977	335	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	どこまでできるかだと思います。安全の確保の説明ってむずかしいと思いますが、災害の想定リスクにどこまで対応出来るのか、また出来ないのか、出来ない部分をどうするのかを示して欲しいです。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
978	335	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	私から見ればあくまでも区役所であって、用事が無ければ特に行きたいところではありません。でも楽しいイベントや催事があれば行くかもしれませんが、、、	市民が行きたくなる区役所については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
979	335	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	清水の窓口として、明るいイメージの庁舎となるように楽しみにしています。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
980	336	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎迄の交通の不便がある、市民が行き安いかと言う点では行きにくい場所。庁舎その物は機能的と思われる。将来的には今取り沙汰されている南海地震の渦中に入る庁舎、場所として不都合と考える。初めから災害に合う場所を選択する事が異常！災害が発生した時から機能出来なくなる場所に建設される庁舎としては不都合と考える。津波に飲まれた時点で業務機能がなくなる。機能復旧されてもその間は区民は放置されている。今までの国内での地震災害地が示している。海そのものが市民(区民)と遊離されている現時点では区庁舎の在り方を根本的に考えるべきで安易に其の場の発想は不都合と考えます。区庁舎は区民の行政の中枢であり一刻として機能の停止は許される事ではありません。とするならば堅牢な建築物であれば災害時に被害が最小に治まる場所に建設すべきだと思います。区民の誰もが納得出来る場所に建設すべきです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○		
981	337	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎は、JR清水駅から近く、駅と庁舎がペDESTリアンデッキで繋がっているため、現庁舎よりもアクセスが良く、とてもいい案だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
982	337	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	新庁舎は海沿いの土地に建設予定ですが、地震や津波の対策がしっかり取られており、災害対策拠点としても機能することを知って心強く感じました。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
983	337	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティは、雨や真夏の日差しを避けられる広大なイベントスペースになりますので、オクトーバーフェストのようなイベントが開催できるのではないのでしょうか。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
984	337	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	現庁舎は、見た目も古く、地震や津波に耐えられるか心配ですので、アクセスの良いJR清水駅の近くに早く新庁舎を建設してください。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○			
985	338	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅の近くになるのはとても良いと思います。コンビニはセブンイレブン等の大手にしてほしいです。今までは駐車場もせまくて、駅からも遠いので不便でしたが新庁舎は誰もが訪れやすいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
986	338	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティやペDESTリアンデッキなど災害に対して先進的だと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
987	339	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近いという事でアクセスが便利	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
988	339	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	12,800人が避難できるという事で防災力が向上するかなと思う。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
989	339	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	屋外デッキなどイベント等が出来る施設があるという事で、色々な人が利用する事が出来そうで良いと思う。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
990	340	清水区	その他	再整備・移転について	[1]基本方針:清水区民の行政サービスの拠点について 反対意見:計画の基本方針の第一に、“行政サービスの拠点化”として、利用し易い、効率的、将来性を挙げ、建物の構造、階層、各課の配置を検討している。これらは、庁舎の位置が妥当とされてから検討されるものであり、本末転倒している。市民への行政サービスは建設位置で決まる。この位置が妥当であると市民が納得してから、その後検討すべきものである。 反対意見:建設場所をJR清水駅東口と決めているにも拘わらず、その場所の特異な条件を考慮した具体的な(技術的な)検討が全く記されていない。机上の空論である。 反対意見:この計画は“清水駅東口での建設ありき”でつくられている。ここへの建設の妥当性、市民を納得させる説明は皆無である。即ち、市長、行政が第一に説得せねばならない市民を蔑ろにした計画であると言わねばならない。市民、子や孫のための清水区を対象とした区庁舎建設の目的、建設位置の妥当性を最初に、真剣に検討して、やりなおさねばならない	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○		
991	340	清水区	その他	検討委員会	[2]基本方針:清水区の防災拠点について 反対意見:有識者、市民による「静岡市新清水庁舎建設検討委員会」で重要項目(建設地点、災害)の検討がなされていない。委員の意見をあつたが、内容の検討はなく、計画書にも反映されていない。なんのための委員会であったのか。 反対意見:僅かに防災を記述した上記の節においても、災害危険域内のJR清水駅東口を建設位置とすることを前提として、そこでの防災対策を述べているのみである。“建築場所の危険性”から市民の目を逸らそうとしていることが明らかである。安全な建築場所を選定すれば、建築構造の議論は不要である。本末転倒の計画書である。 反対意見:「静岡市新清水庁舎建設検討委員会」の委員には、地震、津波の専門研究者が含まれていない。従って、具体的な対策は議論されていない。 [4]その他のご意見について 反対意見:本計画書では、基本方針を三つ挙げている。その一つは、“災害に強い防災機能の充実”である。それにも拘わらず、新庁舎を津波危険域に建設することを大前提としており、計画の目的、方針とは真逆である。 反対意見7:計画の基本方針の一つとして“災害に強い防災機能の充実”を挙げている。しかし、60ページの本編を通じて、“防災”に関する記述は第章に5ページ見られるだけ(8%)である。さらに、ここでも建設地点は災害危険域内のJR清水駅東口を前提としており、建物の防災対策を述べているのみである。建築場所の危険性から市民の目を逸らそうとしていることが明らかである。安全な建築場所を選定すれば、建築構造の議論は不要である。本末転倒の計画書である。	検討委員会では、平成29年度に「新清水庁舎建設基本構想」を策定する段階から防災に関する議論をしていただいております。本基本計画を策定する際にも、同一メンバーで引き続き検討を行っておりますが、都市防災分野を専門とする方、建築分野を専門とする方、都市計画分野を専門とする方など多方面からのアドバイスやご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
992	340	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	反対意見:”ピロティ形式を採用し、あわせて津波漂流物の衝突に強い構造とする”としている。柱を太くすることだろうか。筋交いを多用することだろうか。なお、“ピロティ形式とは、柱のみからなる高い開放性を持つ構造形式で、外壁を設けないため津波が通り抜け”(計画書概要)と解説しており、矛盾することをなんとも思っていない計画書であり、市民を説得できていない。 反対意見5:”災害時は津波を通過させるピロティ機能、平常時は駐車場”(計画書概要)とされている。災害は平常時に前触れなく突然起こることを忘れていただろうか。平常時に駐車場としていれば、発災とともに車が流動し、柱に衝突してピロティ構造を破壊し、災害を拡大する。ピロティにすることの意味も忘れたのだろうか。あまりにも幼稚な検討でないか。 反対意見6:”津波発生時に周辺滞留者が安心して避難できるような、津波に耐える安全性を有する構造”、“津波が通り抜けることにより建築物等に津波が作用しないピロティ形式を採用”、“津波による漂流物の衝突によって破損・倒壊しない構造とする”としている。しかし、津波が通り抜けることにより、背後の住居、住民に直接津波が作用し、周辺地域の安全は損なわれる。また、“平常時は駐車場に”としており、これは津波が通り抜けることを阻害する。さらに、車の漂流、衝突によりピロティ構造(柱)は破壊される。 反対意見:”津波発生時に周辺滞留者が安心して避難できるような、津波に耐える安全性を有する構造”、“津波が通り抜けることにより建築物等に津波が作用しないピロティ形式を採用”、“津波による漂流物の衝突によって破損・倒壊しない構造とする”としている。しかし、津波が通り抜けることにより、背後の住居、住民に直接津波が作用し、周辺地域の安全は損なわれることをなんとも思っているのか。これが”まちづくり”であろうか。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
993	340	清水区	その他	市民周知・市民参画	基本方針:清水区のまちづくりの拠点について 反対意見:前回のパブリックコメ、タウンミーティングでは、市民の最大の意見が建設地点に関するものであった。本計画書では「基本計画の策定経緯」と謳っているが、市自体が主導したこれまでの市民の意向調査(パブリックコメント、タウンミーティング)の結果を無視しているとはどういうことか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員会を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
994	341	清水区	規模	規模について	・本編頁に、「本庁機能の静岡庁舎集約」とあるが現静岡庁舎に、清水庁舎から移転した部署が入るスペースがあるのか、その説明がほしい。仮にスペースがない場合、新たに庁舎を現静岡庁舎付近に建てたり、スペースを借りたりするのか。これは現段階で説明を受けておくべき問題だ。仮にスペースがない場合、これから建設する新清水庁舎にスペースを確保すればよいのではないのか。通信技術の発達により、庁舎間の距離は従前より問題にならないと考える。	ご意見の内容は今後の参考とさせていただきます。					○
995	341	清水区	規模	組織について	・本編頁に、「本庁機能の静岡庁舎集約」とあるが、清水庁舎で働く市職員が割以上減り、これまで以上に市職員が清水に来なくなり、清水区の昼間人口減や、長い目では定住人口も減少していくことが予想される。まちの賑わいもさらに減退するであろう。これでは本編頁の「清水をかつてのような活気あるまちにしたい」の思いと逆行するのではないのか。「職員自らがまちに飛び出していく」とあるが、そもそも市職員が減る中で活気あるまちになるのか。これに伴い庁舎も「コンパクト」いうが、清水をいっそう衰退させるだけではないか。さらに、見方を変えれば、静清合併の対等新設合併の精神がまた後退するという指摘もできる。清水が、発展する旧静岡市さんにいっそう吸収されていく。静岡都心はいっそうにぎわっていくであろう。清水の賑わいや合併の精神からも、本庁機能と職員数の維持や充実を求めたい。関係部局での再考・検討を踏まえ説明をお願いしたい。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
996	341	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	・本庁機能と職員を静岡庁舎にうつす、このコンパクトな庁舎計画が、なぜ/どのように、ワールドクラスの「国際海洋文化都市」実現の「ソーディングプロジェクト」になるのか、現状の説明ではわからない。コンパクトな庁舎と職員数による「生活機能の集中」や、「既存の公共施設や既存商店街と連携」すること、「職員自らがまちに飛び出していく」こと等で、なぜワールドクラスのまちづくりを加速させることができるのか、現状の計画では理解できない。さらに丁寧に計画(案)に書き込んでほしい。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
997	341	清水区	規模	規模について	・議事録を読むと、議論が「コンパクト」ありきのように見え、清水の歴史や静清合併の経緯を踏まえた、庁舎のあり方の議論が弱い。清水がまた小さくなるのかとの思いが生じる。清水の誇り・シンボルと思える庁舎になるのか疑問。旧静岡の方々には静岡愛があるのと同様に、清水に生まれた人間には清水愛がある。事務局は、委員の皆さんにこうした点での論点提示や資料提供をいっそう求めたい。	新たな庁舎は、単に小さくということではなく、充実した機能を持ったうえで、空間を効率的に活用したものにしていきます。			○		
998	341	清水区	その他	市政全般	・本編頁に「清水はその勢いを失わざるを得ない状況にあります」とあるが、静清合併から15年が経過しているにもかかわらず、なにか冷たく、「人ごと」のような感じを受ける表現ではないか。日々を懸命に生きる市民の心情に寄り添っていないように思う。温かさが無い。そのような側面も事実としてあるかもしれないが、表現を見直したり、SWOT分析でいう、近年の清水の「強み」や「機会」もさらに併記してほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
999	342	清水区	その他	再整備・移転について	将来を見据えるとは近い将来東海・南海大地震が来て、津波が来ることについて全く視野に入れていない案だと思います。津波浸水想定区域外の移転して下さい。 一番に活躍してほしい区役所が一番被害を受ける場所にあり区民を守る業務も出来ず、区民も行くことが出来ず全く行政の機能が果せないのではないかと。津波浸水想定区域外にして下さい。 皆疑問に思い、反対しているにもかかわらず、行動しない区民です。最後の機会と思いついて書いてみました。私達年寄りには死にますが、若い人達には将来があります。反対せずにはいられません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。					○
1000	343	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	予定されている場所は多くの住民にとって利用しにくい所です。車の場合、JRを渡らなければならない。バスはほとんどが駅ターミナルに向ってはいるが住民からすると利用に自分本位で利便性がよいとはいえない。ターミナルからかなり歩かなければならない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1001	343	駿河区	その他	再整備・移転について	津波の災害時建物が安全であっても、まわりの道路状況が悪くなるのは近來の災害の実例をみても明らか。現実を真剣にとらえた検討とは思えない。そもそも、津波想定域につくる必要があるのかの説明がない。まずその事から住民が納得できる説明をすべきです。安全な地域にすればこれらのすべての対策は不用になるはずです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1002	343	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	役所をつくることによってまわりに人のにぎわいが出るというのは大まちがい。清水のにぎわいが出来て来た、ドリプラまわりや港付近と逆方向に人の流れをつくらうとするのはおかし。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1003	343	駿河区	その他	再整備・移転について	移転には反対です。安全な場所にするのでなければ、今の庁舎をリノベーションする事で十分です。50年で10億の利益があるようないいかげんな予測をたていかにも民間利用が有利にみえる説明するなど一連の説明はとうてい信用できません。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
1004	344	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	長く清水に住んでいるが、予定地は経験上清水区内でも誠に不便な場所である。(JRで分断されているため、車での移動に不便) (バスの便については、清水駅行はせいぜい10分に1本位) 利便性が良いとは思えない。住民にとってJR清水駅は中心地ではなく街はづれである。大変利用しにくい庁舎になってしまう。このような場所にするなら、現在の役所で十分である。(リノベーション)	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1005	344	清水区	その他	再整備・移転について	想定される災害を真剣に考えたとはとうてい思えない。 近年の各地の災害の実例から何も学ぼうとしていない。あえて津波キケン域に立地せずとも安全な場所に立地しようとする方策を考えるべきである。示された案は安全な場所にすれば全て必要のない対策である。そもそもこの場所に移すことには反対である。建築地の決定について十分な説明をすべきである。 市の考える「人」と「まち」のつながりは、本当に住民の為を考えの中に入れておられるのだろうか？新しく施設を作るのだから、良いものを作るのはあたりまえの事である。そもそも建設地の決定について市がここにすると先に決めずに市民の合意をすべきである。予定の建設地に納得がいってなければ意見の出しようもない。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1006	344	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設誘致により賃料10億円を見込めるとあるが、根拠が全く不明である。推進課に問い合わせたところ、現在の地価をもとに算定したと解答があったが50年後の収入を推定する事など希望的楽観的な計画である。駐車場を民間にし、有料駐車場にし、役所利用者には無料にするとの事でしたが、無料にした分は市が業者に払うとの事なので、その分は利益(10億)から差引かなければならないはずであり、あたかも10億の利益があり財政負担が減らせるというのはアピールのための説明としか言いようがない。 このパブコメの募集は、市民の意見を広くきいたという事実をつくるためとしか思われない。	敷地を有効活用し、民間施設の誘致を目指すことについては、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1007	345	清水区	その他	再整備・移転について	行政サービス拠点化として、利用し易い、効率的、将来性をあげ、建物の構造、階層、各階の配置を検討しているというが、これらは庁舎の位置が妥当とされてから検討するもので本末転倒しており、新庁舎を津波危険域に建設する事が間違っています。まずは、最も基本的な事項「建設位置」の検討を市民を交えて行うべきです。 清水区の人やまちを守り、災害が発生しても業務が継続できる庁舎になっているかというが、地震や津波が起きたら業務はストップしてしまい、東北震災の教訓が何も生かされていません。基本方針の一つに「災害に強い防災機能の充実」とあるが、それにも拘わらず、新庁舎を津波危険域に建設する事が間違っています。防災拠点ならば津波危険域ではない安全域に建設するべきです。危険域に建設して危険を防ぐ方法を検討するよりも、安全域を探して建設するべきです。 清水区の「人」と「まち」がつながる、エリアの価値を高める庁舎となっているかというが、新庁舎を津波危険域に建設する事が間違っています。まちづくりの拠点にはなりません。ピロティや屋外デッキなどの公共空間はイベント等でも活用できるというが、地震が起きたら大パニックが起これ、ペDESTリアンデッキは、津波がくる前の地震で壊れてしまいます。危険な所には建設しないことが一番の安全です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1008	345	清水区	その他	市民周知・市民参画	◎昨年の3月、市民へのパブリックコメントを実施し、清水区からの応募者316人中130人(41%)の人が、「建設場所を再考すべき」の意見を寄せたのに、田辺市長は「市民の意見は聞くが、方針を変えない」と公言しました。あまりにも市民を愚弄しています。わざわざパブリックコメントを行う意味がなく、税金の無駄遣いです。私たちが毎日汗水流して働いた税金を必要なものに使って下さい。市民の声を無視しないで、意見を聞いて話し合いができる市長を望んでいます。 ◎「区庁舎建設の計画書」の中で、まず建設地の決定について市民に説明しなければならないのに、津波危険域に区庁舎を建設する理由や根拠は計画書のどこにも書かれておらず、どの機関で検討されたかも書かれていませんでした。市議会でもなく市長が決めたのでしょうか。 ◎田辺市長は、現庁舎を清水駅東口公園に移転させ、現庁舎の場所に桜ヶ丘病院を移転すると公表しましたが、現庁舎の場所も津波危険域で病院を移転するのは間違っています。安全域に病院を建設するべきです。危険域にある病院には入院したくありませんから危険域にある病院には受診しません。安全域に病院を建設して下さい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 今後も事業の進捗については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
1009	346	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の役所でも駐車場が足りない位なのに移転した先で地下を設けないのであればますます困るのではないですか？駐車場が分散するのは問題だと思います。とても将来を見据えて移転を考えているとは思えません。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1010	346	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が発生しても業務ができますか？もし津波がおこったら当然巴川にも水があふれるでしょうから移転した役所に山側の人は行けないと思います。それとも役所の人は年中全員がそこにいらっしゃるんですか？	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1011	346	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	役所があるから街に人が集まる場所ができるとは思えません。現在の役所のまわりに“にぎわい”がありますか？まち作りの拠点になるとは思えません。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1012	346	清水区	その他	再整備・移転について	東北の例を考えると浸水地域への移転はどうかと思います。他に場所がないのであれば現役所の機能をうんと縮小して出張所の規模にして安全な場所に移したらいかがですか？無駄な物は不要です。いずれにしてもにぎわい作りとは関係ありません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしています。				○	
1013	347	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水区は区の中でも人口流出が著しいです。移住希望者にとって、JRはとても馴染みのある交通機関で、清水駅に隣接した場所に、移住相談や行政手続きが行える庁舎があるのはとても安心感があります。移住者をよびこむことができる魅力的な庁舎を期待しています。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1014	347	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水駅周辺は、観光や工業の中心であるので、多くの人の命を守るために防災機能を是非強化してもらいたいです。海沿いが危ないと言っていたら港町は発展しません。港町清水のシンボルとなるような庁舎にしてほしいです。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1015	347	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	河岸の市がにぎわいを増し、マリナートでも多くのイベントが行われる中、さらなる観光の拠点として庁舎を位置づけていただきたいです。清水駅は絶好の富士山ビューポイントなので、展望台やご当地グッズの販売などを行ってエリアの価値が高まることを期待しています。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1016	348	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅とつながっているため、交通の便は良いと思う。静鉄新清水駅からのアクセスに工夫ができるのとより良い。(無料バス等)飲食店等入るので、人が集まる拠点として使えると思う。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1017	348	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	現在の庁舎は、老朽化している部分もあり、地震時などの津波が心配である。新庁舎にすることで、災害時に安全安心な施設として、使えらると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1018	348	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	港も近く、銀座も近い清水の中心部として良いと思う。JR清水駅がすぐそばにあることから、バスを利用して様々な場所に遊びに行ける拠点として生きていくと思う。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1019	348	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	区役所等に用がなくても、気軽に集まれるような庁舎になってほしい。カフェとか若い世代も集まれる工夫が必要だと思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1020	349	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・駅から雨に濡れずにアクセスできるのは便利だと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1021	349	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	・フリーアドレス制は生産性が15%低下する調査結果がでている。工事をせずに少ないスペースで多人数を収容する方針であれば有効だが、部屋の間取りが決められる新築時から計画するのは不適當と思う。採用の理由を教えてください。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1022	349	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	・デッキが避難スペースになっているのは、津波対策になっていると思う。 ・電気、ガス、水道、通信について災害時外部から切り離されても、どのように確保するか詳しく教えてください。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1023	349	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	・民間施設の誘致は良い案だと思う。 ・民間施設の誘致するスペースをさらに広げてほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1024	349	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・清水駅と直結しているのが、東西のアクセスの良さにもつながり、良いと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1025	349	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・駐車場を大きくしてほしい。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1026	350	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	高齢化が進み、市役所へ訪れる市民が多様化することが予想される為、ローカウンターや広いロビー、開かれたフロアになれば誰に開かれたフロアになれば、誰にとっても利用しやすく行政サービスの質が向上すると思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1027	350	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波被害が想定される場所ではあるが、災害リスクを考慮した上での設計や、階層構成となっている(ピロティ形式、地下フロアの廃止)為、災害時にも機能が失われない庁舎になっていると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1028	350	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	待合スペースの多目的化や会議室の市民利用が可能となることで、市役所窓口利用者以外の利用が増え、庁舎の付加価値が上がり、エリアの価値も高まると思います。	市民が使えるスペースや会議室については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1029	350	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	行政サービスを受けに来ただけでなく、ビジネスや憩いの場(イベントなど)、そして災害時の拠点となる庁舎となるよう期待しています。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1030	351	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	交通アクセスが良く商業施設が集まる場所に建設されるので、利用者の負担が少ない立地になっていると思います。また、駅直結のデッキや雨の日でも使いやすい駐車場ができ、利用者のことを配慮したデザインの庁舎になっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1031	351	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	海の近くではありますが、津波を想定して、設備室や活動拠点室を上層階に配置し、様々な備蓄を行い、災害時も業務が継続しやすい庁舎になっていると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1032	351	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駐車場や屋外デッキがイベントスペースとしても活用でき、街中に人を回遊させる拠点となることができる庁舎だと思いました。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1033	352	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅からのアクセスが良く、誰もが利用しやすい庁舎になっていると思う。駅周辺で必要なサービスが受けられるのはありがたい、高齢化社会にも対応していけると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1034	352	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティ形式やベDESTリアンデッキを設けることで、災害時の安全が確保され、被災後すぐに必要な業務を継続できる。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1035	352	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	駅周辺の好立地なので、緊急時の避難場所として最適である。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1036	352	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ等の庁舎空間を市民に開放することで、交流・活動の場となり、まちや人の活性化につながると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1037	353	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ICTの進展を視野に入れているコトは良いと思います。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1038	353	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水庁舎は最寄駅からキョリがあるため、雨に濡れずに行けるコトも良いです。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1039	353	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	入口が2階になる(?)とのコトなので、車椅子の方、ご老人の方へ配慮した設計になると良い。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1040	353	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	周辺の大規模施設とつなぐことで、避難できる人の数を増やす設計は素晴らしい。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1041	353	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	有事の際に、電気・水道etcのライフラインが生きているコトが重要であると感じるので、設備室を上層に配置するなどの工夫ができています。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1042	353	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティは休日のイベント利用など、高い開放性を秘めていると思います。JR駅も近いので、静岡ー清水間のイベント連携といった区をまたいだ取組なども可能ではないでしょうか。早く新清水庁舎に行ってみたくです。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1043	354	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	民間施設と併設しており駐車場の台数も確保されている。JR清水駅とベDESTリアンデッキで繋がっていることから利便性が高く利用しやすい庁舎になっている	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1044	354	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	JR清水駅を有する人の集まる地区で、津波被害から人を守る必要があり、津波避難ビルの機能を有する建物として重要であり、ピロティ形式の採用や高い水準の耐震性能が災害時に効力を発揮すると考えられる。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1045	354	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	JR清水駅周辺で民間施設と隣接した庁舎を総合的に開発することによって、庁舎を中心とした「街づくり」を行うことが出来ると考えられる。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1046	355	市外	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	よくわからない手続きの時間が短いと助かります	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1047	355	市外	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	待っている間も楽しめるものがあるといい	快適な待合環境の確保については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1048	355	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が起きた時にすぐ情報がまわるようにするのが大切だと思う	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1049	355	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	まちづくりに賛成 駅の周辺が賑わっていると、足を運びたくなる	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1050	356	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎周辺の道路が不便だった、(車から便利になると思う)	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1051	356	駿河区	その他	再整備・移転について	海っぺたの時点でもう…。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1052	356	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅近でいいと思う	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1053	356	駿河区	その他	市民周知・市民参画	市のホームページやパブコメ自体、若い子は見えないし書かない気がする	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、パブリックコメントは、一般的な市民参画手続であり、意見の数や賛否を問うものではなく、市民の皆さんから多種多様な御意見をいただき、施策案をよりよいものとするための手法です。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1054	357	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅バス停から雨に濡れずに来られるのは超高齢社会を見据えていて、将来的。健常者はもちろん、傘をさすのが困難な高齢者障害者も考慮されていて素晴らしいと思った。駅の近くにあるということは、交通の便があるということで良いと思う参考にした地域や建物があつたのなら、お聞かせ願いたい	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1055	357	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ構造は確かに津波に強いという印象があるが、この海の近さでこの構造が、波の高さを考慮しての波の威力を緩和できるのか疑問に思った、海の近くに高台を建てるという考えは素晴らしいと思うが、それが庁舎である必要性。もしピロティ構造の弱点である地震の揺れ、その後の津波に耐えられなかった最悪の場合、防災の拠点が消えた後のことを聞かせていただきたい	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1056	358	清水区	その他	検討委員会	意見1)有識者、市民による「静岡市新清水庁舎建設検討委員会」で行政サービスの拠点として適当であると結論されたのだろうか。もし、そうだとすれば、委員会は市民の将来を考えていなかったといわざるを得ない。 意見1)本計画書の「はじめに」において、“災害に強い防災機能の充実”を計画の基本方針としている。しかし、計画書(60ページ)の中で、“防災”については第2章でわずか5ページの記述である。本計画書においてだけでなく、市行政は清水区の災害、防災を真剣に考えていると思えない。 意見2)有識者、市民による10回にわたった「静岡市新清水庁舎建設検討委員会」で災害の検討がなされていない。 意見1)“区庁舎建設の計画書”であるから、先ず、建設地の決定について市民に説明せねばならない。しかし、津波危険域に区庁舎を建設する理由、根拠は本編のどこにも記述されておらず、どのような信頼おける機関で検討されたかも記されていない。 意見1)計画書には“これまでの大地震では、地震後の機能継続が困難となる事例が多くみられた。新清水庁舎は、耐震性能・対津波性能・業務継続機能を十分に備える庁舎とする”と書かれている。しかし、どのような新しい技術でそれが可能かは全く説明されていない。単なる作文である。	検討委員会では、平成29年度に「新清水庁舎建設基本構想」を策定する段階から防災に関する議論をしていただいております。 本基本計画を策定する際にも、同一メンバーで引き続き検討を行っておりますが、都市防災分野を専門とする方、建築分野を専門とする方、都市計画分野を専門とする方など多方面からのアドバイスやご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。					○
1057	358	清水区	防災の拠点	防災全般	意見3)コンビナートだけでなく清水港の船舶群が津波発生時にどのようにふるまうかが全く考慮されていない。 意見2)“コンビナート災害は、屋内退避により人的被害の可能性を十分低くすることができる”と示されているが、どのように“示された”かの根拠など全く記されていない。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1058	358	清水区	その他	市民周知・市民参画	意見2)市民による前回のパブコメ、タウンミーティング、さらに静岡市新清水庁舎建設検討委員会でも建設地の適否に関する意見は市長に無視された。それにも拘わらず、委員会、市民の声を取り入れて計画書をつくったという記載は虚偽であり、市民を欺くものである。 意見3)JR清水駅東口への区庁舎の建設という最初から結論ありきの計画書である。私たちは、子や孫、将来の市民に対して顔向けができない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1059	359	清水区	その他	再整備・移転について	私の意見1:区民に対する行政サービスの拠点となるかどうかは、建設位置が妥当であると市民が納得することを第一に検討してからです。計画の検討順序が間違っています。改めて計画をしておいてください。 私の意見1:計画の基本方針の一つとして、“まちづくりの拠点化”を挙げていますが、津波浸水域に区役所を建設して、市民をそこに導き、危険に曝そうというのですか。これをまちづくりの拠点化というのですか。建設位置が妥当であると市民が納得するか自問してください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1060	359	清水区	その他	検討委員会	私の意見2:“これまでの大地震では、…地震後の機能継続が困難となる事例が多くみられた。新清水庁舎は、耐震性能・対津波性能・業務継続機能を十分に備える庁舎とする”と計画書には記されています。しかし、どのような新しい技術でそれが可能かは全く説明されていません。単なる作文でないですか。 私の意見3:“大地震動に対しても耐震性能に余裕を持たせることを目標”と記されています。しかし、これまで一般的な知られ、用いられている“アイソレーター、ダンパーを使用”としているだけです。清水駅東口の活断層、埋立地という特異な建設地点に対して新たに採用する具体的、詳細な対策、構造についての記述は全くありません。専門的に検討していないのではないですか。あまりにも杜撰です。 私の意見4:地震時には上層階の重量にピロティ構造は耐えられないことを知っていますか。“設計方針は耐震設計と対津波設計の両面を考慮した構造を計画”としています。ピロティ形式は一般に地震に弱く、地震対策と津波対策は両立しないと言われていました。どのような方法で両立した構造にできるのですか。全く記載がないのは検討していないからではありませんか。 私の意見5:“津波が通り抜けるピロティ形式”、“津波による漂流物の衝突によって破損・倒壊しない構造とする”としています。しかし、津波が通り抜ければ、背後の住居、住民に直接津波が作用し、周辺地域の安全は損なわれます。このことを市民は知らないと思っっているのですか。	検討委員会では、平成29年度に「新清水庁舎建設基本構想」を策定する段階から防災に関する議論をしていただいております。 本基本計画を策定する際にも、同一メンバーで引き続き検討を行っておりますが、都市防災分野を専門とする方、建築分野を専門とする方、都市計画分野を専門とする方など多方面からのアドバイスやご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。					○
1061	359	清水区	その他	再整備・移転について	私の意見1:本計画書では、“災害に強い防災機能の充実”を基本方針の一つと記しています。それにも拘わらず、新庁舎を津波危険域に建設することを大前提としています。災害危険区域と市自身が指定したところにどうしてまちの拠点である区庁舎を計画するのだろうか。計画の発想から理解できません。 私の意見2:JR清水駅東口への区庁舎の移動、建設という最初に結論ありきの計画であり、“まちづくり”の議論から始まった計画ではありません。市民あつての“まちづくり”という認識はあるのですか。市民を無視した行政は市民への背信です。本計画の本当の目的は“まちづくり”とは別にあるのではないですか。 私の意見1:最も基本的な、また最初に検討すべき事項(建設位置)が何か、さらに、検討項目の重要度の判断もなく、その検討順序も支離滅裂な、市民の存在を無視した計画書です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1062	360	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅とつながるのがいい。誰でも市役所に行きやすくなると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1063	360	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	駅や立体駐車場等周りの施設とつながっているので災害時の避難がしやすいと思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1064	360	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ等災害時だけでなく平常時も活用できるのがいい。雨天でもイベントに使えるのは便利。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1065	360	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	飲食店等民間施設が入るのは嬉しい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1066	361	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	多目的トイレやキッズコーナー、授乳室があると、障害のある方、小さな子ども連れにも使いやすくてよい。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1067	361	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	近年はICTの進みが早いので、そういったことを見据えた計画であるため今後は進展していても対応できると思う。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1068	361	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	想定津波浸水深が2～3mと高いが、地下フロアを設けず、またピロティ形式であるので、被害を最小限にできると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1069	361	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	免震構造であり、救助避難スペースや緊急避難用デッキがあるのも安心できる。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1070	361	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	公共空間をイベント等に積極的に活用することで、にぎわいが生まれエリアの価値を高めることになると思う。基本理念通りの庁舎になるように期待しています。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1071	362	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	現在の清水庁舎は暗く、通路も広いとは言い難いので、ゆとりある通路になるのは良いと思う。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1072	362	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	震災後、節電により暗いので、もっと自然光を取り入れるようにして欲しい。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1073	362	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新清水駅からのアクセスについて少し考えて欲しい。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1074	362	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式の採用は良いと思う。また、耐震性能目標も高いものなので良いと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1075	362	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	今の庁舎には人が憩う様な場所がないので、広場やピロティが普段そういった場になる事は人がつながる事に役立つと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1076	362	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	景観への配慮も期待しています。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1077	363	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅直結(屋根付きのペデストリアンデッキ)となるため非常に利便性がよくなると思います。計画にもあるとおり、駐車場だけでなく、駐輪場(バイク、自転車)も確保していただきたいです。難しいかもしれませんが、静鉄の新清水駅からのアクセスも何かしら考慮していただくと、より利便性がよくなると思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1078	363	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ここ清水にも大規模な地震・津波が発生すると言われて数十年がたちます。ピロティ形式や免震構造は非常に良いと思います。防災対策には費用がかなり費用対効果も大切になりますが、庁舎(防災拠点)であることから、あらゆる災害を想定し、想定外で済まされないよう万全の対策を施していただきたい	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1079	363	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	この庁舎を起爆剤にして清水活性化に繋げていただきたい。民間誘致もヒトが集まる工夫を期待します。清水はサッカーの街でもあるので、エスバルスの紹介や応援ブース等も設置していただきたい。エスバルスの試合開催日のフラッグ掲示は続けていただきたい。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1080	363	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	現庁舎の耐震性不足や老朽化もあることから、スケジュールどおりに迅速に計画を進めていただきたい。よろしくお願いします。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○		
1081	364	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	子育て世代としては、やはりベビーカーを引いてそのまま各手続きができるような廊下が広い構造だと嬉しいです。おむつの取替スペースや、多目的広場、欲を言えば託児所があるとさらに利便性が上がると思います。託児所などは外から見えるようにすれば、高齢者の方々にも喜ばれるのではないかと思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1082	364	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	最新ICTは、日進月歩の進化を遂げています。時代に沿った行政サービスを提供するために、ロボットの導入はもちろんですが、最新型に入れ替わり可能なような仕組みを取り入れてもらとうとありがたいです。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1083	364	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震対策による1階のピロティ形式は大変良い案だと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1084	364	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	停電時でも運用可能なように設備機器を上層階に配置する案もよい案だと考えます。ただし、重量機器の取替には、レッカー等の重機の配置が必要になってくると思います。建設して終わりではなく、取替にも配慮した建設を望みます。	長期効率的に機能する庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1085	364	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時には、必ず停電し電気の供給が期待できません。その際、72時間継続した運転が可能な発電機の導入が基本となるかと思いますが、燃料の枯渇も考えられることから、十分余裕のある燃料の確保を望みます。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1086	364	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR、駐車場から雨風に当たらずに直接庁舎にアクセスできる点は大変よいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1087	364	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の誘致においてどこまで民間施設を選べるか不明ですが、駿河区にあるセントラルスクエアのような商業施設と河岸の市のような清水の観光施設のいいとこ取りができる施設だと人が集まる拠点になってくるのではと考えます。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1088	364	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波浸水区域と騒がれておりますが、駅東エリアにおける津波避難施設がない現在、この庁舎がこの地域の生き残る拠点となると思います。また河岸の市にいられている県外、市外の方々は、実際災害が発生した場合どこに避難してよいかかわからないと思います。その時に目の前に大きな公共施設があればともかくにもそこへ逃げようとすると考えられます。その砦としてやはりこの場所に施設があることが肝要ではないかと思えます。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1089	365	市外	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	高齢化が進む社会なので、屋外エスカレーターや動く歩道を設置してはどうか	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1090	365	市外	防災の拠点	防災全般	津波被害により周辺が流出物でいっぱいになると思う、建物は大丈夫でも、陸の孤島になる	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1091	365	市外	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	商業施設を駅のそばにした方がエリアの価値が高いと思う	ご意見の内容は参考とさせていただきます。					○
1092	365	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ペDESTリアンデッキの広さが中途半端なら東口全面をデッキにして広場にしたい方が魅力的だし、人も集まりそう	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1093	366	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎はJRの駅やバス停から直結するということですが、静鉄も清水駅まで伸びたらさらに利便性が向上すると思います。今清水庁舎にある部署が他の庁舎に移る場合、市民サービスが低下しないよう工夫していただきたいです	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1094	366	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が発生した場合、本当に防災機能が発揮できるかが分からないので不安に感じています。特に津波対策については不安を払拭するような対応策の広報をしていただきたいです	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1095	366	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	開放的で親しみやすい雰囲気作りをされていて、好感が持てます。清水の街の新しいエリアとして発展するのが楽しみです	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1096	367	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波避難ビルの機能を備えた庁舎は、これからの親水エリアの1つのモデルとして良いと考えます	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1097	367	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	何事にも想定以上のことが起こりうるとはありますが、考えうる限りの対策を講じた庁舎なら安心感を持てると思います	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1098	367	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水湊と呼ばれてきたように清水とみなとは一体のものと感じています。必ずしも庁舎が賑わいにつながるとは限りませんが、シンボルとしての庁舎があっても良いと思います	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1099	368	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	立体駐車場は賛成、他の施設(保健センター、動物園、etc)にも作って欲しい	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1100	368	駿河区	その他	市政全般	保健福祉センター・病院との距離がありすぎるので、医療救護の面で不安がある	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1101	368	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	マリナートが近いので、飲食施設など、マリナーと利用者にも使ってもらえる物を入れたいと思う	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1102	369	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	駅からペDESTリアンデッキで繋がるのはとても良いと思います。隣接する河岸の市との連携共有(駐車場・憩いのスペース)なども必要です	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
1103	369	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波避難ビルとしての機能は十分あると思いますが、事務スペースと避難スペースの区分けをしっかりとしないと、収容人数に差が出てくるのではないのでしょうか	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1104	369	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	現在の公園に建設するので、緑を生かした庁舎にしたい。	みどりを豊富に取り入れることについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1105	369	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	JRからの景観も意識してほしい。通常は富士山と港を眺める展望スペースもあると良いと思います。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1106	370	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	省スペースによる施設規模縮小の考え方は良い。周辺の遊休スペースの利用による活性化に賛成する。(無駄なスペースは作らない方が良い)	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1107	370	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震に対しての建物の性能は心配はないと考える。津波に対しては1F部分はピロティという考え方なので良いと思うが想定外はないという考えのもとで動いてほしい。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
1108	370	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ライフライン途絶時のバックアップ機能はどの位の時間を想定しているのか知りたい。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1109	370	清水区	その他	清水のまちづくり	集約型都市構造を目指すうえで、JR駅に近接する場所に庁舎機能を置く事は良いと考える。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
1110	370	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	歩いて楽しいまちは建物の低層階の魅力が大切だと思うので、ピロティとベデストリアンデッキを利用することに意味があると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1111	371	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅からデッキを通り新庁舎へ直接行けるので利便性が良いと感じます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1112	371	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	バリアフリーで移動出来るので誰もが利用しやすい庁舎になると思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1113	371	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害時には庁舎やデッキに多数の人が避難できるので、安心して利用できると思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1114	371	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	上階に設備室を設けているので、浸水の被害を受けずに業務が継続できるのは良いと思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1115	371	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	ピロティやデッキをイベント等に活用できると賑わいが生まれ、駅周辺のまちの活気につながると思います。オープンな庁舎になれば市民も親しみを感じながら利用できると思います。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1116	372	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階部分を津波が抜けていくことで、津波被害による倒壊を防止するという形式が斬新でいいと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1117	372	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	この周辺を車をきせず周遊できそうで素敵だと思いました。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1118	372	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	誘致する民間施設が気になります。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1119	373	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	執務環境の効率化や周辺施設の有効利用が検討されており、将来を見据えた計画になっていると感じます。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1120	373	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	周辺施設と平面・立面的な繋がりをもった計画で、異なる交通手段で訪れる来庁者にとって、利便性の高い計画であると感じます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1121	373	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	地震・津波の災害を見据えた構造・設備計画となっており、災害発生時にも業務継続が可能な計画だと感じます。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1122	373	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	景観形成(外観・自然・風景・ひと)に配慮された計画で、新庁舎の建設が、エリアの価値をより高めるものと感じます。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1123	374	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅や駐車場から直結することで、ベビーカーでも訪れやすい庁舎になると子連れでも利用しやすい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1124	374	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	今、建て直すことでICT化など取り入れやすくなり、サービス向上にもつながると思う。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1125	374	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	設備室が上階にあることは業務の継続性に安心感がある。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1126	374	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	同じく重要施設である駅とつながっていることにより物流や人の行き来に対する安心感がある。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1127	374	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅とつながることで、人が立ち寄りやすく集いやすい拠点となり、エリア価値は高められると思う。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1128	374	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティが出来ることで地上階に自然と人がたまるスペースが出来れば賑わいになる。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1129	375	市外	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	民間施設、駐車場、庁舎が、図では密集していて、ごちゃごちゃしている気がする。高齢者に向けたバリアフリーがあるのかや、電子化を説明するブース(高齢者向け)の設置はあるのか。	庁舎のユニバーサルデザイン、分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1130	375	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波が来た時の避難場所を増やした方が良い	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1131	375	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	屋根付きの広場にしたことはいいと思う	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1132	376	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	駅の東西と繋がる庁舎で災害にも強い構造であると思ったので、将来を見据えた庁舎であると感じた	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1133	376	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害に強い構造であるから、災害発生時の対応の拠点としてしっかり機能させることができると思う	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1134	376	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅やバス停から雨に濡れずに行ける構造であるので、利便性が上がっていると思うので、「人」と「まち」がつながる庁舎であると思う	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1135	377	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	三層構造になっており、分かりやすいと思う	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1136	377	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	拠点になると言っても、庁舎自体が市の防災拠点となっている中で、緊急避難の受け入れが可能であるのかが分からない、市の拠点として可動可能か？	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1137	377	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅と庁舎が近接しているというメリットを生かした建設計画になっていて、とても良いと思う。民間施設の誘致もあり、「人」と「まち」がつながるものになっていると思う	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1138	378	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	スムーズに受付できたりすれば、利用しやすくなるのかなと思います。発券機などを置くのもいいかなと思います	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1139	378	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水駅の近くに港(海)があるので、津波が来た際に避難や、助かるための安全対策を行っている(ピロティ)以外にもしてほしいと思います。ピロティ建築式はよいと思います	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1140	378	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅と清水区を繋げるものができるのは良いと思います	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1141	378	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	新庁舎が区民の人や来た人に利用しやすく、町の中心的なものになれば良いと思います。以前は少し駅などからも離れていて少し分かりづらかったと思うので、今度はとてもわかりやすい場所になると思うので、より利用しやすくなると思います	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1142	379	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	今の清水庁舎は暗いから明るめの内装にしてほしい、なるべく最先端の技術を使ってほしい	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1143	379	清水区	その他	再整備・移転について	海の近くという時点で防災拠点というのは難しいのではないかなと思った	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1144	379	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅の近くになると、家から遠くなるから嫌だなと思った	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1145	379	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	駐車場が車と車の間隔が狭いので、広くしてほしい	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1146	380	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から近く、ペDESTリアンデッキ直結していることは、非常に利便性が高く良いと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1147	380	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波対策は十分に検討されていることはわかるが、「想定を上回る津波が100%こないのか？」といった不安は拭いきれない。ただ、庁舎予定地が津波避難ビルの空白地帯ということから、今、検討されている構造・設備計画を備えた津波避難ビルを兼ねた庁舎は利にかなっていると思う。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1148	380	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	正直、価値が高まるかどうかは想像がつかないが、計画にある屋外空間の利活用イメージなどをみると、企画さえうまくやれば価値を高めるポテンシャルはあると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1149	381	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅に近づくことで、アクセスしやすくなると思いました。車のない人や高齢者などにとっても、主要施設が駅周辺に集まることで、利便性が向上すると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1150	381	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	現庁舎に比べ、格段に防災拠点としての力を発揮すると思います。最新の技術を駆使した、安全な庁舎建設に期待しております。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1151	381	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水駅と一体となり、駅周辺エリアのにぎわいを生む一因になってほしいと思います。避難用デッキが広場として活用されるのは、素敵だと思いました。期待しております。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1152	382	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に隣接で利便性は良くなると思いますが、多くの方が車で来庁すると思われます。駅西口側からアクセスの道路の少なさが気になります。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1153	382	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	将来は庁舎内部がどのようなのか柔軟性を持たせた計画に期待します。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1154	382	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害は想定外のことが多いので、最大限の耐震性能をしていることに期待しています。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1155	382	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	避難ビルとしては良いと思いますが、その後被災した人々が庁舎に訪れることがスムーズに行えるか液状化の問題も含めて心配になります。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1156	382	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	活力ある場所となるには庁舎だけではだめだと思うので民間施設が入ることに期待がもてます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1157	382	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	私個人としては、常駐している移動図書館があるとうれしいです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1158	383	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	施設を効率的に使用することを前提とした「コンパクトな庁舎」は実現されるかと思いますが、効率化しただけの床面積を単純に削減ではなく、「将来を見据えた庁舎」としてフレキシブルに対応するための余力を残せるような検討を行って下さい。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1159	383	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	エリアの価値を高める庁舎とするためには、敷地内の公共空間をつくるだけでなく、周辺施設への波及効果を考慮すべきであると感じます。具体的には、駐車場の台数は周辺施設の利用者等を含めて考えた方が良いかと思われます。	周辺施設との連携、駐車場の有効活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1160	384	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	非常にオープンな感じで好感がもてます。用途が多少かわっても柔軟に対応できる設計だと思います。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1161	384	市外	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	市民が興味を抱くような、行ってみたいと思えるデザインの庁舎にしていれば自然と人が集まり、つながりのあるものになると思います。	市民が行きたくなる区役所については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1162	385	市外	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	障害のある人、お年寄りなどが使いやすいユニバーサルデザインを取り入れたことは思いやりがあっていいと思います	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1163	385	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水市は清水港、つまり海に接しているので、津波対策のことまでしっかり考えられているので良いと思います	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1164	385	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	屋外デッキなどの公共空間は、イベントで活用できるので、とても良いと思います。今後も市のために頑張ってください	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1165	386	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	機能的という観点からでは利用しやすそうで良いと思います	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1166	386	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害特に地震や津波に関しては不安が残ります、災害があっても避難場と同時に機能するのか、想定外にならないかが気になります	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1167	386	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	人とのつながり、流れはできると思います。経済的にもその周辺で金の流れができると良いです	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1168	386	駿河区	その他	市政全般	新清水の案については、おおまかに賛成です、募集期間が間際で時間がなかったのかもしれませんが、もっとプレゼンを聞きたかったです	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1169	387	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティの構造は良いと思う	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1170	388	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	窓口が多く、自分の用事にあった窓口が分かりやすくなっているのか？	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1171	388	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	(人やまちを守り、業務が継続する庁舎は)ありがたいと思った	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1172	388	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	商店街とは何か協力のようなものを行うのか	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1173	389	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅近くに移転するという点で、交通の便が良くなり、アクセスしやすくなるという点はとても良いと思うが、中心地に庁舎を移転することで、中心地から離れた場所に住む人々には不便にならないのか疑問に思った	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1174	389	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	現在の耐震基準を満たした構造にすることで、従来より格段に防災拠点としての役立ちものになり、とてもいいと思う	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1175	389	駿河区	その他	清水のまちづくり	駅周辺のまちづくりは進むかもしれないが、その他の地域についてはどのような対応をとっていくつもりなのか伺いたいです	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部ランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
1176	390	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅直結の庁舎を作ることで、利便性の向上を図れると感じます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1177	391	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	利用しやすい庁舎だと思う。今後、更に高齢化が進み、多くの年寄りが利用することからこれらを見越した工夫をしてほしい。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1178	391	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波の心配がなければ、現在計画している所が一番いいと思う。津波等の災害に対応できる庁舎になっていると感じる。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1179	391	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設が入るのか、その施設によって大きく価値が変わると思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1180	392	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に直結しており、現在の立地と比較してアクセスが向上して良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1181	392	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	駅直結ということで民間施設の誘致もしやすく財政負担の軽減にもつながる。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1182	392	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波・地震対策もしっかりと検討されており、災害にも強い庁舎になると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1183	392	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	アクセス、民間施設の入居等、人が集まる拠点として価値向上につながると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1184	393	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	行政サービスの拠点として立地条件は、JR清水駅、幹線道路沿いにあると利便性も高い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1185	393	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波対策としてピロティ形式を採用し、万が一の避難行動にもペDESTリアンを活用できるなど安全面にも考慮されている。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1186	393	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ベイエリアの市民が集うスペースとして発展が期待できるうえ、多目的な利活用も可能なエリアになると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1187	394	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅やマリナート等へのアクセスが考えられており、また将来の延伸も可能としたペDESTリアンデッキが整備されることで、将来を見据えた庁舎であると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1188	394	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティ形式であり、階層の構成も工夫されていることから、災害発生時にも業務の継続は可能と思われる。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1189	394	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅やバス停が近いことから、利便性が高く、広場や民間施設の活用により、ウォーターフロントエリアに人を呼び込む庁舎となっていると思う	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1190	395	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ペDESTリアンデッキにより駅直結のアクセスのよい庁舎になっていると思います	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1191	395	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティ形式を採用することで、災害が発生しても業務が継続できる庁舎になっていると思います	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1192	395	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキなどの空間をイベント等で活用できるため、人と街がにつながる庁舎になっていると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1193	396	清水区	その他	清水のまちづくり	津波の危険性のないところに区民が利用する公共施設は作られることが最も大事なことだと思います。災害時、建物の損壊は免れたとしても、その後区民が庁舎まで行くことができなければ意味がありません。マリナートでの催し物によく行きますが、人の流れはそれに合わせてありますが、公演などが終われば周辺にとどまる人はわずかで、心理的に津波の危険のあるところに用事がないのに居たいとは思わないことも理由の一つだと思います。新庁舎によって人と街が繋がりが、地域が活性化という図式は人間の心理面を考えていないと思います。新庁舎を作って地域の活性化に結び付くというような安易な発想はやめるべきです。私達はグランシップがかつて荒地に長い間立っていたことを知っています。まずは自然災害の危険の少ないところにその機能を十分に発揮できる場所を作りたいです	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部ランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1194	397	清水区	その他	清水のまちづくり	常々清水区のまちづくりの支離滅裂さに不満を感じています。清水庁舎、病院、郵便局、警察署など公共機関がバラバラ（新築の度に場当たり的に決めているのかと思うほど）各々が連携を取れるように出来るだけ近くの場所と思うのは私だけではないと考えます。年々想定外の自然災害が起きている現状を見ると、清水庁舎をどうして海とJR線路に挟まれたところに建築するのでしょうか？清水駅の隣とはいえ現在でも市民会館、テルサなどの施設を利用するのに、移動の自由が制限される場所と感じています	平成28年3月に改訂された「静岡市都市計画マスタープラン」では、集約連携型都市構造（コンパクトシティネットワーク）を将来都市像として掲げ、都市のコンパクト化と公共交通網の再編を連携して進めていくことを示しました。それを実現していくための計画として「静岡市立地適正化計画」を平成29年3月に策定いたしました。 当該計画の中で、中心部などの拠点エリアへ必要な都市機能を誘導し様々なサービスの充実を図ることで、魅力ある拠点の形成を目指しております。					○
1195	397	清水区	その他	再整備・移転について	災害が発生した時に、予定地では身動きが取れないのは現状を見て明らかです。司令塔になるべきところの足元が被災地になるのです、冷静な対応がとれるはずがありません。重要書類も心配です。単に土地があるのでという安易な決定をして欲しくありません。桜が丘病院の移転も反対です。どう考えても玉突きの結果ではないかと思っています。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1196	397	清水区	その他	清水のまちづくり	病院も桜が丘公園のとこにさせていただくのが、区民にとって一番便利です。何か区民の知らない別の事情があるのではと考えると一にも触れましたが、区民がわかりやすい利用しやすいこと、災害にも安全に対応できる場所を探していただけませんか、時間がかかっても未来に向けて希望を持てる街づくりを考えてください。社会は加速度的に衰退していきます。目先のことにとらわれてはきつと後悔します。あらゆる方面から検討して少しでも多くの人が納得できる街を作っていくてください。回り道でも良かったと思われ思える町にしてください。	JCH0(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
1197	397	清水区	その他	清水のまちづくり	清水区にはこれという目玉になるものがない。魅力を感じるものを育てて欲しい、ソフトでも(ハードでもと言っても中身がなければ仕方ないけど)、沈みゆく地方都市になってほしくありませんのでね。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
1198	398	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅の近くにあるのは良いと思うが、駐車場と駐輪場は広くあったら良いと思う。できれば無料	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1199	398	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害が起こった時にたくさんの方が一気に入ってくるように広い出入り口等がたくさんあればいいと思う	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1200	398	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎の中にカフェを作れば、関心を集められるのではないかと(若い人も)	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1201	399	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅が近いと車で来る人多そうなので、更に役所もできると、渋滞等周辺が混雑してしまいそうな気がします。その辺は大丈夫でしょうか	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1202	399	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ペットと一緒に避難できますか? できると助かります	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1203	399	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	室内ドッグラン等ペットを飼っている人にも嬉しい施設ができることを期待します	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1204	400	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	南海トラフ地震に対して対策されていて良いと思った	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1205	400	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	静岡が昔から考えている南海トラフ地震の津波に対して一階を駐車場(ピロティ形式)にするとしっかり災害時にも業務が継続できる作りになっていると思う	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1206	400	市外	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	待合場所にもなっているので、人が集まる環境はできていると思った	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1207	401	市外	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインを取り入れていることは良いので、具体的に知りたい。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1208	401	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	災害時だけでなく、平常時も活用できるのは良いと思う フリマなどイベントに活用できるのは良いと思う	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○	
1209	402	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近くなるので、清水区民は利用しやすくなると思う	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1210	402	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ形式や緊急避難用デッキを災害時や平常時、どちらも利用できるようにしたのは良いと思う	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○	
1211	402	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	公共交通機関が近くにあるため、清水駅、周りの価値が更に上がると思う	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1212	403	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅周辺に作り、イベントも行えるような庁舎(駅前の活性化)。シャッター街が目立っていた。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○	
1213	403	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	時間や手間が省ける、スマホを用いて業務ができる。(住民票など)	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1214	403	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	やはり気になるのは地震による災害津波による災害である、避難できる場所の確保、海が近いので、津波の対策が必要であり一階部分を空洞にする案はいいと思った、以前訪れた際、シャッター街や老朽化した建物があり、庁舎だけでなく周辺地域を守る策も欲しいと思った	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1215	403	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅周辺を通行する人が少ないと感じる、駅南側の広いスペースを利用したイベント(例えば新鮮な魚介が食べられるなど)。駅から遠くなく電車からも見えるため多くの人に認知してくれると考える。 エスバルスから北川選手が日本代表に選ばれました。エスバルスの選手とのサッカーのイベントも良いと考えています。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
1216	404	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近いことで市民の機能的にはすぐ効率が良いと思う	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1217	404	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	正直わからないが、そういうことができる(津波避難できる)建物構造にすれば良いと考える	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1218	404	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅も綺麗に整備されてきており、新しい清水庁舎もでき、清水区の印象や華やかさが演出できると思う 新しい基盤となり、街の活性化に繋がるので良いと思う	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1219	405	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	事業手法について	老朽化が著しい庁舎から、ピロティ形式採用された新庁舎建設を早期に望みます。	庁舎の建設スケジュールについては、本編P54の「事業スケジュール」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○		○			
1220	405	葵区	その他	清水のまちづくり	清水区民はこれからも清水=港町として共存しているべきである。清水区民は今までもずっと港町と共存し、これからも暮らし続けていくので、こんなまちにしたいこんなまちで暮らしたい思いを行政に訴えていくべきである。行政も清水のまちづくりに真摯に取り組む、案を提案しているので、反対ばかりはナンセンスで清水区のまちづくりを考えていないと思慮する。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
1221	405	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	清水区民は東日本大震災の再来を気にしているのかもしれないが、目線を変えるべきである。新庁舎は高層階に拠点を設置予定であり、なんら問題は感じない。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1222	406	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	建設地が駅、バスターミナル、幹線道路が近く市民がアクセスし易い環境が整っている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1223	406	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	想定される地震・津波に対応した耐震・対津波性能が採用されることで防災拠点として最適である。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1224	406	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	多目的に活用できる庁舎空間になることや人が集まりやすい場所であることから、人とまちがつながるために最適である。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1225	407	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	当該計画に基づいた場所が、清水区の行政サービスの拠点となるのが最適である。市民が立寄りやすい場所である。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1226	407	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	当該計画に基づいた場所が、清水区の防災拠点として最適である。南海トラフ地震の対策は万全であると考えます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1227	407	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	当該計画に基づいた場所が、清水区のまちづくりの拠点として最適である。「人」と「まち」がつながる理想的な地利条件にある。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1228	408	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	港町の雰囲気があり、景観も抜群の立地であることから、市民の集う場所として最適であると考えます。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1229	408	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	最大級の安全性がある免震構造とピロティ形式を採用している事で問題ないと考えます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1230	408	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場から雨に濡れずに庁舎に行ける事、ペDESTリアンデッキ等、利便性も高まる事、利便性に大いに活用できる空間が設けられる事でとても高まると考えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1231	409	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	市民が日常的に利用することを1番に考えた時、駐車場があり、駅からの直結アクセス、バス停など環境的には最適だと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1232	409	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波被害を考え、際、「ピロティ形式」で防災拠点を守り、災害に強いまちづくりの中心となる対策本部になると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1233	409	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	港町・清水の海洋文化拠点の中心となるエリアは駅と庁舎が同エリアにあることで、「人」と「まち」が動き価値を高めていくと思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1234	410	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の清水庁舎の場所よりもJR清水駅みなと口の方が、公共交通機関での来庁も概ね乗り換え不要で便利になると考えます。ただし、JR清水駅のバスが停まるロータリーは江尻口のみなので、雨具は不要でも、高齢の方や車いすの方は、バス降車後、階段やエスカレーター等を利用し、ペDESTリアンデッキまで上って、JRの線路を渡って来庁しなければならない為、課題はあると考えます。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○			
1235	410	清水区	その他	清水のまちづくり	東日本大震災時の津波で、海の怖さを知りました。だからこそ、みなと町である清水区の拠点(行政サービスの拠点も防災拠点も含め)が海から離れてはいけないと感じます。高台へ移せば、津波は来ないでしょう。でも、高台へ移せば、来庁することが難しくなる地域の方もいます。そういう点でも、海と共に生きる新清水庁舎の階層構成は大賛成です。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。 なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
1236	410	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	宿泊施設や飲食店、物産展を有した民間施設を併設するのは、万が一、被災した際も、官民一体となって助け合える拠点になると考えます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
1237	410	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	土地の賃料を50年で約10億円と想定しているようですが、年間2,000万円、ひと月167万円、1日およそ55,000円を利益から捻出しなければならぬ民間施設です。また、その頃には、庁舎の南側にある文化会館も施設が老朽化します。(建て替えもあるのでしょうか?)浜松駅に併設されているアクティビティのように、会議室やホール(文化会館の代わりになるような)結婚式場なども備えた民間施設が新たなまちづくりの拠点となることを期待します。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1238	412	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	(行政サービス拠点)賛成です	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1239	412	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	見た目を重視し、ガラス張りにした新しい建物が、台風等で物が当たり壊れてしまったことなどありました。資料のような綺麗な庁舎より、地震だけでなくあらゆる地震に耐えられる、要塞のようなものにしてほしい。(区の拠点として維持するため)	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1240	412	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	立ち寄りやすいイベント、良いと思います	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○	○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1241	412	市外	その他	市民周知・市民参画	昔の人の意見主張より、今の人の意見主張を取り入れて！	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1242	413	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	古い庁舎のと少し入りづらいため、新しくすれば入りやすいと思いました	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1243	413	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	いざとなれば新しく出来た庁舎に逃げれば良いという安心感を与えつつ、業務ができるのは良いと思った	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1244	413	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	新しい庁舎が立つだけでも、その周辺に新しく店が店出しやすい環境ができると思うので、私は良いと思います	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1245	414	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	由比・蒲原・興津からJRで内庁できる利便性を考えると、位置的には良い	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1246	414	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波の心配、大地震が発生しても業務が続けられるのなら安心だが、やはり自然災害には何が起きるかわからない不安がある、防災訓練を徹底し、PRしていくことで市民の理解を得るように努める	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1247	414	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	昔のように休日買い物に出かけるのが楽しくなるような商業施設の誘致。清水のこの場所でなければ購入出来ないブランド品を開発する	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1248	414	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	手続きのため仕方なく出かける場所ではなく、友人との待ち合わせ場所になるような庁舎であってほしいです	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1249	415	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅からのアクセスはマリナート同様連絡路で結なれることでバリアフリー化が進み、より市民に近づく庁舎になると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1250	415	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	河岸の市、清水魚市場等、人気の観光施設もあるので、緊急避難ビルとしての有効性もあり、構造上問題がなければ業務も継続できると思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1251	415	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	公共空間でのイベントは人を集め、（イベントの内容にもよりますが）、活気あるイメージを作りより人の集まるエリアになると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1252	416	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バスターミナル等があり、アクセスがしやすい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1253	416	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	新庁舎は、高層階にあり、安全であると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1254	416	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ウォーターフロントに庁舎があることにより、駅、バスターミナル等があり、又、将来予定？されているフェリーの発着場が移転することにより集人集客が予想され、「シャッター街」から脱出できるかも。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1255	417	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場が近く利便性に優れている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1256	417	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	液状化対策の実施、津波による建物の転倒防止できる「ピロティ形式」採用する事で防災拠点としての機能は行なえると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1257	417	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	JR清水駅周辺のまちづくりに欠かせない施設になると思う。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1258	418	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅やマリナートに近接していることから、アクセスのしやすい場所であると思える。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1259	418	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	庁舎の活動拠点室は津波浸水深より上階に設けられ問題無いと思える。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1260	418	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	屋根付きのピロティや、屋外デッキ等、使い方は非常に多岐に渡り、まちづくりの拠点となると思える。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1261	419	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	立体駐車場が分棟方式で整備予定であるため、庁舎までの距離が心配であったが接続されていること、ペDESTリアンデッキからのアクセスを考慮すると効率的な構成である。また、立体駐車場についても、現庁舎の駐車場状況に比べ、改善されるのではないかと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1262	419	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波の心配もあるが、ピロティ形式の採用、免震構造、液状化対策を行うということで安心できる。立体駐車場、各デッキ、庁舎内部で計12,800人の緊急避難が可能とのことで津波がきても安心である。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1263	419	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ペDESTリアンデッキにより、清水駅からのアクセスが向上してつながりが広がるのではないかと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1264	420	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	JR清水駅と静岡鉄道新清水駅からも徒歩で行ける範囲であるため機能的・効率的な観点からも非常に優れており今後清水を発展させていく上でも立地条件は良いと思った	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1265	420	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	耐震・津波に対してしっかりとした対策ができているが、利用者が役所に向かう途中で震災が起きることもあり、高齢者も多いことから少し不安を感じる	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等に参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1266	420	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅が近く、商業施設や公園等も徒歩圏内にあるため、そこに役所を置くことはエリアの価値を高めると思う	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1267	421	市外	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	IT化の時代なので、AI IoTを取り入れた効率的な行政を	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1268	421	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害発生時にも情報発信できるような拠点づくりを	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1269	421	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	シャッター街利用の工夫を	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1270	422	清水区	その他	再整備・移転について	①計画では“災害時と平常時の機能の両立を図る”とされています。しかし、これまで沢山の災害が起こっていますが、両立などとも考えられません。計画書の方法で本当に両立できているのでしょうか。災害を甘くみた計画です。 ①想定される東南海地震・津波による災害を真剣に捉えた検討がなされていません。机上の空論、作文に終始しています。 ②計画書の本文全体で、東南海地震・津波災害の襲来可能性を真剣に捉えていないように読めます。あまりにも楽観的な検討に終始しており、区庁舎建設に対する市長、市当局の行政に対する緊張感がありません。 ③計画書では基本方針の一つに“災害に強い防災機能の充実”を挙げています。それにも拘わらず、市自身が津波危険地区と指定している所に区庁舎を移転するのは、矛盾しているだけでなく、市民の安全を無視(または、災害など生じないと楽観)したものであって、市民を愚弄しているを想いません。 ④計画の基本方針の一つとして、“まちづくりの拠点化”を挙げているが、津波浸水域に区役所を建設して、市民を死の危険に誘うものです。これをまちづくりの拠点化とだれが考えているのでしょうか。建設位置が妥当であると市民が納得してから、その後に検討すべきことです。市民の命を軽んじていませんか。市民の命、生活を根底において、計画をやりなおしてください。 ⑤計画書には“現庁舎は耐震性が不足しており、防災拠点としての機能が発揮できない”と書かれています。それにも拘わらず、新庁舎を津波危険域に建設することを大前提としており、建設目的が矛盾しています。さらに、その選定の根拠、検討の経過はなにも書かれていません。市民は、ここを“まちづくりの拠点”とする市の考えを納得していません。 ⑥市民の存在を無視したこのような計画のあるまちには住めないと思子移住を考えています。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1271	422	清水区	その他	市民周知・市民参画	①タウンミーティング、パブリックコメント、市民の応募委員を加えた庁舎建設検討委員会を開催しましたが、ここでの市民の意見は計画書のどこにも見られず、全く無視されています。十分に市民の意見を聞いたという実績をアピールし、市民の反対を抑えることを目的としたものと推測せざるをえません。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1272	424	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	たらい回しにされないことがないようにしてほしい	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1273	424	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波等が来ても孤立しないのは心強い	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1274	424	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	イベント等が行われれば、人が集まると思うので、そこを活用できるのはいいと思った	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1275	425	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ペDESTリアンデッキでJR清水駅に接続され、立体駐車場も整備されることから、公共交通機関、自家用車ともに利用しやすくなっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1276	425	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波浸水深以上の高さが1階に設けられているため津波によって事務室が使えなくなることがない構造としている。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1277	425	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	区役所がJR清水駅の近くに来ることによって、駅周辺に人が集まりやすくなり、駅西側のアーケードエリアの活性化が期待できる。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1278	426	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	施設のバリアフリーに配慮され、市民にくつろぎを与える庁舎になると思います。JR清水駅に近くアクセスの良いところや駐車場の利便性も高まっている。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1279	426	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	現在の庁舎では、災害時の業務継続が滞ってしまうことから、基本計画による防災拠点としての役割を果たすための再整備が必要であり、この計画により災害が発生しても業務継続が可能になると感じました。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1280	426	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅周辺が再整備により、以前と比べ、格段に明るくなっている。さらに清水庁舎が新たに建設されることによりエリアの価値は高まると思います。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1281	427	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波危険が危惧されているので消防局に設置してあるような高所監視カメラを設置してほしい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1282	427	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	万が一の事態に備えて、同じ市の機関である消防隊や救急隊と連携がとれやすい庁舎としてほしい。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1283	427	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	新清水庁舎建設予定地周辺(駅東側)にもっと集客力のある商業施設がほしいです。エスパルスドリームプラザまでは遠すぎます。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1284	427	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水駅周辺エリアの価値は確実に高まっていると思います。期待しています。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1285	428	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ピロティ形式を採用しているので、地上(1階)から2階へのアクセスとして、階段、スロープだけでなく、庁舎、ペDESTリアンデッキにそれぞれエスカレータ及びEVの設置が必要に思う。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1286	428	駿河区	防災の拠点	防災全般	大津波発生時における大型や大量の漂流物(船舶、車両、建物、木材等)が、庁舎やペDESTリアンデッキに衝突する心配がある。これらの漂流物ごと、どのような対策をするのか示してほしい。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1287	428	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎空間を多目的活用するにあたっては、窓口閉庁時間以外の時間帯(土、日、祝日や夜間)の柔軟な利用ができる建物構造と運用とすべきである。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1288	429	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	公共交通の利便性も良く、各階層で部門がはっきりしているので分かりやすい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1289	429	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波が危惧される中、緊急避難機能も充実しており良いと思う。海上監視カメラが屋上に設置され普段から動画配信されると良いと思う。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1290	429	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水区の顔として、JR清水駅に降り立った時に近未来型の建物があることは、静岡市全体の魅力も上がると思います。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1291	430	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場はどうするのですか、清水駅周辺で祭りやイベントが行われれば、区役所に用事があってくる人の車を止められない心配があります。1人1台の時代です。駅周辺に買い物や日帰り旅行に出かける人も置いてしまっても構わないという想像はできませんか	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1292	430	清水区	その他	再整備・移転について	津波の心配が大きく大きくあるのに、なぜ港の脇に移動するのか、湾岸の消防署が、庵原に引っ越したのに、市民の個人情報を抱える区役所市民の生活を守る区役所をわざわざ危険な土地に移転するのはおかしい	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1293	430	清水区	その他	清水のまちづくり	区役所の老朽化よりも、病院の老朽化の方が深刻だと考えます、新区役所を作り引っ越して旧区役所を壊し、その跡地に病院を建てるのでは時間がかかりすぎてしまいます	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
1294	431	清水区	その他	再整備・移転について	建設の場所が海抜0mに近く、津波が来たらピロティやペDESTリアンデッキなどほとんど役に立たない、地震大国日本で津波に対処するには低いところから少しでも高いところへという簡単なことを実行する以外はない	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1295	432	清水区	その他	再整備・移転について	[1]基本方針①:清水区民の行政サービスの拠点について 私は90歳をこえた老婆です。津波危険域に指定されているところに建設して、清水区民が利用するでしょうか。将来を見据えた庁舎だとだれが思うでしょうか。子や孫、ひ孫のためにこの計画はやめてください。 [2]基本方針②:清水区の防災拠点について 1)津波危険区域に建設して、どうして“防災拠点”と言えるのですか。子どもをも馬鹿にしているとも気づかないほどに市長はじめ市の職員は論理性がないのですか。子や孫のためにこの計画はやめてください。 2)庁舎の建物の防災だけが検討されていて、周辺施設、住民にどのように影響するかの配慮が全く感じられません。 [3]基本方針③:清水区のまちづくりの拠点について 1)東南海地震・津波の襲来をどのように考えているのですか。このエリア全体がどのような災害をうけるか真剣に捉えた計画となっておりません。 2)コンビナートだけでなく清水港に入り、出る船がどのように災害時にふるまうかが全く考えられていない計画です。これで“まちづくり”とは行政としてあまりにも低級ではないですか。 3)“災害発生直後から業務が継続できる庁舎に”としていますが、これまでの多くの災害の例を無視した、全くの机上の空論です。 4)このような計画では、“まちづくり”どころか、人口は減り続けるでしょう。 [4]その他のご意見について 計画書全体を通して、東南海地震・津波災害の襲来可能性を真剣に捉えていないように読めます。希望的、楽観的検討に終始しており、区庁舎建設に対する緊張感が市民に伝わらない計画です。特に、子や孫に、良いまちをつくってくれたといわれるように、少なくとも、なぜこんなところに区庁舎をつくったのだと私たちが非難されることのないまちづくりの計画をやりなおしてください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1296	433	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	・駅利用者が駐車場を使っただけで、駐車場がいっぱいになり、庁舎の利用者が利用できなくなるようなことがないように計画して下さい。 ・ペDESTリアンデッキにわかりやすい案内表示をつけて、はじめて清水に来た人にもわかりやすく案内できるようにして下さい。(はじめて来た人の目線)	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。 また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。		○			
1297	433	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	・専門家の意見を聞きながら、防災拠点として最良な計画となるよう進めて下さい。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1298	434	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	現状や清水の地形問題点についてよく知らないが、駅からも直結していきやすいのではないと思う、そういった意味では、利便性は上がっているのではないと思う、後は案内や、分かりやすい配置にすることが必要。また使う中で改善ができると思う	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1299	434	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	実際に災害に対する備えがある建物である点は、そういった継続できる庁舎であると思う、あとは建物の機能の上にあぐらをかかなければ安全であるとする	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1300	434	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎が新しくなったところで、エリアの価値が上がることはないと思う、静岡に住んでいる身としては、清水に行く価値や意味が特にないので、それ以外の部分が大切だと思う、エリアの価値で言うと清水庁舎はどうでもいい	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1301	435	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水マリナートともデッキで結ばれ、一体的で素晴らしいと思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1302	435	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	業務は継続できる庁舎となっていると思いますが、津波で浸水した場合、救急車の侵入が難しいのではと懸念します。消防ヘリ等の離着陸場が設けられると、とても良いと料します。	業務継続機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1303	435	駿河区	その他	清水のみちづくり	庁舎建設予定地の北側(現在、民間企業の敷地)について、清水らしいサッカースタジアムの建設の構想などであれば、人も集まり、活性化し、更に将来を見据えた庁舎となっていると言えます。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1304	435	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅の西側からのアクセス道路が欲しいところです。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1305	436	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインや分かりやすく手続きしやすい窓口レイアウトに配慮されていて、誰もがとても利用しやすい庁舎になっていると思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1306	436	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	緊急避難用デッキや屋上の救助避難スペースが整備され、災害発生時でも来庁者や職員が守られる庁舎になっていて良いと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1307	436	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ペDESTリアンデッキにより、駅直結のアクセスが良い庁舎となっていることから、ピロティや屋外デッキなどの公共空間においてイベント等を積極的に開催すれば、駅周辺の活性化に繋がる“まちづくりの拠点”となると思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1308	437	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	十分な駐車台数さえ確保されていればいいと思います。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1309	437	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	懸念される津波の状況を監視するためには庁舎の屋上に高所監視カメラを設置し、災対本部や消防本部と映像を共有できたら有効な情報を共有できると思います。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1310	437	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と商店街に雨天でも濡れずに行くことができることはいいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1311	438	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	JR清水駅やマリナートをペDESTリアンデッキでつながっていることから、荒天時でも来庁しやすいと思う。イメージ図からしか判断できないが、ペDESTリアンデッキへ上がるために、障害者用のスロープがあると、避難に有効であると感じる。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1312	438	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波を想定し、よく考えられている構造だと思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1313	438	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	河岸の市やドリームプラザ等のPRブースを公共空間に設置し、それぞれのシャトルバスも付近から運行できればと思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1314	439	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	清水駅の直近であり、立体駐車場が併設されているため、来庁しやすい環境となっている。民間施設には買い物ができるような事業所が入ってほしい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1315	439	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水駅周辺で働く人たちの避難施設が増え、1階部分はピロティとすることで津波の影響を受けにくい、そのまま庁舎を災害拠点として活用できるため、よいと思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1316	439	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水区にきた観光客にも印象が残るような、モニュメント(まるちゃん、マグロ等)があればいいと思う。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1317	440	市外	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	窓口でできるだけ待つことのないようにしてほしい	分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1318	440	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波対策もしっかりしていて良いと思う	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1319	440	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅の近くで利用しやすい	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1320	440	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場の利用がしやすい	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1321	441	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現在の庁舎は、駅から少し離れているため、利用しづらいと感じています。なので今回の移転について賛成です。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1322	441	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	海の近くなので津波が心配でしたが、ピロティ形式などといった対策を聞き、安心できました。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1323	441	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	まちづくりの拠点となることで、清水が活気あふれる街になるのではと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1324	441	駿河区	その他	清水のまちづくり	海を利用したイベントや沼津のようにアニメ（ちびまる子ちゃん）とコラボしたりするイベントで子どもから大人まで盛り上がる街になると良いと思っています。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1325	442	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	誰もが利用しやすいという点が一番大切だと思います。駅直結のアクセスが良いというのはとても魅力的であると思いました。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1326	442	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	緊急避難デッキやベストリアンデッキなど、災害時に多くの人々が避難できるというのはとてもいいと思いました。南海トラフ地震などの災害が起こることが予想されるため、多くの人々が集まる場所に一番必要な機能だと思います。私の地元にもこのような防災拠点があつたらいいなと思いました。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1327	442	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキなどの公共空間はイベント等で活用できるとあったので、地域の人々が集える場所ができることはいいなと思いました。静岡市内の学校と連携してイベントを行うと楽しそうだなと思いました。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1328	443	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から雨の日も移動しやすいのは助かる	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1329	443	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	銀座の空き店舗を打ち合わせスペースに利用するのはいいけど、駅前がおかたい雰囲気になりそう。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		
1330	444	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	今までの清水庁舎と違い、明るく開放的で良いと思った。また、駅やバスからのアクセスがしやすく、とりあえず清水駅行きのバスに乗れば行くことができるのはとても良いと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1331	444	清水区	その他	再整備・移転について	津波が来たときに想定外の大きさの津波がきたらどうするのか。清水の中心となる庁舎が津波の被害にあうことありきなものは、いかがなものか。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅前公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1332	444	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	市民の生活に寄りそっていて良いと思った。ただ庁舎としてだけの義務をはたすだけでなく、市民が日ごろから利用するようになるというのは良いと思う。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1333	445	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結であるため、高齢者を含め、誰もが利用しやすい庁舎になっていると感じる。旧清水区役所の課題であった駐車場も立体で整備されるため、庁舎機能の向上につながると感じる。放置自転車が発生しないよう利用しやすい駐輪場の整備にも期待したい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1334	445	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波避難ビルの空白地帯への庁舎設置に始まり、緊急避難用デッキやベストリアンデッキなどによる緊急避難スペースの確保、ピロティ形式による津波対策など、防災拠点として十分な施設であると感じる。こういった施設を、実際に災害が発生した際に効率的に活用できるよう、ハード面では“案内看板”の設置等、ソフト面では“定期的な訓練の実施”など、実施していく必要があると感じる。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1335	445	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水区の価値を高めるには申し分ない施設であると感じる。駅前商店街とコラボしたイベントなどを実施し、清水区の活性化につなげてほしい。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1336	446	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅が近くなり交通機関を使い利用しやすくなると思うので良いと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1337	446	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	駅周辺の利用者がもしもの時に避難出来、災害後も可動出来るようになっていて良いと思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1338	446	葵区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	平常時に利用しやすい空間を作ることで、親しみを持ってもらい東口エリアが活性化されることを期待します。	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1339	447	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎が駅や民間施設とつながっていることで、出入りしやすい構造になっていると思います。また、地下道ではなく、ベストリアンデッキというところが災害時のことが考えられていてよいと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1340	447	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害に強い建物構造	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1341	447	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキなどの公共空間を利用してあらゆるイベントが開催されれば、人が集まる庁舎となり、誰もが利用しやすい庁舎にもなると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1342	448	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	車でも電車でも訪れることができるので、高齢者、車いす利用者、ベビーカーをひいた方など誰でも利用しやすい庁舎になっている。駅からベストリアンデッキでつながっていて、雨の日でもストレスなく来庁できるので、とてもよいと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1343	448	駿河区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	窓口の環境については、駿河区役所が待合スペースが少なく人があふれてしまっているため、その反省を生かして来庁者が快適に過ごせるスペースを十分確保してほしい。	快適な待合環境の確保については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
1344	448	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	地震、津波、水害などが発生しても大丈夫だと思う。周辺施設とつながっているところもよい。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1345	448	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ部分は雨天でも使えるイベントスペースになるので、にぎわいが生まれると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
1346	449	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅、バス停、駐車場から雨に濡れずに庁舎に行けるのは、とても便利ですし、清水駅の周辺に庁舎ができることで人が集まって来るような期待が持てます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1347	449	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波の規模が想像できませんが、充分対策を考えた上での庁舎になっていると思います(信じます)。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1348	449	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅周辺がただ通り過ぎるだけの空間ではなく、いろいろな施設が集まっていることによって活性化しそうな期待ができます。(マリナート、テルサ、庁舎)	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1349	449	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震、津波対策については、全国一と他の地域のお手本になるような充分な対策と堅固な建物をお願いしたいと思います。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1350	450	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅が近くなって利用しやすいと思う。前にバス停取得で遠くまで行かなければならないので大変だった。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1351	450	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波が高さ何mまでくるかは分からないので1階までで足りるかは分からないが1階から浸水するよりは良いのではないかと。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○			
1352	450	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	1階がイベント等に使えるのは、そのような場所が少ない清水では良いと思う	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
1353	451	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅のすぐ近くであるため、イベント開催時メリットが大きい。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1354	451	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	海の近く+高い建物で転倒や浸水より波が屋上まで被ったり、拠点にするには海に近すぎて安易に災害時に近寄れなかつたり等の問題がある。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1355	451	市外	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	イベント等だけでなく、もっと開放的なものを実施したり、作ったりすることが必要だと思います。(自主的に何かしなくても人が集まる)	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1356	451	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	屋上の出入口は海とは反対側へ 一上の(2)や屋上で何時間も過ごすため海風をしのぐ	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1357	452	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設を誘致することは、地域の活性化にもつながることなのでとてもいい案だなと思いましたが、誘致する民間施設でいろいろかわってくると思うのでその辺をもう少し詳しく知りたいと思いました。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1358	452	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	なっていると思います。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1359	452	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	子供とともに訪ねられるようにキッズスペースや外に遊具などを設置してみてもどうでしょうか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1360	453	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	確かに様々な公共交通機関からのアクセスも良く利用しやすい環境ができていると思います。民間企業を誘致することも、役所に対する固いイメージをとりきるのに役立っています。娯楽施設もあると若い人を集めることができ、そこで業務紹介をすることで新しい働き手の獲得にも繋がると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1361	453	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	避難した後に生活するために、飲食物の備えがしっかりされており、海沿いと言う危険な立地ではありますが、それでも浸水しない丈夫なつくりになっていてとても良いと思いました。庁舎から救助活動できるように、エンジン付きゴムボート等を備えているとさらに良いなと思いました。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1362	453	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	町おこしの起点として様々なイベントを開催できると魅力的だと思います。清水の商店街、エスパルスドリームプラザとあわせて緑日等を広範囲で開くことでたくさんの人を呼び込めるでしょう。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
1363	453	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	可能かどうか分かりませんが、被災後の避難生活中にちびまる子ちゃんのアニメを流すことができれば、避難者のストレスを柔らげる事ができると思うので上映セットがあると良いと思いました。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1364	454	清水区	その他	再整備・移転について	反対意見2:区庁舎建設の計画書”ですから、先ず、建設地の決定について市民に説明せねばなりません。津波危険域が区民の利用し易いところであると市長はじめ市の職員は考えているのでしょうか。災害危険地点に建設された庁舎で、災害時に機能的、効率的な行政サービスが受けられるなどと市民は安易に思っていない。災害時の”行政サービスの拠点”など絵に描いた餅と市自体も考えているのではないですか。市民無視の非現実的計画です。 反対意見9:危険域に建設して危険を防ぐ方法を検討するよりも、なぜ安全域を探さないのか、極めて不可解です。 反対意見23:”災害発生直後から業務が継続できる庁舎に”と記されていますが、これまでの多くの災害実態を無視した、全くの机上の空論です。 反対意見25:計画書全体を通して、東南海地震・津波災害の襲来可能性を真剣に考えていないことが明らかです。希望的、楽観的検討に終始しており、区庁舎建設に対する緊張感が市民に伝わってきません。 反対意見27:計画の基本方針の一つとして”災害に強い防災機能の充実”を挙げています。それにも拘わらず、市自身が津波危険地区と指定している所に区庁舎を移転するなどとは何を考えているのですか。市民の安全を無視(または、災害など生じない)としたものであり、市民を愚弄しないでください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1365	454	清水区	その他	清水のまちづくり	反対意見4:計画の基本方針の一つとして、“まちづくりの拠点化”を挙げていますが、津波浸水域をまちづくりの拠点と考えているのでしょうか。建設位置が妥当であるかどうかを市民に聴くことが先です。市民無視の市行政であることを深く反省してください。 反対意見5:計画の基本方針の第一に、“行政サービスの拠点化”として、利用し易い、効率的、将来性を挙げ、建物の構造、階層、各課の配置を検討していますが、これらは、庁舎の位置が妥当とされてから検討されるものであり、本末転倒しています。市の行政手法が極めて粗雑であることを本計画書が示しています。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1366	455	清水区	その他	再整備・移転について	意見1:“災害発生直後から業務が継続できる庁舎に”としている。しかし、これまでの多くの災害で災害直後の実態はどうであったか、行政は手をこまねいていたわけでない。それらを無視した、全くの空理、空文である。 意見2:本計画書では、基本方針の一つとして、“災害に強い防災機能の充実”が挙げられている。それにも拘わらず、新庁舎を津波危険域に建設することを大前提としている。自然の大きな力を人間の姑息な技術で防げると過信しているのだろうか。自然への謙虚さから計画を立て直すべきである。 意見7:“区庁舎建設の計画書”であるから、まず、建設地の決定について市民に説明せねばならない。しかし、津波危険域に区庁舎を建設する理由、根拠は本計画書のどこにも記述されておらず、行政のどの機関で検討されたかも記されていない。 意見8:前回のパブリックコメ、タウンミーティングでの最大の意見が建設地点に関するものであった。本計画書では「基本計画の策定経緯」と謳っているが、市自体が主導したこれらの市民の意向(パブリックコメント、タウンミーティング)を無視しているとはどういうことか 反対意見9:東京在住の息子は、このような安心できない、市民の存在を無視した計画のあるところには戻れないと言っている。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1367	455	清水区	防災の拠点	防災全般	意見3:建設場所をJR清水駅東口と決めているにも拘わらず、そこがどのような特異な場所か、地震、津波、地盤などの条件を考慮した具体的な(科学的、技術的な)検討が全く記されていない。 意見4:“地質調査を行い、地盤の性状を明らかにする”、“地震時における液化化発生の有無について分析を行う”、“液化化の発生が予想され、庁舎の性能が損なわれると判断される場合は、地盤改良などを講じる”とされているが、既に地質調査を行っているにも拘わらず、分析結果、地盤改良についての記述がないのはなぜか。市民が納得できる説明、解析結果を示してから計画書を作り直すべきである。	基本計画の策定にあたっては、検討委員会を公開するとともに、委員会開催ごとにニュースレターを作成し、清水区で組回覧を行ってきました。また、検討委員会の会議録や資料は、区役所の市政情報コーナーや市ホームページで公開してきました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 なお、本市の災害想定については、静岡市防災マップ等を既に公表しております。 今後も事業の進捗等については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○
1368	455	清水区	その他	検討委員会	意見5:本計画での重要項目は建設地点、災害である。しかし、有識者、市民による「静岡市新清水庁舎建設検討委員会」ではこれらの基本項目が検討されていない。街づくりの拠点として適当か市民に判断できるわけではない。 意見6:市民による前回のパブリックコメント、タウンミーティング、さらに静岡市新清水庁舎建設検討委員会でも建設地の適否に関する意見は無視されている。それにも拘わらず、“委員会、市民の声を取り入れて検討した”という計画書の記載は虚偽であり、市民無視の“まちづくり”である。	検討委員会では、平成29年度に「新清水庁舎建設基本構想」を策定する段階から防災に関する議論をしていただいております。 本基本計画を策定する際にも、同一メンバーで引き続き検討を行っておりますが、都市防災分野を専門とする方、建築分野を専門とする方、都市計画分野を専門とする方など多方面からのアドバイスやご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。					○
1369	456	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	庁舎へは車でいくことが想定されるため、周辺道路の渋滞や駐車場のしづらさがネックにならず、子供連れや高齢者の方など誰でも安心して利用できる駐車場にして欲しいです。庁内の窓口における手続のし易さももちろんですが、敷地内に郵便局や法務局、保健センターや図書返却室などがまとまっていると利用しやすいと思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1370	456	清水区	その他	再整備・移転について	建物の構造や被害を受けない災害対策拠点の設置において対策を行っていると思受けられますが、そもそも津波が想定される場所への建設には反対です。周辺に避難拠点となる建物がないなら、ピロティ部分が浸水するような状況の中、本当に避難できるのか、災害対策の活動ができるのか、想定される事態に対して具体的記述がなく、今のままでは不安が拭えません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1371	456	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	市民の集まる場所、市外から来る人が魅力を感じる場所にして頂きたいです。外観や新しさにこだわりすぎることなく、清水の持つ強みを活かせる実用的なもの、地域活性化につながるようなものを最低限の予算の中で創りあげてほしいです。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1372	457	清水区	その他	再整備・移転について	<p>(1) 清水区民の行政サービスの拠点について ①誰もが利用しやすい庁舎になっているか?以下略 全ての人利用しやすいとはどういうことか?交通の点の利用易さは・市の担当が良いことばかり言うほど利用しやすい庁舎の計画ではない。市の言い分は、清水駅から屋上の通路をとおし役所に入れるという。それが便利だという。それもがあるが、何%の人が、このルートで来るのか?由比、蒲原の人達は清水駅で降りたらすぐという利点があるというが、由比・蒲原駅まで車で行く人は、車の方が便利と思う。草雉から乗る人も同じ。草雉の人達は、桜ヶ丘公園に新庁舎建設を望んでいる。車で行くのに近いからだ。市が言うように電車利用は、%から見ても少ないだろう。大半の利用者は車で行くという。西から区役所へ行く人は、港湾道路を通り入る。が、今の区役所より遠くなる。更に、港湾道路通行時、新区役所の出入りの時、南海トラフ地震が起きるかもしれない。そういう不安を抱えながら区役所へ行く。今の区役所でもその危険性は同じだが、今の区役所なら、沢山の四つ角があるからそこから左にハンドルをきり、高い場所に逃げられる。右は工場が並んでいるので、津波もそこで減速するので逃げる時間が増える。新区役所だと、四つ角がほとんどない、あっても線路にぶつかり、逃げ場がない。右に海があり、左に線路があったら、サンドイツチだよ。ここで死ぬ人がでたら、市長と区役所移転を進めている幹部の人達は、どう責任を取るのか?市長と幹部の人達の言葉で聞きたい。 上記波線の懸念については、【大学名】を退官した【人名】からも質問がきていると思う。私のこのような考えを考え過ぎだとか、区役所移転を提案した市長やその取り巻き連中が言えるのか?東日本大震災の後、防災の専門家は、走行中、地震が来たらどこへ逃げるかを考えて運転することが大事というアドバイスがあった。自分の身を守る為に、あの地震の直後は、誰でも地震がきたらどう逃げるかを考えたのではないかと、日常の生活に追われて考えなくなってないか?行政は、市民の生命財産を守る任務がある。それをもう一度考えてもらいたい。区民を危険な目に会わせる、または、危険じゃないかと感じさせることが、行政の長のやることなのか?</p> <p>将来見据えた庁舎となっているか?について 将来見据えた庁舎になっていない。場所が悪い。南海トラフ地震が高い確率で叫ばれている時に、いくら頑丈な建物にするからと言っても、安心はできない。将来見据えた庁舎とするには、場所を高台に移すべきだ。高台の利点を別の面からみた①高台なら、建物の中にいた職員が災害現場に行き、市民を助ける手伝いができる。1月17日のNHKスペシャル、「命をめぐる決断～災害多発時代 神戸からの問いかけ～」にあるように、助ける側が圧倒的に足りなかつた。人出不足は、南海トラフ地震がおきたら、神戸の地震の比ではないと思う。新庁舎で区の職員ががれきで困まれて助けに行きたくても動けなかつた。助けられる命が助けられなかつた。という結果が予想される。高台に移転していたら、助けに行けたのに、という悔しさを職員たちに味わせるのが市長の役目ですか?高台に移転して置けば、人手不足のなか彼らが市民を助けに出れるのだ。仮に500人の職員が災害現場に行き、100人を助けた。が500人が新庁舎で缶詰状態にされたら、100人の命は助からない。一刻を争う災害現場で、一人でも多くの職員を現場に派遣させることができるのは、高台に移転するしかないじゃないですか。がれきで困まれて動けない状態を作り出した田辺市長、アタに責任が問われると思う。 ②こんなことが予想される。現区役所も新庁舎も同じ状況。★地震がきて揺れがおさまったあと、職員(派遣の人も含め)が区役所から外をのそいでいたら、逃げ遅れた人たちがいた。津波がきてるので助けにいけない。二度その時、第二、第三の津波がくる恐れがあるから、外にでないように、とのアナウンスがでた。逃げ遅れた人が、津波に流されるのを見ているしかない。それが、若い母親と小さな子どもだったり、子ども一人だったりしたら、どうしますか?★このようなことが起きた時、区長=防災長は、部下にどういう指示をしますか?職員にこうしなさいというマニュアルがあるのですか?今の区役所でも同じ状況は考えられます。マニュアルができていたら、紹介してください。今もつてマニュアルがないなら、いつまで作るのですか?作るつもりはないですか?ではその理由は?</p>	<p>市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。</p>					○
1373	457	清水区	その他	再整備・移転について	<p>新区役所の場所を桜ヶ丘公園に移すべきだ。又は、イ)日本平の一角とか、駒越にあった口)相模試験場跡地とかがある。イ)口)へのアクセスの問題は、専用のマイクロバスを出せば解決する。 職員が、気持ちよく対応してくれているか?ということであれば、田辺市長以外は合格点だ。市長の「意見は聞くが、方針は変えない」は、市民の市政参加を遮断するものであり、市民と共同で市を作る姿勢ではない。 機能的かつ効率的で、機能的、効率的な庁舎にすることは誰も反対はしない。遠方から区役所までこなくても、区内の交流館とか由比、蒲原は、支社で区役所と同等の手続きができるようにしたら良い。そういう未来を見通した庁舎にしているのか? 太線の説明をホームページでもしてもらいたい。上記太線が現実化したら、市のいう、遠方から電車に乗ってくる人が便利になるという肯定面は崩れる。故に、将来見据えた場所とはならない。</p>	<p>市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。</p>					○
1374	457	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	<p>(2) 清水区の防災拠点について「清水区のひとつやまちを守る」 では、現区役所は、どうなんですか?防災拠点になっているのですか?当然なっていますよね。そこには水を含めた非常食や、発電設備、簡単な応急処置ができる医療品がありますよね。その他の災害時に必要とする諸々のものはあるはず。では、それを誰がどういうルートで被災者に渡すのか?毎年、災害を想定し市民に渡す訓練をしているのですか?そう (以下、FAX用紙の見切りにより文字の解読不能) というマニュアルがあると思うがどこにあるのか?紹介して頂きたい。マニュアルと実践訓練があり、始めて「清水区のひとつやまちを守る」ことができると思う。 ・新庁舎が、防災拠点にならうはずがない。今まで書いてきたが、建物だけ頑丈にしたら防災拠点となる。というなら余りにもオツムが軽い。津波が来る場所に建物を移すんだから「清水区の人やまちを守り…」…守れるはずないでしょ。危険が一杯の場所に移動してどうやって清水区の人やまちを守るのか? 「業務が継続できる庁舎となっているか?」では、設問がおかしい。継続できる庁舎にすることは当たり前。内閣府から指令(この言葉で良いかは不明)がでたのが、平成27年(2015年)5月。当然市もこの指令にそって計画を作成しているはず。では、現区役所は、どうなんですか?当然業務が継続できる庁舎となっていると思います。新庁舎には、担当部門がそのまま横移動する。移動前に、新しい装置とか、組織がプラスされ強化されるだろう。だから、あえて聞くまでもないことをどうして聞くのか理解できない。業務が継続云々の前にやることがある。発災直後から、市の職員は市民を助ける為にどう動くのか?それらは、業務継続の一環なのか、別なのか?一環ならマニュアルがあると思う。見せて欲しい。別なら、別マニュアルがあれば見せて欲しい。ないならいつ作るのか?</p>	<p>ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。</p>	○		○		
1375	457	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	<p>(3) 清水区のみまちづくり拠点について 清水区の「人」と「まち」がつながる、エリアの価値を高める。・略 「人」と「まち」がつながる、とはどういうこと?まちは、人と建物等があり、まちになる。「人」と「まち」がつながるなんて考えたことない。エリアの価値を高めるとはどういうこと?土地の価格が上がること?新庁舎へ人の出入りが多くなり、この周辺(エリア)が良い評価を得られるということ?故に、意見の出し方がない、故にこの質問も不合格。</p>	<p>まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のみまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺を中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。</p>					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
1376	457	清水区	その他	市政全般	(4) その他のご意見について ①行政の不作為にあたらぬか?頑丈な区役所を作るから大丈夫だ、とバカの一つ覚えのように市長は唱えている。が、中にいる人は大丈夫だが、建物の周りに来た人達、建物から出た人達は、なにも大丈夫ではない。この点を見逃している。故に、行政の不作為にあたらぬか?しかも区民がそこは津波がくる場所だから危ないという警告を無視して進めてきた。確信犯の可能性もある。 ②桜橋病院移転を決めたのは、市長だ。犠牲者がでたら、これも行政の不作為に該当すると思う。桜ヶ丘病院が移転して診療を開始したところ、田辺市長が市長でいられるかは分からない。が、生きている限り、遺族は市長の責任を問う。 ③庁舎を移転しようとしている市長+幹部たちに言いたい、アンタ達がしていることは、防災とは逆の方向へ市を動かしている。チョコちゃんに叱られる、にでてくるキョエちゃんの口癖は、「岡村のパーカ」これを借りて言いたい、田辺のパーカ! 死亡者がでたら、こんな優しい言葉では済まないだろうよ。 ④田辺市長の態度の件:意見は聞くが方針は変えないという態度は何のためのパブリックコメントが分からない市のホームページのパブリックコメントについて、意見公募手続(パブリックコメント)は、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民の権利利益の保護に資することを目的として、市が規則や審査基準などを定めようとする際に静岡市行政手続条例に基づいて広く一般に意見を求める手続です。 ※パブリックコメントはその対象ごとに2つの区分があります。本項に記載のあるものは行政手続条例に基づくもの(意見公募手続)です。市民参画の推進に関する条例に基づくもの(市民参画手続)については、こちらをご覧ください。とある。パブリックコメントの精神はみんなで意見を出し合ってまちづくりを進めることではないのですか?そういうように書いてあります。パブリックコメントの精神をもう一度読み直してください。自分たちが出したパブコメの精神を自ら否定するとは、どういうことなのか?市長自らの言葉で答えを頂きたい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。						○
1377	458	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	現庁舎よりも駅、バス等交通機関に近接し利用しやすさは向上している気がする。ただ庁舎利用者は基本車の利用者が多く、バリアフリー化しても上下の移動が多く、今みたいに単純でないイメージが浮かぶ。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○			
1378	458	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅から近接することにより、JRよりも南の地域とのつながりが深まりそう。大きな道に面した立地であるため、市民以外にも観光などへの広がりを感じる。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1379	459	清水区	防災の拠点	防災全般	新清水庁舎の建設については個人的には賛成ですが、数名の知人からはいくら対策をしても場所的に海が近すぎるので、津波や近隣のオイルタンクによる火災が心配であると言われています。オイルタンクについて、災害時に何か対策があるのかその部分の説明も市民に向けてお願いしたいです。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1380	460	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	ユニバーサルデザインやIoTを積極的に採用しており、時代に沿って作られていると思う。これまで以上に市民に寄り添う庁舎になっていると思う。民間施設から安定的な収入が見込めるため、市の財政負担を軽減することもでき、財政面も考えられていると思う。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
1381	460	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	庁舎は防災拠点として十分機能すると思う。災害時、庁舎内の民間施設と市がどのように連携し、市民の安全を確保するのか気になる。	地域の防災機能の向上については、本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1382	460	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設を誘致することで、周辺の地域活性化につながるとともに、JR清水駅に近く立地的に魅力であるため、集客が見込め、行政と市民の距離が近くなり、街づくりの拠点になると言える。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
1383	460	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	行政は、定期的に誘致した民間施設をモニタリングすることが大切である。	ご意見の内容は参考とさせていただきます。			○			
1384	461	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	庁舎が清水駅直結となることで、障がいのある方やご年配の方、お子様連れの方や妊婦さんなどが公共機関を利用して来庁される場合も、アクセスしやすい環境になると思います。また、ユニバーサルデザインを取り入れることで、車いすやベビーカーを利用する方にとっても、来庁しやすい環境が整うと思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1385	461	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害時に市民に開かれた緊急避難場所である庁舎が、安全性の高い免震構造と万全の津波対策がより強化された建物となることで、災害対策本部などの震災時の活動拠点が津波浸水被害を受けず、住民の安全の確保と行政の組織体制が保たれ、近隣住民がより安心して暮らせるまちとなると思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1386	461	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキなどの公共空間をイベント等で活用することで、市民が交流できる場が生まれ、飲食物の販売やフリーマーケット等の開催により、経済の活性化に寄与する空間となり、庁舎を起点とした「人」と「まち」のつながりが期待できると思います。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○			
1387	462	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	障害のある方、お年寄り、子供連れの方などが使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた庁舎になりますということですが、窓口業務は2階以上になり、車椅子、ベビーカー、また杖を使用する人などが、エレベーター、エスカレーター、階段の使用になると思われますが、エレベーターの混雑などがあると利用しやすいたとは言えないのでは、と思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1388	462	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害対策本部、活動拠点、設備室、物資を備えるスペースを確保して、避難した人も受け入れる想定をしているということですが、コンパクトな庁舎になるのか疑問に思いました。かなりのスペースが必要なのでは?	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1389	462	葵区	その他	再整備・移転について	港のエリアを開発するのは賛成です。庁舎を移転することとは別かなと思います	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。					○	
1390	463	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	建物は最大級の安全性がある免震構造が採用され、津波に耐えられるようピロティ形式を採用したり、ベデストリアンデッキや緊急避難用デッキや立体駐車場を作るなど防災拠点としての工夫が見られて良いと思いました。津波避難ビルとしての住民への周知や、防災訓練、看板設置など期待します。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○			
1391	464	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅から直結となっていることでの利便性は高まると感じる。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1392	464	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波に耐えられる構造とすることはわかったが、実際に大丈夫なのかという心配はある。東日本大震災で色々な市町の庁舎が移転している中で心配はある。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1393	464	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	色々なイベント等を通じて、清水のまちを活性化しやすくなるのではと感じる。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1394	465	葵区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	本庁機能が静岡に集中することによって、申請などの手続きが、清水の事業者にとって不利益にならないようにしてほしい。	新清水庁舎に配置する部局については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1395	465	葵区	防災の拠点	防災全般	ピロティはとてもいい案だと思いますが、津波が来た時にゴミや流木などがピロティやデッキに溜まりやすいのではと、心配しています。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1396	465	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の誘致を良いと思われま。民間施設と一緒の敷地にある駐車場は有料になるのでしょうか。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1397	466	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から直結で、バス停、駐車場からも雨に濡れずに庁舎に行けるようになるのとこと、利用する市民にはいい庁舎と思う。また「社会変化や市民ニーズの変化、ICTの進展による職員数や来庁者数の増減に伴うレイアウト変更」も視野に入れているとのこと、新庁舎には期待しています。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1398	466	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	免震構造、ピロティ形式、液状化対策と地震・津波の対策を取られているとのこと、災害対策拠点として十分機能すると思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1399	466	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	JR清水駅から近いということで、まちの賑わいづくりにぜひ貢献していただきたいです。ピロティや屋外デッキの活用等を通して、まずはJR清水駅周辺から、清水区全体を盛り上げていってもらえることを期待しています。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1400	467	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	駅直結でアクセスが良く、誰でも利用しやすい庁舎になっているかと思えます。区役所に訪れる来場者には高齢者や障害のある方、お子連れが多いので、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れてください。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1401	467	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	活動拠点や設備室を上層階に設置し、ピロティ形式の採用によって、津波が通り抜けていく構造にしたことで、津波浸水時も業務を継続して行える点はいいと思えます。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1402	467	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	清水港を生かしたまちづくりに即した施設を誘致して、国際海洋文化都市を実現してください。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1403	468	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎内に入るのに階段を使うところで、誰もが利用しやすいと言えないのでは。葵区役所青葉側の二階に上がっていく階段を使っている人をほとんど見たことがない。県庁側の階段も、イベント時以外にはあまり使われていない。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1404	468	葵区	防災の拠点	防災全般	パブコメのチラシを見ただけの意見ですが、ピロティ形式を初めて知った。大変良い構造だと思うが、東北の震災を見てしまうとこれで十分だと全く思えない。中途半端な位置にデッキがあると、津波時にゴミの溜まり場になってしまうのでは。階段がどの程度の広さなのかかわからないが、絵を見るかぎり12800人が緊急避難するには階段が足りないのでは。	津波による漂流物の対策については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1405	468	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	駐車場は夜間のマリナートのイベント等に解放してほしい。無料駐車場だと昼間はテルサとか、JR利用者に利用されそう。	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1406	468	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	外の打ち合わせスペースについて、外に打ち合わせに行くほど職員に余った時間はないのでは。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		
1407	468	葵区	その他	市民周知・市民参画	使う人(清水区民、清水区役所職員)に意見を求めるべきでは。清水庁舎建設の話が出ていることも最近まで知らなかったのに、意見を出すのは難しい。他区民としては市税の使い方に関心のある人以外は身近な問題とっていないのでは。市民はそれほど市の事業に関心はない。データ上の使いやすさが、実際の使いやすさとイコールではないと思う。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、パブリックコメントは、一般的な市民参画手続であり、意見の数や賛否を問うものではなく、市民の皆さんから多種多様な御意見をいただき、施策案をよりよいものとするための手法です。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1408	469	駿河区	規模	組織について	清水区域を所管する事務等を設置することで、本庁機能を静岡庁舎へ集約してしまうと頻繁には行わない手続きを行う場合、静岡庁舎へ出向かなくては行けなくなるのではないかと。また手続きに余計な日数がかかってしまうのではないかと。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をすとも、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○				
1409	469	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	アクセスのしやすさではある程度利用しやすくなると思うが、現清水庁舎周辺住民のアクセスの利便性は確保されるのか。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1410	469	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	人は守れると思うが、まちを守るという具体的な方法が示されていないため、守れるか疑問。約12800人が避難はできるかもしれないが、その人数が救助されるまでの間の物資やエネルギーが足りるのか。避難してきた市民の対応をしながら本当に業務が継続できるのか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1411	469	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	商店街の空き店舗を会議室として使用していく案はいいが、街へ出た職員が清水庁舎とその空き店舗会議室の間の往復をするだけではエリアの活性化や価値が高まることには直接的に繋がらないのではないかと。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		
1412	469	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水新庁舎が建設されることは様々な面から見てもメリットが多いと思えます。清水区の新しいシンボルとしても先進的な印象を受けると思えます。	清水区発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1413	469	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	屋根付きピロティでご当地ゆるキャラを招待してイベントをすとか、商店街も巻き込んでスタンプラリーを行うためのスタートとゴール地点にするなど。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1414	470	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	利用しやすくなっていると思う	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1415	470	葵区	その他	再整備・移転について	実際津波は心配である	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1416	470	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水区の拠点となっていていいと思う	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1417	471	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	フリーアドレスの導入など効率的な運用が期待できる	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1418	471	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	多くの避難者の受け入れが想定され、一時的には安心だが、その後、防災組織の拠点として混乱するのではないかと。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1419	471	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	居住するエリアと離れているので、価値を高める庁舎とまでは言えないが、民間施設がどのようなものであるかにより、人が交流することが期待できる。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1420	471	清水区	その他	公園	公園がなくなってしまうのは残念です。	清水駅東口公園は、清水駅東土地区画整理事業に伴い、暫定的に整備された土地です。都市計画の観点からは、高度利用が図られるべき土地であり、このたびの庁舎建設地としては相応しい土地です。なお、既存の植物は庁舎の敷地内に植え替えるなど、できるだけ、緑の空間を残すことを考えております。	○		○		
1421	472	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	利便性も細かく考えられて、誰もが使いやすくなるのはとてもいいと思います。駅直結、広い駐車場が一番だと思います。あとは中身ではないでしょうか。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1422	472	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	一番の懸念である災害時の機能不全を回避できることが、全区民にとっての防災だと思われ、周辺地域の方から方たちの津波からの避難場所として不安を解消できる建物だと思います。最大クラスを想定しているなら、それは信じるしかないと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1423	472	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	エリア全体を見て、建物等に行政機能、防災機能以外の価値がでるように見受けられるので、その通りになればいいと思います。ドリームプラザのような人があつまる民間施設があればいいと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1424	473	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	利便性は良いと思うが、清水区を中心に建てた方が良いでしょう。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1425	473	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインを取り入れたとあるが、二階以上が行政窓口を使うのでは、その辺りが合っているかどうか分からない。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1426	473	清水区	その他	再整備・移転について	場所が災害発生後、人の集まれる場所かどうか分からない 庁舎だけが残っても、まわりがダメなら意味がない 高くすれば良いというものではないと思う	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1427	473	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎があるからといって、街が活気づき、価値が高まるとは限らないと思う。 何階建てを想定しているのかわからないが、民間施設として使える場所は小さいのでは。（それでは人が集まらない）	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1428	473	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	もっと清水区の中心に立てて、色々な乗り物でアクセスを良くした方が良いと思います。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1429	474	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	誰もが利用しやすい庁舎だと思ふ	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1430	474	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	一階部分が柱だけで上層階を支えられるのか不安である。本当に支えられると分かれば、防災拠点としても安心だと思ふ。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1431	474	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅周辺の活性化が期待できると思ふ。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1432	475	清水区	その他	再整備・移転について	バス停は江尻口側から移動されないのであれば、今までより庁舎は遠くなるように思う。(年配の方には不便) ネットでの手続きは不得手であり、直接窓口を利用したいと思ふはず。将来の高齢化(更なる)を考えると、せめて江尻口側のどこかへ持ってこれないか。現状の、江尻口側のビル等のフロアをいくつか借り上げて、ではだめなのか? 現在より更に縮小した部門となるから可能にも思う。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
1433	475	清水区	防災の拠点	防災全般	浸水には対応できるのであろうが、道一本へだてただけの、東燃のタンクからの火災にはどう対応するのか。爆風で危険な気もする。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1434	475	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	港側に「まち」はない。「まち」はJRの線路で分断されている感じがする。この場所でなければならない必然を感じない。「民間施設」も箱を作って中味がないようなら意味がない。集客が望めそうには思えない立地状況の場所に投資はあるのか、疑問ではある。	敷地を有効活用し、民間施設の誘致を目指すことについては、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1435	475	清水区	その他	再整備・移転について	桜ヶ丘公園に新庁舎建てて、旧庁舎こわし、桜ヶ丘h p たてて、旧桜ヶ丘h p あと地を駐車場その他にする。・・というチェンジでは、ムリなのか	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
1436	476	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	交通アクセスについて、東側から自動車由来庁舎する場合の道路の整備や渋滞緩和など対策を示してください。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1437	476	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波対策の為にピロティ形式にした場合の建物の耐震性能について、より具体的な数値を示し、市民の理解が得られるようにして欲しいです。備蓄品の数量について緊急避難約12,800人と職員数に対応できるように備えて下さい。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1438	476	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設について、ホテルや飲食店だけでなく、託児所や介護サービスなど、市民の需要のある福祉的サービスを受けられる施設の併設を検討してください。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1439	477	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅西側からの車でのアクセスが悪い。東西自由通路との接続により、JR利用者のアクセスが良好にも見えるが、庁舎利用者の大半が区民であることを考えると、興津・由比・蒲原が良いが、旧清水地域の区民は車か静鉄線利用者が大半ではないか。折角東西自由通路と接続するならば駅西側に市役所駐車場があったらどうか。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1440	477	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	良いと思います。仮に津波が来た時には、お年寄りや障がい者用にエレベーター、エスカレーターに代わる昇降手段はありますか。塩づけになったら動かなくなるのではないですか?(停電も)	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1441	477	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	(基本方針③:清水区のまちづくりの拠点について) 良いと思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1442	477	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	キッズスペースがあったらどうか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1443	478	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅からペDESTリアンデッキで雨に濡れることなく庁舎内へ入れるというのはとても良いと思います。また、駐車場からも濡れないというのは、子供連れの方でも安心して来れると思います。ただ、パンフレットを見ていて一気になるのは、外側についている階段にはパンフレットでは屋根が付いていません。その階段も外についている以上、屋根が付いていても良いのではないかと思います。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。			○		
1444	478	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	一階部分をピロティ形式にしており、津波対策をし、緊急避難の際にはデッキや立体駐車場を使い、約12,800人が避難できるというのも素晴らしいと思います。一つ疑問としては救助のためにヘリポートを使うことになった場合、それを順番待ちする時に、ペDESTリアンデッキの人達は安全に待機できるのか。庁舎内部に2,800人という事は外で救助を待つ人たちも出てくると思うので、そこが少し心配です。(他に移動する間)	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1445	478	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	周辺の空き店舗などに打ち合わせ、スペースを設けるとありますが、周辺の空き店舗というのはこのことを指しているのでしょうか。少し離れているところで周辺を指しているということになると、少し不便ではないか(本当に近くでない)	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、職員がまちに飛び出して、市民と職員が積極的に関わり、協働して清水のまちを創る場となることを目指しております。			○		
1446	478	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	下のスペースは常に夜中などでも開放状態になっているのでしょうか、そうすると変な話、落書きや若者の溜まり場にならないか不安になります。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1447	479	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	ユニバーサルデザインの導入など不便を感じず、利用できる庁舎環境となっていると思う。手続きの時短になるといい。	庁舎のユニバーサルデザイン、分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1448	479	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害発生時に被災をすることが確実な場所にわざわざ庁舎を建てることはないのではという思いはあるが、本当に津波に耐えられる建物であるなら避難場所として非常に良いと思う。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1449	479	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	広場など、まちに溶け込んでいて、周囲の活性化に繋がる庁舎になると思う。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1450	480	清水区	その他	再整備・移転について	災害(津波)を考えなければとても良いと思う。海が近すぎる、もっと内陸にすべき。ここは昔(180年位前)海だったのでは? もっと内陸にして駅から、(色々なビル(施設)を結ぶ)空中回廊でも作って直接行けるようにする。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望めます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1451	480	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅の近くは便利で良いと思う	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1452	481	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎への用事は証明書交付などが主で繁忙期などでは拘束時間が長くなることも多いため、隣接する民間施設を充実させ、待ち時間で別の用事(日用品の買い物など)を済ませることができるようになるとありがたい。(駿河区役所のような感じ)	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1453	481	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	閉庁している時には庁舎自体が集客施設となるようイベントなどの開催しやすい作りしてほしい。また、立体駐車場などを土日祝に開放(有料も可)し、休日人も人が集まりやすい環境を整えてほしい。	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1454	482	駿河区	規模	規模について	本庁機能は静岡庁舎に集約するとしているが、静岡庁舎にそれを受け入れるキャパがあるのか。静岡庁舎清水庁舎、そして1度棚上げとなった東静岡も含め、市全体を見て庁舎のあり方を検討すべきではないか。病院の件ありきで話が進んでいるように思える。浸水区域であるので、最小限の機能におさえようとしている点は評価できる。しかし上記のとおり静岡庁舎が受け入れできるのかが疑問、静岡庁舎も老朽化によりそのうち建て替えの話が出るのではないかとと思われるので、上記のような検討が必要なのではないか。	ご意見の内容は今後の参考とさせていただきます。					○
1455	483	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	アクセス駐車場ユニバーサルデザインは最優先事項だと思います。建築家の趣味や思い入れetcで、それらが制限されることのないようお願いいたします。機能的が第1でいいと考えます。	長期間効率的に機能する庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1456	483	清水区	その他	清水のまちづくり	100%安心安全となると、全ての施設を内陸部へ移転する必要にせまられてしまいます。(駅も、住宅も、会社も・・・)考えられる限りで設計し、あとは市民に判断をあおぐことで良いと思います。(あまりあてにはならないけど)	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。このため、港や海を最大限活用したまちづくりを推進していく一方、津波災害などに対し強靱なまちづくりを推進していきます。なお、市では現在、都市防災計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1457	483	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	軽トラ市、フリーマーケットは、まず頭からはずして進めてほしいと思います。既に思いつく事は止めておきましょう。では、何かと聞かれればありません。知恵を絞っていきましょう。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1458	483	清水区	その他	清水のまちづくり	今の清水、特に駅周辺、区役所周辺を見ると圧倒的に人影がありません、区役所に何か付加価値を備え、人の流れができるようにしてください。ただし、駅前商店街の勝手な声、市民の為にという何でもありの声などは無視せよとまでは言えないけれど、振り回されないように。	清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。					○
1459	484	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅に近く、利便性が良い	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1460	484	清水区	防災の拠点	防災全般	津波対策だけでなく、コンピナート火災等が発生した場合、機能するの心配。津波によって流れて来るであろうあらゆる物が漂着した時、防災拠点として機能するか。一方で駐車場スペースを災害時の避難所として活用してはどうか。	コンピナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1461	484	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	駐車場	駐車場は庁舎利用者と観光客や周辺施設利用者の扱いをどうするのか。駅はマリナート等に近く、観光や交流拠点として期待できる。中部横断道の整備により、車を利用した観光も見込まれることから、駐車場スペースは庁舎利用者だけでなく、一般の人も利用できるスペースを確保すべき。富士山や清水港が望める展望施設、一般や学生がくつろげる様なオープンスペースを望む。	駐車場の有効活用については、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
1462	485	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と庁舎が通路でつながっているので利用しやすそう	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1463	485	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害が発生しても、業務が継続できる庁舎となっているので、安心できる	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1464	486	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場の数が確保されていれば、車、電車相方で訪れやすい庁舎になると思う。	必要な駐車場、駐輪場の台数確保と駐車場整備については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P53の「駐車場の整備と管理運営」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
1465	486	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害対策本部は静岡庁舎になると思うので、津波避難ビルの空白地帯に市民が避難できる機能を持った施設を作ることは良いと思う。(清水庁舎は市民が避難できる機能があれば良いと思う)	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1466	486	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	駅の近くなので、庁舎の他に宿泊施設等を誘致する事は、まちの活性化のために良いことだと思う。市の職員も清水駅周辺の店を利用するのは。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
1467	487	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	レイアウト変更が柔軟に対応できることは評価する。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1468	487	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	緊急避難者12800人は必要なのか？新サッカースタジアム建設となれば、もっと必要なのではないか？	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1469	487	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎の利用形態（民間利用とか商業施設誘致等）次第になると思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1470	487	清水区	その他	清水のまちづくり	新サッカースタジアム建築の検討をして下さい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
1471	488	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅をはさんで東西への車で行き来できるように。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○			
1472	489	清水区	規模	組織について	本庁組織が静岡庁舎に集約することで、清水区内の住民が不便にならないかが心配です。事務所としてどのような組織があるか明記してください。 建物がコンパクトになることは、維持管理的には良いと思う。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○					
1473	489	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	庁舎内に避難した住民がいることで、災害時に業務は可能なかわからない、住民対応の職員はどうかかわからない	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○			
1474	489	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設にどのようなものが入るかによって変わってくると思う	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1475	490	葵区	規模	組織について	区民が利用することの多い区役所組織を中心に必要最低限の組織を配置することで、時代に合った機能的な庁舎になっていると思う。	新清水庁舎の職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○					
1476	490	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波だけでなく、様々な災害が想定される中で、最新の建築技術による庁舎が建てられることは、防災拠点として心強いことと思う。立地上、津波の危険は避けられないと思うため、ピロティ高を2階部分まで伸ばせられないかと思う。(水だけでなくがれきなども流れ込むと思うため)	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○			
1477	490	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	大部分の区民は、区役所に用事などめったになく、足を運ぶこともないと思う。無料のイベントなどを区役所で実施すれば、普段来ない層の区民も訪れると思うため、そのような会場となりうる施設になっていると良いと思う。最上階に展望ロビーがあれば、観光客も訪れるのではないか。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1478	491	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	・区役所に来所する人は、税や戸籍関係の証明を求めて来る人の割合が非常に高いと思われるので、証明発行を一元化できるよう検討して欲しい。 ・多目的トイレ、授乳室、キッズスペースの配置について、十分に検討して欲しい。 ・受付カウンターでのプライバシーの確保についてのスペースやハード面を十分に検討して欲しい。	分かりやすく手続きしやすい窓口機能、庁舎のユニバーサルデザイン、プライバシーに配慮した窓口については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1479	491	葵区	その他	再整備・移転について	大地震が起きた時、庁舎・周辺がどのような状況になり、防災拠点となり得るのかを、もっと詳しく市民に情報提供する必要があると思います。(本当にこの場所でのいいのか?という不安が根強く残っていると思います)	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
1480	491	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	観光面での情報発信の充実や、レンタサイクルステーションの設置など、港エリアを中心とし楽しんでもらえる仕組みを検討して欲しい。土日も対応できる仕組み(観光案内・カフェ)を検討して欲しい。	観光やまちづくりの情報発信の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1481	491	葵区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	屋上の活用(富士山・港の景観)や、職員・市民がくつろぐことができる場所を確保して欲しい。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1482	492	清水区	その他	清水のまちづくり	庁舎病院の建設は立地に問題があります。まず安心、安全、利便性だと思います。海と川の間が一番危いと言われているまさにその場所に病院を作る、海拔0に近い所に庁舎を作るなど、とんでもありません。市議会だより(12/1刊)にある「市庁舎移転候補地」の答弁にある有識者とは誰のことですか。また検討委員会とはどういうメンバーの集まりですか。区民の意見を聞いて尊重するのだけれどこかの国の相似形だと思います。これは市民の多数決で決める問題ではなく、区民運動までもっていかれたらと思います。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1483	493	清水区	規模	組織について	まちづくり拠点の中心となる部署は、必ず配置すべきである。由比、蒲原はどうか。関連部署の入居が必要である。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○				
1484	493	清水区	その他	再整備・移転について	防災対策の堤防等は何の役にも立たない。景観を考慮した対策と海上コンテナが押し寄せてくる対策等、高台への移転を検討する必要がある。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1485	493	清水区	行政サービスの拠点	行政サービス全般	区役所中心以外、役所は行政業務機能の充実に絞る。区役所（以降文字解読不能）計画が必要です。百年の計は？	新清水庁舎に配置する部局については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1486	493	清水区	その他	再整備・移転について	代替地：桜ヶ丘公園、（以降文字解読不能）跡地などは？	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
1487	494	清水区	その他	市政全般	市長や議員の1部が目先のことばかり考えているのではないか、将来的にどうかをよく考える必要あり	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1488	494	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時業務が続けられるとは思わない	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1489	494	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	よく分からない	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1490	494	清水区	その他	市民周知・市民参画	田辺市長は市民の意見は聞くが方針は変えないと言う。大きな災害がきたらどう対処できるか。全区民の意見をしっかりと聞くべき。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1491	495	清水区	その他	清水のまちづくり	総合的に判断して清水庁舎、桜ヶ丘病院の件、疑問に感じます。利便性ということだけで判断していいのでしょうか？清水区全体の公共のマイホーム作りです。市長さん！！将来の子供たちの為にこの方法がBestだと思いますか？どうぞ市長様、清水のこの場所に住居を変えて住んで下さい。	JCHO（桜ヶ丘病院の運営主体）は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
1492	496	清水区	その他	再整備・移転について	年寄りにもこれからの子供たちにも安全・安心な庁舎になる建物に田辺市長は清水区民の気持ちを考えて下さい。庁舎移転に反対です。 区民は安全な場所に庁舎を建ててほしい、庁舎にも避難できるような場所にしてほしい。 駅周辺のまちづくりを加速させるための庁舎ではないと私も思います。安全な場所に庁舎を建てるべきだと思います。 津波が来るような所に庁舎を移転させないで下さい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1493	497	清水区	その他	再整備・移転について	「将来を見据えた庁舎」になっていないと思います。新庁舎建設に約80億円も掛けることに疑問を感じます。これからの日本社会は「高齢化・人口減」社会となります。次の若い世代にこの負担を押し付ける事になる。現在の桜ヶ丘病院を桜ヶ丘公園に移転させ、その跡地に小さな新庁舎を建設する方向、建設費用をなるべくかけない事を望みます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1494	497	清水区	その他	再整備・移転について	新庁舎を海の近い東口に建設する案はまったく話にならない。「ピロティ方式」にすると言うが、いざ「津波」が来れば、その規模はどの程度になるかわからない。防災の拠点となるべく新庁舎を津波浸水地域に建設する事に反対です。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1495	497	清水区	その他	再整備・移転について	「人」と「まち」がつながる観点はとても大切だと思います。しかし「基本構想」を読んでも、それを感じません、相変わらずりっぱな大きな建物の建設しか考えていないように思えます。ある委員が言うように、「民間ビルの中に区役所を設置する案」を支持したい。そうした方向性の中でこそ、「人」と「まち」つながると考えます。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
1496	497	清水区	その他	検討委員会	「委員会」を傍聴していても、まだまだ討議はつまづいていないと感じました。せっそくに結論を出す事に疑問と不安を感じます。	検討委員会の委員には、事前に事務局から十分に説明を行った上で検討委員会に出席していただいております。 検討委員会では、ご自身の専門分野や経験を踏まえたご意見を述べていただき、そのご意見を事務局が参考にさせていただいて基本計画案をまとめさせていただきます。					○
1497	498	清水区	その他	市政全般	もっと区役所に権限を移譲してほしい。なるべく区民の近くに市役所職員がいることが市民サービスになる。機能的かつ効率的な区役所の業務を拡充して欲しい。特に福祉や教育など。合併して行政サービスが低下している。市民の声をよく聞いてなおしてほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1498	498	清水区	その他	再整備・移転について	津波浸水地域へ庁舎をつくるなんて考えられない。台風で魚市場の前の道路は通行止めになったことがある。清水区の防災拠点にふさわしくない自治会でも多くの人が言っています。湾の中にはタンク（石油・LNGなど）が多く一番危険な地域に拠点はおかしい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1499	498	清水区	その他	再整備・移転について	JRで、商店街の分断され「人」と「まち」がつながらない庁舎位置になっている。まちづくりの拠点到ふさわしくない。桜ヶ丘公園に病院と隣接するとかまちづくりの価値を高める新しい都市計画を多くの市民と専門家を入れてじっくり協議することが必要である。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。				○	
1500	498	清水区	その他	市政全般	庁舎の移転問題や桜ヶ丘病院の移転、生涯学習交流館の有料化問題など、田辺市長は市民の声に耳を傾けない姿が市民の悪評になっている。このままでは市長選がたたかえないのでは・・・。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1501	499	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎の建設場所を除けば、構造としては問題ないと思います。 庁舎が被災しなかったとしても、次のような心配があります。 浸水想定域に建設される庁舎に、必要な職員が担当部署にたどり着けるだろうか。 避難者が多数いる中で、被災状況の把握などの業務を適切に実施できるだろうか。 あちこちから送付されてくる物品の受取やボランティアの受付を行えるのだろうか。 庁舎は、現在の公共交通の観点からは、多少不便であるとしても安全な場所に建設すべきと考えます。このことは、東日本大震災の後の被災地の決断を見ればわかることです。安全な場所になれば、防災拠点としての役割は果たせないと考えます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1502	499	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水駅周辺の価値を高めるための拠点建設計画であるなら、庁舎に限る必要はないと考えます。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1503	500	清水区	その他	再整備・移転について	まず、市外の子供はテレビ・新聞で報道された、市役所移転笑ったネとすぐ連絡がありました。その子供が清水に来てくれます。笑われない清水市して下さい。まちづくり、役所は安全第一。私は勤務する役所の人達を助けたいです。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1504	500	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	そのことに、かこつけることは絶対反対です。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1505	500	清水区	その他	清水のまちづくり	桜が丘病院は人生最後と思うとずかなところして下さい。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
1506	501	清水区	その他	再整備・移転について	新しいものを作るよりは、今の区役所の建物を生かしてリフォームすべきではないですか。とてもしっかりとした建物で、老朽化も感じられません。いい意味で”古いものを生かして活用する好例”として全国に自慢できる先例が作れるはずだと思います。より再び市民の知恵を結集して!	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
1507	501	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	「ピロティ」「緊急避難用デッキ」など、耳慣れないことばで想像が付きませんが、近隣の避難タワーなど見学しましたが、新庁舎の一階部分が空間であり、しかも海に非常に近い点を考えると、とても”安全に業務がつけられる”とは思えません。ぜひご再検討を	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1508	501	清水区	その他	清水のまちづくり	人・まちがつながるエリアは駅近くである必要はなく、むしろ魅力ある「中味」「内容」であり、それは広く市民の知恵を集め、じっくりと作り上げるべきものと思います、市民参加、市民の中には様々に考え、知恵を持っている人たちがたくさんいます。ぜひ活用する手だてをさぐって下さい。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
1509	501	清水区	その他	再整備・移転について	桜ヶ丘病院は桜ヶ丘に、新庁舎は現区役所をリフォームして生かしてください。昨日、東京から来た友人は初めて高層階から清水港、駿河湾、伊豆半島、富士山をながめ絶賛していました、「イタリアのヴェニスみたい!!」と。新庁舎計画にかかる予算を美しい清水港・世界に誇れる港にするための予算として使ってくださいね!	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
1510	502	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅はJRの線路を越えてという所で、市民は使いにくい危険、高齢者は特に。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1511	502	清水区	その他	再整備・移転について	3.11の東日本大震災の時、岩手県大槌町で町役場前に地震対策本部を準備していた若い役場職員たちが、津波にのまれ命を失ったことをTVでやっていました。亡くなった人たちの命は戻りません。今生きている人たちがそれを教訓にしなければと思います。計画されている所は津波想定区域であり、災害発生したとき、業務が継続できるとは思えません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1512	502	清水区	その他	公園	上記のようにどのように見ても人とまちがつながったり、エリアの価値を高めるようには思われません。建物よりもむしろその場はバラ・アジサイ・アヤメ・・・など花の公園など心のなごむ富士山や海を背景の美しい公園であってほしいと思います。建物より美しい公園であった方がエリアの価値は高まるように思えます。	清水駅東口公園は、清水駅東土地区画整理事業に伴い、暫定的に整備された土地です。都市計画の観点からは、高度利用が図られるべき土地であり、このたびの庁舎建設地としては相応しい土地です。 なお、既存の植物は庁舎の敷地内に植え替えるなど、できるだけ、緑の空間を残すことを考えております。	○		○		
1513	502	清水区	その他	清水のまちづくり	地震、津波等々、自然災害のこと、財政のこと等々、後々のこともよく市民とともに考えて、この地が地道な永続して安心して住めるようにと願ってやみません。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。					○
1514	511	清水区	規模	組織について	国際海洋文化都市を推進する政令指定都市としては、港湾区域に政策立案の本庁機能があって当然で、経済局全体と臨海部担当の都市局を置き、企業立地促進に全力で取り組むべきです。 国際海洋文化都市を推進する政令指定都市であり続けるためには、新清水庁舎に経済局全体を置き、「港湾局」レベルの本庁機能を完備していただけますようお願い申し上げます。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をすするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。	○				
1515	511	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害に耐えうる構造建築であれば、防災拠点に最適ですが、対応策や統括指揮の想定に基づく危機管理の構築も早急に進めていただきたい。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1516	511	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	拠点建設を計画のまま進めることに賛成しますが、「点」から「線」、そして「面」に広げるため、民間誘致に必死に取り組んで頂きたい。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1517	512	清水区	その他	再整備・移転について	津波の想定はしているが、被害の想定はしていない。税金の無駄になると分かっていながら立てるのは、将来子供たちに負の遺産を残すだけではないのか。津波の前に地震があるわけで、液状化したら庁舎に行けないのではない、コンテナ、木材、LNGタンカー等流れてきた時の対策は？という想定か。なぜ津波想定区域にする必要があるのか、一番の疑問である。川勝知事が提案している桜が丘で検討したのか、したならダメな理由を知りたい。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1518	512	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	区役所ができるのと街が賑やかになるといいますが、今の区庁舎は決して賑わっていない。少しずつ賑わってきているのに、又寂れてしまいうさだ。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1519	513	清水区	その他	市民周知・市民参画	どんな区にするのか、区民の声を大切に検討してください。経済のことが大きく取り上げていますが、文化にも目を向けた住みやすい街づくりを希望します。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1520	513	清水区	その他	再整備・移転について	地震津波が起こった時、この基本計画では（とんでもない予想もしない災害となること必然です）納得いきません。地域防災力を高めるための指導力をお願いします。災害が起きた時、区役所は水没 機能しません。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1521	513	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	「人」と「まち」がつながる区役所のあり方は、いつでも立ち寄れる解放された空間を、区役所内に設けて欲しいです。十分の区民の声を聞いてください	市民に開かれた憩いの場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1522	514	葵区	その他	再整備・移転について	清水庁舎の位置は、現在地も移転先も、計画（案）「はじめに」に記載のとおり「津波などの災害リスクが避けられない土地」にある。新清水庁舎の建設は計画の背景に桜が丘病院の現清水庁舎所在地への移転があり、進めることに反対である、想定津波浸水域への桜ヶ丘病院の移転計画は見直すべきである。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。清水庁舎は、建物の老朽化などのため移転するものであり、病院の移転が前提となっているものではありません。					○
1523	515	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅のすぐそばで、電車でもバスでも車でもアクセスが良かったため、市民の誰もが行政サービスを受けやすいのではないしょうか。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1524	515	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	津波を想定した建物になっていると聞きました。一時的な津波に耐えれば、港、国道1号、東名、JRに近く、応援の物資や人、救援活動の拠点として良い立地だと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1525	515	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	清水駅周辺の賑わいを増すために、人が集まる民間施設を誘致してください。JRを使って、県内他市町からも集客できるようなものを期待します。建設賛成です。頑張ってください。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1526	516	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅に直結しており、利便性が高く、誰もが利用しやすい庁舎になっている。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1527	516	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	設備室が上階に設けられており、津波浸水時も業務が継続できるようになっていると思う。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1528	516	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設や駅と直結しており、人とまちが繋がりがりやすい計画になっていると思う。今後、商業施設の誘致等につながるエリアが増えれば、清水区のまちづくりの拠点になっていくと思う。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1529	517	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	新清水庁舎建設基本計画(案)の第6章「グリーン庁舎」(P36~P38)で事業の継続性・環境性・経済性・先進性の観点から、平常時・災害時における機能的かつ効率的な調査を検討されており、その考えには賛同致します。 新清水庁舎の建設予定地近くまで敷設されている災害に強い中圧ガス(既に静岡庁舎、清水庁舎で供給)と燃料電池等のコージェネレーションシステムの災害時の信頼性については、日本ガス協会の地域エネルギーシステムワーキンググループによる北海道胆振東部地震の報告(「震災・風水害に伴う大規模停電発生時のガスコージェネレーションの貢献」2018年10月報告)でも認識されております。 新清水庁舎建設基本計画(案)の第1章第2節第2項か「『清水区の防災拠点』としての機能(P7)内の第2目「災害時の業務継続機能」について、1点目の「ライフラインを強化した庁舎とします」に書かれていることは、消防法で定められている事項であります。さらに、方針として「エネルギーの自立化・多重化」の文言を入れても良いと考えます。 第6章グリーン庁舎(2)(P37)のコージェネレーションシステムの注意書きには、「また、災害時に通常の商用電力が途絶した場合でも、中圧ガス(災害に強いガス)を利用することにより、電力供給が行われるための電源の二重化を図ることが可能である」と書かれており、太陽光発電、蓄熱、コージェネレーションシステム(燃料電池等)といった次世代エネルギーの導入による「エネルギーの自立化・多重化」がポイントだと考えます。 新清水庁舎建設基本計画(案)の第1章第3節第1項第2目(2)「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」(p21)に「庁舎及び併設される民間施設を津波避難ビルに指定することで、津波対策時の避難機能が強化されます。」と書かれているため、事業継続機能の観点から新庁舎だけでなく民間施設を合わせた「エネルギーの自立化・多重化」を検討した方が良いと考えます。 新清水庁舎建設基本計画(案)の第2章第4節第4項(2)「ライフラインの途絶対策」(p33)について、第2章第3節第1項第2目(2)「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」(p21)にも「ライフラインの途絶対策」についての記述がございますので、前者の文言にも検討の一つとして「中圧ガス」が入ると考えます。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1530	518	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	駅から近いこと、民間施設の誘致をすることで市民、職員、また、市外の方にとっても利用しやすいのではないかと思います。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1531	518	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティ形式、地下フロアを設けないことにより津波被害の軽減が図られ、海から近いという不安の軽減となっているように思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1532	518	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	スペース(ピロティや屋外デッキ)を作ることで、ハード面は整うかと思えます。人とまちのつながりをコンセプトにするのであれば清水らしさを感じることができるようなスペースであると嬉しいですね。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○			
1533	519	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	清水駅等から直結しているという点では、市民が訪れやすい造りになっていると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1534	519	葵区	防災の拠点	防災全般	防災に必要な設備室等を上層階に設けること、1階部分をピロティにすることで、災害時も業務継続できる庁舎になっていると思う。可能性としては低いと思うが、デッキ部分にも津波が来てしまった時の対応策を運用上考えておいた方がよいと思う。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1535	519	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキ等はイベントにも活用できそうでよいと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○			
1536	520	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅と直結しているのは、JRだけでなくバスを利用する人にとっても大変ありがたく、雨にぬれずに庁舎まで行くことができるのは嬉しい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1537	520	葵区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	ユニバーサルデザインを取り入れることはもちろん、社会・市民の変化に柔軟に対応できる庁舎というのは、とても画期的で、市民・職員を問わず誰もが利用しやすい、将来を見据えた庁舎といえる。	レイアウト変更しやすいオフィス環境については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1538	520	葵区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	緊急時に避難できるベデストリアンデッキは、災害時だけ用いる特別な施設ではなく、日頃から来庁時には必ず通過する場所なのが、慣れていることもあり迅速な避難につながると思う。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1539	520	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	中層階以上に防災対策室等あり、災害時も津波などの被害なく業務が行えると思う。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1540	520	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	庁舎内のスペースをイベント等で利用するだけでなく、民間施設を誘致するというのに驚きました。清水駅付近(直結)で、公的サービス、民間のサービスの両方が利用できるということで、清水区の人とまちがつながる中心になると思えます。どのような民間施設が誘致されるのか今から楽しみです。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1541	521	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	多様な交通手段で訪れることができ、近年によりやく着目されるようになったプライバシーやバリアフリーといったニーズにも対応できていると思います。	プライバシーに配慮した窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1542	521	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	ピロティ形式にすることで、津波からのダメージを軽減する工夫がなされており、周辺施設からの孤立化を防ぐ位置での建設となっていて良いと思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1543	521	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水の中心地近くに行政機関があることで、民間施設(店舗やフリーマーケット)と公共施設(駅やテルサなど)との距離が縮まり、互いにその活動を刺激し合える活気ある「まち」になってゆき、そこに多くの「人」が集う場所となると思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1544	522	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結でアクセスが良い庁舎で利便性が高まり良いと思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1545	522	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	庁舎の案内板などに点字や音声案内があると障害のある方やお年寄りが使いやすくてよい。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1546	522	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	清水ということでは津波が被害が心配されるが、ピロティ形式であるため被害を最小限に出来ると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1547	522	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	庁舎として利用するだけでなく、公共空間をイベント等に活用することで、にぎわいが生まれ良いと思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1548	523	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	大地震、津波が起こった際に本当に大丈夫なのか不安です。庁舎が大丈夫でも、周りの被害状況でじん速に動けなかつたりしませんか？	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1549	523	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	おしゃれなカフェとかがあるとうれしいです！	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1550	524	葵区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	手続きが複数課にまたがることが多いので、わかりやすい看板や迷わない導線づくりは重要だと思います。様々な方（障がいのある方、高齢者など）に配慮した空間になることを期待しています。	庁舎のユニバーサルデザイン、分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1551	524	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	清水区は津波被害が予想されますが、ピロティ形式にしてその被害を軽減するというのは、よいと思います。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1552	524	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	液状化予想が中、と資料にありましたが、液状化については地盤改良するのでしょうか？災害発生後でも使用できる区役所になることを望みます。	液状化対策については、本編P30の「地盤の液状化対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1553	524	葵区	その他	清水のまちづくり	葵区のような、必要なものがひとところに揃うコンパクトシティになることを期待します。	平成28年3月に改訂された「静岡市都市計画マスタープラン」では、集約連携型都市構造（コンパクトシティ+ネットワーク）を将来都市像として掲げ、都市のコンパクト化と公共交通網の再編を連携して進めていくことを示しました。それを実現していくための計画として「静岡市立地適正化計画」を平成29年3月に策定いたしました。当該計画の中で、中心部などの拠点エリアへ必要な都市機能を誘導し様々なサービスの充実を図ることで、魅力ある拠点の形成を目指しております。					○
1554	525	市外	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	「誰もが入りやすい」施設を意識した庁舎を構想していると思う。駅前に移転することで徒歩で来庁される方は多くなり、ペDESTリアンデッキの新設は実現されるべきものである。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1555	525	市外	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害時に避難拠点となることは間違いないが、耐震性は最も力点を置いて対策すべき点である。また、津波に対しても、様々な場合に対応した機能を重視し、それを発信することが必要である。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1556	525	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	公共空間の設置は非常によいが、どういった用途で使用するかを明確にした上で構想することが重要であると思う。また、使い道がなくなっていくことがないようたえざイベントを打ち出していくことが必要。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1557	526	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近く直結しているので行きやすい区役所になると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1558	526	葵区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階部分をピロティ構造にし、設備室を上層階に設置することで、津波が発生した場合も災害対策拠点として活動できると思う。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1559	526	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティや屋外デッキをイベントで活用することで人が集まる空間になると思う。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1560	527	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅から直結して便利。ペDESTリアンデッキがあるから雨に濡れなくてすむ。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1561	527	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	設備室や活動拠点室が上階にあり、津波がきても機能できそう。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1562	527	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅直結だからアクセスがいい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1563	528	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と直結しているのは利便性が高いと思いますが、その行き来がスムーズにできるように案内標示板等をわかり易く掲示してほしい。	新庁舎のアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26「配置計画」に記載したところですが、ご意見を受け、新庁舎の公共交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、来庁者にわかりやすく見やすい場所に案内板を設置することについて、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に追加することとします。	○	○	○		
1564	528	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティや避難用デッキ等を建設したことで満足するのではなく、いつ何時くるかわからない災害時に、充分その機能が活用できるように情報伝達をもっと進めてほしいです。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面（運用面）を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1565	528	清水区	まちづくりの拠点	人と人をつなげる機能	新庁舎が行政業務の場としての庁舎にとどまらず、市民が気楽に立ち寄り情報収集等をできるような身近な場となり、清水駅周辺がますます活性化することを期待します。	人の交流や生涯学習の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1566	529	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅とつながっているため、電車・バス・タクシーなどの公共交通機関を利用しやすい。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1567	529	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	地震、津波に対して考慮された案で、災害時に十分機能する拠点となっていると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1568	529	葵区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	JR駅に近いので、市外からも人を呼びやすいイベント空間となると思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1569	530	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅やバス停などから雨に濡れずに庁舎に行けるのは、以前の区役所よりずっと便利になると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1570	530	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	高齢の方や障がいのある方への配慮もなされていて、あらゆる人が利用しやすい庁舎を目指しているところがよいと思います。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1571	530	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	清水区は港町として歴史のあるまちであることから、ウォーターフロント地域にまちの拠点の区役所が整備されることはとても良いと思います。港町としての賑わいを高める仕組みづくりを期待します。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1572	530	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	大規模地震時に清水区エリアで一番市民が懸念しているのは、津波の被害だと思っています。今回の計画では、ウォーターフロント地域にこれまでなかった津波避難ビルとしても整備されるということで、清水区の防災時の安全性がより高まり、安心して暮らせる港町になると思います。庁舎のつくりも、最大クラスの地震がきても安心であるということで、大地震がきてもまちの機能が失われないことが、市民であるわたしたちの大きな安心につながります。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1573	530	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしたエリアの価値を高める機能	職員が空き店舗などで打ち合わせをする仕組みが良いと思います。市の職員が外に飛び出すことで、市民との交流の機会が増え、開かれた行政につながることを期待します。	空き店舗の活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他	
1574	530	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	この計画では、公共空間の整備が多くされており、イベントで活用されることで、まちのにぎわいが増えるといいです。駅からのアクセスが良い立地であるので、清水区民だけではなく、遠方からの乗客が期待できるようなイベントも開催してほしいです。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1575	530	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	わたしは旧清水市で生まれ育ったため、以前栄えた港町の面影がなくなっていることは残念です。庁舎建設により清水区が活気のあるまちに戻るよう、市の仕組みに期待します。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1576	531	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と繋がっていることで由比・蒲原地区から電車で来る市民にもアクセスしやすい庁舎になっているのが良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○					
1577	531	清水区	防災の拠点	防災全般	ペDESTリアンデッキが津波に耐えられるか心配。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○			
1578	531	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅前銀座などの駅周辺エリアがかつての賑わいを取り戻せるようにその起爆剤となれば良い。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1579	532	清水区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	貸し会議室の必要性はあるか。	市民利用スペースについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P15の「規模の設定」に記載したところですが、「人と人をつなげる機能」を高めるものと考えております。			○			
1580	532	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	山田町の庁舎は地下に機械室があり、被害があった。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1581	532	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JRからのアクセスは非常に良いと思う。静岡鉄道からのシャトルバスやレンタサイクル、遊歩道の整備はどうか？駅東口側は風が強い印象があります。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の交通アクセスを更に向上させるよう、関係部局との協議等今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1582	533	葵区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	1. 体の不自由な自分としては、健常者に迷惑をかけず、かつ、安全に、用事を済ませられるような窓口配置になることを願う。また、駐車場は障害者用スペースがあっても、障害者の乗降が終わったら別の場所に移動しなければならず、一人でそれを待っていることが危なくてできないので結局障害者用スペースを使うことができない人が多いはず。どこに駐車しても歩行困難者が安全に移動できる駐車場になるとよいと思う。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○			
1583	533	葵区	その他	市政全般	2. 市役所は人員削減と業務増加が続き、サービス残業や休日出勤が多く過酷な環境にあると思う。しかし、それを知らない市民が多い。職員の働きぶりが良い意味でPRできるような設計にしてはどうか。 3. 葵区民の自分としては、清水区にばかりお金をかけているという印象を受ける。旧清水市の負の遺産の処理に自分の税金が使われるのはあまり良い気分がしないが、100歩譲って安全のために仕方がないこと、と納得したいと思う。ここまでお金を投入してもらうのだから、清水区民はイベントばかりに一生懸命になったり文句ばかり言うのではなく、自治会の清掃頻度を増やすなどせめて葵区並の努力をしてほしい。年2回程度の清掃がニュースになったりするが、葵区は高い税金を払いつつ文句も言わず月に1〜2回町内会で道路や公園の清掃をやっているのだから。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○	
1584	534	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	地元農家さんとの協力で定期的なマルシェを開催したらどうでしょうか。庁舎によったついでにフラッと寄れるような動線づくりに期待しています。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○			
1585	535	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	清水は観光地としてのポテンシャルが非常に高い地域であると思います。しかし、観光客を呼び込むには、地域の安全性を高め、安心して来訪できる場所であることも必要と考えます。防波堤とともに、一時的に避難できる施設があることで安心感が高まると思いますので、防災機能を充実させ、日本を代表するウォーターフロントになることを期待します。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○					
1586	536	清水区	その他	清水のまちづくり	今だに、津波想定域に庁舎や病院など基幹組織を建てるのが理解に苦しむ。 深夜、大きな津波が発生した場合、職員等は、どのようにして庁舎に入るのだろうか。進入禁止域になるとされるし、絶対機能しない。後世に残る汚点にならないように、ぜひ再考を。	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関するご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○	
1587	537	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	JR清水駅前は以前と比べ、活気がなくなってきたと思います。駅前商店街は七夕祭りや世界コスプレ大会など、様々な取り組みをされていますが、一時的な催しな気がします。新庁舎該当地区には、民間施設を誘致するようなので、近隣の魚市場やマリナートなどの回遊性に寄与する施設を入れてほしいと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○			
1588	538	清水区	その他	検討委員会	私は、この新清水庁舎基本計画(案)を計画の体をなしていない基本計画であり、一旦廃案にすべきと考えている。その理由は、建物を実際に造る基本計画になっていないからである。さらに、建設検討委員会に市庁舎の規模及び地震や津波等に係る専門委員が招聘されておらず適切な検討がなされないからである。以下にそれらの概要を述べる。 一般に、建物の基本計画を策定するにあたっては、現況調査、自然・社会条件、特殊条件を踏まえ計画に資する各種の調査分析を行い、基本方針、建物のコンセプト、基本計画、概算工事費、今後の課題を整理して基本設計の前段となるものとする。然るに本案には、計画に資する市庁舎の規模、即ち事務局の提示した床面積の根拠についての建設検討委員会による妥当性の確認を得られていないからである。 さらに、建物の基礎構造に必須の地質調査データが示されないまま、ピロティ構造や免振ダンパーなど地震や津波等の対策が言及され、計画が進められ、専門家(建設検討委員の中に地震や津波等の専門家がいない。)の助言を受けないまま計画が進められてゆく異常な状態であり、建設検討委員会の存在を無視して基本計画案を平成30年11月29日開催の第5回会議に資料として上程している。因みに、新庁舎建設地質調査業務委託の予算は、アセットマネジメント推進課の予算として議会承認されており、入札により平成30年9月には1000万円業者が決定され、9月20日頃には地質調査業務の内容に係る協議が終了して現地でのボーリング調査が開始されていたという事実があり、この1000万円という予算は、新清水庁舎基本計画(案)策定に何も役立たず無駄遣いをしたことになる。そして、計画地は埋立地である可能性があり、地震発生時に液状化が起きる可能性があるため市庁舎周辺の液状化対策事業費、また、清水駅東口土地区画整理事業は昭和から平成にかけて実施された事業であるため、最近の建設リサイクル法に対応する事業が行われていない。そのため計画地下に産業廃棄物が埋設される造成が行われた可能性があり、用途地域が工業系であったために特別管理が必要な産業廃棄物が埋設されている可能性もある。仮に、地質調査により産業廃棄物が埋設されている可能性が高い結果が出た場合は、静岡市の責務として全部を処分する必要があり、概算工事費の大きな組み換えが必要になる。 以上、計画の体をなさない新清水庁舎基本計画(案)、建設検討委員会に市庁舎の規模及び地震や津波等に係る専門委員のいない委員会の危うさについて述べた。一旦この新清水庁舎基本計画(案)を廃止して、建設検討委員会の助言に基づいた計画案の策定を求める。少子化が続く静岡市民に増税がないことを望む。	検討委員会では、平成29年度に「新清水庁舎建設基本構想」を策定する段階から防災に関する議論をしていただいております。 本基本計画を策定する際にも、同一メンバーで引き続き検討を行っておりますが、都市防災分野を専門とする方、建築分野を専門とする方、都市計画分野を専門とする方など多方面からのアドバイスやご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。						○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1589	539	清水区	その他	再整備・移転について	新清水庁舎に関する建設基本計画(案)に対する意見応募 【建設基本計画案に対する意見】 市民に開かれたコンパクトな庁舎の基本理念のもと、基本計画案には3つの基本方針がうたわれている。その一つに清水区の防災拠点とあるが、現在の清水庁舎について防災上問題点があるということで、移転することとなっている。それは、津波浸水想定地域に所在することが大きな問題である。基本計画案では、移転候補地として清水駅東口公園を選定しているが、この場所も津波浸水想定地域であり、はたして大規模な災害が発生した場合、防災上の拠点として機能し得るか、大きな疑問である。市側は、災害時新たな庁舎に本部機能がすぐに機能しない場合、対策本部を清水消防署に設けるというような話も聞いたが、それであれば、津波浸水予定地内の建設地は、避けてせめて津波の心配のない場所に建設すべきではないかと考える。なぜ、なぜあえて津波浸水地域に建設地と決定したのか、その理由や根拠が示されていないし、どの機関が健闘したのかも説明されていない。 津波に対して、建物の構造をピロティ構造として対応しているが、津波は単に水だけが来るものではない。清水港ということを考えたら、当然船や車なども一緒に流れてくると考えられる。そうしたものは、水の流れを妨げ、建物にもかなりの影響を与えるものと考えられる。そうした場合、アクセスの問題も含め、対策本部の立ち上げはかなり困難なものと考えられる。どこまで具体的にシミュレーションを行い、その対応策を検討したのか。こうした問題を避けるためにも、原点に戻って、建設地を津波浸水地域から離れたところに変更することも考えていいのではないかと。 まちづくりの拠点施設も大事であるが、根本に市民の命を守るということを第一としたものであるべきと考える。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1590	539	清水区	その他	市民周知・市民参画	【その他の意見】 清水庁舎の移転計画があまりにも唐突に示されたことに驚きを隠せない。桜ヶ丘病院の移転の問題で、移転先に清水庁舎跡地が提示され、それに伴い現清水庁舎の移転計画が出された。まるで桜ヶ丘病院の移転先とするため、清水庁舎を移転させると受け取らざるを得ない。静岡市における清水区のあり方について、十分な全体構想をもって、その中でそれぞれの案件を考えていくべきである。住民に対する説明も納得できるものでもないし、新清水庁舎建設についても、十分な検討がなされていないと考えられる。構想計画検討委員会でも出ていたように、なぜこれほど拙速に事を運ばなければならないのか。清水庁舎の移転とその移転先について、初めから結論が決まったような形で進めるのは、なぜであろうか。短い将来でなく、もっと先の静岡市そして清水区の姿を考えて、進めていってほしいと思う。 全体に今回の計画の進め方は、順序が逆で、極めて場当たり的、形式だけを整えるものという感を強く受ける。このようなことを行っていると、行政に対し不信感を抱かざるを得ない。	整備方法及び建設場所についての市案に対して、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証を行ってまいりました。その議論を経て、市として「清水駅東口公園」への移転建替えが最適であると判断しました。					○
1591	540	清水区	行政サービスの拠点	分かりやすく手続きしやすい窓口機能	フロア面積に限られるため、高齢者や障がい者の方も上階・下階に移動する機会が多くなると考えられますので、そういった方でも移動しやすい構造の庁舎にしてください。 市民の利用頻度の多い手続きについては1か所で完了するなど、市民の利便性を高めてほしいです。	庁舎のユニバーサルデザイン、分かりやすく手続きしやすい窓口機能については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1592	541	清水区	まちづくりの拠点	人と人をつなげる機能	ボランティアなど市民活動を支援するため、人や情報の集まる場としての庁舎の役割も考えて欲しい。	人の交流や生涯学習の場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1593	542	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	・交通の結節点に位置することから、車、電車、バス、自転車、徒歩、車椅子でアクセスしやすく、現在の市庁舎の様に周りが車だけの危険なアクセス状態では無くなるので、高齢者、身障者等の弱者も気軽に安全に行くことが出来る様になる計画だと考えます。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1594	542	駿河区	規模	組織について	・機能的かつ効率的な庁舎にするため、また将来のIoT活用を踏まえ、各種団体からの“在籍人数を増やしてほしい”等の要望に安易に乗らない様にしていきたい。	新清水庁舎の職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考にさせていただきます。	○				
1595	542	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	・由比、蒲原方面、三保方面を含め、清水区全体に向かって立地から、清水区全体の人やまちを守る意識は上げられると考えます。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点」としての機能に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1596	542	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	・懸念点として、災害時、国一方面から、又は国一への車両アクセスがJRで分断されていると感じます。緊急時のアクセスをもう少し広い範囲で示していただけるとわかりやすくなると思います。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1597	542	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	・駅や港に直結し、富士山が見える庁舎はそうは無いと思われます。現在の、選挙の時か、数年に一回の用事のみでしか行かない市庁舎に対し、明るく開放的な市庁舎にすることにより、より人の集まる機会は増えると思われ、「人」と「まち」はつながりは向上すると考えます。合わせて、清水駅 周辺の各施設との相乗効果で、駅前銀座を含めエリアの価値は高まると思われ。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。			○		
1598	542	駿河区	まちづくりの拠点	市民の暮らしに溶け込む機能	・景観形成計画には盛り込まれていますが、周辺は緑を充実させ、スマートな市庁舎とし、明るい清水区を目指して迅速に計画を進めて行っていただきたいと思います。	みどりを豊富に取り入れることについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1599	543	清水区	規模	組織について	静岡市・清水市合併協議会が発行した『人間躍動都市の実現に向けて』には、次のようなQAがあります。 Q. 市役所が遠くなってしまい、今までより不便になってしまうのではないかと。 A. 静清合併が実現すると、合併新市の中枢本部は、東静岡に立地し、従来の静岡、清水両市役所は、総合支所として整備するとともに、公共施設に複数の地域総合窓口を設置します。 これは、合併新市では、市民満足のための高次・高質な行政を推進していこうと考えているからです。したがって、従来の市民サービスの拠点としての市役所の機能は総合支所にそのまま引き継がれ、地域総合窓口も複数設置するので、居住地や勤務地など、より多くの場所で行政サービスを受けられることとなり、市民の利便性は飛躍的に向上します。 ところが静清合併後には、東静岡への新本庁舎の建設は見送られ、市役所静岡庁舎、清水庁舎に本庁機能を分散させています。ですから葵区民や駿河区民も、教育委員会、経済局や子ども未来局に用があれば、清水庁舎に行く必要があります。 しかし、今回の「新清水庁舎建設基本計画(案)」では、「全市を対象とした業務は静岡庁舎に集約する」としています。新清水庁舎に置くのは、清水区役所、海洋文化都市推進本部、清水区域を所管する事務所等の3つのみとなります。 これにより葵区民及び駿河区民は、旧静岡市時代と同じくすべてのサービスを静岡庁舎(旧静岡市役所)で受けられるようになります。反対に清水区民は、旧清水市時代はすべてのサービスが清水庁舎(旧清水市役所)で受けられたのに、これからは「市民に身近な窓口サービス」以外は、すべて静岡庁舎に足を運ばねばならなくなります。 これは対等合併をうたった静清合併の理念に反するものと言わざるをえません。確かに本庁機能が1か所にまとまる方が効率が良いでしょうし、新清水庁舎もコンパクトにでき経費が節約できるでしょう。 しかし、清水区民(旧清水市民)からすれば、静清合併の結果として市の名前だけでなく、市役所もなくなってしまう喪失感は大いなものがあります。市は、清水区民に対して、この点について時間をかけて丁寧に説明していく必要があると思います。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。				○	
1600	544	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅と直結なのは、天候に関係なく庁舎に行けるので便利でとても良いです。バス停も近く、来庁者用の駐車場の確保、それに伴う動線の分離もされているということなので、安全性も確保されて安心して利用できると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1601	544	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	市民が避難でき、かつ業務の継続が可能というのは素晴らしいと思います。清水港の近くに建設するには様々な可能性を検討していると思いますので、現実で良いのではないのでしょうか。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1602	544	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	来庁者・関係者で人が増え、民間施設も入るといことなので、エリアの価値が高まると思います。これらの人を清水駅の東西で回遊させるような、民間業者の誘致やサービスの提供を期待します。清水区のにぎわいの創出に繋がる庁舎を期待します。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1603	545	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の誘致など民間活力を活用した手法は、市の財政負担の軽減につながるので、より良い取り組みと考える。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				
1604	545	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	現庁舎の駐車場の幅が狭く感じるので、配慮してもらえるとありがたい。駅直結の庁舎には街との繋がりが感じられ、良いと考える。自然光を取り入れやすい庁舎になり、全体的に明るい雰囲気庁舎を期待します。	庁舎又は執務環境については、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1605	545	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階部分を津波が通り抜ける構造になっているので、津波に巻き込まれた岩や木がぶつかり崩れないか心配ではあるが、地下フロアを設けないようにするなど、災害に対する配慮が見受けられるので良いと考える。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1606	546	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駐車場が立体駐車場にまとまり、庁舎に隣接していて、優しい作りになっていると思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1607	546	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波で交通が麻痺した時に、どのくらいヘリコプターが利用できるのでしょうか。(避難したケガ人を1日に何人ぐらい送ることができるのか等)	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1608	546	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	賑わいのある駅や施設の近くに構えたことで、身近に感じられそうだと思います。	周辺の施設との連携については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」の整備方針の内容を充実させることとします。		○			
1609	546	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	ピロティやデッキから賑わいを作り、新しく民間施設が増えてくれれば嬉しいです	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1610	547	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	現庁舎と比べ交通アクセス至便で立地や最高に良いと思います。また行政機能のみならず民間サービスを加えることで質・量とともに周辺市街地の活性化に寄与するものと考えられます。施設の魅力や求心力が高まれば周辺道路の渋滞や駐車場不足、自転車放置なども顕在化してくると思われるので、そうした周辺対策も重要と考えます。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1611	547	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	賛否あると思いますが、港町(津波浸水地域)だからその立地、また有すべき機能が求められると思いますので、現在の案で良いと考えます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1612	547	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	物理的にJR駅と直結であることから、エリアの価値を高めることは容易であると思います。ただし、人が行き交う場所にしなければ一過性のものになってしまうので、民間サービスの誘致のみならず、市内事業者の商材を市民に知ってもらう機会など、柔軟な対応と参加交流が促されるスペースができることさらにその魅力を高めるものになると考えます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1613	547	駿河区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	現庁舎よりも海が近くなりますので、塩害にも強い外・内装を施してほしいです。	長期間効率的に機能する庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P47の「将来を見据えた庁舎整備の考え方」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1614	547	駿河区	その他	市政全般	対象外の話ですが、新庁舎完成後現庁舎周辺の施設等(お店や交通)がどうなるか心配。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1615	548	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	戸籍など窓口業務の電子申請書などIoT化による利便性の向上をお願いします。	ICT技術を活用した庁舎については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、本編P45の「将来を見据えた庁舎計画」に記載のとおり、将来導入が期待されるICTを踏まえた庁舎整備とします。	○		○		
1616	548	清水区	防災の拠点	防災全般	災害時の通路となるベデストリアンデッキの耐久性は大丈夫でしょうか。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1617	548	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	開放的な庁舎になるようなデザイン、機能性だと良いと思います。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1618	548	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水の活性化に寄与するような庁舎となることを期待します。	清水区の発展につながる庁舎については、本編P8の「清水区のみちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1619	549	駿河区	防災の拠点	防災全般	ベデストリアンデッキの耐震性を高めてください。立派な施設ですね。駿河区にも欲しいです。	周辺の施設を考慮した業務継続機能については、本編P21の「ウォーターフロントにおける新清水庁舎の防災機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後も引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1620	550	駿河区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	子供(幼児)連れでも利用しやすい区役所を希望します。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1621	550	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	子ども(幼児)連れでも発災時安全が守られるのでしょうか。安全確保をお願いします。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1622	551	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	災害時に避難できることを、付近にいる市民がわかるよう明確に示すようにしてください。発災時、庁舎内にいる人の安全の確保は大丈夫ですか。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1623	552	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	JR清水駅に近接した立地であり、蒲原、由比地区を含めた、清水区のある交通利便性の高い庁舎として活用されることが期待できる。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1624	552	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波被害が懸念されているが、災害発生を十分考慮した庁舎として建設されるものと考えている。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1625	552	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	海洋文化の拠点づくりの中で、清水都市の中核施設として、清水エリアのまちづくりに大いに寄与するものと思われる。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1626	553	清水区	その他	再整備・移転について	なっていないと思う。利用しやすい=安全な場所ではないでしょうか？津波の恐ろしさを東北の地震で学んだと思いますが、清水の庁舎は何も学んでないと思います。テレビで皆さん言っていました。「想定外だ」と。それ以上の事が起こるかもしれないのに、もっと学んでください。人とまちが繋がるというなら、安全な場所に建てる計画にしたらにほしいです。安全でなければ何も始まりません。清水の庁舎の立てる場所には反対です。市民の安全を考えたらこんな場所に立てることはできないと思います。市民との話し合いの場を持ち、安全な場所に庁舎を建てる計画に変更してください。多くの市民が思っています。口に出して言えない方もいらっしゃいます。だから私は言わせていただきます。安全な場所へ庁舎を。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1627	554	清水区	その他	再整備・移転について	清水駅近くということはJRを利用する区民等に取りましては、平常時には便利かと思えます。ただ区民の行政サービスとは何でしょうか？安心してサービスを受けられることではないでしょうか？指摘されていますように、30年以内に70～80%の確率で南海トラフ地震が予想されています。災害が発生した時にも極力区民がスムーズな形でサービスを受けられることを考えれば、海拔1～2mの現在候補の場所は将来不安です。下田市は庁舎を現在の海拔2.5mから、また牧之原市は現在の海拔5メートルから高台に移転するとされています。清水区では行政サービスは一部の学習交流館でできる形になってきています。中核の区役所は安心してサービスを受けられる場所に置くこと、そして平常時の学習交流館の活用をより工夫し災害時にもスムーズに行政サービスに対応できる学習交流館を増やしていくべきだと思います。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1628	554	清水区	防災の拠点	防災全般	現在候補地は津波避難地域、また石油コンビナート避難地域です。東日本大震災で気仙沼、そして千葉市原でのオイルに引火した広域火災の点をどう考えているのでしょうか？また津波により転覆したタンカー等、船舶も区役所に衝突することが考えられます。このような場所が災害拠点となって良いのでしょうか？12800人もの人が避難できるのでしょうか？広報ではこの点を取り上げていません。	コンビナートエリアの災害への対策については、本編P32の「その他の災害対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1629	554	清水区	その他	清水のまちづくり	駅周辺の経済的効果はある程度考えられます。しかしまちづくりとは何でしょうか？経済効果も大切ですが、その前にまず人の命を大切にすることが出発点ではないでしょうか？公共の建物は可能な限り高台に設置することを望みます。まずウォーターフロントの結論ありきで事が進んでいる印象を受けます。過去の教訓に耳を傾けていただきたいと思えます	清水区は、港湾関連産業を中心に港町として発展してきた歴史があり、沿岸部の江尻エリアと日の出エリアに中心市街地が形成されています。この現状を踏まえ、清水都心のまちづくりに関るご意見として、清水港臨海部グランドデザインを検討する中で参考にさせていただきます。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1630	555	清水区	その他	再整備・移転について	庁舎移転問題、津波の浸水区域です。将来を見据えた庁舎ではありません。しっかりしてください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1631	555	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	そこから（新庁舎）職員は防災行動ができません。住民もそこにいけません。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1632	555	清水区	その他	清水のまちづくり	新庁舎とまちづくりとは別問題です。	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の施設運営に反映してまいります。				○	
1633	556	市外	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害対応として、設備室等を上層階に設置とあるが、発電設備などの燃料の確保や供給方法は検討されているか。また避難経路の確保（庁舎利用者）されているか。	ライフラインの継続や2重化については、本編P33の「ライフラインの途絶対策」及び本編P38の「環境性能と防災機能を両立したエネルギー利用」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1634	556	市外	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	新庁舎の周辺に外の施設、また民営の施設が作られないと人が集約できない。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1635	557	清水区	その他	再整備・移転について	わざわざ津波が来るとわかっている場所に建設しようという計画に疑問です。区役所が防災力を強めることは当たり前です。津波が来ても大丈夫な建物をつくる日はなく、来ても安全な場所に建設することが行政の責任です。庁舎が利用しやすいというのは当たり前。津波浸水域に作って利用しやすいという考え方は津波は来ないからということが前提になっている。くどいようですが、津波浸水域でなく高台にと願います。ぜひ考え直してください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1636	557	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	区役所が駅周辺の拠点になるとはどういうことか？一市民としてはとても理解できない!!です。駅周辺のまちづくりは商店街との連携をどう強めるか、市民・区民が魅力ある商店街かどうかで繁栄するかの分かれ道。バスなどへの導線もなく、高齢者はどうするのか、どうなるかの対策が必要ではないか。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1637	557	清水区	その他	市民周知・市民参画	意見応募用紙を手に入れるのに一苦労。コンピューターはなし。区役所へ行くバス路線はなし。どうして入手するというのか一考を要すると思う。本当に市民(区民)の声を聞く気があるのか疑問に感ずる。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、パブリックコメントは、一般的な市民参画手続であり、意見の数や賛否を問うものではなく、市民の皆さんから多種多様な御意見をいただき、施策案をよりよいものとするための手法です。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。					○
1638	558	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	災害時に、他の地域から来る救援物資の荷捌きしやすいデザインにすると良いかも。例えば南口バスターミナルの見直しとか。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1639	558	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	JR等の交通システムと庁舎をデッキで継ぐデザインは良いと思う。デッキエリアにエスパルス観戦や他のスポーツ(オリンピック等)の観戦が見られるオーロラビジョン等があると良いかも。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。			○		
1640	559	葵区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から直接アクセスが可能なら利用しやすくなっていると思います。また現在の清水庁舎では、駐車場に入るために公道に列がでることもあるため、駐車場の整備にも期待しています。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1641	559	葵区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	地域住民向けの事務を取り扱う部局をメインとしたコンパクトな庁舎となることで、災害時には地域の状況把握や復興といった業務に集中でき、スムーズな活動が見込めると思います。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1642	559	葵区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	事務手続きのみのために庁舎に赴くとなると億劫ですが、商業施設があれば出かけやすくなります。事務手続きがスムーズに行われることが一番ですが、待ち時間を有効活用できればストレスも軽減できるという点で、訪れやすい庁舎になっていると思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1643	560	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	歩きや電車で役所に行く人は少ないですよ。駐車場確保とか、伴っている問題解決できるのでしょうか？近くの踏切で不便なところもありますし。清水の場合、「駅近で便利」は当てはまらないでしょう。「将来を見据えた庁舎」とは到底言えない。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1644	560	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	全然言えないでしょう。仮に庁舎は頑強で災害に残ったとしても、まず周辺の道路が機能しないでしょう。30年以内に来ると言うデータの元、この事業を起こすことに疑問を感じ、市民のことを考えてくれない姿勢がっかりします。命がかかっているのですから。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1645	560	清水区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	コンパクトシティには賛成ですが、庁舎で人の流れが変わるとは思えません。全く。	まちの賑わいについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、JR清水駅周辺の中心市街地に、生活に必要な都市機能を集約し、拠点性を高めることで、まちの賑わいを創出できるものと考えております。			○		
1646	560	清水区	その他	再整備・移転について	桜が丘病院移転から発した庁舎移転なのに、病院問題解決なくして順番が違えば、第一もつたいない、そして危険な場所ということから、本当に市民のことを考えてくれるのか疑問。今の庁舎はまだ30余年使えたと聞きます。リフォームして使いましょう。箱ものは今の時代新しく作ることは次世代に迷惑です。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。				○	
1647	561	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	デッキにより駅からのアクセスがもちろんのこと、バスや自家用車利用の人達も雨などの天気を気にせず利用できる。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1648	561	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	地震や津波の対応を十分考えられている。災害時の帰宅困難者の避難所としても有効である。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1649	561	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	駅の東側に庁舎ができることで、駅周辺の活性化に繋がると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1650	564	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	本来、開催されていたフリーマーケットや広場としての役割をどこへ移転していくかが課題であるように感じます。	東口公園のイベント会場については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P20の「清水駅東口周辺における新清水庁舎のありかた」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1651	564	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	外国人観光客が増加していく中で駅前に庁舎が出来ることで、清水をアピールしていくことが出来るように思います。	立地条件を活かしたまちづくりについては、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1652	564	市外	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	新清水庁舎は海から近いので、そういった場所に安心して避難することの出来る施設が建設されることは区民にとっても助かると思います。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1653	564	市外	まちづくりの拠点	まちづくり全般	駅から繋がるということもあり、清水駅に訪れに多くの観光客が利用することが予想されるので、清水の魅力を発信するようなイベントやブースを設ける必要があると感じます。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1654	564	市外	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	人々が滞在することの出来るような展望スペースやカフェに期待しています。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1655	564	市外	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	富士山、駿河湾の眺望を活かした空間が形成されてほしいと感じました。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1656	566	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	防災の観点から見た機能が数多くもりこまれてる印象を受け、とても良いものだと感じます。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1657	566	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	1Fのピロティ形式というものは、見た限りだと階段が多くなり年配の方などが日常的に利用する際に不便が残るのでは、と思います。	利便性の高いアクセス環境の確保については、本編P6の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」と本編P26の「土地利用・配置計画の方針」に記載したところですが、新庁舎の徒歩でのアクセスを更に向上させるよう、港周辺のまちづくりと連携し、課題解決に努めてまいります。	○		○		
1658	566	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ただ庁舎があるだけでなく、災害時と災害後のことをしっかりと想定している姿勢があるため、一市民としては安心感があります。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1659	566	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	清水港が近く、外国人観光客が多く訪れる可能性があるため、庁舎内にも多言語で案内ができる機能を設置してはどうでしょうか。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1660	567	清水区	行政サービスの拠点	機能的かつ効率的な庁舎機能	利用しやすいという点では、ユニバーサルデザインが適切に施されているので十分誰もが利用しやすく、将来性もあると感じた。	効率的な庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1661	567	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	津波対策のピロティ形式の採用や、アクセスのいい立地のため、減災の効果はあると考える。	災害に強い建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1662	567	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅のすぐ建てることで景観に1つの要素が加わり、新たな調和が見込まれると感じた。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1663	568	清水区	行政サービスの拠点	ユニバーサルデザイン	誰もが利用しやすいという形で計画することについてだが、清水の中には目や足に障害を持った人や車いすの人などが周りにおり、段差や点字（自動販売機など）にも障害者が利用しやすい環境をつくるのも良いかもしれない。	庁舎のユニバーサルデザインについては、本編P5の「清水区民の行政サービスの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、利便性向上とバリアフリーに配慮し、エレベーターやエスカレーターをわかりやすく利用しやすい位置に設置することについて、本編P12の「階層構成の方針」に追加することとします。	○	○	○		
1664	568	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	防災拠点については、私は何も言うことはないが、津波は来ることがわかっているため早めの食糧確保や避難経路を頭の中に入れておく必要がある。	緊急避難機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」及び本編P20の「防災対策からみた新清水庁舎の役割」に方針を、本編P35の「ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1665	568	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	東京の大都会みたいな感じでなく、清水区は清水区らしい、田舎でもなく都会でもない雰囲気を感じさせていけたらいいな、と考えます。	清水の玄関口にふさわしいデザインについては、本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1666	569	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	建設地に民間施設を誘致する案について、宿泊、飲食、物産店の他に、観光スポットの紹介やアクセス方法、詳細を知ることのできる施設を設けた方が良いと考える。また、現在の市役所は外から見た時に私の出身地の市役所と比較し、暗く入りにくい雰囲気が感じられるためデザインを明るくするべきであるとする。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1667	569	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	ピロティの高さについて南海トラフ地震が発生した時の規模を予想されているものより少し大きいものであると仮定した時に十分なのか心配。	ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。			○		
1668	571	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	実際に自分が住んでみて、多目的トイレ、駐車場よく利用する。そしてとても使いやすく、ちょうどいい距離になっており効率的であると感じる。また、バス停などもアクセスしやすく、利用しやすい環境であると感じる。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1669	571	清水区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	耐震も強化されており、安全の環境を感じる。特に緊急避難できる場所が定まっているのが準備できていると思う。もっと宣伝すると認知度が上がると思う。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1670	571	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	とても景観が人の心を豊かにしており、人とまちがつながっていると感じた。	富士山や海の眺望を活かした庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P42の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1671	572	清水区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅前に移転することでアクセスが良くなり利用しやすくなると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1672	572	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	1階が開放的な空間であり、津波に耐えられ、免震構造を採用している点において、防災面でも高く評価できる。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1673	572	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	民間施設の誘致により、まちの活性化につながる他、人が集まる場所となり、賑わいのある場所となると思う。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○				

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1674	572	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	広場にはライトアップなどを行い、観光スポットとしての機能を設けると共に防災面を高めて欲しい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1675	573	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	コンパクトで効率の良い庁舎だと思いますが、建物の中に図書館や保育所などがあると便利だと思います。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1676	573	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	ピロティ形式にして津波が通り抜けていく構造の建物にしているのは分かりますが、清水駅の西口方面も浸水してしまったら建物自体にも近づくことができないのではないのでしょうか。	業務継続機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な対策を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1677	573	清水区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	清水駅周辺に買い物などの用事で出掛けることがほとんどなくなってしまい、東口は寂しい感じがします。ウォーターフロントの良さを生かす施設や人が集まる量販店やスーパーなどの誘致をするなど、駅周辺の賑わいを取り戻すことを一緒に考えないと、庁舎だけが浮いてしまう気がします。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1678	574	清水区	規模	組織について	庁舎面積、職員数の大幅な減少は不安です。区民への行政サービスは大丈夫でしょうか？	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
1679	574	清水区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	災害時に対応や緊急避難対策本部として、区民の安全第一な具対策を講じてほしいと思います。	ハード面については、本編P28の「構造・設備計画」に記載したところですが、ご意見を受け、災害時に庁舎が適切に機能するよう、ソフト面(運用面)を考慮した設計とするとともに、関係部局に周知徹底してまいります。	○		○		
1680	574	清水区	その他	市政全般	商業施設と行政、官民一体となったまちづくりの為に、もっと一体感がなければと思うのですが。意識改革してほしい。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。					○
1681	574	清水区	規模	組織について	経済局はこれからのまちづくりのためにも、清水庁舎に存続させるべきです。新庁舎と桜が丘病院の建設は一体で行ってほしいです。	新庁舎に配置する部局や職員数については、本編P11の「配置する部局」に記載したところですが、市では、意思決定の迅速化や事務効率化の観点から本庁組織を静岡庁舎に集約することとしています。しかし、そのために市民サービスが低下することのないよう、新庁舎には区役所のほか市税事務所などの事務所等の配置をするとともに、港を中心としたまちづくりなどを進め、まちの活性化を実現する本庁組織を配置していきます。			○		
1682	575	清水区	その他	再整備・移転について	(1) 清水区民の行政サービスの拠点について まず2019年の正月前後、清水区的全世帯に自治会を通して配布した新清水庁舎建設基本計画(案)は欠陥資料です。津波浸水深に具体的な表示がされていません。このような資料を清水区的全世帯に配布することは、清水区民に不正確な認識をもたらすもので、まずもって指摘と抗議をしたいと思います。清水区的全自治会の回覧板で回覧された新清水庁舎建設検討通信のVOL.1から10を読みました。市民の命と財産を守るという行政の中心的役割を果たすのに津波による災害に対して、より安全で機能的な場所はどのような場所が良いかを新清水庁舎建設検討委員会で議論された形跡がありません。それなのに最も危険なところと思われる津波浸水想定区域に移転しようと計画したのか十分な説明もされていません。このような重要な問題を明確にしないで行政サービスの拠点について意見を論じるなどできません。一番大事なことで議論を始めてください。 (2) 清水区の防災拠点について 津波浸水想定区域に建物があるということがいかに危険かは、次の例でわかります。横砂にあった湾岸消防署は津波による危険を予想して内陸部の庵原町に移転し、港北消防署になりました。また旧東海道奥津宿跡にある興津交番も老朽化と津波の危険を避けるために、より内陸部の八木間地区の移転の計画があります。津波浸水想定区域への清水庁舎の移転計画について、静岡市外に住んでいる知人に新清水庁舎建設基本計画(案)を見て頂き意見を聞きました。この問題と全く関係のない人の方が、より冷静な見方をしてくれようと考えたからです。次のような見解を寄せてくれました。「新清水庁舎の図面を見て目を疑いました。津波が想定されるウォーターフロント地域の建造物に、ベデストリアンデッキとか緊急避難用デッキとは信じ難いことです。ピロティは10メートルを津波のに逃げ道となるという想定ですが、壁面のない開放的な空間の上に立つ柱だけの建造物は津波の破壊力には無力です。東北では巨大な船や車などが津波に押し流され、ビルや家などを破壊しました。ピロティは津波に押し寄せられてきた巨大建造物の破壊力に打ち勝つだけの強度があるのでしょうか。東北大震災の教訓が全く生かされていないように思えます。庁舎内には2,800人の市民が緊急避難できると想定されているそうですが、10メートルを超す高波が押し寄せる庁舎で、海水の被害を受けない場所は6階以上くらいのもので、そこに2,800人が避難できるはずがありません。緊急避難用デッキやベデストリアンデッキ、立体駐車場に10,000人が避難できるとありますが、デッキは高波から避難できる場所ではありません。津波が押し寄せるのを、10,000人の市民が眺めているとどうなのでしょうか。信じがたい話です。」静岡市以外の他地域の方が率直に見た結果だと思います。こんな場所に庁舎を建てるのは、将来に至るまで日本国中の方の笑いものになると思います。こんな状態で災害時に機能が果たせるなんてとても考えられません。新清水庁舎の建設は、津波浸水想定区域外の津波の災害により安全な場所への移転を再検討してください。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望めます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1683	575	清水区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	(3) 清水区のみまちづくりの拠点について (1)と同じ理由で、庁舎建設にとって一番大事なことの議論をまず始めてください。次に議論するならば、まちづくりとして清水の宝は富士山の景観です。これを中心に据えなければなりません。JR清水駅の改札口を出た所で富士山を見ることが出来ます。これぞ清水の宝です。JR清水駅は清水区の玄関です。遠方から来た方が改札口を出た途端、富士山を目にします。きっと感激することでしょう。これこそが最高のおもてなしです。駅のコンコースのどこからでも富士山を見ることが出来ます。清水駅東口公園に新清水庁舎を建設すると、富士山はJR清水駅から見えなくなります。それは清水の宝を失うこととなります。富士山の景観を残せるかどうかは清水区に住む人の心意気にかかっています。	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。			○		
1684	575	清水区	その他	検討委員会	(4) その他の意見について 2,018年11月29日の第5回新清水庁舎建設検討委員会を傍聴しました。委員は、静岡市職員の示す資料の説明を聞き感想を言うだけでした。議論を戦わすのではなく、案件に対して検討がなされているようには見えませんでした。検討委員会の委員の方は気の毒だと思います。新清水庁舎の場所の選定にしても静岡市職員の提示した候補5ヶ所のすべてが津波浸水想定区域で、その中から選ばなければならなかったからです。委員それぞれの思いがあったのでしょうか、静岡市当局の方針に沿うような形になってしまったことでしょうか。11月29日の検討委員会で委員の中から「浸水地域に建てるのが関心事になっている。」、「浸水区域外の検討がなかった。」、「もっと検討したかった。」の声があり、このことは新清水庁舎建設検討委員会で市民の命、財産をどう守るかという一番大事なことに検討委員会が向き合っていないためだと思います。津波浸水想定区域でないところを模索するという一番大事なことで、再検討をお願いします。	検討委員会の委員には、事前に事務局から十分に説明を行った上で検討委員会に出席していただいております。 検討委員会では、ご自身の専門分野や経験を踏まえたご意見を述べていただき、そのご意見を事務局が参考にさせていただいて基本計画案をまとめさせていただきました。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1685	576	駿河区	その他	検討委員会	計画書のずさんさを指摘する。 本計画では基本方針を三つ掲げている。その一つは「災害に強い防災機能の充実」である。それに反して、新庁舎を津波危険地域に建設することを大前提としている。計画の基本方針に反している。検討委員会では、それをチェックするのが本来の仕事の一つでもあるが、全くされていない。再度、別のメンバーを選定して、一から基本方針に沿った検討を実施すべきである。従って今回の検討委員会の結論には納得がいかず、建設には反対である。	検討委員会の委員には、事前に事務局から十分に説明を行った上で検討委員会に出席していただいております。 検討委員会では、ご自身の専門分野や経験を踏まえたご意見を述べていただき、そのご意見を事務局が参考にさせていただいて基本計画案をまとめさせていただきました。					○
1686	576	駿河区	その他	清水のまちづくり	桜ヶ丘病院を現清水庁舎に移転することから、新庁舎建設の検討が始まっている。なぜ一病院のために現清水庁舎を移転するのか、全く理解に苦しむ。静岡県川勝知事も、桜ヶ丘病院を現清水庁舎への移転を反対している。行政のトップである静岡県川勝知事が、桜ヶ丘病院と現清水庁舎への移転に反対している中で、なぜ、病院移転⇒清水庁舎移転を考えるのか全く理解に苦しむ。静岡県川勝知事事了解、了承「桜ヶ丘病院を現清水庁舎に移転する」を貰ってからにするべきことである。川勝知事の意見を無視した行動をやり方である。新清水庁舎移転には反対します。 そもそも新清水庁舎建設の検討はなぜ始まったのですか。桜ヶ丘病院の移転先を現清水庁舎に候補地と決定したからです。静岡市民は桜ヶ丘病院の移転先を、津波浸水域である現清水庁舎にすることは誰も認めていません。同様に川勝静岡県知事も桜ヶ丘病院を現清水庁舎に移転することを反対しています。田辺静岡市長、桜ヶ丘病院の二者が独断で決めただけで、市民及び川勝知事事了解を得ていません。桜ヶ丘病院の移転がなければ新清水庁舎建設も必要ないです。したがって、新清水庁舎建設には反対します。	JCHO(桜ヶ丘病院の運営主体)は、平成29年3月に清水庁舎跡地への移転方針を決定しており、本市は早期の移転を支援していきます。					○
1687	576	駿河区	その他	再整備・移転について	静岡市はコンパクトシティ実現のために清水都心地区に都市機能を集約することとしている。ならば現在ある清水庁舎を有効活用して発展していくことを考えるべきである。この議論が全くされていない。現清水庁舎の半分を行政部分が活用、利用、残りの半分を貸し事務所、テナント、ショッピングモール等への民間活力、活用すべきである。現清水庁舎を有効活用するという観点から、新たな検討委員会を設置することを提案する。現清水庁舎をリニューアルして活用するという議論は、現在の検討委員の能力では無理である。現清水庁舎を有効活用するという視点で、新検討委員会を設置すべきである。現庁舎は建築後、まだ50年も経過しておらず、解体とはもっての外である。リニューアルして半分を民間活用していただくことで再検討をすべきである。新清水庁舎建設には反対である。	検討委員会においては、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3つの整備方法について、市民委員による市民目線からのご意見、学識経験者による専門的見地からのご意見を加えて比較検証し、①清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリアに移転させることで、来庁者の利便性が向上するとともに、商業・業務の中心地として同エリアの発展の第一歩となる、②年間あたりのライフサイクルコスト(LCC)が最も安価である、③工事期間が短く、工事期間中も市民サービスが低下しないことから、市として「移転建替え」が最適であると判断しました。					○
1688	576	駿河区	その他	再整備・移転について	清水駅東口への新清水庁舎建設には反対である。なぜなら危険域に建設して危険を防ぐ方法を検討するよりも、なぜ安全地域を探さなくいか極めて不満を感じる。コンパクトシティ実現という言葉での不誠実なる回答は不用である。安全域を探して、再度検討をすべきである。新清水庁舎建設には反対である。 今後起きる東南海地震、津波による災害について、現庁舎ではどの位、新庁舎ではどの位の被害、について真剣に議論がされていない。最大クラスの地震や津波に耐えられる構造となっているが、死傷者はゼロ、建物被害はゼロ、となっているかの検討が全くされていない。耐えられる構造になっていれば、死傷者はゼロと、誰も検討はしていない。机上の空論、作文に終始している。新清水庁舎建設には反対します。 新清水庁舎建設には反対します。計画の基本方針の一つとして「災害に強い防災機能の充実」を掲げている。それにもかかわらず、静岡市、静岡県が津波危険地域に指定している場所に区庁舎を移転するのは、市民を無視したやり方である。「新清水庁舎建設委員会」メンバーの常識を疑う非常に重大な事項である。災害に強い機能であるならば、津波浸水域への建設はやめるべきである。新清水庁舎建設には反対します。 有識者、市民の代表として「静岡市新清水庁舎検討委員会」で最重要項目の建設地点、災害の検討が全くされていない。コンパクトシティ実現のためという名目で、江尻地区から4ヶ所を選んでいる。災害に強い街づくりを考えるならば、清水地域全体から候補地を選定すべきである。建設地点の選定自体が間違っている。従って津波浸水域に清水庁舎建設は反対する。 前回のパブリックコメントでは、災害リスクの高いところでの移転は避けるべきと134件も出ている。それにもかかわらず防災機能を強化するという言葉で逃げている。根本的な解決にはなっていない。津波浸水域を外した場所で検討を行うのがなぜできないのか疑問視する。検討メンバーを入れ替えて災害リスクのない高い場所での検討を行うべきである。現津波浸水域の建設には反対する。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。					○
1689	577	清水区	その他	市民周知・市民参画	形式整えただけのお飾りの住民理解を理由に提案された本計画に反対します。 前年度の新清水庁舎建設基本構想(案)に対するパブリックコメントに引き続き、同じメンバーで構成される検討委員会の5回の開催を経て、新清水庁舎建設基本計画(案)がまとめられ、今年度のパブリックコメントが、年末年始のあわただしい時期に実施され、形ばかりの住民意見募集が行われていることに対し、清水区民として、静岡市長ならびに市当局の行政姿勢に、大いなる失望感とあらためて不信感を抱かずにはいられませんとまず申し上げます。 津波リスクがある場所に、あえて新庁舎を建設しようとするこの計画は、将来にわたり人の命や住民の安心安全を脅かすことになりかねません。今回のリーフレットでは、検討委員会において十分には議論されなかった防災上の問題を中心に、安全性を強調していますが、庁舎だけが被害をうける訳ではありません。庁舎は、避難タワーとしては有効ですが、1週間前後の孤立が予想され、清水区の防災拠点たりえません。庁舎は残ったとしてもその周辺がどうなるのかの防災の観点で総合的な検討は行われていません。箱物投資を全否定するつもりはありません。しかし、桜ヶ丘病院の移転先を津波浸水域の現庁舎跡に決めさせ、現庁舎を同じ津波浸水域に移転させる必要性をまちの活性化のためとして作文し、推進するこの杜撰な計画については、現状で賛成することはできません。 住民参画条例に則ってやってきたからから問題なしというのが市当局の見解のようですが、「検討委員会には、答申を求めているのではなく、あくまでも意見を伺って参考にさせていただくもので、決定するのは、市当局である」との発言から明らかなように、単に形式を整えただけのお飾りの住民理解を理由に提案されたこの計画には反対します。 平成が終わり、あらたな元号が始まるこの時期に、大規模投資を強引に決め、一度決めたことは方針変更をしない、認めないという問答無用の行政姿勢は、昭和末期～平成初期のバブル景気の時代には通用したかもしれませんが、今やそんな時代でないことは明らかです。 現在の状況、地域の状況にあわせ、市民の安全を第一に考え、総合的な防災、減災の観点から歴史に学び、他の被災地の教訓に学んで、常識的な見直しを行ない、軌道修正をするのが、静岡市のリーダーの役割ではないでしょうか?	ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。 更に、パブリックコメントの実施にあたっては、基本計画案を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、清水区には全戸配付し、葵区、駿河区には組回覧を行いました。 今後も事業の進捗については、必要に応じ市民の皆さんに周知してまいります。					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1690	577	清水区	その他	市民周知・市民参画	<p>移転場所についての住民理解が不十分な杜撰な計画であり、反対します。</p> <p>「現庁舎は耐震性が不足しており、防災拠点としての機能が十分発揮できない」ので、新庁舎の検討が始まったと聞いているが、この基本計画では、現庁舎よりもさらに災害リスクの高い場所=津波危険域に建設することを大前提として作られています。市庁舎の建設計画書としては、基本的な事項である建設場所の選定理由や根拠が説明されていないので、たいへん杜撰な計画であると言わざるをえません。</p> <p>とりわけ津波危険域に区庁舎を建設する理由、根拠は本編のどこにも記述されておらず、どの機関で検討されたかも記されていません。</p> <p>そして、仮に、この場所を選択した場合は、市民の安心・安全に対する総合的な検討を行って、住民の理解を求めることが、最低限必要なことと考えます。</p> <p>よって、これらのことが現状では、十分だとは考えられず、この移転計画に反対です。</p> <p>建物の安全性しか語れない防災対策は、市民の安全を第一に考えるべき行政の安全対策としては不完全です。総合的な防災対策を真剣の考えて再検討して下さい。よって、現時点では、移転場所、移転計画に反対します。</p> <p>「災害に強い防災機能の充実」を計画の基本方針としていますが、本編(60P)を見ても、「防災」に関する記述は僅か(第2章に5P)です。</p> <p>そこでも災害危険域内のJR清水駅東口を建設位置とすることを前提として、限られた防災対策を述べているだけで、建築場所の危険性から市民の目を逸らそうとしていると指摘せざるを得ません。周辺のことにも一切触れずに中心市街地(?)の安全対策など語ることはできない筈です。</p> <p>さらに、全戸配布のリーフレットは、庁舎(建物)の安全性は記していますが、これをもって、～清水区の防災拠点～たりうかのよう表現を使い、地域の災害対策は万全であるという印象付けを狙った手法であると指摘させていただきます。</p> <p>想定される東南海地震・津波による災害などを真剣に捉えた検討がなされているとはいいがたく、作文に終始しているようで、計画書の防災対策には大きな疑問符をつけざるを得ません。防災対策については、総合的な検討を期待し、現状の現計画に反対します。</p>	<p>ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。なお、基本計画の策定にあたっては、障害者団体などへのヒアリング、市民委員を含む検討委員会の開催、パブリックコメントなどを行い、多くの市民の皆さんのご意見を伺ってまいりました。今回いただいたご意見についても、基本計画や建物の設計をよりよくするものについては、積極的に反映していきたいと考えております。</p>					○
1691	577	清水区	防災の拠点	災害に強い建物構造	<p>区役所候補地は危険地域です。現状をしっかりと認識して、再考すべきです。</p> <p>東南海地震・津波地域にある当市において、災害発生時における行政機関の果たすべき役割を考えると庁舎計画案を立案することは重要であり、不可欠の事項です。しかし、新庁舎の移転先が現庁舎よりもさらに海に近く、津波浸水域であるということは何度考えても不可解です。</p> <p>つまり、この計画案では、本来、市民の安全を第一に考えなければならない行政の姿が見えてきません。…安全性に関する記述の問題点は多数あります。</p> <p>たとえば、【庁舎1階は、ピロティ構造の採用】で、津波が通り抜けるから、庁舎は安全としています。これにより、背後の住居、住民に直接津波が作用し、周辺地域の安全は損なわれることに言及していません。また、「平常時は駐車場に」としてとありますが、これは津波が通り抜けることを阻害します。さらに車の漂流、衝突などで、ピロティ構造は破壊される可能性のあることや、地震時には上層階の重量にピロティ構造は耐えられない可能性のあることを考えていないようです。</p> <p>また、「この地域の周辺に存在する危険」については、コンビナート災害や、清水港の船舶群の存在などがありますが、全く考慮されていません。</p> <p>【災害発生直後から、業務が継続できる庁舎】とアピールしていますが、今日までの災害実態や教訓を無視した作文としか言いようがありません。</p> <p>一般的に【ピロティ】では、地震対策と津波対策は両立しにくいと考えられますが、どう考えているのかはつきりしません。</p> <p>また、【災害時と平常時の機能の両立を図る】などの文言が使われていますが、その困難さを認識しているとは思えず、これも机上の空論と言わざるをえません。</p> <p>もっと、総合的かつ真剣に防災対策を考える必要があるにも関わらず、このような危険性にいっさい言及せずに計画案を公表して住民に意見を求めるやり方は、行政の姿勢ではありません。</p> <p>市当局は、建設検討委員会で「市の計画の中で、防災への言及が少ない」ことを認めていましたし、市民の安全が第一という行政の本質を忘れることなく、議論して、計画は再考するべきです。この場所での庁舎建設計画には反対です。</p>	<p>ピロティ構造については、本編P31の「津波対策」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。</p>	○		○		
1692	577	清水区	その他	再整備・移転について	<p>住民の安全安心と地域の将来に配慮したまちづくりをしてください。新築する予定の庁舎と病院は津波リスクのないところで検討してください。清水の特性をいかして、まちの活性化をはかることに異論はありません。</p> <p>しかし、住民の心配や懸念に対して真剣に対応しないまま議論や話し合いをしようとしないうる市当局がすすめるこのプランには賛同できません。反対です。</p> <p>とりわけ、危機管理意識が全く感じられない、そして時代錯誤もはなはだしいこの2つの箱物を大金を投じて新たに作るうなどは、その必要性も理解不能、説得力のあるものではありません。</p> <p>まして、津波リスクの高い地域にわざわざつくろうなどと誰が何のために発案した計画でしょうか?発案者には、こうしなければならぬ理由がある筈です。その本音を聞きたいところです。</p> <p>さて、新しい桜ヶ丘病院の移転希望場所と清水新庁舎建設予定場所が津波リスクのある地域であることから反対です。それは、以下に示す理由によります。</p> <p>ただ、新庁舎については、まず、建て替え新築が本当に必要かの真剣な議論が必要です。必要性に住民多数の賛意が得られた場合、あの場所は反対です。</p> <p>〔反対する基本的な理由〕</p> <p>私は、新たに建設する行政拠点、医療拠点、福祉施設、学校施設など地域社会の重要施設は、避難が必要の無い場所に設置を計画するのが常識であり、合理的だと考えています。</p> <p>わざわざ津波リスクのある場所に新たに建設を計画し、広報特号のQ&Aなどにも記されている、災害時は〇〇と△△で大丈夫などの説明は、説得力はありません。(ピロティ、ヘリコプター、自衛隊、道路啓開…)</p> <p>また、防災関連の建設コストも嵩みます。</p> <p>リスクのない場所を選択すれば、これらの施設が機能不全に陥ることもなく、利用者(行政拠点以外は弱者)は、原則災害発生時でも避難が不要、建設時の津波防災コストも原則不要です。</p> <p>なぜ、市長は桜ヶ丘病院の移転先として津波リスクのある場所をわざわざ推薦したのでしょうか?現区役所をどうするか議論もしない一年も前に…</p> <p>また、これらの施設をにぎわいをもたらすとしてまちづくり計画の理由付けに使うなどは全く理解できません。</p> <p>最新の防災技術は、そこに住んでいる人や津波リスクを承知の上で事業をしたり、観光客など災害発生時にその場所にいる人たちの安全を確保(防災、減災)するためにあると考えるのが、合理的であり経済的な筈です。</p> <p>病院のそもそも論を避けて、まちづくり議論に当局がすりかえたタウンミーティングで再三指摘させていただきましたが、市長、病院の移転先と新庁舎の移転新築は完全に間違いです。</p> <p>清水の将来に禍根を残す箱物計画です。子や孫やたちのための視点を持って、私たち市民が納得できる計画につくり直してください。今ならまだ間に合います。</p>	<p>市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。</p> <p>なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。</p> <p>そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。</p> <p>更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。</p> <p>なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。</p>					○

意見番号	意見者No.	住所(区)	大分類	中分類	意見	ご意見に対する市の方針	基本計画に盛り込み済	基本計画に反映する	今後の設計等で参考にする	その他基本構想で決定済	その他
1693	578	清水区	その他	再整備・移転について	計画の新清水庁舎の場所は、津波の浸水地域に予定されており、機能的かつ効率的とは考えにくい。災害が起きた場合、取り返しのつかないダメージを受けることになる。継続して災害拠点として市職員の安全と庁舎の保全を計るなら、当然、他の市町村と同じように庁舎の建設場所は、災害を受けない高所に建設すべきである。蒲原、由比、清水と三地区を総合的に判断して、災害が及ばない高所に建設すべきである。(清水焼却場跡地等) 津波の災害の及ばない庵原地区の東名、静岡バイパス付近に新清水庁舎を建てるべきで、災害が起きても、拠点として行政活動が円滑にできる場所に建てられることを望みます。	市では都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、清水都心地区に都市機能を集積していくこととしています。 なかでも公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻エリアについては、商業・業務の中心地として更なる発展が望まれます。 そのため、江尻エリアにおいて、庁舎建設に必要な面積を有するとともに、鉄道駅とバスターミナルの交通結節点に近く、新たに用地を取得する必要がない市有地である清水駅東口公園に庁舎を建設することが最適と判断しました。 更に、災害リスクに対しては、県が整備する防潮堤の計画を見据えつつ、新たな庁舎も防災機能を強化することで、ウォーターフロントにおける防災対策の一翼を担うこととしています。 なお、市では現在、防災都市づくり計画を策定中であり、災害に強い市街地の形成を目指していくこととしております。				○	
1694	579	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	適切な計画になっていると思います。駅直結、雨に濡れずに駐車場によゆうがあるという点は、ショッピングセンターと同じく重要な要素だと思います。静岡庁舎がJR静岡駅直結ならば、かなり利用しやすいのにも思います。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1695	579	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	専門的な知識がないためわかりません。ただ、専門家の方々により、最大クラスの災害に耐えうる構造になっているのであれば、問題ないと思います。又、そうであればウォーターフロントという立地はマイナスではなく、駅を含めた利便性という利点がプラスの効果を生むのでは。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1696	579	駿河区	事業手法・駐車場・民間施設誘致	庁舎併設施設・民間施設	先日初めてマリナートに行きました。とても立派でステキな施設でしたが、土日にも関わらず閑散としていました。河岸の市、清水銀座等周辺を盛り上げる魅力的なスポットの一つとして期待できると思います。話題性のあるショップ等が民間施設に含まれること無料で楽しめる施設等があると良いです。	整備を目指す民間施設の主たる用途については、本編P53の「民間施設の誘致」に記載したところですが、ご意見の内容は今後の市政運営の参考とさせていただきます。	○		○		
1697	580	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	ベデストリアンデッキにより雨に濡れずに庁舎に駅から行ける点で、誰もが利用しやすい庁舎になっていると思う。また、社会変化に応じてレイアウト変更などに柔軟に対応できる庁舎にしている点で、将来を見据えた庁舎になっていると思う。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1698	580	駿河区	防災の拠点	災害時の業務継続機能	津波による建物の店頭が防止できる「ピロティ形式」を採用し、災害対策本部などの活動拠点や重要な設備室は津波浸水被害を受けないフロアに設けることで、災害が発生しても業務が継続できる庁舎になっていると思う。	業務継続ができる建物となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1699	580	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	清水駅の近くに建設され、ベデストリアンデッキにより駅の東西をつなげ、人を回遊させる工夫がされていると思う。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		
1700	581	駿河区	行政サービスの拠点	利便性の高い交通アクセス機能	駅から近く、雨の日も利用しやすいようになっているのは助かる。車の送り迎えがしやすいよう、ロータリーや駐車場から屋根付きであればより良い。	アクセスの良い庁舎となるよう引き続き努めてまいります。	○				
1701	581	駿河区	防災の拠点	ウォーターフロントにおける命を守る緊急避難機能	周囲に大きな避難場所が見当たらないため、避難地ができるのは助かる。市場の客も逃げやすいとより良いのではないだろうか。	地域の防災機能が向上する庁舎となるよう、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○				
1702	581	駿河区	まちづくりの拠点	まちづくり全般	ピロティ部の活用はとても良いと思う。現清水庁舎東側の歩道で行われている軽トラ市がより賑わってほしい。公園を無くすことにならぬので、子供が楽しめる場所がほしい。まあと提携したイベントなども行えるのだろうか。	公共空間の利活用については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。また、いただいたアイデア等は、基本計画の資料編に記載します。		○	○		
1703	582	駿河区	規模	規模について	執務スペースは出来るだけ必要最小限のスペースとし、市民ニーズの変化に対応できる将来を見据えた多様性のある空間となると良いと思います。倉庫や書庫を今ある公共施設の空スペースを利用し最小限の設置をする考えは良いことだと思います。ただ省スペース化することで、市民サービスの低下とならないよう、特に清水区役所の事務についてはサービスの受けやすい空間としてください。	ご意見の内容は今後の設計の中で参考とさせていただきます。	○				
1704	582	駿河区	防災の拠点	災害に強い建物構造	海に近い場所ですか、工夫して丈夫な建物としてください。	防災拠点としての機能については、本編P7の「清水区の防災拠点としての機能」に方針を、本編P28の「構造・設備計画」に具体的な耐震性能・対津波性能・業務継続機能を記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計で引き続き検討を進めてまいります。	○		○		
1705	582	駿河区	まちづくりの拠点	地域資源を活かしエリアの価値を高める機能	市の施設は点々と配置されているように思いますが、新清水庁舎、JR清水駅西口の商店街とつながりを持って栄えるエリアとなってくれれば良いと思います。	まちに賑わいを生む庁舎については、本編P8の「清水区のまちづくりの拠点としての機能」と本編P40の「景観形成の方向性」に記載したところですが、ご意見を受け、今後の設計の参考にさせていただきます。	○		○		